

大会プログラム集

■2024年度(令和6年度)大会[東京]■



—— 公益社団法人日本農芸化学会 ——

Japan Society for Bioscience,
Biotechnology, and Agrochemistry
<https://www.jsbba.or.jp/>

日本農芸化学会

2024 年度（令和 6 年度）[東京] 大会

プログラム集

■ 学会賞等授賞式、受賞者講演、本部主催講演、特別企画シンポジウム

日 時 2024 年 3 月 24 日（日）9 時 00 分開始

場 所 東京農業大学百周年記念講堂

（東京都世田谷区桜丘 1-1-1、<https://www.nodai.ac.jp/>）

■ 一般講演、教育講演、女性賞各賞受賞者講演、シンポジウム、分野融合連携（他学会連携）シンポジウム、農芸化学の D&I シンポジウム、ランチョンシンポジウム、ランチョンセミナー、ジュニア農芸化学会、産学官学術交流フォーラム、農芸化学を体感する、これから 100 年の農芸化学研究を展望する、Social gathering、展示会

日 時 2024 年 3 月 25 日（月）～3 月 27 日（水）8 時 30 分～19 時 00 分頃（最終日は 15 時 00 分まで）

場 所 東京農業大学 世田谷キャンパス

（東京都世田谷区桜丘 1-1-1、<https://www.nodai.ac.jp/>）

■ 第 29 回農芸化学 Frontiers シンポジウム

日 時 2024 年 3 月 27 日（水）16 時 30 分頃～3 月 28 日（木）12 時頃

場 所 クロス・ウェーブ府中

（東京都府中市日鋼町 1-40、<https://x-wave.orix.co.jp/fuchu/>）

参加者へのご案内とお願い	(2)
一般講演、シンポジウム発表者、座長へのお願い	(8)
授賞式、受賞者講演、受賞者一覧及び本部主催講演	(10)
別府輝彦先生追悼講演プログラム	(14)
地図	(15)
大会および関連行事日程表	(25)
大会講演一覧	(26)
一般講演座長一覧表	(29)
一般講演番号の見方	(32)
一般講演プログラム	(33)
大会シンポジウムプログラム	(98)
分野融合連携（他学会連携）シンポジウム	(107)
ランチョンセミナープログラム	(108)
ランチョンシンポジウムプログラム	(110)
農芸化学の D&I シンポジウム	(114)
教育講演プログラム	(116)
特別企画シンポジウムプログラム	(117)
「これから 100 年の農芸化学研究を展望する」プログラム	(118)
Social gathering	(119)
農芸化学を体感する	(121)
ジュニア農芸化学会 2024（高校生による研究発表会）	(123)
2024 年度産学官学術交流フォーラム	(132)
第 29 回農芸化学 Frontiers シンポジウム	(135)

参加者へのご案内とお願い

【大会一般】

1. 交通（交通アクセス 15 ページ、周辺地図 16 ページ、会場地図 17 ページ）

東京農業大学 世田谷キャンパスへは

- 小田急線「経堂駅」より、徒歩約 15 分
- 小田急線「千歳船橋駅」より、徒歩約 15 分／バス約 5 分
- 東急田園都市線「用賀駅」より、徒歩約 20 分／バス約 10 分

※渋谷駅から農大前まで、バスの運行がございますが、朝・夕方は渋滞が予想されます。
ご利用になられる方は、お時間には余裕を持ってご利用いただきますよう、お願い致します。

2. 受付（18 ページ参照）

授賞式・受賞講演会／一般講演・シンポジウム等

東京農業大学世田谷キャンパス 1号館 2F 「241」：	3月 24 日 (日)	受付時間 8:30～16:00
	3月 25 日 (月)	受付時間 8:00～16:00
	3月 26 日 (火)	受付時間 8:00～16:00
	3月 27 日 (水)	受付時間 8:00～12:00

3. クローク（地図 18 ページ参照）

授賞式・受賞講演／一般講演・シンポジウム等

東京農業大学世田谷キャンパス 1号館 1F 「111・112」：	3月 24 日 (日)	8:30～19:30
	3月 25 日 (月)	8:30～19:30
	3月 26 日 (火)	8:30～19:30
	3月 27 日 (水)	8:30～15:30

4. 食堂・売店・弁当等（地図 17 ページ参照）

レストランすずしろ	3月 24 日 (日)	営業なし
	3月 25 日 (月)	11:00～13:00
	3月 26 日 (火)	営業なし
	3月 27 日 (水)	11:00～14:00
セブンイレブン（常盤松学生会館）	3月 24 日 (日)	営業なし
	3月 25 日 (月) ～27 日 (水)	8:00～18:00
生協（常盤松学生会館）	3月 25 日 (月) ～27 日 (水)	11:30～14:00

ランチョンセミナー、ランチョンシンポジウム（25 日（月）、26 日（火））では、無料のお弁当が提供されます。（詳細は 108 ページ参照）

5. 託児ルーム

3月 24 日（日）～26 日（火）8:30～18:30

3月 27 日（水）8:30～16:00

事前予約制【締切：2024 年 3 月 11 日（月）】詳細は下記までお問合せください。

<https://www.jsbba.or.jp/2024/info/childcare.html>

申込み・問合せ先：（株）イベント&コンベンションハウス

TEL：03-6863-2506、FAX：03-6863-2510、E-mail：jsbba_am@ech.co.jp

6. 休憩室（地図 19、20 ページ参照）

休憩、情報交換の場としてお使いください。

東京農業大学 1号館内：休憩室には無料飲料を準備しております。

7. 喫煙について

東京農業大学では構内での喫煙不可です。世田谷区は路上喫煙が禁止されていますので、キャンパス周辺での喫煙もご遠慮ください。大会参加者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

8. 参加証

会場に入場する場合は、必ずご着用ください。参加証をつけていない方の入場はお断りします。

※事前にプリントアウトをしてご持参ください。

9. 携帯電話等
一般講演およびシンポジウム会場内では、携帯電話をマナーモードに設定の上、通話はお控えください。
10. ビデオおよび写真撮影の禁止
会場内でのビデオおよび写真撮影ならびに音声録音は固くお断りします。
11. 掲示板
東京農業大学の受付（1号館2F「241」前ロビー）に、掲示板を設置いたします。大会期間中の連絡事項、落し物を掲示する他、当事者間の連絡にお使いください。なお、会場内での放送による呼び出しは一切行いません。
12. 学会からの案内（大会期間中）
大会期間中の連絡事項は、大会サイト内（<https://www.jsbba.or.jp/2024/>）の公式X（旧Twitter）に記載を致します。適宜、ご確認いただきますようお願いします。
13. キャッシュコーナー（地図17ページ参照）
ゆうちょ銀行のATMが常盤松会館内、三井住友銀行のATMが正門付近にございます。
14. 雑貨・文具・コピーサービス（地図17ページ参照）
常盤松会館内にある、セブンイレブン、生協にてご利用ください。
15. インターネット
本大会では、インターネットコーナーは設けておりません。会場での大会参加者への WiFi 等の通信手段の提供はございません。必要な方はご自身でご用意ください。
16. ドリンクコーナー
桜丘アリーナの機器・試薬・書籍等展示会会場に、無料のコーヒーやドリンクを用意しています。

【参加登録など】

1. 参加登録・来場時の注意点
WEBで参加登録し、参加費を納入し、カラー出力した参加証をお持ちになってご来場ください。
※参加費を納入した方は、参加登録番号と参加登録したメールアドレスの認証で、3月15日に大会プログラム検索サイト（<https://jsbba2.bioweb.ne.jp/jsbba2024/>）で参加証PDFの発行が可能になります。
※入場する際には参加証を4つに折ってネームケースに入れてご着用ください（ネームケースは指定の場所で配布を致します）。
2. 2月14日（水）正午以降のWEB参加登録者
2月14日（水）正午を過ぎますと、WEB登録でも当日登録と同じ正規料金（下記表参照）となります。
(WEB登録の締切：3月27日（水）正午)【正規料金の大会参加費】

	正会員	学生会員	非会員
大会参加費	12,000円	4,000円	24,000円
3. 領収書の発行について
大会サイト内（https://www.jsbba.or.jp/2024/registration_fee.html）の領収書発行から、オンライン登録受付番号と大会登録用E-mailを入力し、ご確認ください。

【各種配布物】

1. 参加証 PDF

参加費を納入した方は、参加登録番号と参加登録したメールアドレスの認証で3月15日に参加証PDFの発行が可能になります。大会プログラム検索サイト(<https://jsbba2.bioweb.ne.jp/jsbba2024/>)よりダウンロードし、A4用紙にカラー印刷(推奨)ください。

※カラー出力した参加証をお持ちになってご来場ください。受付に出力機器はございません。

※入場する際には参加証を4つに折ってネームケースに入れてご着用ください。

2. ネームケースの配布場所(地図17ページ参照)

3月24日(日)～27日(水)： 東京農業大学1号館入口付近

東京農業大学1号館2階 大会受付付近

東京農業大学17号館前 *3月24日のみ

(参加証は各自で出力して、4つ折りにしてケースに入れてください。)

3. ランチョンセミナー・ランチョンシンポジウムのチケット配布場所(地図17ページ参照)

東京農業大学 1号館1階入口付近「ランチョンセミナー・シンポジウムチケット配布デスク」

3月25日(火)～26日(水) 8:15～10:15

(チケット配布は、定員に達した時点で終了します。)

4. 大会プログラム集

大会プログラム集は、電子版(PDF)でのご提供となります。大会プログラム検索サイト(<https://jsbba2.bioweb.ne.jp/jsbba2024/>)よりダウンロードいただけます。大会プログラムは要旨閲覧用アプリでもご覧になれますので是非ご活用ください。

5. 大会講演要旨集

「2024年度大会講演要旨集」(2024年3月5日発行)は、PDF版を刊行します。参加費を納入いただきましたら、閲覧用パスワードとともにアクセス先URLを参加登録されたE-mailアドレスへご案内します。

6. 大会講演要旨アプリ

2024年度大会では、講演要旨閲覧用のアプリを公開いたします(2024年3月5日(火)公開)。

ご自身のタブレット端末またはスマートフォン(iOS又はAndroid)を要旨集としてご利用いただけます。

アプリで要旨を閲覧いただくには、大会参加のオンライン受付番号および認証パスワードが必要です。認証パスワードは、参加費を納入いただきましたら、参加登録されたE-mailアドレスへご案内します。(認証パスワードは、上記電子ジャーナル版の大会講演要旨集閲覧用パスワードと共通です。)

※アプリは3月5日(火)の公開後、大会HPからインストールできます。

※アプリは一つのオンライン登録受付番号につき2台の端末までご利用いただけます。

7. プログラム検索機能

参加登録され、大会参加費をお支払いされますと、一般講演・シンポジウム等の時間割や発表要旨を大会プログラム検索機能で閲覧することができ、聴講したいプログラムをまとめて簡単に個人のスケジュールが作れる「マイスケジュール」機能を利用することができます。興味のある発表をチェックし、マイスケジュールにセーブすると、日付、コアタイム順に自動的にソートし、皆さまの個人のスケジュールが出来上がります。詳しくは、日本農芸化学会2024年度大会ホームページ(<http://www.jsbba.or.jp/2024/>)をご覧ください。

【一般講演・各種講演・懇親会・各種シンポジウム・ランチョン・その他のイベント】

1. 一般講演

① 一般講演(34ページ参照)

3月25日(月) 9:30～12:20、13:50～16:40：東京農業大学 1号館

3月26日(火) 9:30～12:20、13:50～16:40：東京農業大学 1号館

3月27日(水) 9:30～12:20：東京農業大学 1号館

2. 各種講演(10ページ参照)

① 授賞式(10ページ参照)

3月24日(日) 9:00～10:00：東京農業大学 百周年記念講堂

② 受賞講演 (10 ページ参照)

2024 年度日本農芸化学会賞・日本農芸化学会功績賞・農芸化学技術賞・農芸化学奨励賞

3 月 24 日 (日) 10:00~12:00、13:10~14:05 : 東京農業大学 百周年記念講堂

2024 年度農芸化学女性研究者賞・農芸化学女性企業研究者賞・農芸化学若手女性研究者賞

3 月 26 日 (火) 13:50~15:20 : 東京農業大学 A1 会場 (1 号館 1 階 131)

③ 教育講演 (116 ページ参照)

3 月 25 日 (月) 8:30~9:20 : 東京農業大学 1 号館

3 月 26 日 (火) 8:30~9:20 : 東京農業大学 1 号館

3 月 27 日 (水) 8:30~9:20 : 東京農業大学 1 号館

※早朝からの講演ですので、先着順で朝食を提供致します。数に限りがありますので、配布終了の場合にはご容赦下さい。

④ 2024 年度産学官学術交流フォーラム (132 ページ参照)

3 月 25 日 (月) 9:50~16:50 : 東京農業大学 横井講堂

⑤ 別府輝彦先生追悼講演 (14 ページ参照)

3 月 24 日 (日) 12:20~13:00 : 東京農業大学 百周年記念講堂

※受賞講演を聴講の方には軽食をご用意いたします。数に限りがありますので、配布終了の場合にはご容赦下さい。

3. 各種懇親会

① Social gathering (119 ページ参照)

3 月 24 日 (日) 17:30~19:30 :

東京農業大学 百周年記念講堂前広場・カフェテリアグリーン・レストランすずしろ

3 月 25 日 (月) 17:00~19:00 :

東京農業大学 百周年記念講堂前広場・カフェテリアグリーン・レストランすずしろ

4. 各種シンポジウム・セミナー

① 特別企画シンポジウム「これまでの農芸化学研究の 100 年を振り返って」(117 ページ参照)

3 月 24 日 (日) 14:15~17:05 : 東京農業大学 百周年記念講堂

② 大会シンポジウム (99 ページ参照)

3 月 25 日 (月) 9:30~12:00、13:50~16:20 : 東京農業大学 1 号館

3 月 26 日 (火) 9:30~12:00、13:50~16:20 : 東京農業大学 1 号館

3 月 27 日 (水) 9:30~12:00 : 東京農業大学 1 号館

③ 分野融合連携 (他学会連携) シンポジウム (107 ページ参照)

3 月 25 日 (月) 13:50~16:20

韓国 KMB との合同企画: 東京農業大学 A1 会場 (1 号館 1 階 131)

3 月 26 日 (火) 9:30~12:00

日本蛋白質科学会/AMED-BINDS との合同企画: 東京農業大学 A1 会場 (1 号館 1 階 131)

④ 農芸化学の D&I シンポジウム (114 ページ参照)

3 月 26 日 (火) 13:50~16:20 : 東京農業大学 A1 会場 (1 号館 1 階 131)

⑤ 「これから 100 年の農芸化学研究を展望する」(パネルディスカッション形式) (118 ページ参照)

3 月 27 日 (水) 12:30~15:00 : 東京農業大学 A1 会場 (1 号館 1 階 131)

※ランチタイムからの開始ですので、先着順で昼食を提供致します。数に限りがありますので、配布終了の場合にはご容赦下さい。

⑥ 第 29 回農芸化学 Frontiers シンポジウム (135 ページ参照) (別途申込必要)

3 月 27 日 (水) 16:30~28 日 (木) 12:00 : クロスウェーブ府中 (東京都府中市)

5. ランチョンイベント

① 企業共催ランチョンセミナー・ランチョンシンポジウム (108 ページ参照)

3 月 25 日 (月) 12:35~13:25 : 東京農業大学 1 号館

3月 26 日 (火) 12:35～13:25：東京農業大学 1号館

ランチョンセミナー・ランチョンシンポジウムのチケットは、当日の朝に東京農業大学 1号館 1階出入ロビー「ランチョンセミナー・ランチョンシンポジウムチケット配布デスク」にて配布します。(入口が3か所ありますので、キャンパスマップを確認下さい。)チケット配布の際、大会参加証にチケット受領の押印をしますので、大会参加登録をお済ませの上、チケットをお受け取り下さい。チケット配布は、定員に達した時点で終了します。チケットは、ランチョンセミナー・ランチョンシンポジウムの開始時間をお過ぎると無効になります。その後はチケットをお持ちでない方と同等の扱いとなりますのでご注意ください。チケットをお持ちでない方は、ランチョンセミナー・ランチョンシンポジウムに参加できません。ただし、空席がある場合はこの限りではありません。

各ランチョンセミナー・ランチョンシンポジウム会場前では、聴講資格を確認させていただきます。

各日ランチョンセミナー・ランチョンシンポジウムの開始時間をお過ぎると無効になり、空席待ちの方に案内を致します。

② JABEE ランチョンシンポジウム (110 ページ参照)

3月 26 日 (火) 12:30～13:30：東京農業大学 B1 会場 (1号館 2階 231)

③ 男女共同参画ランチョンシンポジウム (112 ページ参照)

3月 26 日 (火) 12:30～13:20：東京農業大学 レストランすずしろ

④ BBB ランチョンセミナー (111 ページ参照)

3月 26 日 (火) 12:30～13:20：東京農業大学 C1 会場 (1号館 3階 331)

6. その他のイベント

① ジュニア農芸化学会 2024 (高校生による研究発表会) (123 ページ参照)

3月 26 日 (火)：東京農業大学 B2・B5 会場 (1号館 2階 232・243)

開会式 10:30～10:50、質疑応答 (コアタイム 1) 10:50～12:10、休憩 (自由討論) 12:10～13:25、

質疑応答 (コアタイム 2) 13:30～14:50、表彰式 15:00～16:00

② 農芸化学を体感する (121 ページ参照)

3月 26 日 (火) 16:30～19:00：東京農業大学 国際センター2階 榎本ホール・会議ホール

③ 機器・試薬・書籍・食品・バイオビジネスアピール等「展示会」

3月 25 日 (月)・26 日 (火) 9:00～17:00、27 日 (水) 9:00～13:00：東京農業大学 桜丘アリーナ

展示会場では、参加証を QR リーダーでチェックしていただいた後、賞品の抽選にチャレンジしていましただけます。どうぞ空き時間に展示会場へお越しください。

本部委員会

広報委員会

3月 25日 (月) 12:40～13:20 : 東京農業大学 1号館 5階 521

学術活動強化委員会

3月 25日 (月) 12:40～13:20 : 東京農業大学 1号館 5階 522

和文誌編集委員会

3月 26日 (火) 12:40～13:20 : 東京農業大学 1号館 5階 513

英文誌編集委員会

3月 27日 (水) 12:40～13:30 : 東京農業大学 1号館 5階 513

JABEE 対応委員会

3月 27日 (水) 12:40～13:20 : 東京農業大学 1号館 5階 522

ダイバーシティ推進委員会

3月 27日 (水) 12:40～13:20 : 東京農業大学 1号館 5階 521

一般講演、シンポジウム発表者、座長へのお願い

【一般講演】

1. 一般講演発表者へのお願い

一般講演はすべて大会会場に用意されたパソコンによるプレゼンテーションとなります。

(1) 受付

演者の方：5～6演題ごとに「発表者の接続時間」が設けられていますので、ご自身の発表の前の「発表者の接続時間」内に各会場前方の「PC接続席」にお越しの上、各自でUSBメモリーの接続と確認を行ってください。この際、会場進行係が演者の出欠を確認いたします。以上の作業を終えた上で次演者席にて待機してください（ご自身の講演開始の10分前には確実に次演者席にご着席ください）。

座長の方：当日は時間に余裕を持って各講演会場にお越し頂き、講演開始の10分前には次座長席で待機してください。会場進行係が座長の出欠を確認いたします。

※本大会は、「座長・演者受付」は設けていませんので、ご注意ください。

(2) 講演時間

講演時間は1題につき、11分（発表8分、討論2分30秒、交代時間30秒）です。時間経過は下記の通りベルにてお知らせいたします。

- ・1鈴：発表終了2分前（6分経過時）
- ・2鈴：発表終了（討論開始、8分経過時）
- ・3鈴：討論終了（持ち時間終了、10分30秒経過時）

(3) 講演方法

大会実行委員会でWindowsノートパソコン(PC)のみを用意します。発表に使用されるファイルは、必ず新品のUSBメモリーを使用し、PC上に表示されるUSBメモリーの名称は所属・氏名としてください。

※一般講演でのご自身のパソコンでの発表はご遠慮ください。

(4) 発表データの作成要項

1. サポート期限の切れていないMicrosoft PowerPointで作成してください。また、予備として上記ファイルをフォント埋め込み処理をしたPDFに変換したファイルも必ず作成して必ず両者をUSBメモリーに保存してください。スライド画面の比率は横縦比16:9を推奨しております。
2. 使用するフォントは、MSゴシック、Arial、Symbolを推奨します。
3. USBメモリーはFAT形式(WindowsはFAT32、MacOSXはFAT)でフォーマットしたものをご利用ください。

(5) PCへのUSBメモリーの接続（8分間の発表者の接続時間中）

以下の手順で、原則として発表ファイルを含むUSBメモリーをPCに接続してください。

1. 5演題ごとに「発表者の接続時間」が設けられていますので、ご自身の発表の前の「発表者の接続時間」内に各会場前方の「PC接続席」にお越しください。
2. 「発表者の接続時間」中に、大会実行委員会で用意するノートPCに発表ファイルを含むUSBメモリーを接続してください。発表者ごとのフォルダ（演題番号）がデスクトップにありますので、そのフォルダにデータをコピーしてください。（コピー後は、USBを取り出してください）
3. USBメモリー接続後、PowerPointファイルを開いて、スクリーンに正しく映写されるかを確認してください。
4. PowerPointファイルに問題があった場合は、PDFファイルを開いて確認いただき、発表はPDFファイルで行ってください。

※切り替え作業等は、スタッフでは行いませんので、ご自身で行ってください。

※発表データは、終了後、大会スタッフにて責任を持って削除致します。

(6) スライド操作

スライド操作は発表者が行ってください（補助者が必要な場合には、ご自身で手配をお願いします）。スライド操作でトラブルが起きた場合は、速やかに予備のPDF発表ファイルに切替え、発表を続けてください。発表時間は定時進行でお願いいたします。

(7) 音声の出力

実行委員会で準備するPCは音声の出力には対応していません。

(8) 動画

実行委員会で準備するPCは動画に対応していません。

(9) その他

1. 学会国際化への対応の一環として、PowerPoint の図中の言語は、できるかぎり英語にしてください。ご協力のほど宜しくお願ひ致します。
2. 講演（発表）要領の詳細は変更になる場合があります。講演（発表）要領は大会ホームページに掲載しますので、その指示に従ってください。
3. 実行委員会で準備する PC は、ウイルス対策は致しますが、完璧とは言い切れません。USB を介したウイルス感染に対しては責任を負いかねますので、ご了解ください。

2. 特許手続き

特許出願の必要がある方は、下記サイトを参照し、書式に則って書類を請求してください。

(<https://www.jsbba.or.jp/2024/registration/patent.html>)

3. 座長へのお願ひ

- (1) 一般講演の座長は、1名制です。「発表者の接続時間」で区切られた演題を担当していただきます。
- (2) 当日は、会場進行係が、各講演会場内で出欠を確認いたします。時間に余裕を持って各講演会場にお越しいただき、次座長席で待機してください。本大会は、「座長・演者受付」は設けていませんので、ご注意ください。
- (3) 講演は可能な限り On-Time で進行させてください。定刻より遅れた場合には、質疑応答時間を短縮するなどして、適宜ご対応をお願いします。
- (4) 一般講演 5 題ごとに「発表者の接続時間（8 分間）」を設けています。「発表者の接続時間」後の講演は、可能な限り On-Time で開始してください。
- (5) 万一、座長不在の会場に立ち会われた場合には、代行座長として積極的にご協力を願います。

【シンポジウム】

1. シンポジウム発表者へのお願ひ

(1) 発表までにご準備いただくこと

シンポジウムでの講演には、ご自身の PC をお使いいただきます。電源ケーブルを必ずご準備ください。映像出力端子は HDMI です。それ以外の形状のものや Mac の場合は変換アダプターが必要ですので、必ずご持参ください。PC 本体やコネクタ、アダプターに不具合があると講演に支障が生じます。PC ならびに関連部品が正常に動作することを、事前にご自身で十分ご確認ください。発表当日の PC の不具合に備え、発表用ファイル（オリジナルファイルとオリジナルを PDF 化した PDF ファイル）をコピーした USB メモリを必ずご持参ください。

(2) 受付・試写・動作確認

各シンポジウム会場に受付はございません。会場は、シンポジウム開始時間の 30 分前から使用できますので、講演者・司会者・座長の方は、直接、会場にお越し頂き、代表司会者にお声がけください。PowerPoint ファイルの試写および PC の動作確認は、代表司会者を責任者として各会場でシンポジウム前に行ってください。プロジェクターにトラブルがあった場合は、各会場の担当者が対応します。

※PowerPoint の発表者ツールの設定を OFF にしておいてください。

(3) シンポジウムの進行

講演時間、質疑討論時間は各司会者の先生方に一任されます。経過時間が確認できるようにしておきますので、進行時間は厳守願います。

(4) PC への接続・切り替え・スライド操作

プロジェクターへの接続およびスライド操作は講演者がご自身で行ってください（補助者が必要な場合には、自身で手配をお願いします）。なお、スイッチャー、予備の PC はございません。音声出力には対応しておりません。後部席からは音声が聞こえない可能性があります。

(5) 動画

動画を使うことは可能ですが、事前に十分な動作確認をお願いします。

(6) その他

学会国際化への対応の一環として、PowerPoint の図中の言語は、できるかぎり英語にしてください。ご協力のほど宜しくお願ひ致します。

日本農芸化学会

(2024 年度) 学会賞等授賞式、受賞者講演、受賞者一覧及び本部主催講演

学会賞等授賞式、受賞者講演（日本農芸化学会賞、日本農芸化学会功績賞、農芸化学技術賞、農芸化学奨励賞）

日時：2024 年 3 月 24 日（日）9 時～12 時、13 時 10 分～14 時 5 分

場所：東京農業大学世田谷キャンパス 百周年記念講堂（東京都世田谷区桜丘 1-1-1）

本部主催講演（別府輝彦先生追悼講演）

日時：2024 年 3 月 24 日（日）12 時 20 分～13 時

場所：東京農業大学世田谷キャンパス 百周年記念講堂（東京都世田谷区桜丘 1-1-1）

受賞者講演（農芸化学女性研究者賞、農芸化学若手女性研究者賞、農芸化学女性企業研究者賞）

日時：2024 年 3 月 26 日（火）13 時 50 分～15 時 20 分

場所：東京農業大学世田谷キャンパス A1 会場（東京都世田谷区桜丘 1-1-1）

2024 年 3 月 24 日（日）進行予定

（9:00）**2024 年度学会賞等授与式**

- 1 授賞選考委員長報告
- 2 日本農芸化学会賞授与
- 3 日本農芸化学会功績賞授与
- 4 農芸化学技術賞授与
- 5 農芸化学奨励賞授与

2024 年度農芸化学女性研究者賞等授与式

- 1 授賞選考委員長報告
- 2 農芸化学女性研究者賞授与
- 3 農芸化学若手女性研究者賞授与
- 4 農芸化学女性企業研究者賞授与

（9:40）**第 21 回農芸化学研究企画賞表彰式**

- 1 産学官学術交流委員長報告
- 2 農芸化学研究企画賞表彰

（9:45）**BBB 論文賞、BBB Most-Cited Review Award**

- 1 英文誌編集委員長報告

（9:50）**会長祝辞**

（9:55）** 休憩 5 分間 **

（10:00）**受賞者講演開始**

- （10:00）日本農芸化学会賞受賞者講演（2 件、各 25 分）
（10:50）日本農芸化学会功績賞受賞者講演（2 件、各 20 分）

（11:30）農芸化学技術賞受賞者講演（2 件、各 15 分）

（12:00）**受賞者講演終了**

（12:00）** 休憩 20 分間 **

（12:20）**本部主催講演（別府輝彦先生追悼講演）開始**

（13:00）**本部主催講演終了**

（13:00）** 休憩 10 分間 **

（13:10）**農芸化学奨励賞受賞者講演開始**

（13:10）農芸化学奨励賞受賞者講演（10 件、各 5 分）

（14:05）**農芸化学奨励賞受賞者講演終了**

- (14:05) ** 休憩 10 分間 **
(14:15) 本部主催特別企画シンポジウム これまでの農芸化学研究の 100 年を振り返って開始
(17:05) シンポジウム終了

2024 年 3 月 26 日 (火) 進行予定

- (13:50) 農芸化学女性研究者賞等受賞者講演開始
(13:55) 農芸化学女性研究者賞受賞者講演 (2 件、各 20 分)
(14:35) 農芸化学若手女性研究者賞受賞者講演 (2 件、各 15 分)
(15:05) 農芸化学女性企業研究者賞受賞者講演 (1 件、15 分)
(15:20) 農芸化学女性研究者賞等受賞者講演終了

受賞者

【日本農芸化学会賞】 (2 件、50 音順)

- 内田 浩二 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
「食と健康に関連した生命現象の化学反応」
田中 寛 (東京工業大学科学技術創成研究院)
「微生物における細胞制御の統合的理

【日本農芸化学会功績賞】 (2 件、50 音順)

- 長岡 利 (岐阜大学応用生物科学部)
「脂質代謝制御に関する食品機能学的研究」
堀内 裕之 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
「糸状菌の菌糸極性生長・形態分化に関する機能分子の細胞遺伝学」

【農芸化学技術賞】 (2 件、50 音順)

- サッポロビール株式会社
「酵母の醸造特性・物質変換に着目したビールテイスト飲料の品質向上と商品開発」
ハウス食品グループ本社株式会社
「PCR による食物アレルゲン検査法の開発、公定法化、市販キット化」

【農芸化学奨励賞】 (10 件、50 音順)

- 大橋 一登 (群馬大学生体調節研究所)
「ミトコンドリアにおける NADP(H) 供給とその調節に関する分子生化学的研究」
加藤 晃代 (名古屋大学大学院生命農学研究科)
「微生物の産業利用および異種タンパク質生産の効率化に関する研究」
北岡 直樹 (北海道大学大学院農学研究院)
「植物の防御応答に関わる天然有機化合物の生合成機構と生理作用の解明」
吳 静 (静岡大学農学部)
「高等菌類由来の生物活性物質に関する化学的研究」
高橋 春弥 (京都大学大学院農学研究科)
「健康機能評価に寄与する質量分析データの応用展開」
藤井 達也 (産業技術総合研究所機能化学研究部門)
「糸状菌 *Talaromyces cellulolyticus* による植物バイオマス糖化技術の研究」
三谷 墓一 (信州大学農学部)
「食品成分の標的タンパク質の同定とそれに基づく機能性発現メカニズムに関する研究」
宮崎 翔 (東京農工大学グローバルイノベーション研究院)
「植物における新たな生活環制御に関わるテルペノイドの生合成研究」
宗正 晋太郎 (岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域)
「気孔の開閉運動を制御するイオンチャネル活性制御機構の解明」
村井 勇太 (北海道大学大学院農学研究院)
「化学的アプローチによるスフィンゴ脂質関連分子の新しい生理機能の解明」

【農芸化学女性研究者賞】(2件、50音順)

- 小林 彰子 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
「ポリフェノールの体内動態と機能性研究」
- 山田 美和 (岩手大学農学部)
「生分解性プラスチックの微生物による合成と分解に関する研究」

【農芸化学若手女性研究者賞】(2件、50音順)

- 奥田 綾 (京都大学複合原子力科学研究所)
「小胞体における酸化的フォールディング酵素の機能・構造相関解析」
- DAMNJANOVIC Jasmina (名古屋大学大学院生命農学研究科)
「産業用酵素群の実用化を指向した酵素科学・工学的研究」

【農芸化学女性企業研究者賞】(1件)

- 柳樂 明佳 (株式会社明治研究本部乳酸菌研究所)
「乳タンパク質の健康機能に関する研究」

【農芸化学研究企画賞】(2件、50音順)

- 岡野 憲司 (関西大学化学生命工学部)
「減算的菌叢改変技術を活用した次世代プロバイオティクスシード微生物の発掘」
- 中川 優 (名古屋大学糖鎖生命コア研究所)
「糖鎖を標的とした新興感染症治療薬リードの開発」

【2024年度日本農学賞(本会推薦)】

本会より推薦した下記の者が日本農学賞を受賞いたしました。

2024年4月5日東京大学山上会館で開催される日本農学大会において、日本農学賞授与式並びに受賞者講演が予定されています。

受賞者：片岡 宏誌 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)

受賞題目：昆虫の発育を調節する神経ペプチドならびにステロイドに関する研究

【2023年(Vol. 87) BBB論文賞(掲載順)】(10件)

- pp. 90～98 Arata Banno, Mako Yamamoto, Maihemuti Mijiti, Asahi Takeuchi, Yuyang Ye, Natsuki Oda, Nanami Nishino, Akio Ebihara, Satoshi Nagaoka
The physiological blood concentration of phenylalanine-proline can ameliorate cholesterol metabolism in HepG2 cells
- pp. 119～128 Atsushi Kurata, Shino Yamasaki-Yashiki, Tomoya Imai, Ayano Miyazaki, Keito Watanabe, Koichi Uegaki
Enhancement of IgA production by membrane vesicles derived from *Bifidobacterium longum* subsp. *infantis*
- pp. 179～190 Ruriko Miyazaki, Shunji Kato, Yurika Otoki, Halida Rahmania, Masayoshi Sakaino, Shigeo Takeuchi, Toshiro Sato, Jun Imag, Kiyotaka Nakagawa
Elucidation of decomposition pathways of linoleic acid hydroperoxide isomers by GC-MS and LC-MS/MS
- pp. 389～394 Kuniki Kino, Takuma Komabayashi, Ayaka Hashida, Ayumu Kuramoto
Improving the enzymatic activity of L-amino acid α -ligase for imidazole dipeptide production by site-directed mutagenesis
- pp. 501～510 Saaya Sekine, Shohei Takase, Runa Hayase, Kota Noritsugu, Yuki Maemoto, Yasue Ichikawa, Kenji Ogawa, Yasumitsu Kondoh, Hiroyuki Osada, Minoru Yoshida, Akihiro Ito
Identification of a derivative of the alkaloid emetine as an inhibitor of the YAP-TEAD interaction and its potential as an anticancer agent
- pp. 638～645 Izza Nur Laily, Michiki Takeuchi, Taku Mizutani, Jun Ogawa

- An ACE2, SARS-CoV-2 spike protein binding protein, -like enzyme isolated from food-related microorganisms
pp. 747～757
Huei-Fen Jheng, Miho Takase, Satoko Kawarasaki, Zheng Ni, Shinsuke Mohri, Kanako Hayashi, Atsushi Izumi, Kuni Sasaki, Yu Shinyama, Jungin Kwon, Su-Ping Ng, Haruya Takahashi, Wataru Nomura, Rina Yu, Koji Ochiai, Kazuo Inoue, Teruo Kawada, Tsuyoshi Goto
- 8-Prenyl daidzein and 8-prenyl genistein from germinated soybean modulate inflammatory response in activated macrophages
pp. 1068～1076
Yoshimi Kobayashi, Tai-Ying Chiou, Masaaki Konishi
Artificial intelligence-assisted analysis reveals amino acid effects and interactions on *Limosilactobacillus fermentum* growth
- pp. 1285～1294
Yuko Watanabe, Eri Katsumura, Tatsuki Domon, Yuta Ishikawa, Rina Oguri, Minami Takashima, Qi Meng, Masato Kinoshita, Hisashi Hashimoto, Kiyotaka Hitomi
Establishment of transgenic epithelium-specific Cre-recombinase driving medaka (*Oryzias latipes*) by homology repair mediated knock-in
- pp. 1407～1419
Chihiro Watanabe, Eri Oyanagi, Takafumi Aoki, Hiroki Hamada, Masato Kawashima, Takashi Yamagata, Michel J Kremenik, Hiromi Yano
Antidepressant properties of voluntary exercise mediated by gut microbiota

【2023年Most-Cited Review Award】 被引用回数 19 回

Vol. 85, No. 9, pp. 1919～1931

Akifumi Sugiyama

Flavonoids and saponins in plant rhizospheres: roles, dynamics, and the potential for agriculture

本部主催講演

【別府輝彦先生追悼講演】

本会名誉会員の別府輝彦先生を偲び、追悼講演を行います。

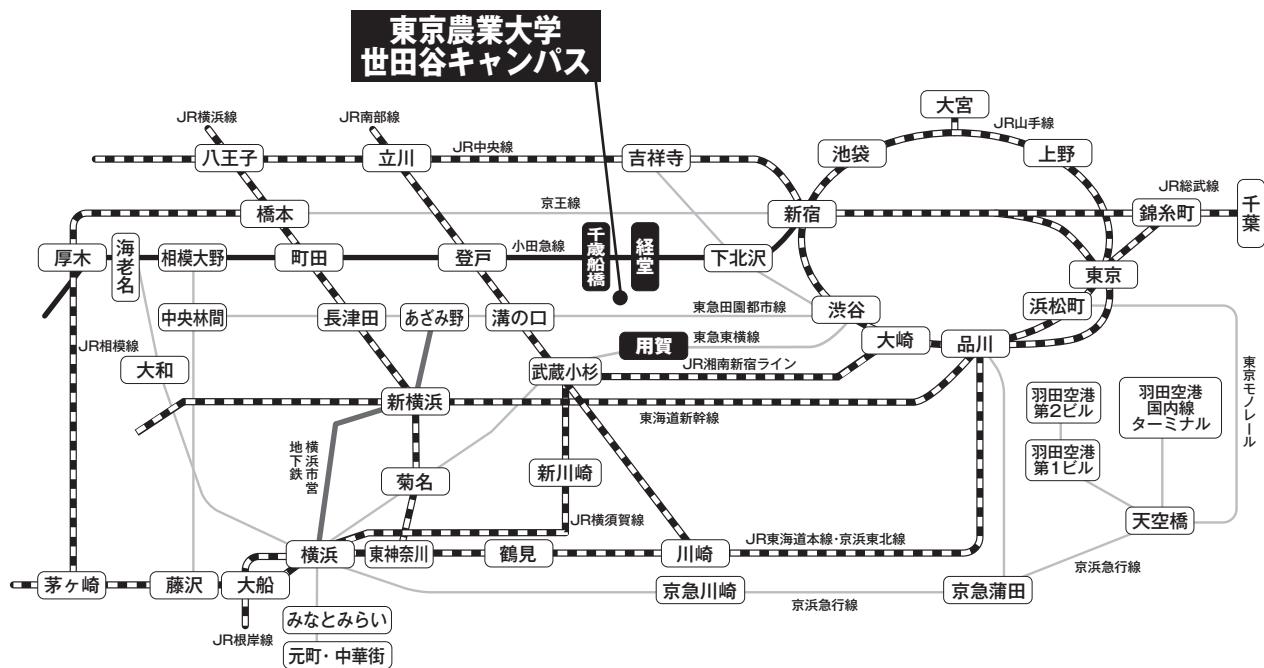
日 時：2024年3月24日(日) 12:20～13:00
会 場：東京農業大学世田谷キャンパス百周年記念講堂
東京都世田谷区桜丘 1-1-1 TEL: 03-5477-2207

(昼食休憩時間帯に開催しますので、参加者には軽食を提供いたします。)

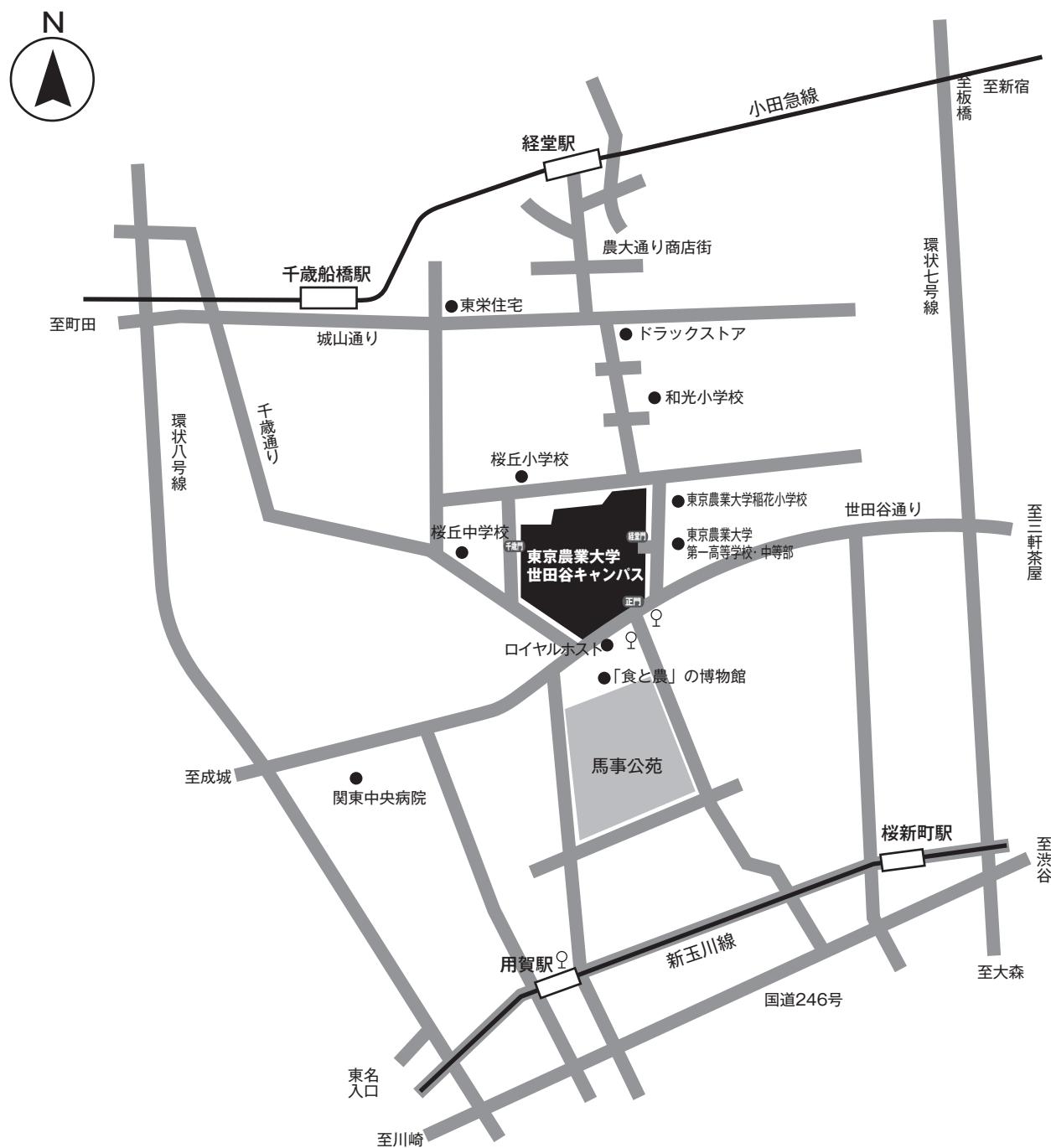
講演プログラム：

司会 西山 真（公益社団法人日本農芸化学会会長、東京大学教授）
(12:20) 大西 康夫（東京大学教授）
(12:40) 上田 賢志（日本大学教授）

交通案内図



東京農業大学 世田谷キャンパス 周辺図



小田急線「経堂駅」より

- 徒歩 約15分

小田急線「千歳船橋駅」より

- 徒歩 約15分
- バス 約5分
(千歳船橋駅～農大前) 東横バス 渋谷駅行…(渋23) 等々力操車所行…(等11) 用賀駅行…(用01)

東急田園都市線「用賀駅」より

- 徒歩 約20分
- バス 約10分
(用賀～農大前) 東横バス 世田谷区民会館行…(園02) 祖師ヶ谷大蔵行…(用01)

※渋谷駅から農大前まで、バスの運行がございますが、朝・夕方は渋滞が予想されます。
ご利用になられる方は、お時間には余裕を持って、ご利用いただきますよう、お願い致します。

東京農業大学 世田谷キャンパス キャンパスマップ

■ ネームケース配布場所

常盤松会館

- セブンイレブン(3/25~27)
- 生協(3/25~27)

桜丘アリーナ

- 展示会場

【チケット配布場所】

- ランチョンセミナー
- ランチョンシンポジウム



至千歳船橋

千歳門

野球場

常盤松会館道場

テニスコート
桜丘アリーナ

グラウンド

至経堂

東京農業大学稻花小学校

第一高等学校
第一高等学校中等部

農大アカデミアセンター 横井講堂

- 産学官学術交流フォーラム

国際センター

- 農芸化学を体感する

至渋谷

グリーンアカデミーホール
校友会
グリーンアカデミー

レストランすずしろ

- 男女共同参画ランチョンシンポジウム(3/26)
- 大会食堂(228席) (3/25, 27)
- Social Gathering

17号館

【百周年記念講堂】
・授賞式・受賞講演
・別府輝彦先生追悼講演
・これまでの農芸化学研究の
100年を振り返って

【カフェテリアグリーン】
•Social Gathering

百周年記念講堂前広場

- Social Gathering

1号館

- 一般講演会場
- シンポジウム会場
- 教育講演会場
- ランチョンセミナー会場
- ランチョンシンポジウム会場
- ジュニア農芸化学会(3/26)
- 分野融合連携(他学会連携)
シンポジウム(3/25-26)
- 農芸化学のD&Iシンポジウム(3/26)
- これから100年の
農芸化学研究を展望する(3/27)

- 受付(当日 / 総合)
- クローケ
- 大会本部・学会事務局
- 運営事務局
- 各種会議室
- 各種控室

- チケット配布
 - ランチョンセミナー(3/25-26)
 - ランチョンシンポジウム(3/26)

※キャンパスへの入構は、経堂門もしくは正門よりお願いします。

※東京農業大学では構内での喫煙不可です。

世田谷区は路上喫煙が禁止されていますので、

キャンパス周辺での喫煙もご遠慮ください。

大会参加者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

ATM① (常盤松会館内)

ゆうちょ銀行

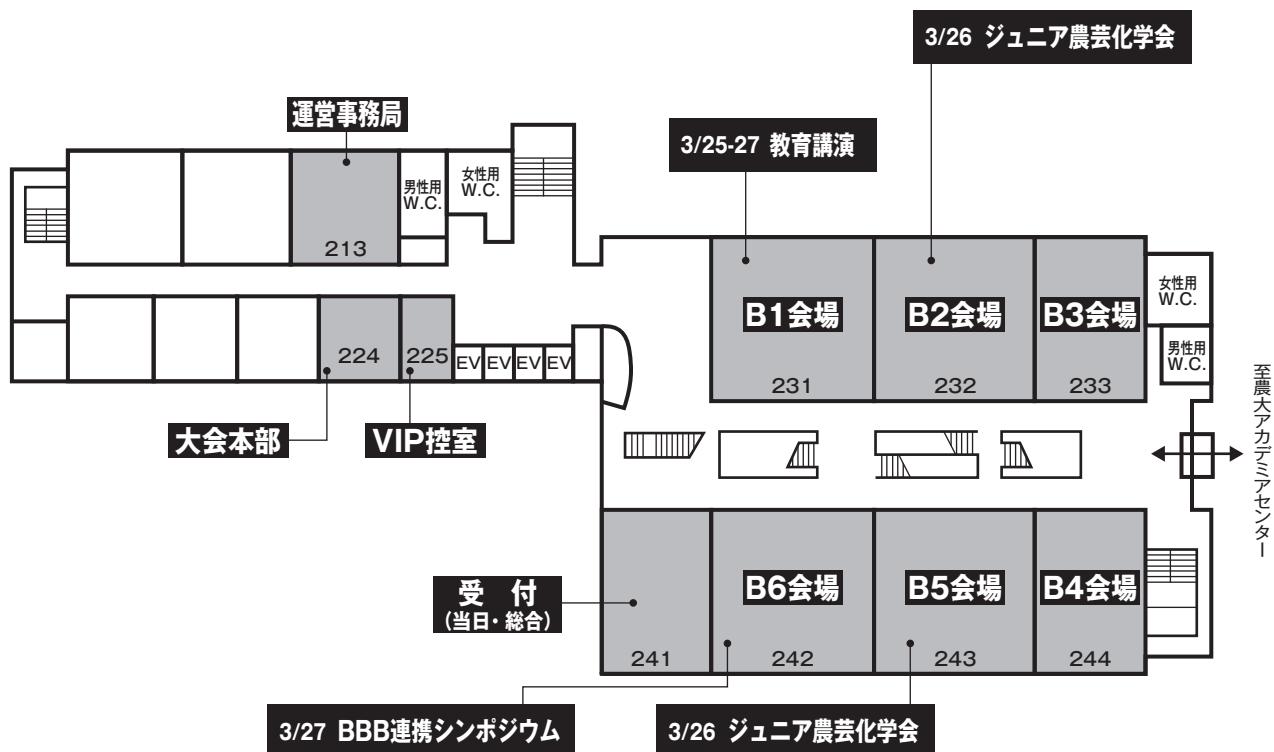
平日：9:00~19:00
土曜日：9:00~17:00
※日・祝日はご利用できません。

ATM② (正門付近)

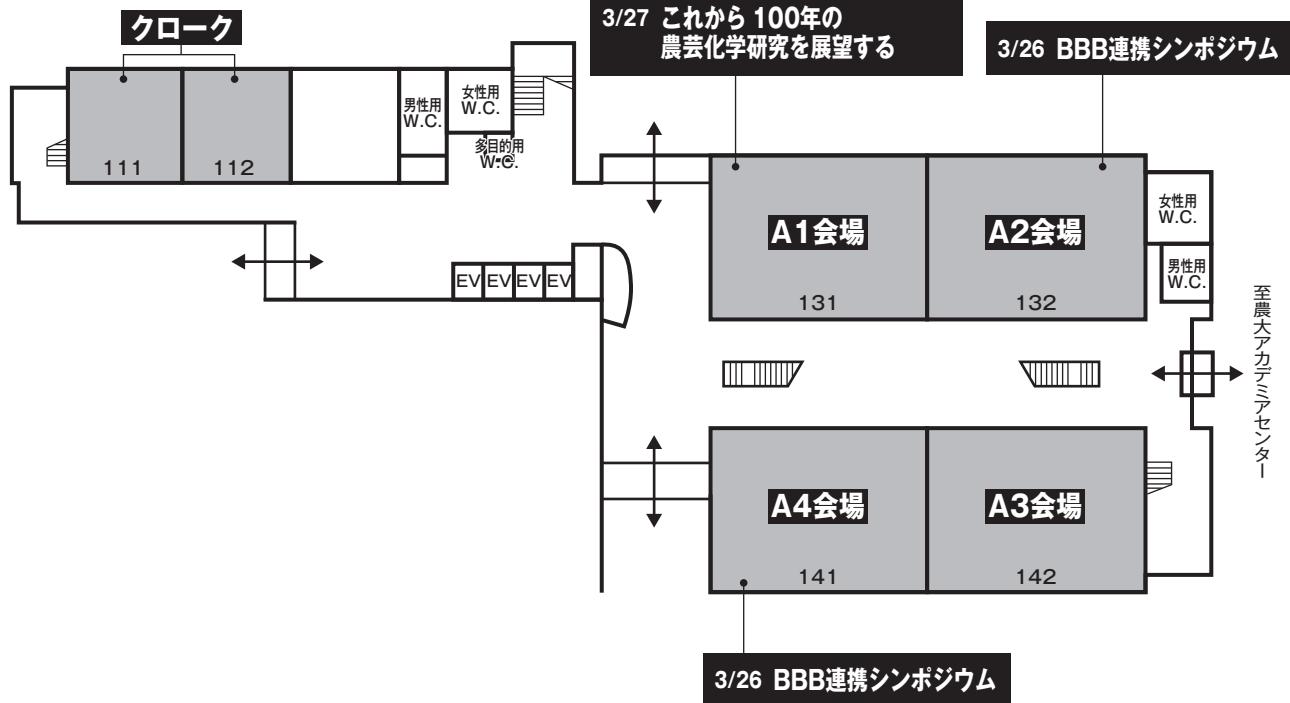
三井住友銀行

平日：8:00~20:00
土曜日：9:00~17:00
※日・祝日はご利用できません。

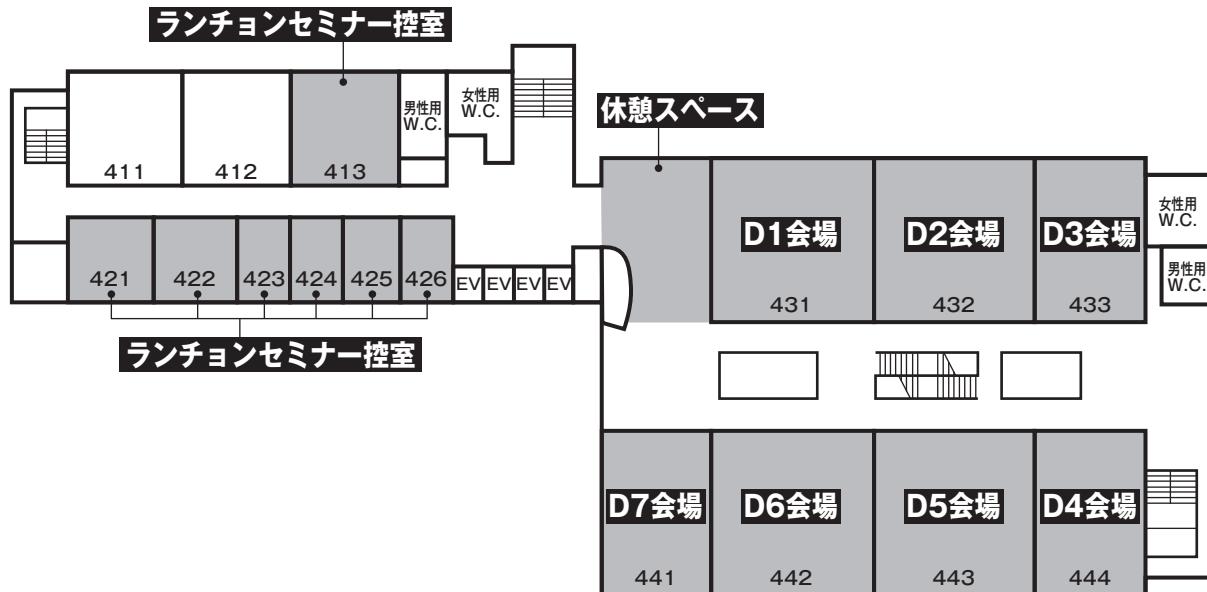
2F



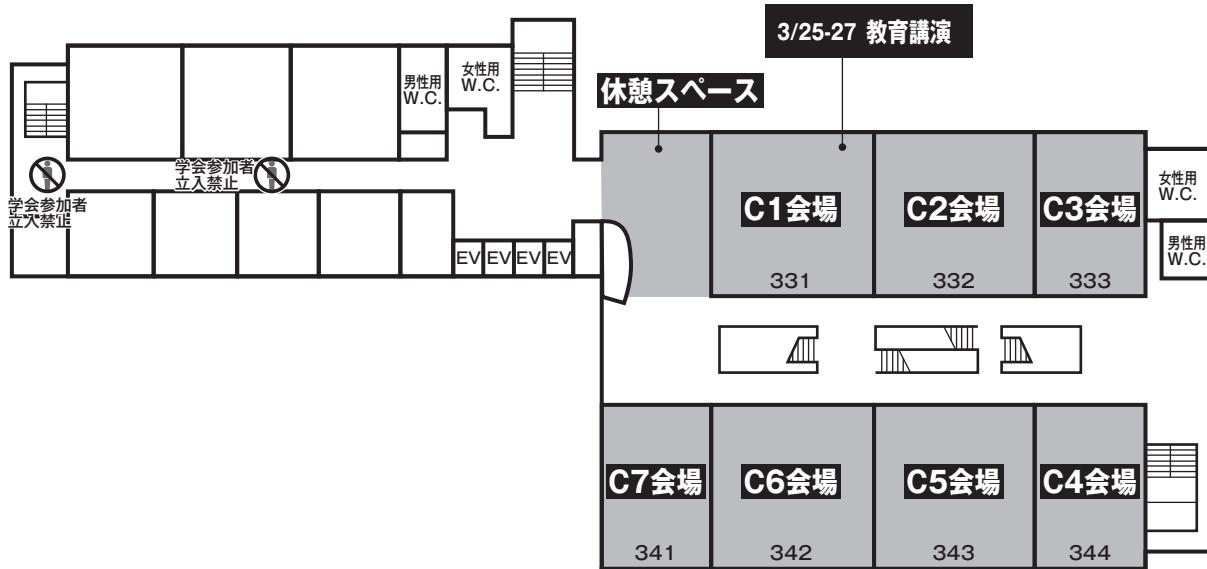
1F



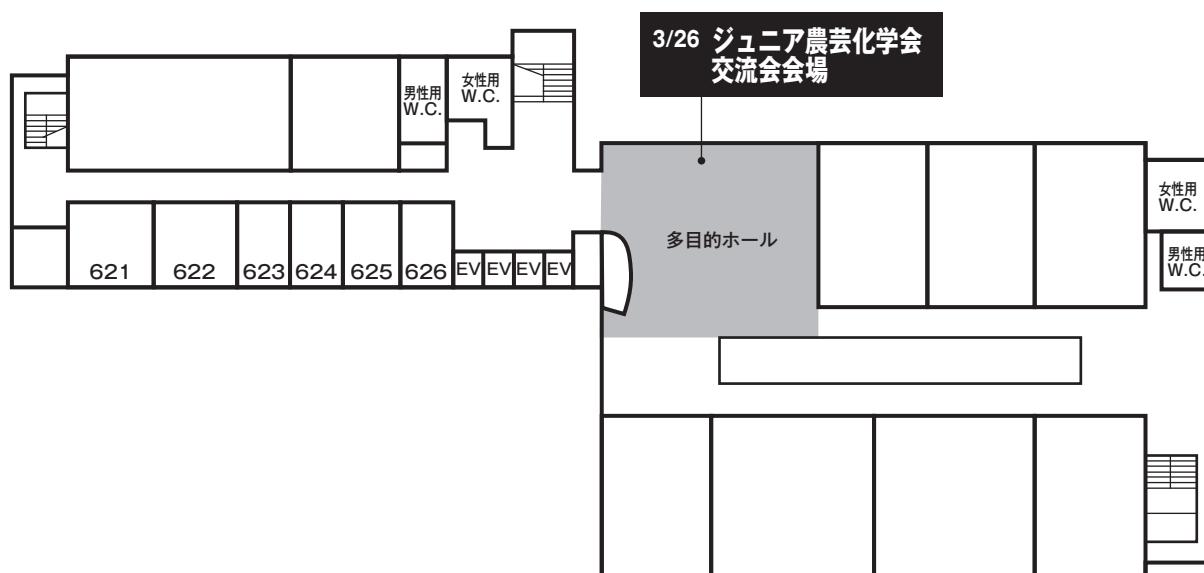
4F



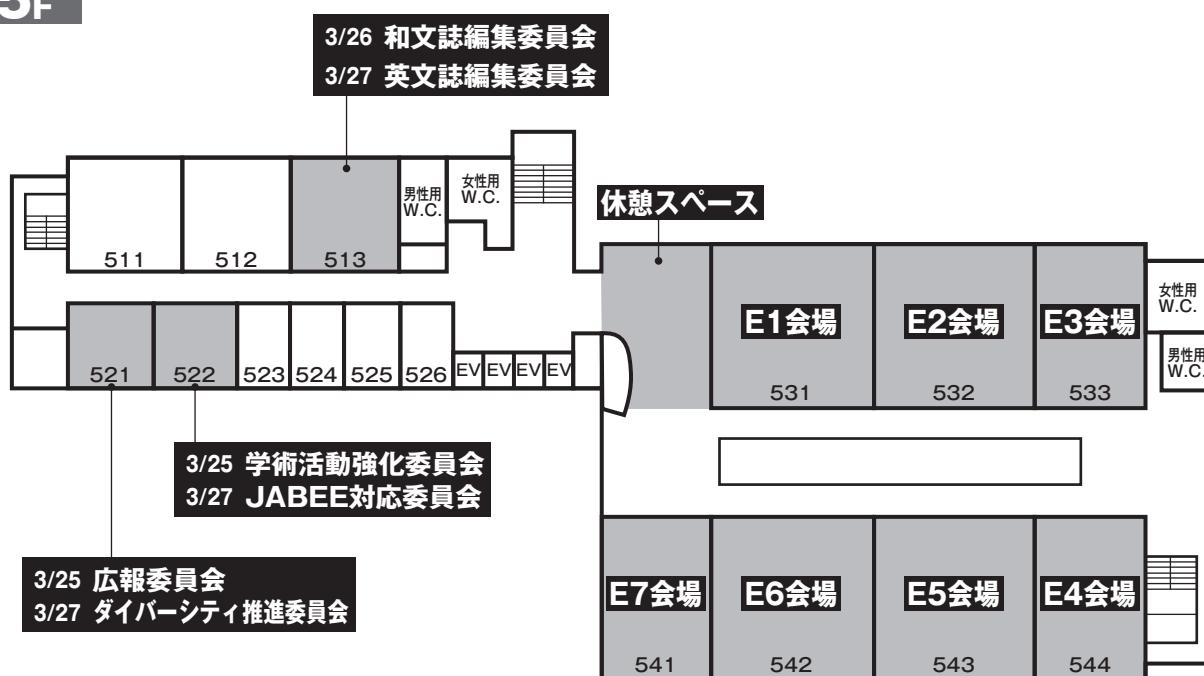
3F

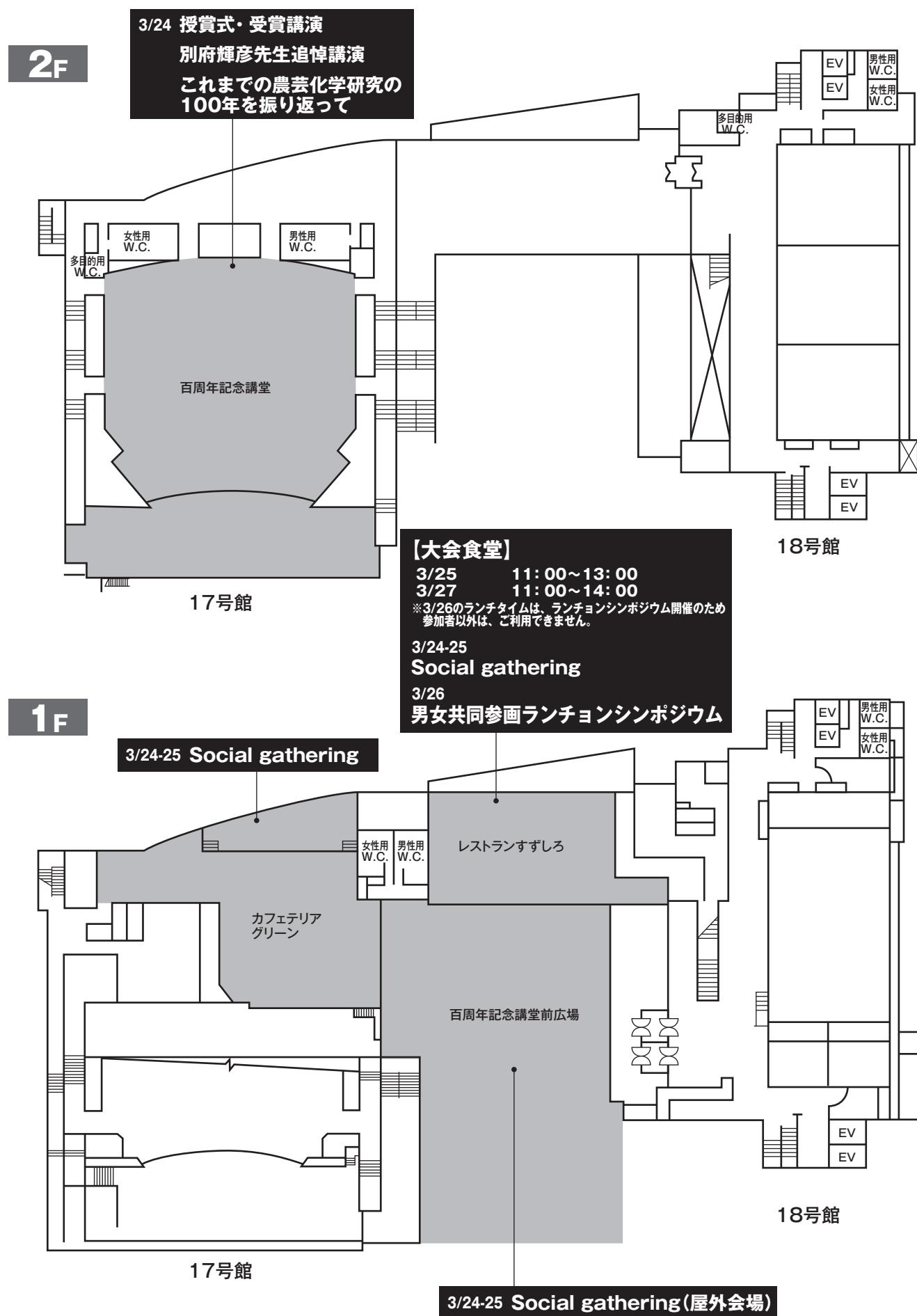


6F



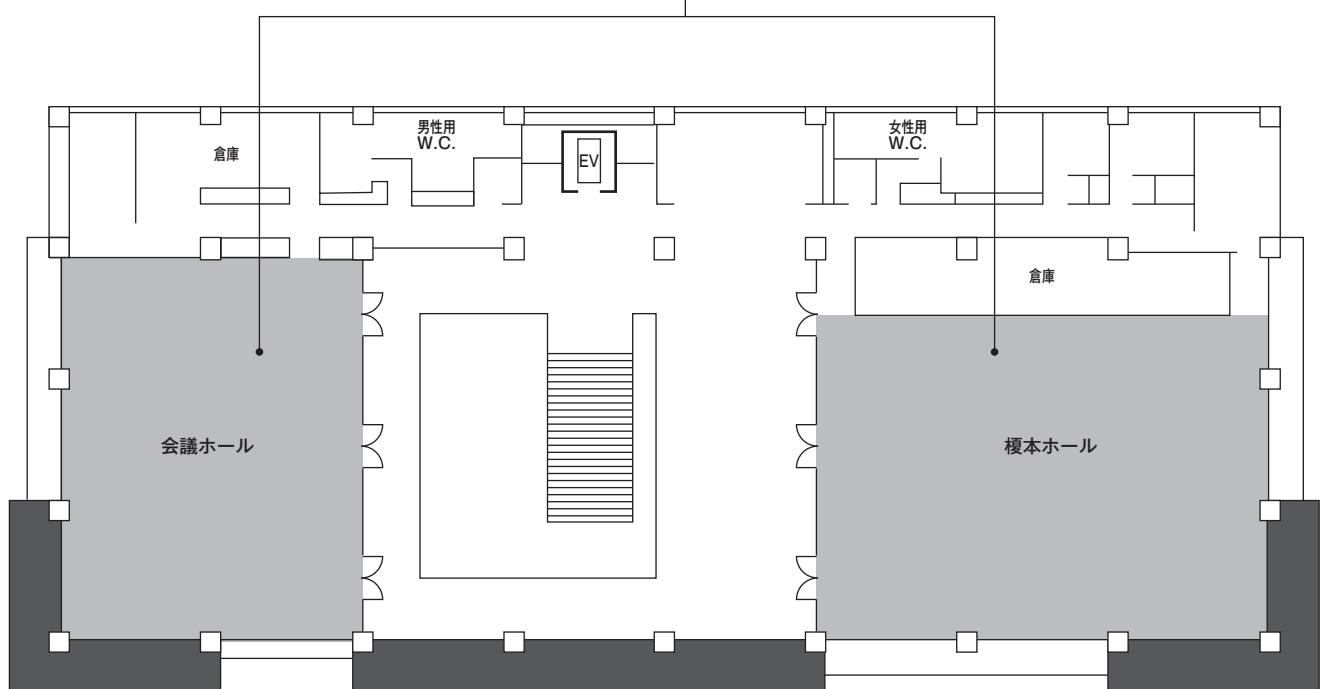
5F





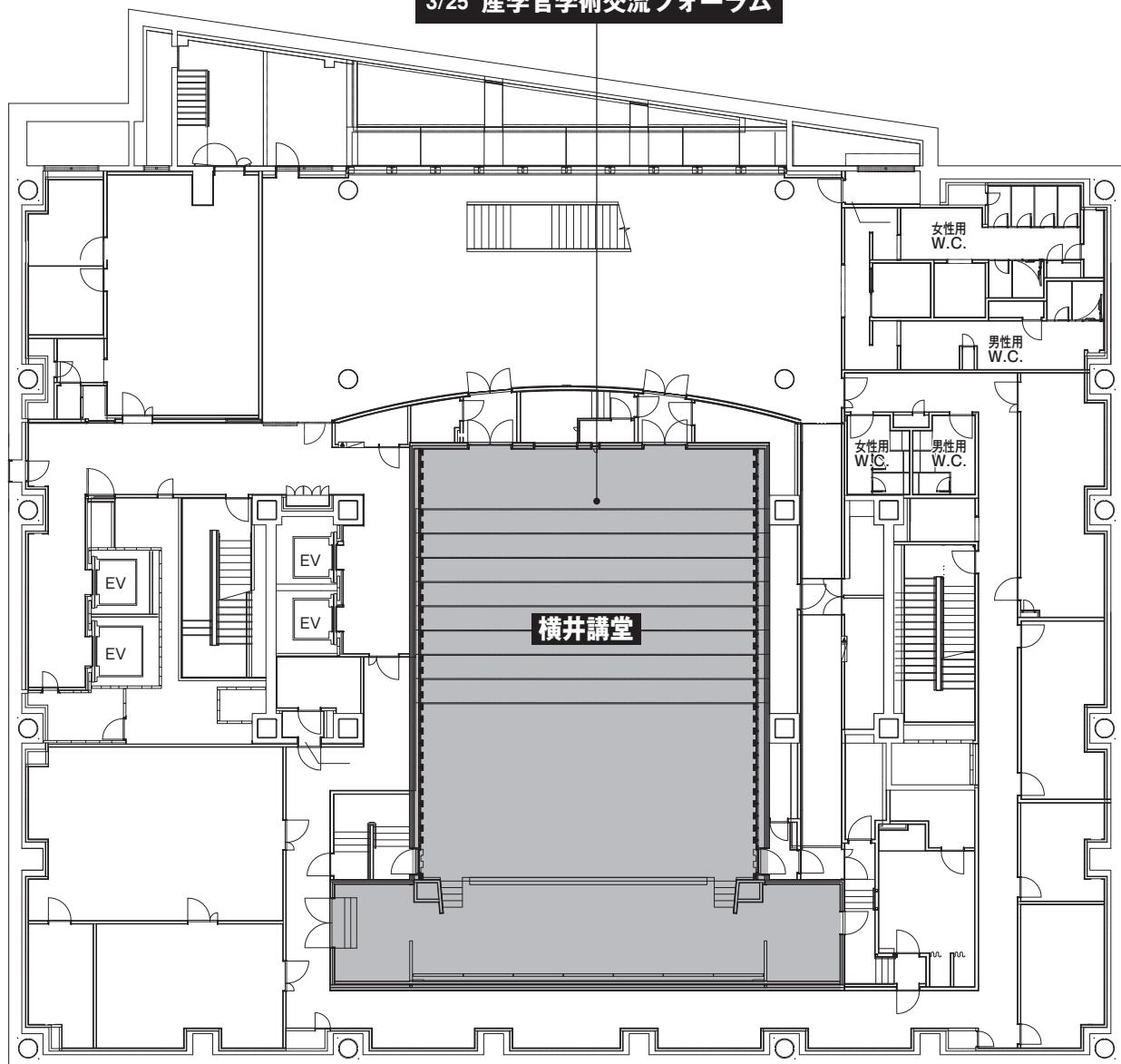
2F

3/26 農芸化学を体感する

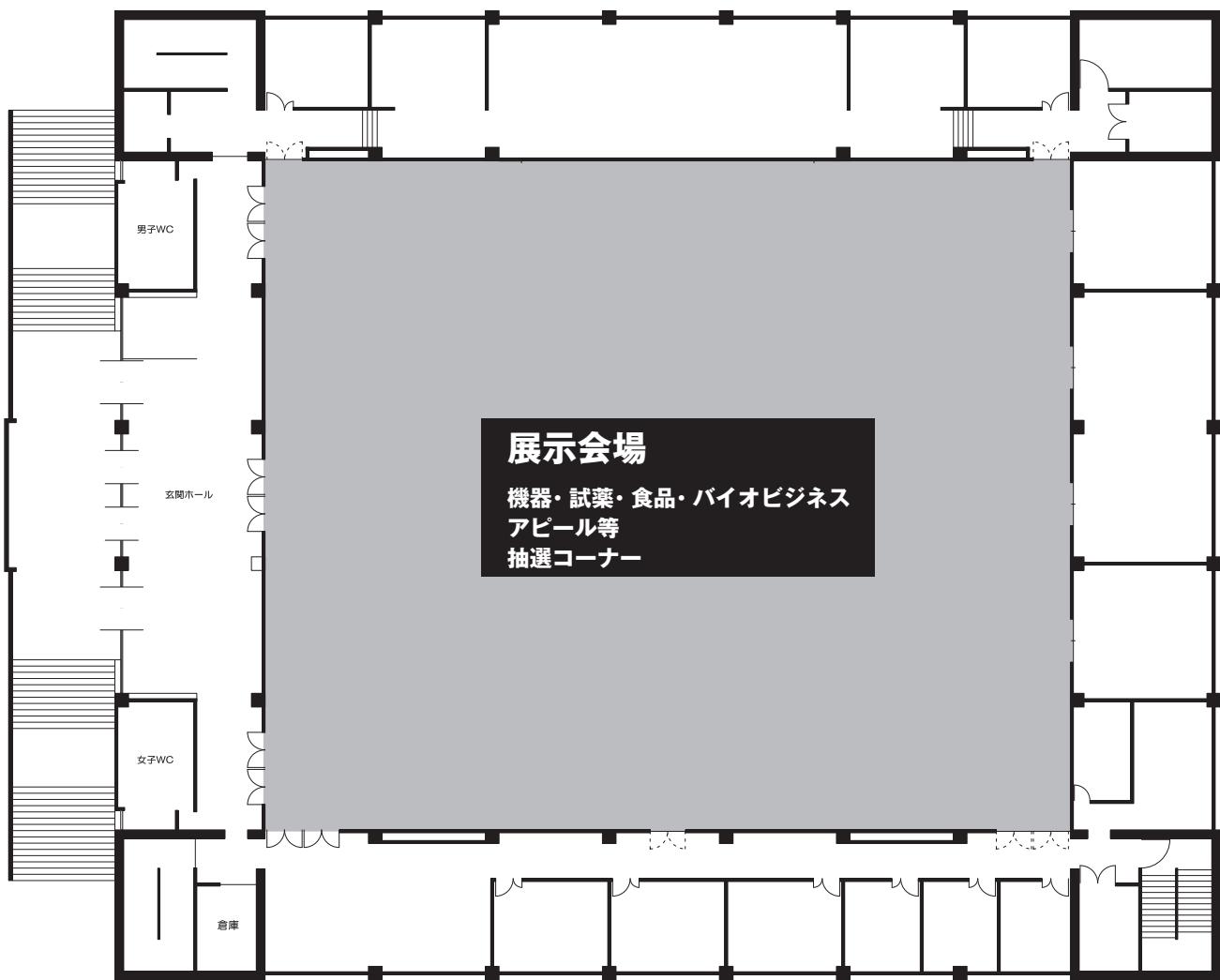


B1F

3/25 産学官学術交流フォーラム



2F



日本農芸化学会2024年度大会（東京）日程表

日程	場所	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	
創立100周年展示 3月20日（水） ～9月16日（月）	東京大学 駒場博物館						2024年3月20日～9月16日（火曜日休館） 10:00-17:00 創立100周年展示									
創立100周年 記念式典・祝賀会 3月23日（土）	東京大学 駒場キャンパス 900番教室					12:00-14:30 受付		13:00-16:30 創立100周年記念式典 100年記念シンポジウム（これまでの100年歴史編）								
	京王プラザホテル										17:30-19:30 受付			18:30-20:30 祝賀会（コンコードホールルーム）		
2024年度大会 第1日目 3月24日（日）	東京農業大学 世田谷キャンパス			8:30-16:00 受付		9:00-10:00 学会賞等授賞式／ 10:00-12:00 学会賞・功績賞・技術賞受賞講演 (百周年記念講堂)	12:20-13:00 別府輝彦先生 追悼講演	13:10-14:05 奨励賞受賞講演	14:15-17:05 特別企画シンポジウム 「これまでの農芸化学研究の100年を振り返って」		17:30-19:30 Social gathering					
第2日目 3月25日（月）	東京農業大学 世田谷キャンパス		8:00-16:00 受付	8:30-9:20 教育講演	9:30-12:20 一般講演	12:35-13:25 ランチョンセミナー	13:50-16:40 一般講演		13:50-16:20 大会シンポジウム	13:50-16:20 分野融合連携（他学会連携）シンポジウム		17:00-19:00 Social gathering				
				9:30-12:00 大会シンポジウム						9:50-16:50 産学官学交流フォーラム						
						9:00-17:00 機器・試薬・書籍等展示会										
第3日目 3月26日（火）	東京農業大学 世田谷キャンパス		8:00-16:00 受付	8:30-9:20 教育講演	9:30-12:20 一般講演	12:35-13:25 ランチョンセミナー	13:50-16:40 一般講演		13:50-16:20 大会シンポジウム	13:50-16:20 分野融合連携（他学会連携）シンポジウム		16:30-19:00 農芸化学を体感する				
				9:30-12:00 大会シンポジウム		12:30-13:30 JAEE ランチョンシンポジウム			12:30-13:20 男女共同参画 ランチョンシンポジウム	12:30-13:20 BBBランチョンセミナー						
				9:30-12:00 分野融合連携（他学会連携）シンポジウム												
					10:30-16:00 ジュニア農芸化学会 【10:30-10:50 開会式 10:50-12:10 ポスター発表 13:30-14:50 ポスター発表 15:00-16:00 表形式】											
							9:00-17:00 機器・試薬・書籍等展示会									
第4日目 3月27日（水）	東京農業大学 世田谷キャンパス		8:00-12:00 受付	8:30-9:20 教育講演	9:30-12:20 一般講演			12:30-15:00 「これから100年の農芸化学研究を展望する」 (パネルディスカッション形式)								
	クロス・ウェーブ府中				9:30-12:00 大会シンポジウム						16:30(16:00受付開始予定)- 農芸化学Frontiersシンポジウム ※「これから100年の農芸化学研究を展望する」終了後(15:00)/バス移動					
第5日目 3月28日（木）	クロス・ウェーブ府中				9:00-13:00 機器・試薬・書籍等展示会											
					~12:00 農芸化学Frontiersシンポジウム											
日程	場所	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	

2024年度大会 講演一覧

会場	建物	階	教室番号	3月25日(月)				3月26日(火)				3月27日(水)			
				早朝 (8:30-9:20)	午前 (9:30-12:20)	昼(ランチョンセミナー) (12:35-13:25)	午後 (13:50-16:40)	早朝 (8:30-9:20)	午前 (9:30-12:20)	昼(ランチョンセミナー) (12:35-13:25)	午後 (13:50-16:40)	早朝 (8:30-9:20)	午前 (9:30-12:20)	午後 (12:30-15:00)	
A1	1号館	1F	131	シンポジウム 微生物の機能を拡張し、制約から解き放つ	2S01A1a	分野融合連携シンポジウム 韓国KBSとの合同企画 Microbiology and Biotechnology Researches in Japan and Korea	2A1	分野融合連携シンポジウム 日本微生物学会/AMED-BINDSとの合同企画 先端技術支援で加速度するタンパク質科学研究 3AJ	農芸化学のD&Iシンポジウム 農芸化学D&I (1部: 女性3部の受賞講演, 2部: 参加しやすい学会を目指して、D&Iについて考える)	3AC	シングルバイオロジー: レジンスの化学と生物	4S18A1a	これから100年の農芸化学研究を展望する		
A2			300	シンポジウム 化学昆虫～新たな視点からの昆虫科学の展開	2S02A2a	シンポジウム アミノ酸・代謝物の生物学的・栄養学的機能	2S06A2p	シンポジウム 天然物からバイオテクノロジーと深層学習の融合による新規生物活性分子の探索と創出 3S10A2a	BBB連携シンポジウム 食品機能学の40年と想定もしないなかった最前線の知見 3S14A2p	生物変換を司る代謝機能の新基盤とその応用展開 4S19A2a					
A3		1号館	142	シンポジウム 食品成分による脂質代謝制御	2S03A3a	シンポジウム 海洋バイオスフィアからの洞窟・生分解性プラスチック研究の新潮流 2S07A3p	SDGsに貢献する極限環境微生物の先端科学 3S11A3a	シンポジウム CO ₂ 固定能を有する微生物とそのデータの利用によるアーバンニートラルへの貢献とバイオのづくり産業の活性化に向けて 3S15A3p	シンポジウム 抗生か、共生か? 微生物コミュニケーションで制御する情報分子としての天然物 4S20A3a						
A4			300	シンポジウム 農芸化学における有機合成の新展開: 複数領域にわたり研究者たち	2S04A4a	シンポジウム 金属主役の次世代の生命科学～金属で生命・食糧・環境を自在に操る!～ 2S08A4p	BBB連携シンポジウム 若手研究者の挑戦: 環境とバイオテクノロジーから農芸化学の未来 3S12A4a	シンポジウム 栄養感知の生理学 3S16A4p	シンポジウム ペプチドが拓く健康科学の新しい世界 4S21A4a						
B1	2号館	2F	231	教育講演 株J-オイルミルズ	LS2-1	食品 食品工学 - 製造工学、加工学 / 食品工学 - その他 2B1p02-14	教育講演 3E-01	JABEEランチョンシンポジウム 食品工学 - 製造工学、加工学 / 食品工学 - 物性・分析 / 食品工学 - その他 3LS01	食品 食品工学 - 製造工学、加工学 / 食品工学 - 物性・分析 / 食品工学 - その他 3B1p02-12	教育講演 4E-01					
B2			230	食品 食品工学 - 物性・分析	2B2a01-14	食品 食品工学 - 物性・分析 2B2p01-14	シユニア農芸化学会	シユニア農芸化学会	シユニア農芸化学会	食品 食品機能・栄養・脂質代謝、糖質代謝 4B2a01-14					
B3	1号館	2F	233	動物 細胞機能 - シグナル伝達、細胞応答、細胞分化、細胞死、メタボローム / 細胞構造・細胞骨格、オルガネラ、輸送体、細胞接着、生体膜、タンパク質チャネル、相分離 2B3a01-14	2B3p01-14	動物 細胞機能 - シグナル伝達、細胞応答、細胞分化、細胞死、メタボローム 2B3p01-14				動物 細胞機能 - シグナル伝達、細胞応答、細胞分化、細胞死、メタボローム / オルガネラ・発現制御、タンパク質チャネル、エンドソーム、エクソソーム、ゲノミクス 4B3a01-14					
B4			170	微生物 遺伝子 - 構造、機能	2B4a01-14	微生物 遺伝子 - 構造、機能 / 代謝 - 代謝経路、メタボローム 2B4p01-14				微生物 遺伝子 - 構造、機能 / 代謝 - 代謝経路、メタボローム 4B4a01-14					
B5	2号館	3F	243	有機化学、天然物化学 作用機構、構造と活性	味の素(株)	有機化学、天然物化学 作用機構、構造と活性		ジュニア農芸化学会	ジュニア農芸化学会	ジュニア農芸化学会	有機化学、天然物化学 作用機構、構造と活性 / その他 4B5a01-14				
B6			230	シンポジウム 深海を耕せ・生物築学の創成	2S05B6a	物質生産技術の革新を目指した予知生合成科学 2S09B6p		シンポジウム 医農がつくる栄養素動態学 3S13B6a	シンポジウム 酵母が導く寿命研究 3S17B6p	BBB連携シンポジウム モデル生物・線虫 C. elegans を用いた食品/栄養科学の新展開 4S22B6a					
C1	3号館	3F	331	教育講演	Noster(株)	環境科学・バイオマス利用 資源変換、資源再生利用 2C1p02-10	教育講演 3E-02	BBBランチョンセミナー 資源変換、資源再生利用 3LS02	環境科学・バイオマス利用 資源変換、資源再生利用 3C1p02-11	教育講演 4E-02					
C2			230	有機化学、天然物化学 単離構造決定 (微生物)	LS2-3	有機化学、天然物化学 単離構造決定 (動物、植物) 2C2p01-14		有機化学、天然物化学 単離構造決定 (微生物) 3C2a01-14	有機化学、天然物化学 単離構造決定 (微生物) / 単離構造決定 (動物、植物) / 代謝 3C2p01-14	有機化学、天然物化学 単離構造決定 (微生物) / 代謝 / 農薬・医薬 4C2a01-14					
C3	3号館	3F	333	環境科学・バイオマス利用 バイオマス、バイオマス変換、バイオ燃料、バイオ化成品 2C3a01-14		環境科学・バイオマス利用 環境保全、浄化技術工学、バイオレメディエーション、環境汚染物質 2C3p01-14		環境科学・バイオマス利用 バイオマス、バイオマス変換、バイオ燃料、バイオ化成品 3C3a01-14	環境科学・バイオマス利用 環境保全、浄化技術工学、バイオレメディエーション、環境汚染物質 / バイオ化成品 / バイオ池閣連その他 4C3a01-14						
C4			170	有機化学、天然物化学 合成、反応機構		有機化学、天然物化学 ケミカルバイオロジー 2C4p01-14		有機化学、天然物化学 合成、反応機構 3C4a01-14	有機化学、天然物化学 ケミカルバイオロジー / 合成、反応機構 3C4p01-14	有機化学、天然物化学 合成、反応機構 4C4a01-14					

2024年度大会 講演一覧

会場	建物	階	教室番号	3月25日(月)				3月26日(火)				3月27日(水)										
				早朝 (8:30-9:20)	午前 (9:30-12:20)	昼(ランチョンセミナー) (12:35-13:25)	午後 (13:50-16:40)	早朝 (8:30-9:20)	午前 (9:30-12:20)	昼(ランチョンセミナー) (12:35-13:25)	午後 (13:50-16:40)	早朝 (8:30-9:20)	午前 (9:30-12:20)	午後 (12:30-15:00)								
C5			343	微生物	細胞 - 栄養、生育、増殖、培養 / その他	株式会社カネカ	微生物	細胞 - 栄養、生育、増殖、培養 / その他	2C5p02-14	微生物	細胞 - 構造、オルガネラ、小胞、分泌、細胞構成分子	キッコーマン株	微生物	遺伝子 - 構造、機能 / その他	微生物	遺伝子 - ゲノム、メタゲノム、プロテオーム						
			230	2C5a01-10	LS2-4	食品	食品機能:栄養 - 免疫、炎症 / 食品機能:栄養 - アレルギー - アレルゲン	2C6p01-14	微生物	食品	食品機能:栄養 - 神經、内分泌、味覚、食欲	3C5a01-10	微生物	3C5p02-11	微生物	4C5a01-14						
C6			342	食品機能:栄養 - 免疫、炎症 / 食品機能:栄養 - アレルギー - アレルゲン	2C6a01-14	微生物	細胞 - 分離、分類、生態 / 細胞 - 構造、オルガネラ、小胞、分泌、細胞構成分子	2C6p01-14	微生物	微生物	微生物	3C6a01-14	微生物	微生物	食品機能:栄養 - 免疫、炎症 / 食品機能:栄養 - アレルギー - アレルゲン	微生物	4C6a01-14					
			230	2C6a01-14	LS2-4	微生物	細胞 - 分離、分類、生態 / 細胞 - 構造、オルガネラ、小胞、分泌、細胞構成分子	2C7p01-14	微生物	細胞 - 分離、分類、生態 / 物質生産 - 微生物変換、酵素反応、機能性高分子	3C7a01-14	微生物	微生物	微生物	微生物	微生物	微生物	微生物				
C7			341	微生物	細胞 - 分離、分類、生態 / 細胞 - 構造、オルガネラ、小胞、分泌、細胞構成分子	2C7a01-14	微生物	細胞 - 分離、分類、生態 / 物質生産 - 発酵 (二次代謝産物)	2C7p01-14	微生物	微生物	3C7p01-14	微生物	微生物	微生物	微生物	微生物	微生物				
			170	2C7a01-14	LS2-4	食品	食品機能:栄養 - 酸化、抗酸化、糖化、抗糖化、老化 / 食品機能:栄養 - その他	2D1p02-14	食品	食品機能:栄養 - 酸化、抗酸化、糖化、抗糖化、老化	3D1a01-10	食品	食品	食品	食品機能:栄養 - その他	食品	食品	食品				
D1			431	食品	食品機能:栄養 - その他	キリンホールディングス株	食品	食品機能:栄養 - 酸化、抗酸化、糖化、抗糖化、老化 / 食品機能:栄養 - その他	2D1p02-14	食品	食品機能:栄養 - 酸化、抗酸化、糖化、抗糖化、老化	3D1a01-10	食品	食品	食品機能:栄養 - その他	食品	食品	食品				
			230	2D1a01-10	LS2-5	食品	食品機能:栄養 - メタボリック・シンドローム、エネルギー代謝 / 食品機能:栄養 - ビタミン・ミネラル	2D2p01-14	食品	食品機能:栄養 - 消化、吸収、循環、血管 / 食品機能:栄養 - アレルギー - アレルゲン	3D2a01-14	食品	食品	食品	食品機能:栄養 - その他	4D1a01-14	食品	食品	食品			
D2			432	食品	食品機能:栄養 - 大葉 - メタボリック・シンドローム、エネルギー代謝 / 食品機能:栄養 - ビタミン・ミネラル	2D2a01-12, 14	植物	植物	植物	植物	植物	3D2a01-14	植物	植物	植物	食品	食品	食品	食品			
			230	2D2a01-12, 14	LS2-4	植物	一次代謝、二次代謝、メタボローム / 環境応答、ストレス応答、情報伝達、分化	2D3p01-14	植物	一次代謝、二次代謝、メタボローム / 環境応答、ストレス応答、情報伝達、分化	3D3a01-14	植物	植物	植物	一次代謝、二次代謝、メタボローム / 生物間相互作用 / 細胞栄養、光合成、オルガネラ、膜輸送 / タンパク質、酵素 - 機能、調節 / その他	4D2a01-14	植物	植物	植物			
D3			433	植物	一次代謝、二次代謝、メタボローム / 環境応答、ストレス応答、情報伝達、分化	2D3a01-14	植物	植物	植物	植物	植物	3D3a01-14	植物	植物	植物	タンパク質、酵素 - 機能、調節 / 環境応答、ストレス応答、情報伝達、分化 / その他	4D3a01-14	植物	植物	植物		
			170	2D3a01-14	LS2-4	植物	植物ホルモン、成長調節物質 / 植物工学 - 育種、物質生産、形質転換	2D4p01-13	植物	植物ホルモン、成長調節物質 / 植物工学 - 育種、物質生産、形質転換	3D4p01-12	植物	植物	植物	遺伝子 - 機能、発現制御 / 植物工学 - 育種、物質生産、形質転換	4D4a02-13	植物	植物	植物			
D4			444	酵素	アミノ酸代謝関連酵素、脂質代謝関連酵素 / 関連酵素 / 酸化還元酵素	株式会社島津製作所	酵素	糖質代謝関連酵素	2D5p02-14	酵素	糖質代謝関連酵素 / その他	3D5a01-10	Twist Bioscience	酵素	酵素	酵素	酵素	酵素	酵素	酵素		
			170	2D4a01-13	LS2-6	酵素	植物ホルモン、成長調節物質 / 植物工学 - 育種、物質生産、形質転換	2D4p01-13	酵素	植物ホルモン、成長調節物質 / 遺伝子 - 構造解析、ゲノム、遺伝子、変異 / 遺伝子 - 機能、発現制御	3D4p01-12	酵素	酵素	酵素	遺伝子 - 機能、発現制御 / 植物工学 - 育種、物質生産、形質転換	4D4a02-13	酵素	酵素	酵素			
D5	1号館	4F	443	酵素	アミノ酸代謝関連酵素、脂質代謝関連酵素 / 関連酵素 / 酸化還元酵素	株式会社島津製作所	酵素	糖質代謝関連酵素	2D5p02-14	酵素	糖質代謝関連酵素 / その他	3D5a01-10	LS3-3	酵素	酵素	酵素	酵素	酵素	酵素	酵素		
			230	2D5a01-10	LS2-6	酵素	酵素	酵素	酵素	酵素	酵素	3D5p02-14	酵素	酵素	酵素	4D5a01-14	酵素	酵素	酵素	酵素		
D6			442	動物	個体 - 生理、栄養、代謝、神経、生体機能、生体制御、メタボローム、病理、発生 / 細胞機能 - シグナル伝達、細胞死、細胞分化、細胞死、メタボローム	2D6a01-14	動物	個体 - 生理、栄養、代謝、神経、生体機能、生体制御、メタボローム、病理、発生 / 細胞機能 - シグナル伝達、細胞死、細胞分化、細胞死、メタボローム	2D6p01-14	動物	個体 - 生理、栄養、代謝、神経、生体機能、生体制御、メタボローム、病理、発生 / 細胞機能 - シグナル伝達、細胞死、細胞分化、細胞死、メタボローム	3D6a01-08	3D6p01-12	動物	動物	遺伝子 - 発現制御 / ノックアウト技術、ノックイン技術、ノックアンドスワップ技術、ノックアンドスワップ技術、ゲノム編集技術、細胞生物学、細胞死、細胞分化、細胞死、メタボローム	4D6a01-14	生物	生物	生物		
			230	2D6a01-14	LS2-4	生物	糖鎖科学 - 構造、機能、糖鎖工学、その他 / タンパク質・ペプチド科学 - 構造、機能、その他	2D7p06-12	生物	糖鎖科学 - 構造、機能、糖鎖工学、その他 / タンパク質・ペプチド科学 - 構造、機能、その他	3D7a01-13	生物	生物	生物	タンパク質・ペプチド科学 - 構造、機能、その他	4D7a01-12	生物	生物	生物	生物		
D7			441	生物	生物	生物	生物	生物	生物	生物	生物	3D7a01-13	生物	生物	生物	タンパク質・ペプチド科学 - 構造、機能、その他	4D7a01-12	生物	生物	生物	生物	
			170	2D7a01-14	LS2-4	生物	生物	生物	生物	生物	生物	3D7p01-14	生物	生物	生物	タンパク質・ペプチド科学 - 構造、機能、その他	4D7a01-12	生物	生物	生物	生物	
D8			413	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	
			90	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	
D9			412	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物
			90	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物	動物
E1			531	微生物	物質生産 - 醸造、発酵 (一次代謝産物) / 代謝 - 発酵生理、代謝調節	株式会社オントップ・バイオテクノロジーズ	微生物	物質生産 - 醸造、発酵 (一次代謝産物)	2E1a01-10	微生物	物質生産 - 醸造、発酵 (一次代謝産物)	2E1p02-14	微生物	SCIEK	微生物	代謝 - 発酵生理、代謝調節 / 物質生産 - 醸造、発酵 (一次代謝産物)	4E1a01-14	微生物	微生物	微生物	微生物	
			230	2E1a01-10	LS2-7	微生物	微生物	微生物	微生物	微生物	微生物	3E1a01-10	微生物	LS3-4	微生物	微生物	代謝 - 発酵生理、代謝調節 / 物質生産 - 醸造、発酵 (一次代謝産物)	4E1a01-14	微生物	微生物	微生物	微生物
E2			532	微生物	細胞 - 細胞応答、ストレス応答、情報伝達、細胞外膜小胞	2E2a01-14	微生物	細胞 - 細胞応答、ストレス応答、情報伝達、細胞外膜小胞	2E2p01-14	微生物	細胞 - 細胞応答、ストレス応答、情報伝達、細胞外膜小胞	3E2a01-10	微生物	3E2p01-14	微生物	細胞 - 細胞応答、ストレス応答、情報伝達、細胞外膜小胞	4E2a01-14	微生物	微生物	微生物	微生物	微生物
			230	2E2a01-14	LS2-4	微生物	細胞 - 細胞応答、ストレス応答、情報伝達、細胞外膜小胞	2E2p01-14	微生物	細胞 - 細胞応答、ストレス応答、情報伝達、細胞外膜小胞	3E2a01-10	微生物	3E2p01-14	微生物	微生物	細胞 - 細胞応答、ストレス応答、情報伝達、細胞外膜小胞	4E2a01-14	微生物	微生物	微生物	微生物	微生物

2024年度大会 講演一覧

会場	建物	階	教室番号	3月25日(月)				3月26日(火)				3月27日(水)					
				早朝 (8:30-9:20)	午前 (9:30-12:20)	昼(ランチョンセミナー) (12:35-13:25)	午後 (13:50-16:40)	早朝 (8:30-9:20)	午前 (9:30-12:20)	昼(ランチョンセミナー) (12:35-13:25)	午後 (13:50-16:40)	早朝 (8:30-9:20)	午前 (9:30-12:20)	午後 (12:30-15:00)			
E3	1号館 5F	533	食品 食品機能・栄養 - 酸化・抗酸化、糖化・抗糖化、老化 / 食品機能・栄養 - その他 2E3a01-10	有機化学・天然物化学 有機化学、天然物化学	生合成 / その他 2E3p01-14			有機化学・天然物化学 有機化学、天然物化学	生合成 3E3a01-14		有機化学・天然物化学 有機化学、天然物化学	生合成 4E3a01-14	有機化学・天然物化学 有機化学、天然物化学				
E4																	
E5		544	生物科学 生物工学 - 酵素工学・生物反応工学、生物材料工学・生体医工学 / 生物工学 - 解析技術・方法論、その他 2E4a01-12	生物科学 生物工学 - 酵素工学・生物反応工学、生物材料工学・生体医工学 / 生物工学 - 解析技術・方法論、その他 2E4p01-14				生物工学 - 酵素工学・生物反応工学、生物材料工学・生体医工学 / 生物工学 - 解析技術・方法論、その他 3E4a01-14	動物 細胞 - 構造、オルガネラ、小胞、分泌、細胞構成分子 4E4a01-09		微生物 細胞 - 構造、オルガネラ、小胞、分泌、細胞構成分子		微生物 細胞 - 構造、オルガネラ、小胞、分泌、細胞構成分子				
E6																	
E7		543	微生物 微生物 - 初農土産 (2023.11.14代謝産物) / 物質生産 - 微生物変換、酵素反応、機能性高分子 2E5a01-14	微生物 微生物 - 初農土産 (2023.11.14代謝産物) / 物質生産 - 微生物変換、酵素反応、機能性高分子 2E5p01-14				微生物 微生物 - 物質生産 - 微生物変換、酵素反応、機能性高分子 3E5a01-14	微生物 微生物 - 物質生産 - 微生物変換、酵素反応、機能性高分子 3E5p01-10		微生物 微生物 - 物質生産 - 微生物変換、酵素反応、機能性高分子 4E5a01-14		微生物 細胞 - 栄養、生育、増殖、培養 / 物質生産 - 微生物変換、酵素反応、機能性高分子 4E5a01-14				
E8																	
E9		230	微生物 微生物 - 遺伝子 - 発現制御、トランスクリプトーム 2E6a01-14	微生物 微生物 - 遺伝子 - 発現制御、トランスクリプトーム 2E6p01-06, 08-14				微生物 微生物 - 細胞 - 複合微生物、共生微生物、難培養性微生物 3E6a01-03, 05-13	微生物 微生物 - 細胞 - 栄養、生育、増殖、培養 3E6p01-14		微生物 微生物 - 細胞 - 複合微生物、共生微生物、難培養性微生物 3E6p01-14		微生物 細胞 - 栄養、生育、増殖、培養 / 難培養性微生物 4E6a01-14				
E10																	
1号館	6F	多目的ホール										ジュニア農芸化学会 交流会					
17号館																	
アカデミア	B1F	横井講堂		産学官学術交流フォーラム													
国際センター																	
すずしろ	2F	榎本ホール 会議ホール										農芸化学を体感する					
中庭	中庭							Social gathering				男女共同参画ランチョンシンポジウム 3LS03					

一般講演座長一覧表
(変更の場合がありますので当日、会場でご確認ください。)

会場	3月25日		
	午前	午後	
B1		2B1p02-05 2B1p06-10 2B1p11-14	小川 剛伸 谷 史人 野口 智弘
B2	2B2a01-05 2B2a06-10 2B2a11-14	飯嶋 益巳 藤井 智幸 松宮 健太郎	清水 誠 山本 祐司 市 育代
B3	2B3a01-05 2B3a06-10 2B3a11-14	中野 信浩 矢野 敏史 田村 直輝	辻 徳治 鈴木 司 清水 孝彦
B4	2B4a01-05 2B4a06-10 2B4a11-14	鈴木 宏和 鈴木 研志 廣瀬 遼	佐藤 里佳子 野村 駿介 吉田 信行
B5	2B5a01-05 2B5a06-10	森本 正則 柳田 亮	花木 祐輔 南雲 陽子 中川 好秋
C1			甲元 一也 加藤 由悟
C2	2C2a01-05 2C2a06-10 2C2a11-14	吳 静 阿部 尚樹 恒松 雄太	清家 瞳 甲斐 建次 木村 賢一
C3	2C3a01-05 2C3a06-10 2C3a11-14	折田 和泉 大西 章博 三宅 克英	儀武 菜美子 張 榕詰 水口 千穂
C4	2C4a01-05 2C4a06-10 2C4a11-14	勝田 亮 岡田 洋平 目黒 康洋	恒松 雄太 室井 誠 村上 一馬
C5	2C5a01-05 2C5a06-08, 10	吉田 ナオト 吉田 健一	高坂 智之 柘植 陽太 田島 善久
C6	2C6a01-05 2C6a06-10 2C6a11-14	北村 秀光 小林 彰子 高橋 茂子	西山 千春 田中 沙智 戸田 雅子
C7	2C7a01-05 2C7a06-10 2C7a11-14	関口 勇地 青井 譲輝 寺本 華奈江	稲橋 佑起 秦田 勇二 藤井 克彦
D1	2D1a01-05 2D1a06-10	安岡 顕人 新谷 知也	石丸 喜朗 河原 岳志 角谷 晃司
D2	2D2a01-05 2D2a06-10 2D2a11-12, 14	宮本 潤基 北風 智也 藤巻 貴宏	大植 隆司 室田 佳恵子 東村 泰希
D3	2D3a01-05 2D3a06-10 2D3a11-14	宮崎 翔 棟方 涼介 若林 孝俊	須恵 雅之 川上 寛子 長田 武
D4	2D4a01-05 2D4a06-10 2D4a11-13	中嶋 正敏 鈴木 義人 崔 宰熏	高岡 洋輔 若林 孝俊 上口(田中) 美弥子
D5	2D5a01-05 2D5a06-10	黒木 勝久 辻野 義雄	中島 将博 炭谷 順一 加藤 紀彦
D6	2D6a01-05 2D6a06-10 2D6a11-14	佐藤 隆史 竹中 麻子 白須 未香	水重 貴文 榎原 啓之 後藤 剛
D7	2D7a01-05 2D7a06-10 2D7a11-14	高島 晶 土肥 博史 伊藤 和央	阿部 敬悦 松尾 一郎
E1	2E1a01-05 2E1a06-10	和田 潤 小野寺 正幸	門倉 利守 渡辺 大輔 中山 俊一
E2	2E2a01-05 2E2a06-10 2E2a11-14	岩間 亮 成田 隆明 那須野 亮	加藤 明宣 大坂 夏木 東端 啓貴
E3	2E3a01-05 2E3a06-10	向井 理恵 仲川 清隆	長谷部 文人 宮永 顯正 長 由扶子
E4	2E4a01-05 2E4a06-12	小林 奈通子 篠田 優	奈良井 朝子 古賀 雄一 陶山 哲志
E5	2E5a01-05 2E5a06-10 2E5a11-14	宮田 茂 新谷 政己 園木 和典	田中 裕也 小柳 喬 吹谷 智
E6	2E6a01-05 2E6a06-10 2E6a11-14	大城 隆 宮腰 昌利 島田 友裕	西山 賢一 神田 健 上村 直史
E7	2E7a01-05 2E7a06-10 2E7a11-13	堀 清純 加藤 俊治 小山 翔大	小野 航 大能 俊久 斎藤 菜摘

一般講演座長一覧表
(変更の場合がありますので当日、会場でご確認ください。)

会場	3月26日			
	午前	午後		
B1		3B1p02-05 3B1p06-10 3B1p11-12	佐藤 之紀 田村 倫子 芦田 久	
B2				
B3				
B4				
B5				
C1		3C1p02-05 3C1p06-10 3C1p11	上田 賢志 久保 幹 西山 辰也	
C2	3C2a01-05 3C2a06-10 3C2a11-14	大塚 みゆき 工藤 雄大 堤 隼馬	3C2p01-05 3C2p06-10 3C2p11-14	奥 直也 村田 敏拓 勝崎 裕隆
C3	3C3a01-05 3C3a06-10 3C3a11-14	樋口 雄大 邱 泰瑛 松鹿 昭則	3C3p01-05 3C3p06-10 3C3p11-14	池田 丈 寺本 真紀 笠井 大輔
C4	3C4a01-05 3C4a06-10 3C4a11-14	斎藤 竜男 宮坂 忠親 矢島 新	3C4p01-05 3C4p06-10 3C4p11-14	田代 卓哉 村井 正俊 君嶋 葵
C5	3C5a01-05 3C5a06-10	中村 太郎 手塚 武揚	3C5p02-05 3C5p06-11	大津 厳生 志田 洋介
C6	3C6a01-05 3C6a06-10 3C6a11-14	永井 俊匡 成川 真隆 戸田 安香	3C6p01-05 3C6p06-10 3C6p11-14	日下部 裕子 細野 崇 藍原 祥子
C7	3C7a01-05 3C7a06-10 3C7a11-14	阿座上 弘行 高橋 祥司 浦山 俊一	3C7p01-05 3C7p06-10 3C7p11-14	南 博道 星野 翔太郎 丸山 潤一
D1	3D1a01-05 3D1a06-10	君羅 好史 長田 和実	3D1p02-05 3D1p06-10 3D1p11-14	森 紀之 近藤 高史 中村 浩蔵
D2	3D2a01-05 3D2a06-10 3D2a11-14	山口 翔平 前橋 健二 杉浦 義正	3D2p01-05 3D2p06-08	前田 恵 若木 学
D3	3D3a01-05 3D3a06-10 3D3a11-14	櫻井 望 岡咲 洋三 渡辺 文太	3D3p01-05 3D3p06-10 3D3p11-14	野崎 翔平 浜本 晋 大橋 貴生
D4	3D4a01-05 3D4a06-10 3D4a11-12	藤井 壮太 高山 誠司 浦野 薫	3D4p01-05 3D4p06-08	杉本 貢一 關 光
D5	3D5a01-05 3D5a06-10	鹿島 騰真 吉川 潤	3D5p02-05 3D5p06-10 3D5p11-14	前田 美紀 越智 杏奈 三原 久明
D6	3D6a01-05 3D6a06-08	小栗 靖生 KUMRUNGSEE Thanutchaporn	3D6p01-05 3D6p06-12	河野 強 高橋 裕
D7	3D7a01-05 3D7a06-10 3D7a11-13	吳 迪 岡島 俊英 奥田 傑	3D7p01-05 3D7p06-10 3D7p11-14	亀谷 将史 宮下 正弘 鳴 直樹
E1	3E1a01-05 3E1a06-10	渡邊 泰祐 石川 森夫	3E1p02-05 3E1p06-10 3E1p11-14	二神 泰基 竹内 道樹 松田 史生
E2	3E2a01-05 3E2a06-10	尾花 望 川本 純	3E2p01-05 3E2p06-10 3E2p11-14	栗原 新 阿部 文快 熊野 匠人
E3	3E3a01-05 3E3a06-10 3E3a11-14	上田 大次郎 勝山 陽平 小笠原 泰志	3E3p01-05 3E3p06-10 3E3p11-13	岸本 真治 伊藤 智和 尾崎 太郎
E4	3E4a01-05 3E4a06-10 3E4a11-14	三浦 夏子 三浦 夏子 佐藤 ちひろ	3E4p01-05 3E4p06-13	松尾 道憲 柴田 秀樹
E5	3E5a01-05 3E5a06-10 3E5a11-14	岸野 重信 竹中 慎治 白石 太郎	3E5p01-05 3E5p06-10	矢野 成和 赤田 倫治
E6	3E6a01-03, 05 3E6a06-08, 10 3E6a11-13	ベハラノ フェリペ 岸田 康平 前田 智也	3E6p01-05 3E6p06-10 3E6p11-14	天知 誠吾 辻井 雅 新井 博之
E7	3E7a01-05 3E7a06-10 3E7a11-12	堀江 美由美 松原 孝典 成澤 朋之	3E7p01-05 3E7p06-10 3E7p11-14	小椋 賢治 石川 千秋 田中 福代

一般講演座長一覧表
(変更の場合がありますので当日、会場でご確認ください。)

会場	3月27日	
	午前	午後
B1		
B2	4B2a01-05 4B2a06-10 4B2a11-14 柴田 貴広 竹森 久美子 井上 順	
B3	4B3a01-05 4B3a06-10 4B3a11-14 三浦 大樹 山地 亮一 増田 誠司	
B4	4B4a01-05 4B4a06-10 4B4a11-14 藤井 達也 前川 裕美 橋本 義輝	
B5	4B5a01-05 4B5a06-10 4B5a11-14 沢谷 貴洋 宮前 友策 宮下 正弘	
C1		
C2	4C2a01-05 4C2a06-10 4C2a11-14 服部 恒尚 中川 優 森 美穂子	
C3	4C3a01-05 4C3a06-10 4C3a11-14 若井 晓 佐藤 由也 伊藤 貴文	
C4	4C4a01-05 4C4a06-10 4C4a11-14 岡村 仁則 若森 晋之介 奥野 祥治	
C5	4C5a01-05 4C5a06-10 4C5a11-14 小野 晶子 前野 慎太朗 杉山 晓史	
C6	4C6a01-05 4C6a06-10 4C6a11-14 足立(中嶋) はるよ 三坂 巧 八村 敏志	
C7	4C7a03-05 4C7a06-10 4C7a11-13 田村 隆 古園 さおり 吉田 彩子	
D1	4D1a01-05 4D1a06-10 4D1a11-14 高橋 正和 熊谷 武久 中井 雄治	
D2	4D2a01-05 4D2a06-10 4D2a11-14 小関 喬平 三上 奈々 筒浦 さとみ	
D3	4D3a01-05 4D3a06-10 4D3a11-14 北岡 直樹 本間 颯太 片山 秀和	
D4	4D4a02-05 4D4a06-10 4D4a11-13 藤村 由紀 山本 祥也 岩崎 公典	
D5	4D5a01-05 4D5a06-10 4D5a11-14 佐分利 豊 鈴木 龍一郎 宮崎 剛亞	
D6	4D6a01-05 4D6a06-10 4D6a11-14 木岡 紀幸 原田 直樹 竹林 慎一郎	
D7	4D7a01-05 4D7a06-10 4D7a11-12 松村 浩由 迫野 昌文 今中 洋行	
E1	4E1a01-05 4E1a06-10 4E1a11-14 鈴木 智典 徳岡 昌文 織田 健	
E2	4E2a01-03, 05 4E2a06-10 4E2a11-14 西村 明 沢尾 俊介 萩原 大祐	
E3	4E3a01-05 4E3a06-10 4E3a11-14 荒川 賢治 前野 優香理 工藤 史貴	
E4	4E4a01-05 4E4a06-09 中島 春紫 竹下 典男	
E5	4E5a01-05 4E5a06-10 4E5a11-14 吉原 明秀 中村 彰宏 松浦 彰	
E6	4E6a01-05 4E6a06-10 4E6a11-14 渡辺 智 佐藤 拓海 老沼 研一	
E7	4E7a01-05 4E7a06-12 飯島 陽子 伊藤 圭祐	

一般講演番号の見方

○ 講演番号の

最初の1桁の数字は講演発表日

2 → 3月25日（月）

3 → 3月26日（火）

4 → 3月27日（水）

次のアルファベットは階数、その次の数字一桁は、会場番号

A 1号館1階

B 1号館2階

C 1号館3階

D 1号館4階

E 1号館5階

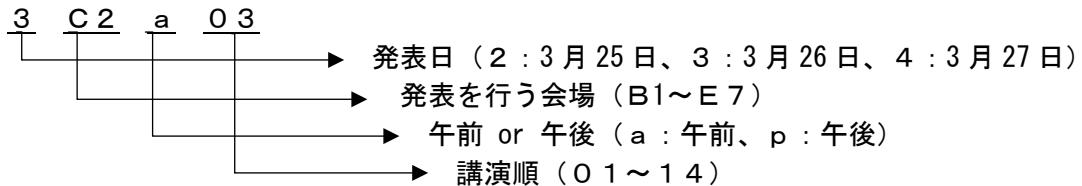
（例：B 5 → 1号館2階 B 5会場）

次の桁の小文字アルファベットは

a は 午前の部

p は 午後の部

次の数字は、その会場での講演の順番



たとえば、3 C 2 a 0 3は、
3月26日（火）、1号館C 2会場、午前の部、3番目 の講演です。

○ 講演開始の時間は、次の通りです。

a [a.m] (午前)

01. 9:30	02. 9:41	03. 9:52	04. 10:03
05. 10:14	10:25 (USB接続時間)	06. 10:33	07. 10:44
08. 10:55	09. 11:06	10. 11:17	11. 12:28 (USB接続時間)
11. 11:36	12. 11:47	13. 11:58	14. 12:09

p [p.m] (午後)

01. 13:50	02. 14:01	03. 14:12	04. 14:23
05. 14:34	14:45 (USB接続時間)	06. 14:53	07. 15:04
08. 15:15	09. 15:26	10. 15:37	15:48 (USB接続時間)
11. 15:56	12. 16:07	13. 16:18	14. 16:29

一般講演

3月 25日

油の大敵「酸化」を防ぐ独自技術で
使いたいときに、
いつでもフレッシュな油を、
安心して楽しんで欲しいから。
培ってきた技術とこだわりを、
お届けする一本一本に、
想いとともにしつかりこめて。

毎日の食事が、油が、
身体と心のチカラになる。

もっとおいしく、ずっと健やかに、
そして、日清オイリオは、
鮮度にもこだわります。

“植物のチカラ”で
おいしさと健康を、ずっと。

NISSHIN
Oillio

“植物のチカラ”



一般講演発表プログラム

- 講演時間は1題につき、11分（発表8分、質疑2分30秒、交替時間30秒）です。
- は講演者（登壇者）を示します。
- 座長は、本集の前のページまたは大会プログラム検索サイト（https://www.jsbba.or.jp/2024/wp-content/uploads/file/info/jsbba2024_moderators.pdf）の座長一覧表をご覧ください。
- 講演番号1文字目（数字）は講演日（2:3月25日, 3:3月26日, 4:3月27日）、2~3文字目は講演会場（B1~E7）、4文字目（英字小文字1字）のaは午前、pは午後、5~6文字目（数字2桁）は講演順番（01~14）となります。
(例)「3C2a03」は、3月26日、C2会場、午前の部、3番目の講演となります。
- トロフィーマークがついている演題は、トピックス演題となります（30題）。

|||||||||||||| 第2日(3月25日)||||||||||||

講演番号	演題	発表者氏名(所属)
------	----	-----------

B1会場 午後の部(14:01~16:40)

食品—食品工学-製造工学、加工学/食品工学-その他一

p02~p05 発表者の接続時間 13:53~14:01

- 2B1p02 乳酸を利用した魚醤製造法に関する研究
14:01 ○正田直輝, 辰野竜平, 古下学, 福田翼（水産機構水大校）
- 2B1p03 大豆を利用したカツオ味噌の製造条件に関する研究
14:12 ○福田翼, 矢倉陽平, 辰野竜平, 古下学（水産機構水大校）
- 2B1p04 マイクロ波加熱によるガラクトースの異性化に及ぼす卵殻添加の影響
14:23 ○二俣真¹, 尾西佑一朗¹, 安達修二²,
Khuwijitjaru Pramote³, 渡邊義之⁴, 小林敬¹, 谷史人¹（¹京大農院, ²京都先端大, ³Silpakorn Univ., ⁴大阪公立大農）
- 2B1p05 フリージング条件がアイスクリームに配合したビフィズス菌の生残性に及ぼす影響
14:34 ○島田昌幸, 井上恵介, 元吉智美（森永乳業株式会社研究本部 食品開発研究所）

p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53

- 2B1p06 モリンガ種子の麹菌発酵産物、モリンガ麹の機能性成分の分析
14:53 ○関口愛里彩¹, 上野義栄², 青木秀之³, 尾山廣¹（¹筑南大学, ²京都女子大学・家政学部, ³池田食研）
- 2B1p07 乳酸菌と食品酵素に及ぼす高圧処理の影響
15:04 ○堀江暁¹, 堀沙織里², 井口晃徳², 重松亨²,
森下あい子¹, 加藤優¹（¹キリンHD・飲料未来研, ²新潟薬科大・応生科）
- 2B1p08 イソアミラーゼを用いた新規プラントベースヨーグルトの開発
15:15 ○小笠原早織, 篠田美咲, 守谷崇（合同酒精株式会社）
- 2B1p09 真空焼成がパン品質に与える影響解析
15:26 ○古澤駿¹, 小野航², 岡大貴³, 伊賀大八⁴,
井上好文⁴, 野口智弘²（¹東京農大院・農化, ²東京農大応生・食加技セ, ³東京農大応生・農化, ⁴日本パン技研）
- 2B1p10 食感設計に加熱を多目的で取り込んだフード3Dプリント
15:37 ○島田勇輝, 武政誠（東京電機大院理）

p11~p14 発表者の接続時間 15:48~15:56

- 2B1p11 酵母エキス抽出残渣を用いた味噌様調味料の調製
15:56 ○吉永亜美¹, 上野貴生², 清野俊介³, 永井誠也³,
眞榮田麻友美³, 前橋健二^{1,3}, 吉川潤^{1,3}（¹東農大院応生, ²アサヒグループ食品(株)食品原料, ³東農大応生）
- 2B1p12 メイラー反応産物とビールのコクについて
16:07 ○望月マユラ, 堀江暁, 太田麗子, 越村裕子, 加藤優, 森下あい子（キリンHD・飲料未来研）
- 2B1p13 プロテアーゼを含んだ食品の添加によるタウナギのタンパク質への影響
16:18 ○廣瀬和樹, 藤堂景史, 飯村裕子, 斎藤慎二（常磐大）
- 2B1p14 マイタケ粗酵素液による鶏卵含有たんぱく質の分解
16:29 ○鯨島由香^{1,4}, 沖留理子², 福田史織³, 竹本尚未²,
松井徳光^{3,4}（¹羽衣国際大食栄, ²武庫女大院食栄, ³武庫女大食栄, ⁴武庫女大栄養科学研究所）

B2会場 午前の部(9:30~12:20)

食品—食品工学-物性、分析一

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

- 2B2a01 ビール泡品質の新規評価方法の開発1 二次元色彩計を用いたフロスティーミストの定量化
9:30 ○飯牟礼隆¹, 石鍋菜々子¹, 浅井梓², 潮井徹¹（¹サッポロビール(株)価値創造フロンティア研究所, ²サッポロビール(株)商品・技術イノベーション部）
- 2B2a02 ビール泡品質の新規評価方法の開発2 泡の再生力の評価と再生力に差が生じる原因の追究
9:41 ○石鍋菜々子¹, 飯牟礼隆¹, 浅井梓², 潮井徹¹（¹サッポロビール(株)価値創造フロンティア研究所, ²サッポロビール(株)商品・技術イノベーション部）
- 2B2a03 アミノ酸の疎水性と水和パラメータhおよび関連パラメータの関係
9:52 ○佐藤之紀^{1,2}, 佐藤礼奈²（¹岩手大院連合農学, ²弘前大農生科）
- 2B2a04 食用コオロギのにおいに寄与する成分の特定
10:03 ○亀崎悠, 佐々木直里（都産技研）
- 2B2a05 難溶性食品成分のin vitro試験に適用可能な新規溶媒の開発
10:14 ○久保田祐介¹, 黒田浩介², 平田英周³, 田中康浩¹（¹サントリーホールディングス株式会社, ²金沢大学理工研究域生命理工学系, ³金沢大学がん進展制御研究所）

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

- 2B2a06 食品中のプロテオグリカン分離手法の開発と事例紹介
10:33 ○川嶋草平, 山口信哉（青森県産業技術センター）
- 2B2a07 LC-MSを用いた飲料中の高感度プリン体分析
10:44 ○高橋洋武¹, 平松幸之助¹, 橋田規¹, 照井善光¹, 望月直樹²（¹一般財団法人日本食品検査, ²横浜薬科大学）
- 2B2a08 食感評価を目的としたエビ圧縮時の圧力分布の調査
10:55 ○梅谷華奈, 井上竜一（(公財)東洋食品研究所）
- 2B2a09 ゴボウ圧縮時の圧力分布と成分の関係
11:06 ○井上竜一, 梅谷華奈（(公財)東洋食品研究所）
- 2B2a10 清酒中のバニリンの定量と閾値調査
11:17 ○李凡只斤蘇日娜, 長船行雄, 岸本徹, 久常有里, 磯谷敦子（独立行政法人酒類総合研究所）

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

2B2a11 UHPLC を用いた酒類中 37 成分の D/L-アミノ酸自動分析法の改良

11:36 ○岩田 奈津紀, 寺田 英敏, 小林 まなみ (株式会社島津製作所)

2B2a12 HPLC-SERS 法での食品成分分析の試み

11:47 ○山口 洋¹, 竹井 弘之² (¹東洋大院生命, ²東洋大生命)

2B2a13 イムノスティック法を用いた食物アレルゲンの簡便・高感度検出技術の開発

11:58 ○飯嶋 益巳^{1,2}, 笹村 雄斗², 田辺 明子¹, 中高下 莉子¹, 那須 茜¹, 黒田 俊一³ (¹東農大・応生・健康, ²東農大院・健康, ³阪大・産研)

2B2a14 穀粒内のタンパク質局在と炊飯米物性との関係

12:09 ○木村 映一 (農研機構・食品研)

B2 会場 午後の部(13:50～16:40)

食品—食品工学-物性, 分析/食品機能・栄養-脂質代謝, 糖質代謝/食品工学-製造工学, 加工学/食品工学-その他—

p01～p05 発表者の接続時間 13:42～13:50

2B2p01 フリーPOアラテアートの自動作製

13:50 ○武政 誠, 河北 彩翔 (東京電機大理工)

2B2p02 小角 X 線散乱と赤外分光による米粉の内部構造評価に関する研究

14:01 ○石川 大太郎, 楊 嘉敏, 七島 なつみ, 山田 栄菜, 藤井 智幸 (東北大院農)

2B2p03 望む食感を与える食品構造設計に向けた 3D プリント食品の自動食感評価法開発

14:12 ○金子 瑠晟, 武政 誠 (東京電機大理工)

2B2p04 赤外 / 遠赤外分光スペクトルによる糖添加ゼラチンゲルの解析

14:23 ○七島 なつみ, 楊 嘉敏, 石川 大太郎, 藤井 智幸 (東北大院農)

2B2p05 腸内細菌脂質代謝物 HYA の生理機能に関する臨床研究結果

14:34 ○若山 水歩 (Noster株式会社)

p06～p10 発表者の接続時間 14:45～14:53

2B2p06 低グリセミックインデックス食品のセカンドミール効果

14:53 ○東口 夢¹, 池ノ内 佳苗², 小澤 真理子², 中村 健一郎³, 鈴木 靖志^{1,4} (¹武庫川女子大学食物栄養科学部食創造科学科, ²株式会社シュガコン, ³コトノーツ, ⁴武庫川女子大学バイオサイエンス研究所)

2B2p07 G タンパク質共役エストロゲン受容体の活性化を介したピセアタンノールの抗肥満効果

15:04 ○有澤 琴子¹, 松岡 愛弓², 小澤 菜月², 市 育代², 藤原 葉子² (¹東北大院薬, ²お茶大院ライフ)

2B2p08 豆腐の微細構造とゲル強度に及ぼすトリグリセリドの脂肪酸組成の影響

15:15 ○油屋 和^{1,2}, 丸岡 早紀³, 室井 由起子¹, 杉元 康志¹, 渡邊 啓一¹ (¹九州栄養福祉大, ²鹿大院連農, ³九大院農)

2B2p09 デキサメタゾン誘導性筋萎縮のコレステロール代謝をした病態制御

15:26 ○市 育代¹, 久保 慧², 清水 誠¹ (¹お茶大 基幹研究院, ²お茶大 ライフサイエンス)

2B2p10 干ばつストレス時に発生するバレイショの加工特性変化

15:37 ○川本 健太, 増富 裕文, 吉岡 瞳美, 根岸 順子, 阿久津 圭子, 鶴見 貴志, 石原 克之 (カルビー株式会社)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

2B2p11 コーヒー食品のレシピ検討と官能試験による風味特徴の評価

15:56 ○浅岡 那月, 岩井 和也, 堀内 美紗子, 浦川 夏帆, 中川 真緒, 福永 泰司 (UCC上島珈琲株式会社 R&D本部)

2B2p12 ピペリン- α -シクロデキストリン包接体の溶解性および吸収性評価

16:07 長谷川 莉沙, 近本 啓太, ○上梶 友記子, 石田 善行, 中田 大介, 佐藤 有一, 寺尾 啓二 ((株)シクロケムバイオ)

2B2p13 微粉碎処理がセルロースをはじめとする食物繊維に与える影響について

16:18 ○吉田 晓登¹, 小西 正朗², 邱 泰瑛² (¹北見工大院, ²北見工大)

2B2p14 亜臨界水を用いた和種薄荷茎に対する抽出効率の検討

16:29 ○吉村 祐介¹, 小西 正朗², 邱 泰瑛² (¹北見工大院, ²北見工大)

B3 会場 午前の部(9:30～12:20)

動物—細胞機能-シグナル伝達, 細胞応答, 細胞分化, 細胞死, メタボローム/細胞構造-細胞骨格, オルガネラ, 輸送体, 細胞接着, 生体膜, メンブレントラフィック, 相分離—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

2B3a01 mRNA 核外輸送受容体 TAP とタンパク質輸送受容体 CRM1 の二つの輸送受容体による mRNA 核外輸送の生物学的意義

9:30 ○鵜飼 生望¹, 竹森 久美子¹, 増田 誠司^{1,2} (¹近大院農, ²近大アンチエイジングセンター)

2B3a02 HSP90 阻害剤とアントラサイクリン系薬剤同時添加により mRNA の核内蓄積の解消

9:41 ○堀 史人¹, 竹森 久美子^{1,2}, 増田 誠司^{1,2} (¹近大院農, ²近大農食)

2B3a03 高速 cAMP イメージング技術による匂い応答計測

9:52 ○佐藤 幸治, 東原 和成 (東大院農)

2B3a04 昆虫味覚受容体のリガンド結合様式および活性化機構の立体構造モデル

10:03 ○森永 敏史¹, 永田 宏次¹, 伊原 さよ子¹, 新村 芳人^{1,2}, 佐藤 幸治¹, 東原 和成¹ (¹東大院農, ²宮崎大学獣)

2B3a05 合成脂質を用いたヒト ABCA1 の活性調節機構の解析

10:14 ○師岡 はるか¹, 藤原 朋哉², 安部 真人², 三澤 嘉久³, 馬場 直道³, 木岡 紀幸¹, 木村 泰久¹ (¹京大農・応用生命科学, ²愛媛大院農・生命機能学, ³備前化成株式会社)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

2B3a06 低酸素応答機構の制御によるヒト表皮立体培養系での分化促進効果

10:33 遠藤 真悠子¹, 手島 裕文¹, 北谷 宏仁¹, 小林 稔², 辻 徳治¹, 原田 浩², ○人見 清隆² (¹名大院創薬科学, ²京大院生命)

2B3a07 羊水がヒト表皮細胞における表皮形成関連因子の発現制御に与える影響

10:44 ○辻 徳治¹, 小野川 謙¹, 村井 篤嗣², 辰川 英樹¹, 人見 清隆¹ (¹名大院創薬科学, ²名大院生命農学)

2B3a08 アンドロゲンは褐色脂肪組織においてアドレナリンによる体温産生を抑制する

10:55 ○原田 直樹^{1,2}, 久保 慶太朗², 大西 照晃¹, 北風 智也^{1,2}, 後藤 剛³, 乾 博^{1,2,4}, 山地 亮一^{1,2,5} (¹阪大農, ²阪府大生環, ³京大院農, ⁴大手前健栄, ⁵阪大生資センター)

2B3a09 エストロゲン受容体による protein kinase A シグナル抑制作用とそのメカニズムの解明

11:06 ○大西 照晃¹, 久保 慶太朗², 原田 直樹^{1,2}, 北風 智也^{1,2}, 乾 博^{1,2,3}, 山地 亮一^{1,2,4} (¹阪公大院・農, ²阪府大院・生命環境, ³大手前大・健栄, ⁴阪公大・生資センター)

2B3a10 FUS の液-液相分離に核内アクチン纖維が及ぼす影響の解析

11:17 ○西間木 胡桃¹, 藤井 健太郎², 堀籠 智洋¹, 高山 裕貴^{1,3}, 原田 昌彦^{1,3} (¹東北大院農, ²量子科学技術研究開発機構, ³東北大 国際放射光イノベーション・スマート研究センター)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

2B3a11 ヒト培養細胞を用いた疲労評価モデルの確立

11:36 ○森 彩香¹, 野口 明日香², 堀籠 悟¹, 渡辺 瞳行² (¹日本食品分析センター, ²昭和女子大学)

2B3a12 ヒト毛乳頭細胞を用いた細胞試験による海老名市産イチゴの育毛効果の検証

11:47 ○宮内 勇樹^{1,2}, 謝 凉晶¹, 廣川 隆彦³, 村上 小枝子³, 馬 思慧¹, 矢野 敏史¹, 原 太一¹ (¹早大人科院, ²近代化学(株), ³神奈川県産技総研)

2B3a13 オートファジー活性に及ぼす発酵食品の探索と機能性成分の解析

11:58 ○菅谷 侑香, 矢野 敏史, 原 太一 (早大人科院)

2B3a14 ワサビ 6-MSITC によるオートファジー制御機構の解明

12:09 ○久原 麻那, 矢野 敏史, 原 太一 (早大人科院)

B3 会場 午後の部(13:50～16:40)

動物—細胞機能-シグナル伝達, 細胞応答, 細胞分化, 細胞死, メタボローム

p01～p05 発表者の接続時間 13:42～13:50

2B3p01 Autophagy Induction by D-amino acids: A Dive into mTOR-independent Signaling Pathways

13:50 ○Kun XIE^{1,2}, Jinyun WANG¹, Miyu Kamimura¹, Saki shiota¹, Taichi Hara¹ (¹Laboratory of Food and Life Science, Faculty of Human Sciences, Waseda University, ²College of Animal Science and Technology, Hunan Agricultural University)

2B3p02 4,4'-Dimethoxychalcone (DMC): A Novel GATA2-Dependent Modulator of Autophagy Beyond mTOR Signaling

14:01 ○Jinyun WANG, Kun Xie, Taichi Hara (Laboratory of Food and Life Science, Faculty of Human Sciences, Waseda University)

2B3p03 Enhanced Metabolic Efficiency with Ketone Body Supplementation in Keto-Adaptation: Insights from Animal and Cell Culture Studies

14:12 ○SIHUI MA¹, YISHAN TONG², SATOSHI YANO¹, KATSUHIKO SUZUKI³, TAICHI HARA¹ (¹Faculty of Human Sciences, Waseda Univ., ²Graduate School of Sport Sciences, Waseda Univ., ³Faculty of Sport Sciences, Waseda Univ.)

2B3p04 骨細胞, 破骨細胞, 軟骨細胞分化における骨形成型オリゴ DNA の作用

14:23 ○木村 智勇¹, 高谷 智英^{1,2,3} (¹信州大農, ²信州大院総理工, ³信州大バイオメディカル研)

2B3p05 筋形成型オリゴ DNA は BMP2 依存的な骨芽細胞の分化を阻害する

14:34 ○松島 もも¹, 木村 智勇¹, 高谷 智英^{1,2,3} (¹信州大農, ²信州大院総理工, ³信州大バイオメディカル研)

p06～p10 発表者の接続時間 14:45～14:53

2B3p06 ヨウ化ニンニクによる細胞賦活作用の作用機序の解明

14:53 ○岩崎 なつみ¹, 宮内 勇樹^{1,2}, 廣川 隆彦³, 謝 凉晶¹, 矢野 敏史¹, 原 太一¹ (¹早稲田大学, ²近代化学(株), ³神奈川県産技総研)

2B3p07 オートファジーを制御するジケトピペラジンのスクリーニング

15:04 ○矢野 敏史¹, 内田 頌太郎², 唐鎌 翔大², 鈴木 伸², 木野 邦器², 原 太一¹ (¹早大人科院, ²早大理工院)

2B3p08 筋形成型オリゴ DNA は BMP2 による筋分化の阻害を回復する

15:15 ○石田 智香¹, 山本 万智², 高谷 智英^{1,2,3} (¹信州大農, ²信州大院総理工, ³信州大バイオメディカル研)

2B3p09 筋形成型オリゴ DNA の抗子宮平滑筋肉腫作用の検討

15:26 ○平林 ゆり¹, 高谷 智英^{1,2,3} (¹信州大院総理工, ²信州大農, ³信州大バイオメディカル研)

2B3p10 インドキシリ硫酸は Akt/β-カテニン /c-myc および AhR/c-myc 経路の活性化を介して大腸癌細胞の増殖と EGFR の発現増加を導く

15:37 ○一坂 優¹, 矢野 彰三¹, 丹羽 利充², 清水 英寿¹ (¹島大院自然, ²修文大, ³島大院医学)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

2B3p11 AMPK による SRSF9 のリン酸化が SUMO 化に与える影響の解析

15:56 ○中沢 茉絵¹, 松本 英里¹, 小坂 憲太郎², 井上 順^{1,2}, 山本 祐司^{1,2}, 鈴木 司² (¹東農大院, ²東農大)

2B3p12 がん抑制タンパク質 TSC 複合体の新規結合因子 PGRMC1 の機能解析

16:07 ○石井 真央¹, 逸見 明央¹, 鈴木 康央介², 井上 順^{1,2}, 山本 祐司^{1,2}, 鈴木 司² (¹東農大院・応生科・農化, ²東農大・応生科・農化)

2B3p13 AMPK が新規基質 DDB1 を介して Cullin4 ユビキチンリガーゼに及ぼす影響の解析

16:18 ○鈴木 司¹, 吉澤 千尋², 鈴木 理子², 秋山 果穂², 井上 順^{1,2}, 山本 祐司^{1,2} (¹東農大・応生科・農化, ²東農大院・応生科・農化)

2B3p14 5-アミノレブリン酸代謝産物による動物細胞増殖抑制機構の解析

16:29 ○渡邊 晴也¹, 森谷 薫穂², 千葉櫻 拓^{1,2} (¹東農大院生命, ²東農大生命)

B4 会場 午前の部(9:30～12:20)

微生物—遺伝子-構造, 機能-

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

2B4a01 プラスミドの接合伝達の可否と、プラスミドと細菌染色体間の塩基組成類似性の関係

9:30 ○山崎 凜¹, 徳田 真穂², 敦賀 俊太³, 前田 壮¹, 金原 和秀^{1,2,3}, 新谷 政己^{1,2,3,4} (¹静大・工, ²静大院・創造, ³静大院・総合科技, ⁴静大・グリーン研)

2B4a02 プラスミドが接合伝達する細菌を塩基配列の特徴から予測する

9:41 ○徳田 真穂¹, 敦賀 俊太², 前田 壮³, 山崎 凜³, 金原 和秀^{1,2,3}, 新谷 政己^{1,2,3,4} (¹静大院・創造, ²静大院・総合科技, ³静大・工, ⁴静大・グリーン研)

2B4a03 プラスミド pCAR1 由来の核様体タンパク質 Pnd の DNA 結合様式の解明

9:52 ○江本 光毅¹, 水口 千穂^{2,3}, 森脇 由隆^{2,3}, YANG Miaoyan², 鈴木 研志^{2,3}, 岡田 憲典², 野尻 秀昭^{2,3} (¹東大・農, ²東大院・農生科, ³東大・微生物連携機構)

2B4a04 シアノバクテリアから見出された新規プラスミド複製因子と複製開始メカニズムに関する研究

10:03 ○坂田 実乃里¹, Kaltenbrunner Alena², 大館 和真¹, 前田 海成³, 青柳 智大¹, 坂巻 裕¹, 荷村 (松根) かおり¹, 大林 龍胆⁴, Wolfgang Hess², 渡辺 智¹ (¹東農大院・バイオ, ²フライブルク大学, ³東工大研究院化生研, ⁴静岡大)

2B4a05 大腸菌-枯草菌間の接合伝達における *oriT* 最小領域の特定

10:14 ○神崎 泰輝, 猪又 俊輔, 深田 悠太, 片岡 正和 (信州大院理工)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

2B4a06 *Pseudomonas* 属細菌由来のプラスミドの複製に必要なDNA領域の同定

10:33 ○磯貝 菜々子¹, 德田 真穂², 水口 千穂³, 金原 和秀^{1,2}, 野尻 秀昭³, 鈴木 仁人⁴, 新谷 政己^{1,2,5} (¹静大・工, ²静大院・創造, ³東大院・農生科, ⁴感染研・薬剤耐性研究センター, ⁵静大・グリーン研)

2B4a07 *Pseudomonas* 属細菌由来の環境浄化に寄与する染色体組み込み型接合因子(ICEs)のデータベースからの探索

10:44 ○廣瀬 遼, 上原 由楓, 藤波 寛人 (宮崎大工)

2B4a08 IncP/P-1群プラスミドの異なる亜群に属するプラスミドの性状の違いとその原因の解析

10:55 新谷 政己^{1,2,3,4}, ○前田 壮¹, 德田 真穂², 敦賀 俊太³, 上條 遥陽³, 金原 和秀^{1,2,3} (¹静大・工, ²静大院・創造, ³静大院・総合科技, ⁴静大・グリーン研)

2B4a09 フィリピンにおける薬剤耐性菌および耐性遺伝子の伝播に寄与するプラスミドの同定

11:06 ○増元 めぐみ¹, 德田 真穂², 佐藤 佑香³, 敦賀 俊太³, 野上 勇魚³, 金原 和秀^{1,2,3}, 鈴木 仁人⁴, 新谷 政己^{1,2,3,5} (¹静大・工, ²静大院・創造, ³静大院・総合科技, ⁴感染研・薬剤耐性研究センター, ⁵静大・グリーン研)

2B4a10 接合伝達性プラスミド RP4 を用いた好アルカリ菌への遺伝子導入法の確立

11:17 ○山本 純子, 片岡 正和^{1,2} (¹信州大院生命医工, ²応用微生物学ルネサンスセンター)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

2B4a11 枯草菌の超高効率自然形質転換法の開発と応用

11:36 ○赤沼 元気¹, 河村 富士夫^{2,3}, 相馬 亜希子², 鈴木 祥太^{3,4}, 佐藤 勉⁴ (¹学習院大理, ²千葉大園芸, ³立教大理, ⁴法政大生命)

2B4a12 好熱性真正細菌 *Geobacillus* sp. Kps3 における 2 つのイントロン含有 Flagellin 遺伝子とホーミングエンドヌクレオアーゼ遺伝子の構造と機能

11:47 ○石塚 盛雄¹, 中原 悠輔¹, 石田 達矢¹, 馬野 航¹, 石橋 奈々¹, 早川 准平¹, 粟井 貴子¹, 赤沼 元気² (¹中央大理工, ²学習院大理)

2B4a13 複合培養における色素生産応答に関する *sco1842* 遺伝子の機能解析

11:58 ○久保木 紗梨¹, LEI YUKUN², 浅水 俊平^{2,3}, 尾仲 宏康^{1,2} (¹学習院大理, ²東大院農, ³神戸大先端バイオ)

2B4a14 少数放線菌 *Actinoplanes missouriensis* において

sortase により細胞壁に局在する細胞表層タンパク質 AMIS_68180 は正常な胞子形成に必須である

12:09 ○譚 鑄文¹, 手塚 武揚^{1,2}, 大西 康夫^{1,3} (¹東大院・農生科・応生工, ²北里大・感染制御, ³東大・微生物イノベ連携機構)

B4 会場 午後の部(13:50～16:40)

微生物-遺伝子-構造、機能/代謝-代謝経路、メタボローム-

p01～p05 発表者の接続時間 13:42～13:50

2B4p01 *Brevibacillus* 属細菌における「忌避」の微生物間相互作用

13:50 ○河野 日向子, 村上 周一郎 (明治大農)

2B4p02 ニワトリ由来 *Lactobacillus crispatus* 菌株がもつ高分子 S-layer タンパク質の特性と抗原運搬体への応用

14:01 ○三崎 彩, 横田 健治, 梶川 揚申 (東農大院応生)

2B4p03 分裂酵母の温度感受性変異株を用いた胞子形成に関する新規遺伝子の探索

14:12 ○小林 京五, 中村 太郎 (大阪公立大院理)

2B4p04 分裂酵母の胞子細胞膜形成に関する生育に必須な SPB タンパク質の同定

14:23 ○久永 里梨, 中村 太郎 (大阪公立大院理)

2B4p05 Role of Mar1, an HMG-box protein, in the adsorption to *n*-alkane and cell morphology in the dimorphic yeast *Yarrowia lipolytica*

14:34 ○Simiao LIANG¹, Chiaki Ishimaru¹, Katsuro Matsuse¹, Ryo Iwama^{1,2}, Kenta Sato³, Natsuhito Watanabe¹, Satoshi Tezaki¹, Hiroyuki Horiuchi^{1,2}, Ryouichi Fukuda^{1,2} (¹Dept. of Biotechnol., Univ. of Tokyo, ²CRIM, UTokyo, ³Laboratory for Bioinformatics Research, RIKEN Center for Biosystems Dynamics Research)

p06～p10 発表者の接続時間 14:45～14:53

2B4p06 オーファン酵素遺伝子特定のための酵素機能予測モデルの開発

14:53 ○廣田 佳亮, 山田 拓司 (東工大)

2B4p07 DNA 修復関連タンパク質 DR0042 の発現・精製

15:04 ○井上 光誠¹, 坂井 雅², 鳴海 一成¹ (¹東洋大, ²農工大院)

2B4p08 *Rubrobacter radiotolerans* の突然変異解析

15:15 ○川崎 一輝, 久保 彩, 鳴海 一成 (東洋大・生命)

2B4p09 *Geobacillus kaustophilus* における染色体挿入型ベクターの異常複製

15:26 ○服部 未澄¹, 大城 隆^{2,3}, 鈴木 宏和^{2,3} (¹鳥取大院・持続性, ²鳥取大・工, ³鳥取大・GSC)

2B4p10 IV 型分泌装置の構成因子 TrbB は TraR による ICE_{KK-S102}Tn4677 の切り出し活性化に関する

15:37 ○松本 哲, 岸田 康平, 永田 裕二, 大坪 嘉行 (東北大院・生命)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

2B4p11 超好熱菌 *Thermococcus kodakarensis* の硫黄非含有合成培地における生育条件の探索

15:56 ○松村 聰一郎, 折田 和泉, 福居 俊昭 (東工大・生命理工)

2B4p12 超好熱アーキア *Thermococcus kodakarensis* 改変株におけるヌクレオシド依存増殖の解析

16:07 ○西田 哲, 陳 陽子, 折田 和泉, 福居 俊昭 (東工大・生命理工)

2B4p13 ニッケル欠乏環境に適応したメタン生成代謝の変化

16:18 ○野村 駿介^{1,2}, 嶋 盛吾¹ (¹マックスプランク陸生微生物学研究所, ²旭化成ファーマ株式会社)

2B4p14 アグマチンおよびオルニチンをブトレッシンに変換する腸内細菌の探索

16:29 ○網 優太¹, 瀧原 速仁², 奥田 修二郎², 栗原 新¹ (¹近畿大院生物理工, ²新潟大医学)

B5会場 午前の部(9:30~11:28)

有機化学、天然物化学—作用機構、構造と活性—

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

2B5a01 久慈産琥珀から得られる spirolactone norditerpenoid の肝細胞における糖新生抑制作用

9:30 ○吉田 潤¹, 工藤 唯², 伊藤 芳明², 木村 賢一² (1岩手医大・教養教育, ²岩手大院・総合科学)

2B5a02 食用ほおずきに含まれる新規 withanolide 硫酸エステルの同定と生物学的役割

9:41 ○上杉 祥太¹, 越野 広雪², 箱崎 真友佳¹, 菅野 裕子¹, 菅原 英範¹, 鈴木 瑞季³, 白石 朗子¹, 結城 彩花¹, 木村 賢一³, 矢野 明¹ (1岩手生工研, ²理研CSRS, ³岩手大院・総合科学)

2B5a03 がん細胞の中心体クラスタリング阻害活性を有する kolavenic acid analog の構造活性相関

9:52 ○古山 達貴¹, 西殿 悠人^{2,3}, 湯川 格史^{4,5}, 田中 謙², 木村 賢一¹ (1岩手大院・総合科学, ²立命館大・薬学部, ³立命館大・総合科学技術研究機構, ⁴広島大院・統合生命科学, ⁵広島大・健康長寿研究拠点 (HiHA))

2B5a04 ハマゴウに含まれるジテルペノン類の単離、構造決定、ならびに生物活性評価

10:03 ○花木 祐輔, 安部 凜太郎, 岩瀬 二千翔, 杉山 康憲, 原 康雅, 柳田 亮 (香川大農)

2B5a05 フェノキサジン環を持たない新規 Actinomycin 誘導体の合成及び生物活性評価

10:14 ○山上 健太, 花木 祐輔, 原 康雅, 柳田 亮 (香川大農)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

2B5a06 ペルヒドロヒストリオニコトキシン類のニコチン性アセチルコリン受容体に対する阻害活性の構造活性相関

10:33 ○森 澄海人¹, 西川 慶祐², 小野 陽介², 松村 匠浩², 高山 浩一¹, 伊原 誠¹, 松田 一彦¹, 森本 善樹² (1近畿大農, ²阪公大院理)

2B5a07 ネオニコチノイドとの相互作用におけるショウジョウバエの D α 4 および D β 3 サブユニットの役割

10:44 ○高山 浩一¹, 小森 勇磨¹, 伊原 誠¹, SATTELLE David B², 松田 一彦¹ (1近畿大農, ²UCL)

2B5a08 セイヨウミツバチのニコチン性アセチルコリン受容体の機能的発現と薬理特性に対する補助因子の効果

10:55 ○伊原 誠, 高山 浩一, 伊藤 稔, 森 澄海人, 武林 真由花, 江川 瑞夏, 山本 新菜, 木村 裕紀, 松田 一彦 (近畿大農)

2B5a09 計算化学を用いた昆虫キチン合成阻害剤の結合部位予測

11:06 森 湖太郎¹, 宮下 正弘¹, 池口 満徳², 森 聰一朗³, 柴田 哲男³, ○中川 好秋¹ (1京大院農, ²横浜市大, ³名工大工)

2B5a10 分裂酵母 *Schizosaccharomyces pombe* においてペント

デカン酸が誘導する脂肪毒性

11:17 ○星川 陽次郎^{1,2}, 代田 夏帆², 松山 晃久^{1,3}, 木村 聰¹, LI Sheena^{3,4}, 八代田 陽子³, BOONE Charles^{3,4}, 津川 裕司^{3,5,6,7}, 有田 誠^{6,7,8}, 吉田 稔^{1,3,9}, 西村 健一^{1,2,9} (1東大院・農, ²広島大院・統合生命, ³理研CSRS, ⁴トロント大・ドネリーセンター, ⁵東農工大院・工, ⁶理研IMS, ⁷横市大院・生命医, ⁸慶大院・薬, ⁹東大・微生物連携機構)

B5会場 午後の部(14:01~16:40)

有機化学、天然物化学—作用機構、構造と活性—

p02~p05 発表者の接続時間 13:53~14:01

2B5p02 カブサイシンはアラキドン酸カスケードにより TR-PA1 を間接的に活性化しタイトジャンクションを開口する

14:01 ○南雲 陽子^{1,2}, 神田 祐輔⁴, 向山 海風⁴, 白井 健郎^{1,3} (1筑波大生命環境系, ²筑波大地中海・北アフリカ研究センター, ³筑波大微生物サステイナビリティ研究センター, ⁴筑波大生命農学)

2B5p03 細胞膜透過性改善技術による天然ペプチド化合物の潜在的生理活性の探索

14:12 ○兼田 康平, 小倉 知也, 鈴木 海渡, 長谷部 文人, 丸山 千登勢, 濱野 吉十 (福井県大院生物資源)

2B5p04 PIECE 法による微生物細胞内へのタンパク質 / 酵素の直接導入法の開発

14:23 ○大塚 早葉¹, 兼田 康平¹, 長谷部 文人¹, 丸山 千登勢¹, 荒川 賢治², 濱野 吉十¹ (1福井県大院生物資源, ²広島大院統合生命)

2B5p05 計算機予測に基づくランカサイジンのエステル化および抗腫瘍活性評価

14:34 ○岡野 茂衣¹, 西浦 菜摘¹, DO Kiep Min², 森田 洋行², AYOUN Ahmed Taha³, 荒川 賢治¹ (1広島大院・統合生命, ²富山大・和漢研, ³HToO Bioscience)

p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53

2B5p06 4-8 結合型プロアントシアジン立体配座に関する自由エネルギー地形の分子シミュレーション解析

14:53 ○上田 稔淳¹, 河原 岳志^{1,2}, 真壁 秀文^{1,2,3}, 梅澤 公二^{1,2,3} (1信大・農, ²信大院・総合理工, ³信大・バイオ研)

2B5p07 3つのラブダン型ジテルペノイドの核内受容体 constitutive androstanone receptor に対する活性

15:04 ○関口 光広, 藤浪 佑衣, 高土 恵有, 木本 祐, 東村 泰希 (石川県立大学)

2B5p08 環状ペプチドマルホルミン類は血管内皮細胞による uPA 活性上昇を誘導する

15:15 ○小泉 幸央¹, 長井 賢一郎², 蓮見 恵司³ (1秋田大院医, ²北里大薬, ³東京農工大院農)

2B5p09 Pseudodeflectusin の構造活性相関と結合タンパク質の探索

15:26 ○山本 由珠, 鈴木 景, 古山 祐貴, 倉持 幸司 (東理大)

2B5p10 Accumulation and bioactivities of CAF 603 in filamentous fungus

15:37 ○WEN ZHANG, Akinori Soga, Yuta Murai, Makoto Hashimoto (The University of Hokkaido)

p11~p14 発表者の接続時間 15:48~15:56

2B5p11 エポキシド不斉開環反応を触媒する植物由来有機分子触媒の発見-1: 触媒作用へのラムノガラクツロナン側鎖部分の関与

15:56 ○加藤 康夫^{1,3}, 和田 浩一², 日比 慎^{1,3}, 浅野 泰久¹, 山本 佳樹³, 浅野 健裕², 竹内 祐希² (1富山県大・生医工研セ, ²協和ファーマケミカル(株), ³富山県大院・工)

2B5p12 エポキシド不斉開環反応を触媒する植物由来有機分子触媒の発見-2: 触媒作用への β -1,4-D-ガラクタンの関与

16:07 ○和田 浩一¹, 日比 慎², 加藤 康夫², 榎 純一², 竹内 祐希¹, 浅野 健裕¹ (1協和ファーマケミカル(株), ²富山県大・生医工研セ)

2B5p13 エポキシド不斉開環反応を触媒する植物由来有機分子触媒の発見-3: β -1,4-D-ガラクタン重合度と触媒活性の関係

16:18 ○日比 慎¹, 和田 浩一², 加藤 康夫¹, 榎 純一², 大坂 一生¹, 浅野 健裕², 竹内 祐希² (1富山県大・生医工研セ, ²協和ファーマケミカル(株))

2B5p14 アジサイの青色に関わるアントシアニン錯体の極低温気相分光

16:29 ○濱田 昇賢, 村松 悟, 井口 佳哉 (広島大院先進)

C1会場 午後の部(14:01~15:48)

環境科学・バイオマス利用—資源変換, 資源再生利用—

p02~p05 発表者の接続時間 13:53~14:01

2C1p02 生物の石灰化におけるプロトン輸送メカニズムの解明

14:01 ○長尾 順己¹, 竹内 猛², 加藤 由悟³, 鈴木 道生³ (東大農, 沖縄科学技術大学院大学, 東大院農)

2C1p03 円石に含まれるCa結合能を持つタンパク質の探索

14:12 ○木村 龍太郎¹, 浪川 勇人¹, 根岸 瑠美², 長坂 征治³, 胡桃坂 仁志², 加藤 由悟¹, 鈴木 道生¹ (東大院農, 東大定量研, 東洋大生命科学)

2C1p04 CO₂固定技術の開発に貢献するバイオミネラル粉末の機能解析

14:23 ○浪川 勇人, 鈴木 道生 (東大院農)

2C1p05 生物活性向上を指向したアルギニンオリゴマー結合型ゼルンボン誘導体の合成

14:34 ○石原 恵奈, 柏崎 玄伍, 井坂 くるみ, 北山 隆 (近畿大院農)

p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53

2C1p06 オウレン根圈土壤由来新規ベルペリン資化性菌の単離

14:53 ○小池 音寧, 武田 尚, 若菜 大悟, 堀内 正子, 細江 智夫 (星薬大)

2C1p07 カンプトテシン資化性菌の単離と特性

15:04 ○武田 尚, 鈴木 ひとみ, 離子波樹, 若菜 大悟, 堀内 正子, 須藤 浩, 細江 智夫 (星薬大)

2C1p08 ジブロモゼルンボン誘導体の反応性を利用した多環式化合物の構築

15:15 ○池上 劍生¹, 柏崎 玄伍¹, 西澤 拓未¹, 吉川 知美¹, 河合 靖², 土田 敦子³, 北山 隆¹ (近畿大院農, 長浜バイオ, 埼玉医大)

2C1p09 新規機能性物質創製に向けて: 光学活性をもつキラルゼルンボン誘導体の創製

15:26 ○鈴木 基元¹, 柏崎 玄伍¹, 本村 亘¹, 河合 靖², 北山 隆¹ (近畿大院農, 長浜バイオ)

2C1p10 植物化学物質であるゼルンボンから誘導体化された高反応性アレン型ゼルンボンの Brønsted 酸誘導による渡環反応

15:37 ○中村 蒼¹, 柏崎 玄伍^{1,2}, 渡辺 凌², 北村 優斗², 西川 慎太郎¹, 吉村 寛太², 河合 靖³, 土田 敦子⁴, 北山 隆¹² (近畿大院農, 近畿大院農, 長浜バイオ, 埼玉医大)

C2会場 午前の部(9:30~12:20)

有機化学, 天然物化学—単離構造決定(微生物)—

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

2C2a01 異種発現 *Streptomyces lividans* TK23 を利用した新規アンスラキノン化合物の取得

9:30 ○坂井 克行, 二村 友史, 野川 俊彦, 越野 広雪, 長田 裕之, 高橋 俊二 (理研 CSRS)

2C2a02 Expression of Syo_1.56 SARP Regulator Unveils Potent Elasnin Derivatives with Antibacterial Activity

9:41 ○Islam Adel Abdelhakim Amin^{1,2}, Yushi Futamura³, Yukihiro Asami⁴, Hideaki Hanaki⁴, Naoko Kito¹, Sachiko Masuda⁵, Arisa Shibata⁵, Ken Shirasu⁵, Hiroyuki Osada³, Jun Ishikawa⁶, Shunji Takahashi^{1,7} (Natural Product Biosynthesis Research Unit, RIKEN CSRS, Department of Pharmacognosy, Faculty of Pharmacy, Assiut University, Chemical Resource Development Research Unit and Drug Discovery Chemical Bank Unit, RIKEN CSRS, Ōmura Satoshi Memorial Institute, Kitasato University, Plant Immunity Research Group, RIKEN CSRS, National Institute of Infectious Diseases, Graduate School of Science and Engineering, Saitama University)

2C2a03 CTX3C 同族体, 51-hydroxyCTX3C のプロダクトイオンの帰属ならびに 51-OH 同族体のシグナル識別

9:52 ○鵜飼 亮介¹, 内田 秀明², 菅谷 純一³, 小野瀬 淳一³, 大城 直雅⁴, 阿部 直樹³, 安元 健⁵ (東大院農・健康, アジレント・テクノロジー, 東農大・健康, 国立医薬品食品衛生研究所, 食品分析セ)

2C2a04 栗国島産未記載種海洋シアノバクテリア由来 Terukufazoline 類の単離, 構造決定, 生物活性および全合成

10:03 ○田口 黎武¹, 海老原 玲¹, 恒松 雄太³, Ghulam Jeelani⁴, 野崎 智義⁴, 末永 聖武¹, 岩崎 有紘² (慶大理工, 中央大理工, 大院生命農, 東大医大)

2C2a05 赤潮由来渦鞭毛藻 *Karenia selliformis* の増殖を亢進するバクテリア成分の同定

10:14 ○恒松 雄太¹, 尾崎 俊希¹, 前田 直哉¹, 鈴木 重勝², 藤田 雅紀³, 北 将樹¹, 河地 正伸² (名大院生命農, 国立環境研究所, 北大院水産)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

2C2a06 フェアリー化合物のキノコホルモン候補として化学的研究

10:33 ○吳 静^{1,2}, 吉川 蒼人¹, 崔 宰熏^{2,3}, 平井 浩文^{2,3}, 河岸 洋和^{1,2} (静大農, 静大キノコ科学研究所, 静大共創)

2C2a07 フェアリー-リング形成菌とノシバとの化学的相互作用

10:44 ○スヌワル アルビン¹, 崔 宰熏^{1,2,3,4,5}, 平井 浩文^{1,2,3,4,5}, 河岸 洋和^{3,5} (静大院・創造, 静大・共創, 静大・農, 静大・グリーン研, 静大・キノコ研)

2C2a08 サナギタケ (*Cordyceps militaris*) 由来の新規フェアリー化合物誘導体の探索

10:55 ○森井 風詩¹, 崔 宰熏^{1,2,3,4}, 鈴木 智大^{3,5}, 道羅 英夫^{3,4}, 平井 浩文^{1,2,3,4}, 河岸 洋和^{1,3} (静大農, 静大共創, 静大キノコ研, 静大グリーン研, 宇大バイオ)

2C2a09 きのこ由来シロキクラゲ菌糸体誘導物質の探索

11:06 ○小林 太洋, ナンタワン カオニウォン, 會見 忠則, 一柳 剛 (鳥取大農)

2C2a10 キクラゲ抗白癬菌物質の探索

11:17 ○一柳 剛¹, 宋 晟遙², 山本 悠輝², 平田 智基³, 會見 忠則¹ (鳥取大農, 鳥取大院持続性社会創成, 鳥取大連農)

a11~a14 発表者の接続時間 11:28~11:36

2C2a11 Isolation, structure elucidation, and biological activities of sesquiterpenes and phthalides from two edible mushrooms *Pleurotus* species

11:36 ○Jewel De Padua¹, Emi Fukushima Sakuno², Kotomi Ueno³, Thomas Edison dela Cruz⁴, Atsushi Ishihara³ (The United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University, The Tottori Mycological Institute, The Japan Kinoko Research Center Foundation, Faculty of Agriculture, Tottori University, Department of Biological Sciences, College of Science, University of Santo Tomas)

2C2a12 Identification of two phthalide derivatives and an oxindole compound isolated from the edible mushroom *Pleurotus ostreatus* and their inhibitory activities against plant pathogenic microorganisms

11:47 ○Enrico Cabutaje¹, Kotomi Ueno², Kumiko Osaki-Oka², Kazutaka Kido², Thomas Edison dela Cruz³, Atsushi Ishihara² (¹The United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University, ²Faculty of Agriculture, Tottori University, ³Department of Biological Sciences, College of Science, University of Santo Tomas)

2C2a13 コガネタケ培養物からの揮発性抗菌物質の単離

11:58 ○田中智也¹, 下田 紗美子², 宮崎 つぐみ³, 徳本 健人³, 田澤 寿明³, 大崎 久美子², 石原 亨² (¹鳥大院持社創生, ²鳥大農, ³エステー株式会社)

2C2a14 コウタケ属キノコ ケロウジ由来新規抗炎症活性ジテルペノイド sarcodonin 類の単離・構造決定, 構造活性相関研究

12:09 ○河村 篤¹, 飯田 優希², 北 将樹³, 真壁 秀文^{1,2} (¹信大バイオメディカル研, ²信大院総理工・農, ³名大院生命農)

C2 会場 午後の部(13:50~16:40)

有機化学, 天然物化学 一単離構造決定(動物, 植物)一

p01~p05 発表者の接続時間 13:42~13:50

2C2p01 インディカ種イネが生産するストリゴラクトン

13:50 ○井上 美智, 王 梢鳳, 野村 崇人, 謝 肖男 (宇大バイオ)

2C2p02 ササゲの生産するストリゴラクトンの単離と構造解析

14:01 ○阿部 恵生¹, 本間 大翔¹, 若林 孝俊^{1,2}, 滝川 浩郷², 水谷 正治¹, 杉本 幸裕¹ (¹神戸大院農, ²東大院農生科)

2C2p03 酵母ユビキチンリガーゼ Rsp5 変異株を用いた久慈産琥珀由来の生物活性物質の探索

14:12 ○丹場 晴也¹, 越野 広雪², 野川 俊彦², 今井 央由², 高木 博史³, 木村 賢一¹ (¹岩手大院・総合科学, ²理研CSRS, ³奈良先端大・バイオ)

2C2p04 スペイン産琥珀と久慈産琥珀の生物活性物質の構造と活性の比較研究

14:23 ○笛本 啓将¹, 鈴木 瑞季¹, 越野 広雪², CESER Menor-Salvan³, 木村 賢一¹ (¹岩手大院・総合科学, ²理研CSRS, ³Alcala大学)

2C2p05 珪化木の遺伝子破壊酵母に対する生物活性と活性物質の同定

14:34 ○田端 菜々海, 木村 賢一 (岩手大院・総合科学)

p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53

2C2p06 動物性餌としてコオロギに認識される化合物の精製

14:53 ○清家 瞳, 水田 晋治 (東大院新領域)

2C2p07 ハネカクシから初めて同定された(7R)-actinidine の生合成経路と生理活性

15:04 ○高谷 佑生¹, 大畑 勇統², 丸山 宗利³, 森 直樹² (¹京大農, ²京大院農, ³九大博)

2C2p08 オキナワフグ (*Chelonodon patoca*)由来の新規テトロドトキシン類縁体の単離, 構造決定(2)

15:15 ○青沼 栄里¹, 工藤 雄大^{2,1}, 長 由扶子¹, 此木 敬一¹, 山下 まり¹ (¹東北大院農, ²東北大學際研)

2C2p09 日本産二枚貝のテトロドトキシンの定量と類縁体の同定

15:26 ○松井 蘭丸¹, 八巻 慶汰¹, 工藤 雄大^{2,1}, 長 由扶子¹, 此木 敬一¹, 山下 まり¹ (¹東北大院農, ²東北大學際研)

2C2p10 致死性海藻中毒原因物質ポリカバノシド類の新規類縁体の推定構造

15:37 ○青木 玲翔¹, 岩崎 浩太郎², 佐々木 理², 川島 悠岐², 工藤 雄大^{3,1}, 長 由扶子¹, 此木 敬一¹, 佐々木 誠², 山下 まり¹ (¹東北大院農, ²東北大院生命科学, ³東北大學際研)

p11~p14 発表者の接続時間 15:48~15:56

2C2p11 ショウガから単離した新規含窒素ラブダン型ジテルペン類の構造解析

15:56 ○武永 朋巳¹, 大坪 弘樹¹, 藤本 崇², 筒井 歩³, 藤田 智之³ (¹信州大院総理工, ²明星大理工, ³信州大農)

2C2p12 ショウガから単離した新規ラブダン型ジテルペノイドの生成機構の解明

16:07 ○村上 智拓¹, 武永 朋巳², 大坪 弘樹², 筒井 歩^{1,2}, 藤田 智之^{1,2} (¹信州大農, ²信州大院総理工)

2C2p13 マウンテンキャビア由来新規アシル化フランノイド配糖体の化学構造およびDPP-IV 阻害活性

16:18 ○竹田 翔伍¹, 下田 博司¹, 萬瀬 貴昭², 森川 敏生^{2,3} (¹オリザ油化株式会社, ²近畿大・薬総研, ³近畿大・アンチエイジングセ)

2C2p14 米由来新規アシル化グルコシルセラミドの化学構造および表皮保湿作用

16:29 ○米田 朱里¹, 竹田 翔伍¹, 萬瀬 貴昭², 下田 博司¹, 森川 敏生^{2,3} (¹オリザ油化株式会社, ²近畿大・薬総研, ³近畿大・アンチエイジングセ)

C3 会場 午前の部(9:30~12:20)

環境科学・バイオマス利用—バイオマス, バイオマス変換, バイオ燃料, バイオ化成品—

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

2C3a01 *Acinetobacter* 属細菌の 2-フェノキシアセトフェノン変換を担う酵素遺伝子の同定

9:30 ○中川 永理¹, 羽部 浩², 古屋 俊樹¹ (¹東京理科大院・創域理工, ²産総研・環境創生)

2C3a02 糸状菌 *Talaromyces cellulolyticus* の糖化酵素遺伝子発現に関わる転写因子の機能分類

9:41 ○藤井 達也, 森田 友岳 (産総研・機能化学)

2C3a03 草食性陸ガニの生産するリグニン分解酵素群の解析

9:52 ○三宅 克英, 北 健, 水野 利春, 鈴木 壱士 (名城大理工)

2C3a04 褐藻主要多糖アルギン酸からの油脂生産を目指した油糧酵母 *Yarrowia lipolytica* におけるエキソ型アルギン酸リアーゼの細胞外発現

10:03 北村 友香¹, 橋本 渉², ○河井 重幸¹ (¹石川県立大, ²京大院農)

2C3a05 酵母 *Saccharomyces cerevisiae* へのセルラーゼ生産能の付与

10:14 ○松崎 浩明, 上原 直己, 江副 佑策, 美野 将伴 (福山大生命工)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

2C3a06 Microaerobic insights into production of polyhydroxyalkanoates containing 3-hydroxyhexanoate via native reverse β -oxidation from glucose in *Ralstonia eutropha* H16

10:33 ○KAI HEE HUONG, IZUMI ORITA, TOSHIAKI FUKUI (Tokyo Inst. of Tech.)

2C3a07 水電気分解と気相閉鎖循環型リアクターを用いた *Ralstonia eutropha* 改変株による CO₂ からの共重合ポリヒドロキシアルカン酸生合成

10:44 ○福居 俊昭¹, Di Stadio Gabriele¹, 中村 龍平^{2,3}, 折田 和泉¹ (¹東工大生命理工, ²東工大地球生命研, ³理研)

2C3a08 食品加工残渣を用いたハロモナス属細菌による PHB 生産

10:55 ○中島 亜純¹, 弘埜 陽子¹, 岡崎 文美², 伸山 英樹³, 原 清敬¹ (¹静県大食栄, ²三重大院生資, ³長崎大)

2C3a09 東南アジア原産リグノセルロース系バイオマスを原料とした PHB 生産

11:06 ○荒井 隆益¹, 藍川 晋平¹, Sudesh Kumar², Fazita MR Nurul², Cheu Peng Leh², Haafiz MK Mohamad², Guan Seng Tay², 小杉 昭彦¹ (1国際農研, 2マレーシア理科大)

2C3a10 非プロトン性ポリエーテルによる微生物産生ポリヒドロキシアルカン酸の分子量低下効果の解析

11:17 ○田中 聖也¹, 蜂須賀 真一², 菊川 寛史², 松本 謙一郎² (1北大院総化, 2北大院工)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

2C3a11 水素酸化細菌の独立栄養条件でのジャー培養における発泡要因

11:36 ○田中 賢二¹, 鈴木 慎一郎² (1近大産理工, 2電源開発)

2C3a12 *Megasphaera elsdenii* を用いた水素生産システムの長期運転過程の発酵性状

11:47 ○石川 瑞季, 曽 厚嘉, 藤本 尚志, 大西 章博 (東京農大)

2C3a13 遺伝子組換え *Rhodobacter sphaerooides* によるグルコースからの水素生産検討

11:58 ○徳山 秀太¹, 清水 哲², 乾 将行^{1,2} (1奈良先端大・バイオ, 2RITE)

2C3a14 高集積化酵素複合体を用いた CO₂ を資源とするエチレン生産

12:09 ○神藤 定生¹, 陳 韶華³, 犬野 隼大², 松岡 茜², 徳田 千優², 竹内 一矢², 立松 正眞², 田村 廣人² (1名城大理工, 2名城大農, 3エボリューション株式会社)

C3 会場 午後の部(13:50～16:40)

環境科学・バイオマス利用—環境保全, 処理技術工学, バイオレメディエーション, 環境汚染物質—

p01～p05 発表者の接続時間 13:42～13:50

2C3p01 マイクロバイオーム解析により明らかとなる生分解性と非生分解性有機化合物の差異

13:50 ○林 拓矢¹, 鈴木 美和², 細谷 健一^{1,2}, 高橋 講平³, 野崎 京子³ (1群大院理工, 2群大食健セ, 3東大院工)

2C3p02 天然化合物を含むポリブチレンスキンシートの海洋生分解性

14:01 ○太田 美乃里¹, 鈴木 美和², 石井 俊一³, 鹿島 裕之³, 権田 昂平¹, 石谷 佳之³, 橋 熊野^{1,2}, 細谷 健一^{1,2} (1群大院理工, 2群大食健セ, 3海洋機構)

2C3p03 移動性細菌 *Paenibacillus* sp. NK-L2 株が有機塩素系殺虫剤分解細菌株を運ぶヒッチハイク現象

14:12 ○松添 華子, 岸田 なつみ, 加藤 広海, 岸田 康平, 大坪 嘉行, 永田 裕二 (東北大院・生命科学)

2C3p04 微小結晶蛍光測定法および一細胞技術によって得られた多環芳香族化合物分解菌の解析

14:23 ○ベハラノ フェリペ¹, 水口 千穂^{1,2}, 岡田 憲典¹, PINYAKONG Onruthai³, 野尻 秀昭^{1,2} (1東大院・農生科・AgTECH, 2東大・微生物連携機構, 3Chulalongkorn Univ.)

2C3p05 Intermediates accumulation on pyrene degradation within pyrene-degrading bacterial consortia

14:34 ○Yuanhao ZHU¹, Felipe VEJARANO¹, Chiho SUZUKI-MINAKUCHI^{1,2}, Kazunori OKADA¹, Onruthai PINYAKONG³, Hideaki NOJIRI^{1,2} (1AgTECH, Grad. Sch. Agric. Life Sci., UTokyo, 2CRIIM, UTokyo, 3Chulalongkorn Univ.)

p06～p10 発表者の接続時間 14:45～14:53

2C3p06 高活性リグニン分解菌 *Phanerochaete sordida* YK-624 によるネオニコチノイド系殺虫剤 imidaclothiz 代謝機構の解析

14:53 ○松浦 瑠夏¹, 殷 茹², 呉 静^{3,4}, 長井 薫⁵, 森 智夫^{3,4}, 河岸 洋和^{3,4}, 平井 浩文^{6,7} (1静大学院, 2静大創造院, 3静大農, 4静大キノコ研, 5京府生命環境, 6静大グローバル共創, 7静大グリーン研)

2C3p07 高活性リグニン分解菌 *Phanerochaete sordida* YK-624 株による loxoprofen 分解機構の解析

15:04 ○殷 茹¹, 呉 静^{2,3}, 長井 薫⁴, 森 智夫^{2,3}, 河岸 洋和^{2,3}, 平井 浩文^{3,5,6} (1静大創造院, 2静大農, 3静大キノコ研, 4京府大生命環境, 5静大グローバル共創, 6静大グリーン研)

2C3p08 高活性リグニン分解菌 *Phanerochaete sordida* YK-624 株による ibuprofen 分解機構の解説

15:15 ○朴 苑喜¹, 呉 静^{2,3}, 森 智夫^{2,3}, 河岸 洋和^{2,3}, 平井 浩文^{3,4,5} (1静大学院, 2静大農, 3静大キノコ研, 4静大グローバル共創, 5静大グリーン研)

2C3p09 細菌由来の有機塩素系殺虫剤 γ -HCH 分解酵素を発現する形質転換シロイスナズナの作製と評価

15:26 ○鄧 文昊, 高田 美信, 岸田 康平, 大坪 嘉行, 渡辺 正夫, 永田 裕二 (東北大院・生命科学)

2C3p10 *Comamonas thiooxydans* R2 株におけるフェノール分解と機能的分化

15:37 ○鈴木 研志^{1,2}, 上原 悠太郎³, 水口 千穂^{1,2}, 栗栖 太⁴, 二又 裕之^{5,6,7}, 野尻 秀昭^{1,2} (1東大院・農生科, 2東大・微生物連携機構, 3東大院・工, 4東大院・工・水環セ, 5静大院・創造, 6静大院・総合科技, 7静大・グリーン研)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

2C3p11 フェノールの分解及びフェノール分解産物を基質とする PHA の生産に関する研究

15:56 ○大上 嵩洋, 張 倍喆 (室蘭工業大学大学院)

2C3p12 *Ralstonia* sp. C1 株による PHB 分解及び生産に関する研究

16:07 ○張 倍喆 (室工大院)

2C3p13 海洋からのプラスチック分解菌の単離

16:18 ○沼田 真吾¹, 東端 啓貴^{1,2} (1東洋大生命, 2東洋大学バイオレジリエンス研究プロジェクト)

2C3p14 陸域からのプラスチック分解菌の単離

16:29 ○中島 華子¹, 東端 啓貴^{1,2} (1東洋大院生命, 2東洋大学バイオレジリエンス研究プロジェクト)

C4 会場 午前の部(9:30～12:20)

有機化学, 天然物化学—合成, 反応機構—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

2C4a01 トウモロコシが産生するフィトアレキシン zealexin 類の合成研究

9:30 ○栗原 洋, 石井 航平, 飯嶋 章太, 松島 芳隆 (東京農業大学・農芸化学)

2C4a02 HSP70 誘導活性を有する Persenone 類の合成研究

9:41 ○小野 桜, 伊木 あゆ美, 小田 花音, 山本 彩羽, 藤巻 貴宏, 松島 芳隆 (東京農業大学・農芸化学)

2C4a03 Valinophos および DHPPA ジペプチドの合成研究

9:52 ○中村 皓毅¹, 松島 芳隆² (1乙卯研究所, 2東京農業大学)

2C4a04 アルキリデン保護基を活用する立体選択的な庄野酸化の開発

10:03 ○赤羽 晋之介, 森住 春香, 北野 克和, 岡田 洋平 (東農工大)

2C4a05 光ラジカル環化反応を用いたジヒドロベンゾフラン骨格を有する蛍光色素の合成

10:14 ○門倉 旦宗¹, 王子栄¹, 堀口 元規², 北野 克和¹, 岡田 洋平¹ (¹東農工大, ²産総研)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

2C4a06 生合成模倣戦略による *citrifuran A* の合成研究

10:33 ○後藤 悠友¹, 町屋 純佳¹, 奥村 太知², 岡 悠介¹, 石橋 理¹, 塩野 義人³, 目黒 康洋¹, 桑原 重文¹, 榎本 賢¹ (¹東北大院農, ²東北大院農, ³山形大農)

2C4a07 *Alchivemycin* 類のポリオール部位の合成研究

10:44 ○石橋 理¹, 権 垣相², 目黒 康洋¹, 桑原 重文¹, 榎本 賢¹ (¹東北大院農, ²東北大院理)

2C4a08 メロテルペノイド型天然物の網羅的全合成

10:55 ○目黒 康洋, 小宅 真理, 榎本 賢, 桑原 重文 (東北大院農)

2C4a09 Birch 還元-アルキル化を用いた *ent*-カウレンの合成研究

11:06 ○阪野 健太¹, 深谷 圭介^{1,2}, 占部 大介^{1,2} (¹富山県大工, ²富山県大生医工研セ)

2C4a10 ホルモサリド A C1-C21 フラグメントの合成研究

11:17 ○伊藤 陽奈¹, 茂住 梨沙¹, 深谷 圭介^{1,2}, 占部 大介^{1,2} (¹富山県大工, ²富山県大生医工研セ)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

2C4a11 *Pseudosporamide* 類の合成研究

11:36 ○菊田 依乃¹, 桂川 美咲¹, 深谷 圭介^{1,2}, 占部 大介^{1,2} (¹富山県大工, ²富山県大生医工研セ)

2C4a12 Synthesis and structural elucidation of antatollamide A and its derivatives

11:47 ○YITONG LI, Keigo Takamatsu, Hiroyuki Konno (Yamagata University)

2C4a13 可溶性タグを活用したペプチドの分子内環化

11:58 ○岡田 洋平, 山上 紗弓理, 北野 克和, 千葉 一裕 (東農工大)

2C4a14 ホスフィンを活用した電解ペプチド合成

12:09 ○島村 藍人, 永原 紳吾, 北野 克和, 千葉 一裕, 岡田 洋平 (東農工大)

C4 会場 午後の部(13:50～16:40)

有機化学, 天然物化学—ケミカルバイオロジー—

p01～p05 発表者の接続時間 13:42～13:50

2C4p01 抗マラリア活性を示すβ-カルボリン/クマリンハイブリッド化合物の発見

13:50 ○二村 友史¹, 長 展生¹, 喜久里 貢¹, 新倉 保², 早瀬 大貴¹, 清水 猛¹, 小林 富美恵³, 小山 裕雄¹, 渡辺 信元¹, 長田 裕之¹ (¹理研CSRS, ²杏林大・医, ³麻布大・生命・環境)

2C4p02 抗カンジダ物質 TPPB の構造活性相関とタンパク質-化合物間相互作用解析

14:01 ○青野 晴美¹, 二村 友史^{1,2}, 堀 康宏¹, 室井 誠¹, 平野 弘之¹, 本田 香織¹, 西浦 正芳¹, 侯 召民¹, 木野 邦器², 長田 裕之^{1,2,3} (¹理研CSRS, ²早大理工総研, ³静岡県立大)

2C4p03 筋分化促進ホスホロチオエート修飾オリゴ DNA の鏡像異性体に関する計算構造集団解析

14:12 ○榎本 淳也¹, 高谷 智英^{1,2,3}, 下里 剛士^{1,2,3}, 梅澤 公二^{1,2,3} (¹信大・農, ²信大院・総合理工, ³信大・バイオ研)

2C4p04 α シヌクレインを標的とした中分子核酸の開発と神経治療への応用

14:23 ○村上 一馬¹, 泉尾 直孝², 長尾 知生子³, 水口 賢司³, Chawla Esha⁴, Bitan Gal⁴ (¹京大院農, ²富山大薬, ³大阪大蛋白研, ⁴カルフォルニア大ロサンゼルス校)

2C4p05 アルコールによる Meyer-Overton 相関はタンパク質のない人工膜で成立する

14:34 ○松本 悅志², ○上園 幸史¹ (¹東大・院理・生物科学, ²九大・院理・生物)

p06～p10 発表者の接続時間 14:45～14:53

2C4p06 *Giroline* is a sequence context-specific modulator of eIF5A activity

14:53 ○Tilman Schneider-Poetsch¹, Yongjun Dang², Mayumi Arata³, Yuichi Shichino⁴, Ali Al Mourabit⁵, Celine Morrow⁵, Daniel Romo⁶, Jun O. Liu⁷, Shintaro Iwasaki^{4,8}, Minoru Yoshida^{1,9,10} (¹Chemical Genomics Research Group, RIKEN Center for Sustainable Resource Science, ²Center for Novel Target and Therapeutic Intervention, Institute of Life Sciences, Chongqing Medical University, ³Drug Discovery Seed Compounds Exploratory Unit, RIKEN Center for Sustainable Resource Science, ⁴RNA Systems Biochemistry Laboratory, RIKEN Cluster for Pioneering Research, ⁵Institut de Chimie des Substances Naturelles, CNRS UPR 2301, Univ. Paris-Sud, Université Paris-Saclay, ⁶Department of Chemistry and Biochemistry, Baylor University, ⁷Department of Pharmacology and Molecular Sciences, The Johns Hopkins University School of Medicine, ⁸Department of Computational Biology and Medical Sciences, Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo, ⁹University Professor Office, The University of Tokyo, ¹⁰Collaborative Research Institute for Innovative Microbiology, The University of Tokyo)

2C4p07 コレラ菌 Na^+ 輸送型 NADH-キノン酸化還元酵素の特異的化学修飾と動態観測

15:04 ○宮地 咲野¹, 田中 比奈子¹, 石川 萌¹, Blanca Barquera², 桧谷 貴洋¹, 村井 正俊¹, 三芳 秀人¹ (¹京大院農, ²レンセラー工科大)

2C4p08 コオロギにおける交尾直後の交尾拒否反応の sNPF による調節機構

15:15 ○祝 貞, 永田 晋治 (東大新領域)

2C4p09 ジャスモン酸イソロイシンラクトンによる植物アルカロイド生産活性化

15:26 ○奥村 太知¹, 齊藤 里菜², 加治 拓哉¹, 安部 洋³, 上田 実^{1,2} (¹東北大院理, ²東北大院生命, ³理研BRC)

2C4p10 フェアリー化合物(AOH)によるシワ改善効果

15:37 ○青島 央江¹, 伊吹 リン太¹, 河岸 洋和² (¹ビタミンC⁶⁰バイオリサーチ株式会社, ²静岡大学農学部)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

2C4p11 化合物 C の出芽酵母 *Saccharomyces cerevisiae* に対する生育阻害作用機構の解析

15:56 ○大竹 拓実¹, 松村 結衣¹, 笹本 要², 横田 智也², 荒井 孝義², 知花 博治², 笠原 浩司¹ (¹東農大院生命, ²千葉大学)

2C4p12 金属依存性プロテイン Ser/Thr ホスファターゼ 1A 新規阻害剤の阻害機構解析

16:07 ○鈴木 健友¹, 小島 駿也², 饒村 修², 大西 素子¹ (¹中部大院応生, ²中部大応化)

2C4p13 3,5-ジガロイルフラン-3-オール誘導体の3位の立体が活性やタンパク質との相互作用に与える影響

16:18 ○堀口 謙太¹, 青木 環¹, 道下 儒¹, 室井 誠³, 長田 裕之^{3,4}, 齊藤 安貴子^{1,2} (¹大阪電通大院工, ²大阪電通大工, ³理研CSRS, ⁴静岡県立大薬)

2C4p14 Ahr および Nur77 リガンドの探索とその抗ウイルス活性
16:29 ○丸山 華凜¹, 中村 洋¹, 安河内 美月¹, 大橋 啓史^{2,3,4},
中嶋 章悟^{2,3,5}, 斎藤 史季¹, 渡部 翔太¹, 村上 裕信^{1,6},
岡田 麻衣子⁷, 藤野 寛^{1,6}, 渡士 幸一^{2,3,4}, 紙透 伸治^{1,6} (1)麻布大獣
医, (2)感染研・治療薬・ワクチン開発研究センター, (3)感染研・ウイ
ルス第二部, (4)東理大理工, (5)福祉村病院 長寿医研, (6)麻布大ヒト
と動物の共生科学センター, (7)東京工科大応用生物)

C5 会場 午前の部(9:30~11:28)

微生物—細胞-栄養, 生育, 増殖, 培養/その他—

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

2C5a01 乳化した培地中の菌体の発酵生産性の検討

9:30 ○馬場 文雄 (ダイナノファー乳化発酵研究所)

2C5a02 酵母エキスの製法と乳酸菌培養への影響

9:41 ○深野 和絵, 二田 昂志郎, 周 哲, 多和田 悠貴,
齊藤 悠希, 富高 美佐, 勝又 忠与次, 松島 嶽 (三菱商事ライフ
サイエンス株式会社)

2C5a03 人工代謝経路の増強に向けた適応実験室進化と有用変異
の同定

9:52 ○井口 元太¹, 山本 啓介², 平沢 敬¹ (1)東工大生命理工,
(2)Green Earth Institute株式会社)

2C5a04 通気性培養容器による曝気を行わない好気性微生物の培
養法

10:03 ○吉田 健一¹, 横山 協佑¹, 石川 周¹,
オクテム アイシュゲル², ヴァンダイル ヤンマルタン²,
四ツ谷昌人³, 佐藤 亮介³ (1)神大イノベ, (2)フローニングン大,
(3)潤工社)

2C5a05 機械学習による微生物の選択的増殖の培地開発

10:14 ○張 抒楊, 會田 穂乃香, インベイウェン (筑波大・生
命環境)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

2C5a06 細菌の多剤耐性に影響を与える化学成分の網羅的探索

10:33 ○荒木 駿平, 會田 穂乃香, インベイウェン (筑波大・生
命環境)

2C5a07 キノン構造を有する有機触媒は酸化ストレスによる細胞
毒性を示す

10:44 ○西山 辰也², 宮本 宜英¹, 永澤 健大², 上田 賢志^{1,2} (1)日
大院・生物資源科学, (2)日大・生物資源科学)

2C5a08 遺伝子組換え型 DRHS-AFP の抗真菌活性の検討評価

10:55 ○中西 梨奈, 高塚 由美子, 山田 麗, 原 富次郎 (京大エ
ネ研)

2C5a09 子囊菌門真菌類に対する遺伝子組換え型 DRHS-AFP の
抗真菌性スクリーニング

11:06 ○岸 一輝, 高塚 由美子, 原 富次郎 (京大エネ研)

2C5a10 *Rhizoctonia solani* 菌糸融合群・亜群間における DRHS-
AFP 分泌性の違い

11:17 ○山田 麗, 高塚 由美子, 中西 梨奈, 原 富次郎 (京大エ
ネ研)

C5 会場 午後の部(14:01~16:40)

微生物—細胞-栄養, 生育, 増殖, 培養/その他—

p02~p05 発表者の接続時間 13:53~14:01

2C5p02 アンモニアガス絶対要求性放線菌 *Nocardiopsis* sp. の単
離とその生育特性

14:01 ○吉田 ナオト, 清 啓自 (宮崎大農)

2C5p03 ユニークな増殖形態を示す *Sporichthya* 属放線菌の生理
学研究

14:12 ○郭 心哲¹, 竹下 典男², 手塚 武揚^{1,3}, 大西 康夫^{1,4} (1)東
大院・農生科・応生工, (2)筑波大・生命環境系・MiCS, (3)北里大・感染
制御, (4)東大・微生物イノベ連携機構)

2C5p04 分離共培養容器を用いたサンゴ共在細菌間相互作用と生
理活性物質の解析

14:23 ○神山 真果¹, 中島 玲², 西川 有美³, 深谷 昭三⁴,
三浦 夏子^{1,2,3}, 植田 充美⁵, 片岡 道彦^{1,2,3} (1)阪府大生命環境, (2)阪
公大院農, (3)阪府大院生命環境, (4)株式会社サンキ精機, (5)京大院
農)

2C5p05 *Clostridium perfringens* の 2'-フコシルラクトース資化
に伴う病原性関連因子の誘導は *Bifidobacterium* 属細菌との共
培養によって抑制される

14:34 ○中島 有登¹, ARZAMASOV A. Aleksandr²,
阪中 幹祥¹, 村上 隆太³, 小酒井 智也¹, 吉田 圭佑³,
加藤 紀彦¹, 廣瀬 潤子⁴, 長尾 早枝子⁵, 清水 金忠^{1,3},
小田巻 俊孝^{1,3}, RODIONOV A. Dmitry²,
OSTERMAN L. Andrei², 片山 高嶺¹ (1)京大院生命, (2)Sanford
Burnham Prebys, (3)森永乳業株式会社 研究本部 基礎研究所, (4)京
女大家政, (5)長尾助産院)

p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53

2C5p06 黄色ブドウ球菌が分泌する凝乳因子の解析

14:53 ○間嶋 朱里, 下田 蒼, 戸部 隆太, 米山 裕 (東北大農)

2C5p07 細菌の増殖を特徴づける化学成分の機械学習支援型探索

15:04 ○會田 穂乃香, インベイウェン (筑波大・生命農学)

2C5p08 駿河湾表層水・深層水からのポリヒドロキシアルカン酸
分解細菌の単離および特性解析

15:15 ○蜂須賀 真一¹, 櫻井 徹生¹, 水野 匠詞¹,
百武(石井) 真奈美¹, 宮原 佑宜¹, 山崎 資之², 柚植 丈治¹ (1)東
工大物質理工, (2)静岡県水産・海洋技術研究所)

2C5p09 *Aspergillus* 属真菌に対する光触媒反応で生成する活性
酸素種の解析

15:26 ○小倉 盛史, 上田 美祐, 鈴木 智順 (東理大院生物)

2C5p10 分岐鎖脂肪酸が微生物生体膜流動性へ及ぼす影響

15:37 ○上畠 季穂, 三浦 健太郎, 森田 誠一, 西本 真琴 (和高
専)

p11~p14 発表者の接続時間 15:48~15:56

2C5p11 微生物に対する空気ファインバブルの効果に関する調査

15:56 ○岩崎 なつね¹, 豊田 健太¹, 堂本 実咲希¹, 多田 佳織²,
西内 悠祐², 則村 史歩¹, 秦 隆志², 西本 真琴¹ (1)和高専, (2)高知
高専)

2C5p12 枯草菌に対する空気ファインバブルの効果

16:07 ○豊田 健太¹, 岩崎 なつね¹, 堂本 実咲希¹, 多田 佳織²,
西内 悠祐², 則村 史歩¹, 秦 隆志², 西本 真琴¹ (1)和高専, (2)高
知高専)

2C5p13 茶えのき清酒製造における沸騰水の検討

16:18 ○西島 七海¹, 竹本 尚未¹, 佐々木 裕子², 山口 真弥³,
福田 史織⁴, 松井 徳光^{1,4,5} (1)武庫女大院食栄, (2)甲子園大栄養,
(3)中野市農業協同組合, (4)武庫女大食栄, (5)武庫女大栄養科学研究
所)

2C5p14 *Lepista nuda* に存在する ADH の特性およびワイン製造
に及ぼす影響

16:29 ○竹本 尚未¹, 鮫島 由香^{2,4}, 福田 史織³, 松井 徳光^{1,3,4}
(1)武庫女大院食栄, (2)羽衣国際大食栄, (3)武庫女大食栄, (4)武庫女大
栄養科学研究所)

C6会場 午前の部(9:30~12:20)

食品—食品機能・栄養・免疫、炎症/食品機能・栄養・アレルギー・アレルゲン—

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

2C6a01 もち麦の経口投与が免疫機能に及ぼす影響について

9:30 ○若木 学, 田村 基, 庄司 俊彦, 小堀 俊郎, 高山 喜晴, 後藤 真生 (農研機構食品研究部門)

2C6a02 新規分光学的網羅解析技術を活用した食品素材の健康機能性の評価

9:41 ○後藤 真生¹, 若木 学¹, 小堀 俊郎¹, 石川 千秋¹, 塚原 正俊², 石川(高野)祐子¹ (¹農研機構食品研, ²(株)バイオジェット)

2C6a03 ウシラクトフェリンがヒト末梢血単核球中の免疫細胞に及ぼす影響の検討

9:52 ○矢後 拓己¹, 久保 周太郎¹, 多田 明日翔¹, 織田 浩嗣¹, 岩淵 穎弘², 田中 美順¹, 橋本 真一² (¹森永乳業株式会社 研究本部 基礎研究所, ²和歌山県立医科大学 医学部 先端医学研究所 分子病態解析研究部)

2C6a04 健常成人の呼吸器と全身の健康維持に対するウシラクトフェリンの効果

10:03 ○久保 周太郎¹, 織田 浩嗣¹, 多田 明日翔², 矢後 拓己¹, 杉田 千泰³, 吉田 裕樹³, 戸井田 達典³, 田中 美順¹, 黒川 昌彦³ (¹森永乳業株式会社 研究本部 基礎研究所, ²森永乳業株式会社 海外事業本部, ³九州保福大薬)

2C6a05 パラミロン高含有 *Euglena gracilis* EOD-1 株の摂取が唾液中免疫グロブリン A の親和性に与える影響

10:14 ○河野 高徳¹, 内藤 淳子¹, 西田 典永¹, 新藏 礼子² (¹神鋼環境ソリューション, ²東大 定量研)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

2C6a06 潰物由来乳酸菌 *Lactiplantibacillus plantarum*

TK61406 株の免疫賦活作用の検討

10:33 ○中村 優一¹, 杉浦 俊作¹, 大野 友也¹, 田中 沙智², 森下 美香¹ (¹東海漬物(株), ²信州大院農)

2C6a07 皮膚感作が食品アレルギーに与える影響の解析

10:44 ○篠原 真梨, 服部 誠, 好田 正 (東農工大院・応生化)

2C6a08 Procyanidin B2 3,3"-di-O-gallate によるグルタミン取り込みの阻害を介した T 細胞機能制御

10:55 ○遠藤 勝紀, 阿蘿 晴香, 新妻 史絵, 柚 明弘, 真壁 秀文, 田中 沙智 (信州大院農)

2C6a09 食物繊維サイリウムは、タフト細胞の苦味受容体と 2 型免疫応答を介して、小腸 GasderminC 発現を増大する

11:06 ○松永 太陽, 石井 南葵, 山本 祥也, 鈴木 卓弥 (広大院統合生命)

2C6a10 健常者での *Lacticaseibacillus paracasei* MCC1849 細菌体の免疫指標への影響検討—無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較試験—

11:17 ○加藤 久美子¹, 新井 聰¹, 佐藤 壮一郎¹, 岩淵 紀介¹, 高良 育², 田中 美順¹ (¹森永乳業株式会社研究本部基礎研究所, ²医療法人社団盛心会タカラクリニック)

a11~a14 発表者の接続時間 11:28~11:36

2C6a11 アルツハイマー病患者対象口スマリン酸介入試験における発現変動 microRNA の機能解析

11:36 ○松井 美涼¹, 山本 萌乃¹, 篠原 もえ子², 小野 賢二郎², 三坂 巧¹, 阿部 啓子¹, 小林 彰子¹ (¹東大院農, ²金沢大医)

2C6a12 3 種類の水溶性食物繊維がヌードマウスにおいて腸管 IgA 産生に与える影響

11:47 ○松本 健司, 大坪 茉里奈 (石川県大生資環)

2C6a13 ヨーグルトの摂取が小学校児童の感冒症状および体調に与える影響

11:58 ○山田 成臣¹, 勝倉(江橋) 由夏¹, 唐 舒宜¹, 高木 理沙¹, 指原 紀宏¹, 鴨狩 淳一², 松土 和広², 東郷 信一², 安斎 祥江², 田中 譲³, 北條 研一¹ (¹株式会社 明治, ²八王子市教育委員会, ³医療法人社団永生会みなみ野病院)

2C6a14 薬用植物由来乳酸菌の単離・同定および菌株の特性解析

12:09 ○新妻 史絵¹, 阿蘿 晴香¹, 柚 明弘¹, 遠藤 勝紀¹, 塚元 美奈子², 高橋 知也², 田中 沙智¹ (¹信大院農, ²株式会社アルソア慧央グループ)

C6会場 午後の部(13:50~16:40)

食品—食品機能・栄養・免疫、炎症/食品機能・栄養・癌、抗癌—

p01~p05 発表者の接続時間 13:42~13:50

2C6p01 酵母死菌粉末 PA 酵母 SC-1 はマクロファージのサイトカイン産生を調節する

13:50 ○高橋 絵里歌¹, 野出 純一¹, 安井 謙介², 菊池 洋介¹ (¹株)日清製粉グループ本社, ²日清ファルマ(株)

2C6p02 自己免疫疾患における交差性 IgE 抗体の解析

14:01 ○藤田 夏歩子, 中村 亘希, 阿南 優佑, 板倉 正典, 内田 浩二 (東大院農)

2C6p03 BLaER1 を用いたヒトマクロファージモデルの構築

14:12 ○児玉 梨佳¹, Van Zandbergen Ger², 戸田 雅子¹ (¹東北大院農, ²Paul-Ehrlich-Institut)

2C6p04 リポ多糖との相互作用に着目した乳酸菌表層タンパク質の生理学的役割の解明

14:23 ○山本 祥也, 安井 健太, 鈴木 卓弥 (広大院統合)

2C6p05 *Lentilactobacillus hilgardii* strain H-50 は TLR2 を介して IL-6 を誘導し、免疫グロブリン A の分泌を向上する。

14:34 ○金沢 里奈¹, 三浦 大典¹, 鈴木 卓弥², 三本木 至宏², 山本 祥也² (¹広大生生, ²広大院統合)

p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53

2C6p06 Tempe starter-fermented wheat bran attenuated DSS-induced colitis by increasing fecal SCFA

14:53 ○Afifah Zahra Agista¹, Yushan Chien¹, Yusuke Ohsaki¹, Takuya Koseki², Michio Komai¹, Hitoshi Shirakawa¹ (¹Grad. Sch. Agri. Sci., Tohoku Univ., ²Fac. Agri., Yamagata Univ.)

2C6p07 イミダゾールジペプチドの経口投与がマウス腸内細菌叢及び腸管免疫応答に与える影響

15:04 ○村山 瑠¹, 志波 優¹, 佐藤 謙一郎³, 八村 敏志², 戸塚 譲¹ (¹東農大院生命, ²東大院農, ³東海物産(株))

2C6p08 酵母由来 α -マンナンの樹状細胞における IL-10 産生に関する代謝経路の解析

15:15 ○鄭 廷宇¹, 武藤 優奈¹, 宮澤 大樹², 安部 知純², 大森 慶河³, 高橋 恒子³, 戸田 雅子¹ (¹東北大院・農, ²東北大・未来研, ³日大生資科)

2C6p09 *Weizmannia coagulans* SANK70258 の樹状細胞を介した免疫調節作用機構と経口摂取による腸管免疫への効果

15:26 ○山下 二矢¹, 伊藤 直人¹, 池田 裕樹¹, 南川 夏己¹, 八代 拓也¹, 八須 匠和¹, 長田 和樹¹, 相田 正典², 山田 良一², 西山 千春¹ (¹東理大院先進工生命システム, ²三菱ケミカル(株))

2C6p10 ポリフェノールおよび酸化酵素含有製剤 DEOATAK P1 のヒト単球細胞に及ぼす効果

15:37 ○後藤 有貴¹, 長田 和樹¹, 片桐 万由佳¹, 神田 寛登¹, 時田 隆世¹, 大田 黒 晴樹², 武田 寿弘², 平本 忠浩³, 西山 千春¹ (¹東理大院先進工生命システム, ²高砂香料工業 研究開発本部, ³高砂フードプロダクツ)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

2C6p11 高脂肪食摂取モデルの病態発症における STAT1 を介した宿主免疫応答の関与

15:56 ○中庭 和奏¹, 中里 海翔¹, 小栗 勇魚¹, 志智 俊介², 木村 沙織², 中本 裕紀², 白川 智沙², 武富 紹信², 北村 秀光^{1,3} (1東洋大理工, 2北大院医, 3北大遺制研)

2C6p12 プタプラセンタ抽出成分によるヒト免疫担当細胞の免疫賦活効果

16:07 ○根上 愛梨¹, 江鳴 伸¹, 村山 拓海¹, 加藤 和則², 北村 秀光^{1,3} (1東洋大理工, 2東洋大院健康スポーツ科学, 3北大遺制研)

2C6p13 微細藻類ユーグレナおよびその成分である パラミロンの免疫調節機能の検討

16:18 ○中島 紗香¹, 鈴木 健吾¹, 安達 貴弘² (1株式会社ユーグレナ, 2東京医科歯科大学)

2C6p14 がん免疫逃避に関与する制御性 T 細胞の機能に及ぼす乳脂肪球皮膜の影響

16:29 ○森澤 美希, 橋本 啓, 山田 潔 (宇都宮大農)

C7 会場 午前の部(9:30～12:20)

微生物—細胞-分離, 分類, 生態/細胞-構造, オルガネラ, 小胞, 分泌, 細胞構成分子—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

2C7a01 細菌叢サンプルに含まれる黄色ブドウ球菌の multi-locus sequence typing を単離せずに実施にするための multiplex-nested PCR 法

9:30 ○小倉 康平^{1,2}, 古屋 紗花³, 竹本 調彦⁴ (1京大院農, 2金沢大新学術, 3金沢大院医薬保, 4医療研究センター研)

2C7a02 難培養微生物の可培養化と有用機能の同時探索を可能にする革新的スクリーニング手法の開発

9:41 ○新山 海¹, 下村 有美¹, 加藤 節¹, 中島田 豊^{1,2}, 青井 譲輝^{1,2} (1広島大院統合生命, 2広島大瀬戸内CN研究センター)

2C7a03 1 細胞ラマン・蛍光顕微分光分析により明らかにする葉圈微生物の色素多様性

9:52 ○菅野 菜々子, 重藤 真介 (関西学院大理)

2C7a04 酸性ゲルマイクロドロップレットを活用した環境中からのハイスクロットな油脂酵母スクリーニング法の開発

10:03 ○橋 駿介¹, 若月 良子¹, 鈴木 義之², 志田 洋介³, 小笠原 渉², 赤澤 真一¹ (1長岡高専・物質工, 2長岡技大・技学イノベ, 3長岡技大・物生)

2C7a05 人工知能画像処理技術に基づく放線菌の探索方法

10:14 ○鬼頭 紗¹, 一 真帆¹, 宮野 嶺² (1三田国際学園高等学校, 2北里大学 大村智記念研究所 微生物機能研究室)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

2C7a06 *in silico* 解析に基づく *Apilactobacillus kunkeei* の分類方法の評価

10:33 ○前野 慎太朗¹, 遠藤 明仁² (1山口大農, 2東農大応用生物科学)

2C7a07 ゲノム情報から予測した大規模タンパク質情報と質量分析による広範囲な原核微生物の迅速同定

10:44 ○関口 勇地¹, 寺本 華奈江², Tourlousse Dieter¹, 大橋 明子¹, 濱嶋 麻裕¹, 三浦 大典¹, 山田 賢志², 岩本 慎一², 田中 耕一¹ (1産業技術総合研究所, 2島津製作所)

2C7a08 ゲノムベースの次世代微生物分析システムによる 乳酸菌の MALDI-MS プロテオタイピング

10:55 ○寺本 華奈江¹, 相原 茉耶¹, 岩本 慎一¹, 田中 耕一¹, 関口 勇地² (1島津製作所, 2産業技術総合研究所)

2C7a09 フーリエ変換赤外分光光度計による乳酸菌の菌株識別

11:06 ○荒木 貴久¹, 寺本 華奈江¹, 藤 里砂¹, 岩崎 祥子¹, 岩本 慎一¹, 田中 耕一¹, 関口 勇地² (1株式会社 島津製作所, 2産業技術総合研究所)

2C7a10 乳酸菌 *Companilactobacillus alimentarius* KH4 のキシラン特異的な凝集に関わる細胞表層タンパク質の特性解析

11:17 ○矢野 嵩典, 山本 万結, 三井 亮司 (岡山理大生命)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

2C7a11 ナノ内視鏡 AFM によるバクテリア細胞内部の可視化

11:36 ○牛嶋 勇貴¹, 後藤 拓海², 江本 光毅³, 宮澤 佳甫^{2,4}, 水口 千穂^{1,5}, 岡田 憲典¹, 福間 剛士^{2,4}, 野尻 秀昭^{1,5} (1東大院・農生科・AgTECH, 2金沢大院・自然科学, 3東大・農, 4金沢大・WPI-NanoLSI, 5東大・微生物連携機構)

2C7a12 BepA と BamB を欠損する大腸菌変異株における SDS 感受性の解析

11:47 ○成田 新一郎¹, 渡邊 さくの¹, 秋山 芳展² (1山形県立米沢農業大, 2京大医生研)

2C7a13 リボソーム安定性によるセシウム耐性：大腸菌 ZX-1 株のケーススタディ

11:58 ○小嶋 大喜¹, 黒崎 紗音², 伊藤 政博^{1,2,3} (1東洋大院生命科学, 2東洋大生命科学, 3東洋大バイオレジリエンス研究プロジェクト)

2C7a14 接合伝達における細胞膜リン脂質の役割

12:09 ○熊谷 連, 大坪 嘉行, 永田 裕二, 岸田 康平 (東北大院・生命科学)

C7 会場 午後の部(13:50～16:40)

微生物—細胞-分離, 分類, 生態/物質生産-微生物変換, 酵素反応, 機能性高分子—

p01～p05 発表者の接続時間 13:42～13:50

2C7p01 循環型汚水浄化槽に由来する複合微生物系内での有機物分解促進細菌株の探索

13:50 ○奥山 勇太, 鈴木 智順 (東理大院生物)

2C7p02 循環型汚水浄化槽から分離した代謝産物要求細菌株が汚水浄化に与える影響の解析

14:01 ○小野里 昂大, 鈴木 智順 (東理大院生物)

2C7p03 循環型汚水浄化槽内の代謝産物要求細菌がヘルパー細菌の生育に及ぼす影響

14:12 ○田邊 詩織, 鈴木 智順 (東理大院生物)

2C7p04 高濃度 CO₂ に適応した海洋性好アルカリ藻類の探索

14:23 ○金井 大智, 藤井 克彦 (工学院大院化学応用学)

2C7p05 油脂を蓄積する気生微細藻類の探索

14:34 ○飯塚 理子, 油井 信弘, 藤井 克彦 (工学院大院化学応用学)

p06～p10 発表者の接続時間 14:45～14:53

2C7p06 海洋からの粘性マトリクス産生微生物の探索

14:53 ○渡辺 丈, 藤井 克彦 (工学院大院化学応用学)

2C7p07 活性汚泥構成細菌 *Shinella zooglooides* に感染するバクテリオファージの探索

15:04 ○丁 ジャウエ, 久保田 貴, 藤井 克彦 (工学院大院化学応用学)

2C7p08 レッサーパンダ粘膜便症の原因解明にむけた腸内細菌叢解析

15:15 ○上江洲 海, 鈴木 智順 (東理大院生物)

2C7p09 陸域地下深部透水性砂岩層における微生物群集の解明

15:26 ○吉田 晶, 幸塚 麻里子, 鈴木 康平 (東大院理)

2C7p10 リクガメ異種間での腸内細菌叢の比較とヘルマンリクガメ腸内細菌の分離

15:37 ○高橋 侑女¹, 山本 裕司², 落合 優², 稲橋 佑起^{1,3}, 向井 孝夫² (1北里大院感染制御, 2北里大獣医, 3北里大村研)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

2C7p11 天然酵母の取得及びその利用

15:56 ○中島 美咲, 大土 光経, 竹内 海光, 有谷 博文, 秦田 勇二 (埼玉工大工)

2C7p12 国内における自然環境からの *Saccharomyces cerevisiae* の分離と性質

16:07 ○森谷 千星, 柴山 洋翔, 島村 具仁子, 田渕 由希子, 宮崎 由美子, 山口 薫 (独立行政法人製品評価技術基盤機構)

2C7p13 日光東照宮文化財とその周辺環境に生育する真菌叢の網羅的解析

16:18 ○苅山 駿太, 大島 祥, 須崎 裕人, 小笠原 麻衣, 鈴木 智順 (東理大院)

2C7p14 ドロップレットスクリーニングにおける蛍光物質拡散の抑制

16:29 ○村山 祐樹¹, 中村 彰宏², 鈴木 義之², 志田 洋介¹, 小笠原 渉² (¹長岡技大院工, ²長岡技大院イノベ)

D1会場 午前の部(9:30～11:28)

食品—食品機能・栄養-その他—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

2D1a01 ヒト大腸細菌叢 *in vitro* モデルにおいてグルコサミン添加は酪酸菌を選択的に増加させて酪酸産生を誘導する

9:30 ○新谷 知也¹, 佐々木 大介¹, 吉田 崇伸¹, 猪熊 健太郎¹, 松木 泰¹, 蓮沼 誠久¹², 近藤 昭彦¹ (¹神戸大院・科技イノベ, ²神戸大・先端バイオ)

2D1a02 ヒト腸内細菌叢培養の高精度化およびハイスクループットモデルの開発

9:41 ○佐々木 大介, 新谷 知也, 松木 泰, 近藤 昭彦 (神戸大院・科技イノベ)

2D1a03 マイクロカプセル化シーベリー果実油経口摂取による肌環境改善効果

9:52 ○森 大輔¹, 岡本 拓也¹, 鈴木 直子², 和泉 達也³ (¹岐阜セラツク製造所, ²オルトメディコ, ³広尾皮フ科クリニック)

2D1a04 ヒト皮膚線維芽細胞の光老化に対するシーベリー果実油の機能解析

10:03 ○岡本 拓也¹, 中島 史恵², 柴田 貴広², 森 大輔¹ (¹岐阜セラツク製造所, ²名大院農)

2D1a05 栄養調整による身体データ改善のための個別栄養最適食

10:14 ○中村 浩蔵¹, 後藤 和馬¹, 宮川 竜征¹, 鈴木 ゆみ子¹, 山口 翔平¹², 小山 正浩² (¹信大農, ²(株)ウェルナス)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

2D1a06 体重改善を目的とした個別栄養最適食の効果検証(シングルアーム試験)

10:33 ○後藤 和馬¹, 山口 翔平¹², 宮川 竜征¹, 鈴木 ゆみ子¹, 小山 正浩², 中村 浩蔵¹ (¹信大農, ²(株)ウェルナス)

2D1a07 血圧改善を目的とした個別栄養最適食の効果検証(シングルアーム試験)

10:44 ○小山 正浩¹, 山口 翔平¹², 後藤 和馬², 宮川 竜征², 鈴木 ゆみ子², 小泉 創³, 中村 浩蔵² (¹(株)ウェルナス, ²信大農, ³日本たばこ産業(株))

2D1a08 酒造好適米を用いた米飯の摂取が Balb/c マウスの成長と脂質代謝に及ぼす影響

10:55 ○大石 恵実¹, 牧田 友香², 松岡 信³, 松田 幹³, 平野 可奈² (¹金城学院大院・人間生活・消費者科学, ²金城学院大・生活環境・食環境栄養, ³福島大・食農学類・附属発酵醸造研究所)

2D1a09 酒造好適米を用いた米飯の摂取が Balb/c マウスの腸内細菌叢に及ぼす影響

11:06 ○牧田 友香¹, 明治 真結², 大石 恵実³, 日野 真吾⁴, 西尾 俊亮⁵, 松岡 信⁵, 松田 幹²⁵, 平野 可奈¹ (¹金城学院大・生活環境・食環境栄養, ²福島大・食農学類, ³金城学院大院・人間生活・消費者科学, ⁴静岡大・農学部・応用生命, ⁵福島大・食農学類・附属発酵醸造研究所)

2D1a10 血圧関与栄養成分の調整による高血圧自然発症ラットの血圧改善

11:17 ○山口 翔平¹², 鈴木 美穂¹, 後藤 和馬¹, 小山 正浩², 中村 浩蔵¹ (¹信大農, ²(株)ウェルナス)

D1会場 午後の部(14:01～16:40)

食品—食品機能・栄養-酸化, 抗酸化, 糖化, 抗糖化, 老化/食品機能・栄養-その他—

p02～p05 発表者の接続時間 13:53～14:01

2D1p02 梅干し果肉に含まれるヒト皮膚線維芽細胞における老化予防物質の探索

14:01 ○夏見 宙栄¹, 奥野 祥治¹, 河野 良平², 宇都宮 洋才² (¹和歌山高専, ²大阪河崎リハ大)

2D1p03 大豆フェリチンによるオートファジーの促進と細胞老化抑制作用の検討

14:12 ○上野 有紀¹, 川本 善之², 増田 太郎³ (¹愛知学院大健康科学, ²中部大生命健康科学, ³揖斐南大農)

2D1p04 ユズ果皮抽出物のヒト皮膚角化細胞におけるエストロゲンに類似した作用を介した機能性解析

14:23 ○田村 紀人¹, 河本 美幸², 木曾 昭典², 川嶋 善仁², 河原 岳志¹³ (¹信大院 総合理工, ²丸善製薬株式会社 総合研究所, ³信大 学術研究院農)

2D1p05 パッションフルーツ種子由来ビセアタンノールによる骨格筋細胞 C2C12 における SIRT1 とその関連遺伝子の活性化

14:34 ○田中 健太, 山口 拓見, 川上 晋平 (森永製菓)

p06～p10 発表者の接続時間 14:45～14:53

2D1p06 近縁なコイとゼブラフィッシュの苦味受容体機能の比較解析

14:53 ○神戸 優香里, 浅岡 亮太, 清水 駿希, 糸井川 壮大, 中北 智哉, 戸田 安香, 石丸 喜朗 (明大農)

2D1p07 豆苗の再栽培環境における抗酸化作用

15:04 ○鶴岡 由紀, 細谷 孝博 (東洋大院食環境)

2D1p08 サフラン花弁抽出物の抗糖化作用および MMP 阻害作用の評価

15:15 ○中垣内 美里¹, 走 優名¹, 角谷 晃司¹² (¹近畿大・薬学総合研, ²近畿大・アンチエイジングセ)

2D1p09 ボイセンベリー葉抽出物が結腸がん細胞へ及ぼす細胞毒性の解析

15:26 ○中村 聰太¹, 水木 徹⁴, 三浦 健^{1,2,3} (¹東洋大院・生命科学, ²東洋大学・生命科学, ³東洋大・ライフィノベーション研究所, ⁴東洋大・バイオナノエレクトロニクス研究センター)

2D1p10 ボイセンベリー葉抽出液の抗菌作用について

15:37 ○山口 ゆい¹, 三浦 健¹² (¹東洋大生命科学, ²東洋大ライフィノベーション研究所)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

2D1p11 パン酵母によるエクオール代謝に関する化学的研究

15:56 ○丹羽 利夫¹, 加藤 陽二², 横山 慎一郎³, 大澤 俊彦⁴ (¹修文大健康栄養, ²兵庫県大環境人間, ³岐阜県食品科学研究所, ⁴愛知学院大学健康科学)

2D1p12 茶由来サポゲニン R₁-barrigenol は PC12 細胞において酸化ストレスに対する神経保護作用を示す

16:07 ○林 遼太郎, 福光 晴, 間 和彦 ((株)ニップン 中研イノベーションセンター)

- 2D1p13 甘茶イソクマリン類のウイルス感染阻害活性
16:18 ○矢野 明¹, 大石 智一², 結城 彩花¹ (¹岩手工研, ²微化研)
- 2D1p14 ケルセチン添加によりヒト骨格筋細胞は遅筋様の表現型を示す
16:29 ○永井 研迅^{1,2}, 金田 喜久¹, 出雲 貴幸¹, 中井 正晃¹, 本多 裕之², 清水 一憲² (¹サントリーウエルネス株式会社 生命科学研究所, ²名古屋大学大学院 工学研究科)

D2 会場 午前の部(9:30~12:20)

食品—食品機能・栄養-メタボリック・シンドローム, エネルギー代謝/食品機能・栄養-ビタミン・ミネラル—

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

- 2D2a01 食品加工条件および胃腸消化における食用藻類由来のDPP-4阻害ペプチドの安定性
9:30 ○繪鳩 康太, 佐藤 菜央, 飯島 陽子, 杉山 健二郎 (工学院大)
- 2D2a02 フルクトース飲水摂取による脾β細胞量減少を伴った耐糖能異常の誘発
9:41 ○新森 耀¹, 原田 直樹¹, 杉本 圭一郎^{2,4}, 北風 智也¹, 乾 博^{1,3}, 山地 亮一^{1,4} (¹阪公大院農, ²長岡香料, ³大手前大健栄, ⁴阪公大生資センター)
- 2D2a03 *Apilactobacillus kosoi*死菌体の経口摂取による肥満抑制メカニズムについて
9:52 ○邱 泰瑛¹, 森山 五月², 松山 静香², 高橋 知也² (¹北見工大, ²アルソア R&D)
- 2D2a04 バレレン酸とその類縁体が脂肪細胞と2型糖尿病モデルマウスに与える影響
10:03 ○信平 真奈, 只石 幹, 小西 良子, 服部 一夫 (東農大生)
- 2D2a05 3T3-L1細胞におけるポリメトキシフラボノイドによる脂質生成および脂質生成遺伝子発現の制御
10:14 ○木本 幸伸¹, 杉山 実希¹, 河野 良平², 宇都宮 洋才², 奥野 祥治¹ (¹和歌山高専, ²大阪川崎リハ大)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

- 2D2a06 スルフォラファンの新規結合分子の探索とその機能解析
10:33 小高 愛未¹, ○川平 浩太朗², 菊地 瑛登², 正路 健太², 石神 健³, 鈴木 司^{1,2}, 山本 祐司^{1,2}, 井上 順^{1,2} (¹東農大・応生科・農化, ²東農大院・応生科・農化, ³東農大・生命)
- 2D2a07 スルフォラファンによる脂肪滴局在タンパク質PLIN2への作用の解析
10:44 ○藤枝 駿介¹, 小高 愛未², 正路 健太¹, 石神 健³, 鈴木 司², 山本 祐司^{1,2}, 井上 順^{1,2} (¹東農大院・応生科・農化, ²東農大・応生科・農化, ³東農大・生命)
- 2D2a08 スルフォラファンによる腸内細菌叢の変化と抗肥満作用への影響
10:55 ○和田 美沙希¹, 多田 しおり², 小高 愛未¹, 藤巻 貴宏¹, 鈴木 司¹, 山本 祐司^{1,2}, 井上 順^{1,2} (¹東農大・応生科・農化, ²東農大院・応生科・農化)
- 2D2a09 小麦タンパク質による腸内細菌叢と代謝恒常性への影響に関する研究
11:06 ○渡邊 沙耶, 羽石 悠里, 宮本 潤基 (東農工大院農)
- 2D2a10 加齢に伴う栄養感受性変化と生体エネルギー代謝調節に関する研究
11:17 ○長谷川 真由¹, 五十嵐 美樹², 宮本 潤基¹, 木村 郁夫³ (¹東京農工大学農学府大学院, ²脳神経疾患研究所, ³京都大学生命科学研究科大学院)

a11~a14 発表者の接続時間 11:28~11:36

- 2D2a11 中鎖脂肪酸-GPR84シグナルによる代謝恒常性維持機構の解明
11:36 ○大植 隆司^{1,2}, 木村 郁夫^{1,2,3} (¹京大院生命, ²京大院薬, ³東農工大院農)

- 2D2a12 遺伝的メタボリック症候群モデル動物におけるビタミンE代謝変動
11:47 ○池田 彩子¹, 田路 莉子², 三澤 莉帆², 小林 美里¹, 阪野 朋子³, 金 東浩², 佐伯 茂² (¹名古屋学芸大, ²大阪公大, ³名古屋女短大)

- 2D2a14 β-アドレナリン刺激に対する応答性を指標とするUCP1発現調節遺伝子の探索および評価
12:09 ○川原崎 晴子¹, 濑尾 茂人², 岡松 優子³, 高橋 春弥¹, 野村 亘^{1,4}, 神戸 大朋⁵, 木村 和弘³, 斎藤 昌之³, 松田 秀雄², 井上 和生^{1,4}, 後藤 剛^{1,4} (¹京大院農・食品生物, ²阪大院情報・バイオ情報工学, ³北大院・獣医, ⁴京大・C-PIER・生理化学U, ⁵京大院生命・統合生命)

D2 会場 午後の部(13:50~16:40)

食品—食品機能・栄養-メタボリック・シンドローム, エネルギー代謝/食品機能・栄養-消化・吸収, 循環・血管—

p01~p05 発表者の接続時間 13:42~13:50

- 2D2p01 褐色脂肪細胞の生理活性物質産生に対する食品成分の作用評価
13:50 ○佐々木 玲, 増田 祥子, 黒崎 文華, 嶋 恵司 (秋田県総食研)

- 2D2p02 ベージュ脂肪細胞におけるアドレナリン感受性を増強する食品成分の機能解析
14:01 ○高橋 尚子¹, 沼崎 南², 井上 博文¹, 森本 洋武¹, 後藤 剛³, 河田 照雄³, 江口 文陽², 上原 万里子¹, 高橋 信之¹ (¹東京農大・応生科・食品安全健康, ²東京農大・地域環境・森林, ³京大・農・食品生科)

- 2D2p03 Induction of brown-like adipocyte formation by the food-derived factor is associated with an increase in sympathetic nerve density in the inguinal white adipose tissue of mice
14:12 ○Sho NISHIKAWA¹, Takuya Shoda¹, Kyosuke Ashikawa¹, Daiki Onodera¹, Daiki Kato¹, Aru Konno², Takuya Kojima³, Takuma Hyodo³, Shiro Takei³, Shigetoshi Okazaki⁴, Takanori Tsuda³ (¹Teikyo Univ. of Sci, ²Hamamatsu Univ. of Med, ³Chubu Univ., ⁴iPERC of Hamamatsu Univ. of Med.)

- 2D2p04 15Nトレーサー分析による1-Deoxynojirimycinの臓器蓄積評価
14:23 ○高須 蒼生¹, パリダ イザベラ スバルディ², 伊藤 隼哉², 山岸 賢治³, 中島 泰弘⁴, 木村 俊之⁴, 仲川 清隆² (¹岐阜薬科大, ²東北大院農・食品機能分析学, ³農研機構・食品研究部門, ⁴農研機構・高度分析研究センター)

- 2D2p05 ゲニボシド酸経口投与による食事性負荷ラットの病態改善効果
14:34 ○鈴木 ゆみ子¹, 後藤 和馬¹, 宮川 竜征¹, 小林 正和², 大河内 公一², 山口 翔平¹, 中村 浩藏¹ (¹信州大院農, ²小林製薬株式会社)

p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53

- 2D2p06 ヒトと齧歯類における腸管胆汁酸トランスポーターの比較
14:53 ○齋藤 佑太, 黒部(高島) 優季, 小林 彰子 (東大院農)

2D2p07 消化管における胆汁酸輸送機作の解析

15:04 ○黒部(高島) 優季¹, 斎藤 佑太¹, 宮脇 里奈¹, 三坂 巧¹, 柳澤 宏太², 宮内 栄治², 佐々木 伸雄², 萩原 琢男³, 小林 彰子¹
(¹東大院農, ²群大生調研, ³高崎健康福祉大薬)

2D2p08 腸管オルガノイドの単層培養法の確立とその利用法の検討

15:15 ○戸田 理恵¹, 清水 誠², 岩槻 健¹, 小西 良子¹, 只石 幹¹, 服部 一夫¹ (¹東農大応生, ²東農大)

2D2p09 霊長類消化管オルガノイドを用いた消化管上皮センサー細胞研究

15:26 ○松井 伸祐¹, 有永 理峰¹, 星 凜佳¹, 米谷 達哉¹, 篠原 満利恵², 稲葉 明彦³, 今井 啓雄³, 岩槻 健¹ (¹東農大応生, ²東大工, ³京大ゲノム進化)

2D2p10 寒天由来オリゴ糖が線虫の腸管透過性に及ぼす影響の検証

15:37 ○出坂 夏美¹, 東村 泰希² (¹石川県大院, ²石川県大)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

2D2p11 ヒシエキスをラットに経口投与後の加水分解性タンニンの血中動態および尿中排泄

15:56 ○池田 千秋¹, 森 彩夏¹, 細川 夏菜乃¹, 岩岡 裕二¹, 上村 知広², 伊東 秀之¹ (¹岡山県大院, ²林兼産業株式会社)

2D2p12 吸収経路の異なるケルセチン関連化合物の摂取が腸間膜リンパ節の免疫応答に及ぼす影響

16:07 ○宇田 佳恵子^{1,2}, 四之宮 紗菜², 柳 利咲³, 早坂 晴子^{3,4,5}
(¹島根大生物資源, ²島根大院自然科学, ³近大院総理工, ⁴近大理工, ⁵近大理工総研)

2D2p13 マルトビオノ酸はコラーゲンの吸収を促進する

16:18 ○池田 奈未¹, 末廣 大樹², 深見 健², 大西 素子^{1,3} (¹中部大院応生, ²サンエイ糖化(株), ³中部大応生)

2D2p14 黒糖・芋焼酎由来成分のグレリン様摂食促進作用の生体での検証

16:29 ○千葉 殖幹¹, 緒方 美咲¹, 吉崎 由美子², 乾 明夫², 高峰 和則³, 上園 保仁⁴, 横川 由起子⁵, 高橋 隆二¹ (¹クラシエ(株)漢方研, ²鹿大農 附焼酎・発酵学セ, ³鹿大医 漢方薬理学, ⁴慈恵医科大 疼痛制御, ⁵鹿大理 有機化学)

D3会場 午前の部(9:30～12:20)

植物——次代謝, 二次代謝, メタボローム——

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

2D3a01 植物有用成分の高生産を目指した共培養系の応用

9:30 ○土反 伸和¹, 潤井 みや¹, 山田 泰之¹, 中川 明², 佐藤 文彦^{3,4}, 南 博道² (¹神戸薬大, ²石川県大, ³京大院生命, ⁴サントリー生命科学財団・生有研)

2D3a02 三環性クマリン生合成における環化制御機構の解析

9:41 ○新屋 和花¹, 韓 俊文¹, 三浦 謙治², 棟方 涼介^{1,3}, 矢崎 一史¹ (¹京大生存研, ²筑波大生命環境, ³JSTさきがけ)

2D3a03 植物培養細胞におけるエピゲノム改変を介した新たな休眠二次代謝覚醒法と新規クロロゲン酸類生合成酵素の発見

9:52 ○野村 泰治^{1,2}, 加藤 康夫^{1,2} (¹富山県大・工, ²富山県大・生医工研セ)

2D3a04 オオムギにおけるホルダチン合成酵素の同定

10:03 ○宇部 尚樹^{1,2}, 石原 亨³, 藤田 行哲³, 武田 真⁴, 加藤 康夫^{1,2}, 野村 泰治^{1,2} (¹富山県大・工, ²富山県大・生医工研セ, ³鳥取大・農, ⁴岡山大・植物研)

2D3a05 青パパイヤ果実の形状における機能性の検討

10:14 ○解良 康太, 浅田 遥香, 菊地 駿介, 齋藤 翔真, 飯嶋 益巳, 中山 勉 (東農大応生)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

2D3a06 植物病原細菌誘引活性物質 Ethyl- β -D-glucopyranoside は、根圈のエタノールに対するストレス応答産物である

10:33 ○白戸 梢美¹, 前木場 直輝², 夏目 雅裕², 野口 恵一³, 宮崎 翔⁴, 川出 洋^{1,2} (¹東農工大農, ²東農工大院農, ³東農工大院工, ⁴東農工大GIR)

2D3a07 生きた化石植物におけるジテルペンの分析と生合成に関する研究

10:44 ○藤澤 里奈¹, 湊 康将¹, 新井 さくら³, 宮崎 翔², 川出 洋^{1,2} (¹東農工大院農, ²東農工大GIR, ³東農工大農)

2D3a08 生きた化石植物における単機能型ジテルペン環化酵素の機能

10:55 ○新井 さくら¹, 藤澤 里奈², 湊 康将², 宮崎 翔³, 川出 洋^{1,2} (¹東農工大農, ²東農工大院農, ³東農工大GIR)

2D3a09 ヒガンバナ科アルカロイド生合成に関わるメチル基転移酵素の解析

11:06 ○水野 紗英, 海老澤 さくら, 藤巻 貴宏, 松島 芳隆, 須恵 雅之 (東農大・農化)

2D3a10 オオムギ病害抵抗性に関わる N-アシルトランスフェラーゼの解析

11:17 ○勝田 瑞阜¹, 竹野谷 美穂子², 矢嶋 俊介², 須恵 雅之¹ (¹東農大・農化, ²東農大・バイオ)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

2D3a11 ダイズ根におけるフラボンおよびフラボノールの蓄積と根細菌叢への影響

11:36 ○松村 広志郎¹, 松田 陽菜子¹, 高松 恭子¹, 山崎 真一^{2,3}, 高瀬 尚文⁴, 藤井 義晴⁵, 青木 裕一², 櫻井 望^{6,7}, 矢崎 一史¹, 杉山 曜史¹ (¹京大生存研, ²東北大ToMMo, ³理研BRC, ⁴京都先端科学大バイオ環境, ⁵東京農工大農, ⁶遺伝研, ⁷かずさDNA研)

2D3a12 柑橘クマリン生産機構の解明に向けたトランスクリプトーム解析

11:47 ○市川 公康¹, 松下 修平¹, 新屋 和花¹, 松川 哲也^{3,4}, 棟方 涼介^{1,2}, 矢崎 一史¹ (¹京都大・生存研, ²JSTさきがけ, ³近大・附属農場, ⁴近大・生物理工)

2D3a13 マヌカハニーに特徴的に含まれるレプトスペリン生合成経路の化学的解明

11:58 ○加藤 陽二^{1,2}, 古谷 優夏¹, 中井 逸斗¹, 高岡 瑛未¹, 村田 芳行³, 丹羽 利夫⁴ (¹兵庫県大環境人間, ²兵庫県大先端食セ, ³岡山大院環境生命, ⁴修文大学)

2D3a14 GC/MS メタボローム解析を用いたショウガの品種差比較

12:09 ○石井 寿成¹, 西殿 悠人^{2,3}, 田中 謙¹, 坂本 雄紀² (¹島津製作所, ²立命館大薬, ³立命館大総研)

D3会場 午後の部(13:50～16:40)

植物——一次代謝, 二次代謝, メタボローム/環境応答, ストレス応答, 情報伝達, 分化——

p01～p05 発表者の接続時間 13:42～13:50

2D3p01 マメ科植物におけるストリゴラクトンの構造多様化に関わる酵素の同定

13:50 ○本間 大翔¹, 内田 聖乃², 若林 孝俊^{1,2}, 滝川 浩郷², 水谷 正治¹, 杉本 幸裕¹ (¹神戸大院農, ²東大院農)

2D3p02 バラ科イチゴのテルペン系香気成分の放出を担う候補遺伝子の解析

14:01 ○後藤 桃佳¹, 段 奈々子¹, 上岡 颯人¹, 李 豪¹, 橋 賴之¹, 市野 琢爾^{1,2}, 杉山 曜史¹, 棟方 涼介¹, 矢崎 一史¹ (¹京都大・生存研, ²神戸大薬科大)

2D3p03 トマト由来 UDP-xylose 4-epimerase の酵素学的解析

14:12 ○服部 悠太¹, 稲葉 環¹, 太田 信吾¹, 大西 利幸² (¹静大院・総科技・農, ²静大・グリーン研)

2D3p04 微細藻ユーグレナのゲノム編集によるカロテノイド生合成経路の解明

14:23 ○玉木 峻¹, 腰塚 悠貴², 野村 俊尚^{1,3}, 石川 まるみ^{4,5}, 山田 康嗣^{4,5}, 鈴木 健吾^{4,5}, 篠村 知子², 持田 恵一^{1,5,6,7} (1理研·CSRS, ²帝京大·理工·バイオ, ³山形大·農, ⁴(株)ユーグレナ, ⁵理研·BZP, ⁶横浜市大, ⁷長崎大)

2D3p05 コーヒー由来テルペン類配糖化酵素遺伝子の単離同定および基質選択性に係る領域の探索

14:34 ○井田 美帆, 佐々木 香織, 川上 寛子, 水野 幸一 (秋田県大生物資源)

p06～p10 発表者の接続時間 14:45～14:53

2D3p06 食品の超硫黄オミクス解析

14:53 ○笠松 真吾¹, 金野 文香¹, 三浦 千春¹, 大脇 拓真¹, 久龍 茉尋¹, 菱山 純一², 福井 健介³, 久礼 昭二³, 津村 和伸³, 井田 智章⁴, 居原 秀¹ (1大公大院理, ²大府大院理, ³不二製油株式会社, ⁴大公大研究推進機構)

2D3p07 ゼニゴケにおけるビスビベンジル化合物であるマルカンチン類の生合成の解析

15:04 ○井上 珠緒¹, 水田 珠希¹, 石崎 公庸², 高梨 功次郎³, 水谷 正治¹ (1神戸大院農, ²神戸大院理, ³信州大院総合理工)

2D3p08 シロイヌナズナにおけるビスマスによる酸化ストレスの誘発とDNA損傷

15:15 ○長田 武, 西村 信人, 浦 直哉, 小林 良 (摂南大理工)

2D3p09 イネの低温順化処理により誘導される高度な低温耐性の分子機構

15:26 ○提箸 祥幸¹, 岡崎 圭毅², 北條 優子³, 松浦 恒和³, 森 泉³ (1農研機構·生物研, ²農研機構·農環研, ³岡山大·資源植物)

2D3p10 シロイヌナズナ FYVE1/FREE1 はグルタミンに応答したTORC1の活性化に関与する

15:37 ○谷川 美頼^{1,2}, 磯野 江利香², 前田 達哉¹ (1浜松医大, ²コンスタンツ大学)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

2D3p11 苔類ゼニゴケにおけるアスコルビン酸生合成経路の同定と機能解析

15:56 石田 哲也¹, 田中 泰裕², 小川 貴央^{1,2}, 丸田 隆典^{1,2}, 重岡 成³, ○石川 孝博^{1,2} (1島根大院·自然科学, ²鳥取連大·生命資源, ³近畿大·付属農場)

2D3p12 転写因子ファミリー内での比較解析から根粒共生獲得の軌跡を探る

16:07 ○野崎 翔平¹, 野田 桃菜¹, 小野田 浩宜², 三浦 謙治¹, 壽崎 拓哉¹ (1筑波大生命環境/T-PIRC, ²名古屋大NUSR)

2D3p13 地上部の光環境は根端の細胞分裂制御を介して主根の伸長を調節する

16:18 ○市川 晴雪, 陽川 憲 (北見工大院)

2D3p14 植物の根部への脂肪酸処理による地上部の二次代謝物の増加

16:29 ○小野 萌花, 陽川 憲 (北見工大院)

D4会場 午前の部(9:30～12:09)

植物—植物ホルモン, 成長調節物質—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

2D4a01 HGPRT によるフェアリー化合物の代謝に関する化学的研究

9:30 ○安井 熙¹, 崔 宰熏^{1,2,3,4,5}, 近藤 満⁴, 吳 静^{3,5}, 平井 浩文^{1,2,3,4,5}, 河岸 洋和^{3,5} (1静大総科技, ²静大共創, ³静大農, ⁴静大グリーン研, ⁵静大キノコ科研)

2D4a02 植物におけるフェアリー化合物の生合成に関する研究

9:41 ○鳥越 満梨香¹, 崔 宰熏^{1,2,3,4,5,6}, 道羅 英夫^{4,5,6}, 吳 静^{1,6}, 平井 浩文^{1,2,3,4,5,6}, 河岸 洋和^{1,6} (1静大·農, ²静大·共創, ³静大院·総合農, ⁴静大院·総科技, ⁵静大·グリーン研, ⁶静大·キノコ科研)

2D4a03 フェアリー化合物由来SAMとSAHアナログとメチル化機構の関係

9:52 ○久米 こころ¹, 崔 宰熏^{1,2,3,4}, 道羅 英夫^{1,3,4}, 謝 肖男^{4,5}, 大内 仁志⁶, 稲井 誠⁶, 滝田 良⁶, 平井 浩文^{1,2,3,4}, 河岸 洋和^{1,4} (1静大院·総科技, ²静大院·共創, ³静大·グリーン研, ⁴静大·キノコ科研, ⁵宇都宮大·バイオ, ⁶静県大·薬)

2D4a04 エンドウヒゲナガアブラムシを用いた昆虫におけるサイトカイニン水酸化酵素の探索

10:03 ○佐藤 溪, 鈴木 義人 (茨大·食生科)

2D4a05 昆虫におけるインドール-3-酢酸合成酵素に関する研究

10:14 市川 輝¹, 國岡 祐里¹, 宮田 海¹, 日裏 雄史⁶, 浅見 忠男², 土田 努³, 中村 周吾⁴, 藤本 瑞⁵, ○鈴木 義人^{1,6} (1茨大農, ²東大院農, ³富山大理, ⁴東洋大情報連携, ⁵農研機構本部, ⁶農工大院連合農)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

2D4a06 コムラサキシメジ(*Lepista sordida*)における2-azahy-poxanthineの生合成研究

10:33 ○杉山 弥優¹, 崔 宰熏^{1,2,3,4}, 鈴木 智大⁵, 道羅 英夫^{3,4}, 吳 静^{1,4}, 平井 浩文^{1,3,4}, 河岸 洋和^{1,4} (1静大·農, ²静大·共創, ³静大·グリーン研, ⁴静大·キノコ科研, ⁵宇都宮大·バイオ)

2D4a07 AOHの高生産微生物の探索とその機能に関する化学的研究

10:44 ○児玉 彩乃¹, 崔 宰熏^{1,2,3,4}, マングリリ ラチミタ¹, 森 智夫^{1,4}, 平井 浩文^{1,2,3,4}, 河岸 洋和^{1,4} (1静大·農, ²静大·共創, ³静大·グリーン研, ⁴静大·キノコ科研)

2D4a08 フェアリー化合物の生合成・代謝に関する研究

10:55 ○徳岡 佑¹, 崔 宰熏^{1,2,3,4,5}, 中原 謙太¹, ペレリ ピエール¹, 道羅 英夫^{1,2,4}, 山下 起三子², 吳 静^{2,5}, 平井 浩文^{1,2,3,4,5}, 河岸 洋和^{2,5} (1静大院総科技, ²静大農, ³静大院創造, ⁴静大グリーン研, ⁵静大キノコ科研)

2D4a09 ベントグラスにおけるAOH代謝産物及び担子菌成長調節物質の探索

11:06 ○猪野 蒼太¹, 崔 宰熏^{1,2,3,4,5}, 平井 浩文^{1,2,3,4,5}, 河岸 洋和^{3,5} (1静大院·総科技, ²静大·グリーン研, ³静大·農, ⁴静大·共創, ⁵静大·キノコ科研)

2D4a10 チヤノキにおけるフェアリー化合物の代謝に関する化学的研究

11:17 ○阿部 孝宏¹, 猪野 蒼太², 崔 宰熏^{1,2,3,4,5}, 吳 静^{1,5}, 天池 一真⁶, 伊丹 健一郎^{6,7}, 平井 浩文^{1,2,3,4,5}, 河岸 洋和^{1,5} (1静大·農, ²静大院·創造, ³静大·グリーン研, ⁴静大·共創, ⁵静大·キノコ科研, ⁶名大院理, ⁷名大ITbM)

a11～a13 発表者の接続時間 11:28～11:36

2D4a11 飢餓を無くし, 地球温暖化を止め, 緑の地球を回復する解決法の提案

11:36 ○染井 正徳¹, 染井 秀², 染井 和子² (1金沢大名誉教授, ²ソメイヤッコ研究所)

2D4a12 ジベレリン不活性化とは異なるジベレリン起源物質の不活性化機構の解明

11:47 ○宮崎 翔¹, 川出 洋², 中嶋 正敏³ (1農工大院GIR, ²農工大院農, ³東大院農)

2D4a13 Involvement of gibberellin in the rapid germination of *Chloris virgata*

11:58 ○Tingyi YAO¹, Ikuo TAKAHASHI¹, Takeshi NAKANO², Masatoshi NAKAJIMA¹, Tadao ASAMI¹ (1Grad. Sch. Agr. Life Sci., Univ. Tokyo, ²Grad. Sch. Biosciences, Kyoto. Univ.)

D4 会場 午後の部(13:50~16:29)

植物—植物ホルモン、成長調節物質/植物工学-育種、物質生産、形質転換—

p01~p05 発表者の接続時間 13:42~13:50

2D4p01 フェアリー化合物非感受性変異株の作出と解析

13:50 ○三ツ國 佳祐¹, 田中 裕基¹, 鈴木 智大^{1,4}, 崔 宰熏^{2,3,4}, 謝 肖男^{1,4}, 野村 崇人¹, 岡本 昌憲^{1,5}, 道羅 英夫^{2,4}, 河岸 洋和^{3,4} (¹宇都宮大・バイオ, ²静大・グリーン研, ³静大・農, ⁴静大・キノコ科研, ⁵理研)

2D4p02 ミヤコグサ内生 KAI2 リガンドの検出と部分精製

14:01 ○秋山 康紀^{1,2}, 鍋嶋 武郁² (¹阪大院農, ²阪大院生命環境)

2D4p03 Leafy gall 形成を引き起こす植物病原菌における FAS1 の役割

14:12 ○宮田 和輝¹, Alicia Surjana¹, 小嶋 美紀子², 幸木 謙典¹, 西川 俊夫¹, 榊原 均^{1,2} (¹名大院生命農, ²理研 CSRS)

2D4p04 棒状樹形を呈するリンゴ突然変異体原因酵素の選択的阻害剤創製研究

14:23 ○井上 太喜¹, 北島 裕大¹, 岡本 啓佑¹, 長野 玄知¹, 高橋 郁夫¹, 川田 紘次郎¹, 宮崎 翔², 岡田 憲典¹, 浅見 忠男¹, 岡田 和馬³, 中嶋 正敏¹ (¹東大院農, ²東京農工大・GIR, ³農研機構)

2D4p05 ストリゴラクトン受容体阻害剤の探索および受容体選択性の評価

14:34 ○川田 紘次郎¹, 高橋 郁夫¹, 吳 雅珊¹, 伊藤 晋作², 姜 凱¹, 中村 英光¹, 浅見 忠男¹ (¹東大院農, ²東農大)

p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53

2D4p06 エチレンによるイネ種子の発芽促進機構の解析

14:53 ○森田 重人^{1,2}, 高畠 彩夏¹, 増村 威宏^{1,2} (¹京府大院生命環境, ²京都府農技セ生資セ)

2D4p07 構造解析から明らかとなった植物成長調整剤によるイネジベレリン生合成・代謝酵素の選択的阻害機構

15:04 ○竹原 清日¹, 尾原 寛之¹, 三上 文三², 菅原 基行¹, 上口(田中) 美弥子¹ (¹名大・生物機能センター, ²京大・生存圈)

2D4p08 褐藻類サガラメにおける仮根伸長促進因子の探索

15:15 ○藤原 穎一¹, 島貫 郁¹, 後藤 康丞¹, 岡本 一利¹, 吉川 康夫², 清水 一輝², 今井 基文², 鈴木 進二², 萩原 快次², 峯田 克彦^{1,3}, 五條堀 孝^{1,4} (¹一般財団法人マリンオーブンイノベーション機構, ²静岡県水産・海洋技術研究所, ³早稲田大学ナノ・ライフ創成研究機構, ⁴アブドラ国王科学技術大学)

2D4p09 ジベレリン様活性を有する化合物 DIPA の合成類縁体活性

15:26 ○佐藤 謙太, 前田 紗希, 王 建文, 高橋 郁夫, 中嶋 正敏, 浅見 忠男 (東大院農)

2D4p10 天然変性領域のケミカルリデザインによるジャスモン酸関連転写因子 MYC ファミリー選択的阻害剤の開発

15:37 ○高岡 洋輔¹, 劉 瑞琦¹, 李 奇¹, 上田 実^{1,2} (¹東北大院理, ²東北大院生命科学)

p11~p13 発表者の接続時間 15:48~15:56

2D4p11 DELLA 分解誘導剤 A1 とその生理活性

15:56 ○澁谷 純太郎, 高橋 郁夫, 太田 鋼, 中嶋 正敏, 浅見 忠男 (東大院農)

2D4p12 ホルモン制御剤 NJ15 の植物表層に与える影響の解析

16:07 ○坂上 奈々帆, 中嶋 正敏, 浅見 忠男 (東大院・農生科)

2D4p13 トマト毛状根による活性型ビタミン D3 生合成

16:18 ○水田 珠希¹, 山岸 茗子¹, 中川 真太郎¹, 秋山 遼太¹, 村中 俊哉², 杉本 幸裕¹, 水谷 正治¹ (¹神大院農, ²阪大院工)

D5 会場 午前の部(9:30~11:28)

酵素—アミノ酸代謝関連酵素、脂質代謝関連酵素/酸化還元酵素—

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

2D5a01 A mitochondrial membrane bound O-acyltransferase is involved in the biosynthesis of Nitrogen Signaling Factors (NSFs) in *Schizosaccharomyces pombe*

9:30 ○KANRIN RI^{1,2}, Yoko Yashiroda², Go Hira³, Masaya Usui⁴, Minoru Yoshida^{1,2,5} (¹Dept. Biotechnol., Univ. Tokyo, ²Chem. Genomics Res. Gr., RIKEN CSRS, ³Fac. Pharm. Sci., Kyushu Univ, ⁴BMA, RIKEN CBS, ⁵CRIIM, Univ. Tokyo)

2D5a02 Phosphorylation-mediated cofactor specificity switch in glutamate dehydrogenase from *Schizosaccharomyces pombe*

9:41 ○YIFAN WANG¹, Takeo TOMITA^{1,2}, Ayako YOSHIDA^{1,2}, Saori KOSONO^{1,2}, Makoto NISHIYAMA^{1,2} (¹Grad. Sch. of Agri. and Life Sci., UTokyo, ²CRIIM, UTokyo)

2D5a03 Crystal structure of the LysJ-LysW complex from *Thermus thermophilus*

9:52 ○Wenyuan SHI¹, Ayako YOSHIDA^{1,2}, Saori KOSONO^{1,2}, Makoto NISHIYAMA^{1,2} (¹Grad. Sch. of Agri. and Life Sci. UTokyo, ²CRIIM, UTokyo)

2D5a04 シアノフィシン生合成におけるアスパラギン酸縮合反応とその制御の分子機構

10:03 ○宮川 拓也^{1,2}, 楊 健^{2,3}, 川崎 政人^{4,5}, 安達 成彦⁴, 藤井 歩², 宮内 裕美子², 村松 知成², 守屋 俊夫⁴, 千田 俊哉^{4,5}, 田之倉 優² (¹京大院・生命, ²東大院・農生科, ³中科院・南海海洋研, ⁴高エネ機構・物構研・構造生物, ⁵総研大・先端学術院)

2D5a05 Tyrosine phenol-lyase 阻害剤 3,5-dihydroxybenzoic acid 経口摂取はマウス糞便フェノール量を減少させる

10:14 ○小林 琢磨^{1,2}, 大石 栄¹, 原 幸大³, 橋本 博³, 渡辺 賢二³, 吉岡 泰淳¹, 三好 規之¹ (¹静県大院・薬食, ²日本学術振興会, ³静県大・薬)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

2D5a06 超好熱菌由来 PQQ 依存性アルドース脱水素酵素変異体の酵素活性向上に関するアミノ酸残基の同定

10:33 ○伊藤 一樹¹, 前野 美久¹, 櫻庭 春彦², 大島 敏久³, 末 信一朗⁴, 里村 武範^{4,5} (¹福井大院・工, ²香川大, ³大阪工大, ⁴福井大学・工, ⁵福井大ライフ)

2D5a07 超好熱性アーキア *Pyrobaculum aerophilum* 由来 PQQ 依存性アルドース脱水素酵素を基盤とした直接電子移動型酵素の開発

10:44 ○前野 美久¹, 伊藤 一樹¹, 末 信一朗², 里村 武範^{2,3} (¹福井大院・工, ²福井大学・工, ³福井大ライフ)

2D5a08 GABA 資化性好熱性真菌の単離と GABA オキシダーゼの探索

10:55 阿部 一樹, ○高橋 祥司 (長岡技科大)

2D5a09 セレノシステイン含有マルチヘムシトクロムは細菌ドメインに広く保存されたポリスルフィド還元酵素である

11:06 ○井上 真男^{1,2}, 伊豆 由記子¹, 青野 陸¹, 越智 杏奈¹, 三原 久明¹ (¹立命大・生命, ²立命大・R-GIRO)

2D5a10 ロダネーゼ様タンパク質 ExtH の硫黄転移活性に関する Cys 残基の同定

11:17 ○工藤 碧斗¹, 藤田 大樹¹, 井上 真男^{1,2}, 青野 陸¹, 越智 杏奈¹, 三原 久明¹ (¹立命大・生命, ²立命大・R-GIRO)

D5 会場 午後の部(14:01~16:40)

酵素—糖質代謝関連酵素—

p02~p05 発表者の接続時間 13:53~14:01

2D5p02 選択的白色腐朽菌の溶解性多糖モノオキシゲナーゼを用いたサトウキビ収穫廃棄物パルプの分解

14:01 ○八木 勇成^{1,2}, 大賀 恵利^{1,2}, 近藤 敬子^{1,3,4}, 岡野 啓志^{4,5}, 渡辺 隆司^{4,5}, 永田 崇^{1,2,3,4}, 片平 正人^{1,2,3,4} (1京大エネ研, 2京大院エネ科, 3京大エネ研カーボンネガティブ, 4京大バイオマスプロダクトツリー, 5京大生存研)

2D5p03 ラミナリビオース合成酵素に変換した β -1,3 グルカンホスホリラーゼ変異酵素の性質と利用

14:12 ○鬼塚 恵音, 藤野 早瑛, 川口 剛司, 炭谷 順一 (大阪公立大院農)

2D5p04 *Bacillus halosaccharovorans* 由来 β -amylase の高温反応性の増強

14:23 ○前田 泰輝, 田中 真奈, 川口 剛司, 炭谷 順一 (大阪公立大院農)

2D5p05 ランダム変異および部位特異的サチュレーション変異による糸状菌由来 GH3 β -グルコシダーゼの高耐熱化

14:34 ○松崎 千秋¹, 日高 將文², 中島 由香里¹, 本多 裕司³, 小柳 喬³, 石川 一彦⁴, 加藤 紀彦⁵, 熊谷 英彦¹, 片山 高嶺⁵ (1石川県大資源研, 2東北大院農, 3石川県大生資環, 4松谷化学工業株, 5京大院生命)

p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53

2D5p06 高濃度 EDTA 耐性を持つ α -アミラーゼの獲得

14:53 ○森本 晃帆¹, 依田 卓也¹, 細川 正人^{1,2}, 津田 宗一郎¹ (1bitBiome株式会社, 2早大院・先進理工)

2D5p07 アスガルドーアーキアにおける fructose-1,6-bisphosphatase の探索

15:04 ○佐藤 喬章^{1,2}, 中川 裕介¹, 跡見 晴幸^{1,2} (1京大院工, 2京大カーボンネガティブ・エネ研)

2D5p08 Biochemical analyses on phosphoenolpyruvate carboxykinases from brown algae

15:15 ○Jianqiang JIN, Yuusuke Yokooji, Haruyuki Atomi (Kyoto Univ.)

2D5p09 複数の褐藻分解酵素を利用した藻類バイオマスから有用単糖及び天然フコイダン抽出法の確立

15:26 ○福井 望天¹, 高須賀 太一^{1,2} (1北大院農, 2北大院国際資源)

2D5p10 異なる2種の菌株から見出されたアカモクフコイダン低分子化酵素

15:37 ○藤田 太洋¹, 川口 紗季², 八木 寿梓², 鈴木 宏和², 大城 隆² (1鳥取大院・持続創生, 2鳥取大・工)

p11~p14 発表者の接続時間 15:48~15:56

2D5p11 ゲノムマイニングで取得した麹菌由来のエンドグルカナーゼに新たに見出されたマンナナーゼ活性について

15:56 ○渡部 昭¹, 松沢 智彦², 氏家 成隆¹, 新谷 尚弘¹, 五味 勝也¹ (1東北大院農, 2香川大農)

2D5p12 *Burkholderia contaminans* LK2dm 由来の D-マンノースイソメラーゼの特性評価と o-アミノジフェニル酢酸法を用いたイソメラーゼアッセイ

16:07 ○篠田 小雪¹, 森本 兼司^{1,2} (1香川大院農, 2香川大国際少糖研究教育機構)

2D5p13 Investigation of region critical for the physical interaction of the yeast dolichyl-phosphate glucosyltransferase Alg5p

16:18 ○Samantha SAMANTHA, Tetsuo TAKAHASHI (Tokai University)

2D5p14 酵母ドリコールキナーゼ Sec59p に関する物理的相互作用の解析

16:29 ○高橋 哲夫, 栗原 航希 (東海大工生物工学)

D6 会場 午前の部(9:30~12:20)

動物—個体-生理・栄養・代謝, 神経, 生体機能, 生体制御, メタボローム, 病理, 発生—

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

2D6a01 オスマウスの尿中のフェロモンとその受容体および神経回路に関する研究

9:30 ○村田 健¹, 板倉 拓海², 東原 和成¹ (1東大院農, 2カリフォルニア工科大学)

2D6a02 子マウス尿に応答する鋤鼻受容体の同定と子殺し行動における機能解析

9:41 ○神戸 朱琉¹, 村田 健¹, 板倉 拓海², 東原 和成¹ (1東大院農, 2カリフォルニア工科大学)

2D6a03 パートナー系統に着目した母マウスの攻撃行動の研究

9:52 ○齊藤 航介¹, 板倉 拓海¹, 村田 健¹, 金子 武人², 東原 和成¹ (1東大院農, 2岩手大院理工)

2D6a04 必須アミノ酸トリプトファンによる記憶増強効果とそのメカニズムの解析

10:03 ○杉山 奏美, 川嶋 珠生, 谷水 俊之, 喜田 聰 (東京大学大学院 農学生命科学研究科 応用生命化学専攻)

2D6a05 マウス食傷モデルの開発

10:14 ○平 裕太郎, 喜田 聰 (東大院農)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

2D6a06 排卵期女性の匂いは男性に対してポジティブな心理生理効果を有する

10:33 ○白須 未香¹, 大木 望¹, 小倉 由資¹, 平澤 佑啓¹, 岡本 雅子¹, 川村 理恵子¹, 滝川 浩郷¹, 東原 和成^{1,2} (1東大院農, 2東大WPI-IRCN)

2D6a07 言葉ラベルが香り知覚と一次嗅覚野の活動に及ぼす影響

10:44 ○岡本 雅子¹, 奥村 俊樹², 黄田 育宏²³, 横井 悅²³, 中井 智也², 西本 伸志²³, 東原 和成¹ (1東大院農, 2情報通信研究機構, 3大阪大学)

2D6a08 脳波を用いた、ヒトの脳における匂い情報処理の時空間ダイナミクスの解明

10:55 ○加藤 麦彦, 東原 和成, 岡本 雅子 (東大院農)

2D6a09 食物価値の社会伝達による食物新奇性恐怖の減弱と空腹感の誘導

11:06 ○岡山 龍人, 喜田 聰 (東大院農)

2D6a10 条件づけ場所嗜好性課題を応用した嗜好性の高い食物摂食によるポジティブ情動産生機構の解析

11:17 ○若山 直希, 桑鶴 良文, 喜田 聰 (東大院農)

a11~a14 発表者の接続時間 11:28~11:36

2D6a11 環境エンリッチメントによる 3q29 領域欠失導入マウスの精神疾患様行動の回復

11:36 ○秋本 祐弥^{1,2}, 福島 穂高², 三浦 大樹², 橋本 均^{3,4,5,6,7,8}, 橋本 亮太⁸, 中澤 敬信²⁸ (1WDB株式会社エウレカ社, 2東農大生命, 3阪大院薬, 4阪大院連合小児子どものこころセ, 5阪大院データビリティフロンティア機構, 6阪大先導的学際研究機構, 7阪大院医, 8国立精神神経医療研究セ精神疾患病態研)

2D6a12 条件づけ味覚嗜好学習によって苦味溶液に対する嗜好性の人為的向上

11:47 ○高橋 明日香, 劉 牧言, 喜田 聰 (東京大農)

2D6a13 Glyoxalase 1 の阻害はマウスの非糖尿病時の不安を減少させ、糖尿病時の不安を増加させる

11:58 ○白井 海斗¹, 竹中 麻子² (1明治大院農, 2明治大農)

2D6a14 高脂肪食摂取マウスへのタンパク質制限がエネルギー代謝に及ぼす影響

12:09 ○相馬 大智¹, 金子 賢太朗², 竹中 麻子² (明大院農, 明大農)

D6 会場 午後の部(13:50~16:40)

動物一個体-生理・栄養・代謝, 神経, 生体機能, 生体制御, メタボローム, 病理, 発生/細胞機能-シグナル伝達, 細胞応答, 細胞分化, 細胞死, メタボローム-

p01~p05 発表者の接続時間 13:42~13:50

2D6p01 コリン欠乏に対する超生物学的適応

13:50 ○小幡 史明^{1,2}, 藤田 有香^{1,2} (理化学研究所, 京大院生命)

2D6p02 アミノ酸バランス検知システムによる食欲調節メカニズムの解明

14:01 吉田 健人¹, ○松居 翔¹, 塚本 麻衣¹, 淩原 俊一郎², 小栗 靖生¹, 都築 巧¹, 佐々木 努¹ (京大院農, 神大院医)

2D6p03 大腸炎マウスにおける皮膚遺伝子発現の解析

14:12 ○佐伯 樹, 山本 祥也, 鈴木 卓弥 (広島大学大学院統合生命科学研究所)

2D6p04 グーガム分解物はマウスの腸内環境を改善し, エタノール投与による肝脂肪蓄積を緩和させる。

14:23 ○森島 爭^{1,2}, 安部 綾², 岡本 沙季², カプール マヘンドラ², 大角 将秀¹, 大久保 勉¹, 小関 誠^{1,2}, 西尾 昌洋¹, 井上 亮³ (三重大生資, 太陽化学, 摂南大農)

2D6p05 新規鋤鼻受容体候補遺伝子 ancV1R 欠損オスマウスの表現型解析

14:34 ○武田 紗季, 近藤 宏, 岩田 哲朗, 二階堂 雅人, 廣田 順二 (東工大生命理工院)

p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53

2D6p06 炎症性腸疾患に耐性を示す核内受容体型転写因子

NR4A3 欠損マウスの免疫応答と腸管構造

14:53 ○南川 夏己¹, 伊藤 直人¹, 片桐 万由佳¹, 中野 信浩², 原 むつ子², 横上 賀一³, 長田 和樹¹, 吉村 昭彦⁴, 西山 千春¹ (東理大院先進工生命システム, 順大院アトピー疾患研究センター, 東理大薬生命創薬, 大慶大医)

2D6p07 NRF2 欠損の胎内環境並びに性差が及ぼす接触性皮膚炎への影響

15:04 ○杉原 彩夏, 長田 和樹, 西山 千春 (東理大院先進工生命システム)

2D6p08 転写抑制因子 Bach1 は多量体免疫グロブリン受容体の発現調節を介して腸管腔への IgA 分泌を制御する

15:15 ○東村 泰希¹, 松本 健司¹, 三谷 墓一², 高木 智久³, 武藤 哲彦⁴, 五十嵐 和彦⁴, 内藤 裕二³ (石川県立大・生資環, 信州大院・農, 京府医大院・医, 東北大院・医)

2D6p09 常圧低酸素環境における酸素濃度の違いが身体に与える影響

15:26 ○藤掛 明日希¹, 岡本 真由美², 小島 匠人¹, 黒澤 麻由美¹, 松下 敬一¹, 坪井 玲奈³, 寺尾 安生² (株式会社 TSM, 杏林大学, High Altitude Management株式会社)

2D6p10 膜ポリペプチド細胞の分化可塑性ならびに運命決定機序の研究

15:37 ○佐藤 隆史¹, 中川 祐子¹, 深石 貴大¹, 福中 彩子¹, 綿田 裕孝², 藤谷 与士夫¹ (群馬大生体調節研, 順天堂大院医)

p11~p14 発表者の接続時間 15:48~15:56

2D6p11 Role of the mevalonate pathway in the regulation of selective autophagy and atrophy in skeletal muscle

15:56 ○Liyang Ni¹, Xiaolin Zhao¹, Hidetoshi Sakurai², Ryuichiro Sato¹, Yoshio Yamauchi¹ (The Univ. of Tokyo, Kyoto Univ.)

2D6p12 カブサイシン型とオイゲノール型リガンドによるバニロイド受容体の活性化に対する嗅覚受容体およびフォルスコリンの調節作用の違い

16:07 ○森山 さくら^{1,2}, 日沼 州司², 黒田 俊一^{1,2} (大阪大学生命機能研究科, 大阪大学 産業科学研究所)

2D6p13 発生期ゼブラフィッシュ胚において紫外線および青色光がDNA 損傷に与える影響

16:18 ○廣谷 陸, 佐藤 大輝, 佐藤 一臣 (玉川大院)

2D6p14 ケヅメリクガメのTRPV1 遺伝子の解析

16:29 ○海老原 充 (関東学院大理工)

D7 会場 午前の部(9:30~12:20)

生物科学-糖鎖科学-構造, 機能, 糖鎖工学, その他-

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

2D7a01 未利用資源由来多糖・オリゴ糖の調製と構造活性相関

9:30 ○藤澤 萌¹, 二階堂 望¹, 太田 空良², 上野 裕太郎², 渡邊 崇^{1,2}, 尾形 慎³, 戸谷 一英^{1,2} (一関高専・化学バイオ, 関高専・専攻科, 福島大・農)

2D7a02 未利用糖質資源の免疫活性とMPSによる評価

9:41 ○和野崎 貴乙¹, 太田 空良², 藤澤 萌¹, 二階堂 望¹, 上野 裕太郎², 藤原 康宣^{1,2}, 渡邊 崇^{1,2}, 大沼 清³, 長久保 大輔⁴, 戸谷 一英^{1,2} (一関高専・化学バイオ, 関高専・専攻科, 長岡技科大・物質生物, 姫路獨協大・薬)

2D7a03 シロイヌナズナ用転移酵素GATLのペクチン合成における役割

9:52 ○濱田 紗愛, 砂崎 遥香, 石川 和也, 家門 絵理, 石水 毅 (立命館大・生命)

2D7a04 シロイヌナズナ由来の機能未知ガラクトース転移酵素の選抜

10:03 ○福榮 美月, 小野 真央, 濱田 紗愛, 石川 和也, 家門 絵理, 石水 毅 (立命館大・生命)

2D7a05 エンド-β-N-アセチルグルコサミニダーゼ HS の立体構造と機能発現機構

10:14 倉内 郁哉¹, 大倉 和貴¹, 森 真司¹, 米澤 健人², 清水 伸隆², 田中 里佳³, 細川 千絵¹, 宮原 郁子¹, ○伊藤 和央¹ (阪公大・院理, KEK・物構研, 阪公大・工)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

2D7a06 マトリグリカンオリゴ糖とクラスター分子の合成

10:33 ○小寺 康太¹, 田村 敏裕², 望月 楽斗³, 田村 純一^{1,2,3} (鳥大院農, 鳥大院連大農, 鳥大農)

2D7a07 ケラタン硫酸オリゴ糖の化学合成

10:44 ○服部 怜, 岩間 千明, 植村 優那, 武田-奥田 尚子, 田村 純一 (鳥大農)

2D7a08 養殖鯉に含まれるグリコサミノグリカンの組成分析

10:55 ○北井 悠仁, 田村 純一 (鳥大農)

2D7a09 *Elizabethkingia* 属細菌由来 O-glycoprotease の C 末端領域の解析

11:06 ○高島 晶, 黒河内 政樹, 八須 和子, 水野 真盛, 高田 美生 ((公財)野口研)

2D7a10 乳由来シアリル糖ペプチドに含まれるシアル酸含有 O 結合型糖鎖の定性および定量分析

11:17 ○樋口 淳一¹, 黒河内 政樹², 三塚 翔¹, 石田 祐子¹, 福留 博文¹, 野々山 典子¹, 山口 敏幸¹, 水野 真盛², 郷田 雅之¹, 酒井 史彦¹ (雪印メグミルク(株) ミルクサイエンス研究所, 野口研究所 糖鎖有機化学研究室)

a11~a14 発表者の接続時間 11:28~11:36

2D7a11 ヒドロキシ脂肪酸(2-HOT)の化学合成と抗真菌活性

11:36 ○土肥 博史^{1,2}, 田中 萌瑛¹, 山本 和加子¹, 島田 貴士¹ (千葉大院園芸, 千葉大MCRC)

2D7a12 ガラクトヘプトース骨格を有する KRN7000 誘導体の合成

11:47 ○草間 明希¹, 渡邊 健吾¹, 西田 芳弘^{1,2}, 土肥 博史^{1,2}
(¹千葉大院園芸, ²千葉大MCRC)

2D7a13 天然多糖由来多孔質材料の開発

11:58 ○菅野 憲一^{1,2}, 上田 麻未¹, 米村 陽¹, 畑中 大和¹,
齊藤 健太郎¹, 石川 健太² (¹近大産理工, ²近大院産理工)

2D7a14 組換エヒトインテレクチン-1 の糖結合特異性

12:09 ○林 勇輝, 鶴見 勇吾, 伊藤 誌小里, 奥村 裕紀, 氏田 稔
(名城大院農)

D7 会場 午後の部(14:53~16:18)

生物科学—糖鎖科学-構造, 機能, 糖鎖工学, その他/タンパク質・ペプチド科学-構造, 機能, その他—

p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53

2D7p06 トランスクリプトーム解析によるイネディフェンシン由来ペプチドの作用メカニズムの解析

14:53 ○落合 秋人^{1,2}, 東海林 裕翔¹, 芦原 紗喜¹, 大橋 一登³,
谷口 正之⁴, 提箸 祥幸⁵, 田中 孝明^{1,2} (¹新潟大院自然研, ²新潟
大工, ³群大・生調研, ⁴新潟青陵短大・人間総合, ⁵農研機構・生物
研)

2D7p07 イネ由来多機能性ペプチドの機能性向上に関する研究

15:04 ○遠藤 めい¹, 東海林 裕翔¹, 鈴木 優飛¹, 谷口 正之²,
田中 孝明¹, 落合 秋人¹ (¹新潟大院自然研, ²新潟青陵短大・人間
総合)

2D7p08 保護単糖による表面修飾シリカ粒子の合成と相互作用

15:15 ○加藤 佑介¹, 鈴木 紗乃¹, 中村 彩乃¹, 内田 司¹,
蟹江 善美³, 蟹江 治^{1,2} (¹東海大院, ²東海大工, ³東海大
技)

2D7p09 ホスファチジルグルコシドの固相合成

15:26 ○松尾 一郎¹, 藤原 駿佑¹, 狩野 航輝¹,
グレイメル ピータ², 平林 義雄^{2,3}, 石井 希実¹ (¹群馬大院理
工, ²理研, ³順天大院医)

2D7p10 複合型糖鎖を用いた抗体糖鎖特異的 ENGase(Endo-S)の活性検出

15:37 ○石井 希実, 野口 智恵, 井上 周征, 松尾 一郎 (群馬大
院理工)

p11~p12 発表者の接続時間 15:48~15:56

2D7p11 細胞壁多糖 α -1,3-グルカン依存的凝集性の評価系構築に 向けた α -1,3-グルカノオリゴ糖被覆ビーズの作製

15:56 ○竹俣 海志¹, 宮澤 拳¹, 小泉 亜未¹, 吉見 啓^{2,4},
目黒 康洋¹, 佐藤 伸一⁵, 岩田 忠久³, 木村 聰³, 阿部 敬悦^{1,2}
(¹東北大院農, ²東北大未来研, ³東大院農, ⁴京大院地環学, ⁵東北
大院学際研)

2D7p12 ビフィズス菌由来の新規糖質加水分解酵素によりセヤル 種アラビアガム AGP から切断されるオリゴ糖の構造解析

16:07 ○石渡 明弘¹, 佐々木 優紀^{2,3}, 松尾 紗子²,
橋口 実々花², 藤村 花乃子², 北原 兼文², 藤田 清貴²,
越野 広雪¹, 田中 克典^{1,4}, 伊藤 幸成^{1,5} (¹理研, ²鹿大農, ³京大
院生命, ⁴東工大院物質理工, ⁵阪大院理)

E1 会場 午前の部(9:30~11:28)

微生物—物質生産-醸造, 発酵(一次代謝産物)/代謝-発酵生理, 代謝 調節—

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

2E1a01 自然界酵母から清酒製造に適する醸造用酵母への効率的 な育種方法の開発

9:30 ○栗林 喬^{1,2}, 菅原 雅通¹, 金桶 光起², 小熊 哲哉²,
鍋倉 義仁¹, 青木 俊夫¹ (¹新潟醸造試, ²新潟食農大)

2E1a02 尿素非生産性を維持したカプロン酸エチル高生産性清酒 酵母の育種法の開発

9:41 ○田中 純平¹, 菅原 雅通¹, 栗林 喬^{1,2}, 佐藤 圭吾¹,
鍋倉 義仁¹, 城 斗志夫³, 青木 俊夫¹ (¹新潟醸造試, ²新潟食農
大, ³新潟大農)

2E1a03 酵母におけるリン酸応答性アルコール発酵調節

9:52 美馬 未紗希, 高木 博史, ○渡辺 大輔 (奈良先端大)

2E1a04 フラクトオリゴ糖生産酵母 *Zalaria* sp. Him3 株を用いた イソマルトオリゴ糖生産

10:03 ○松谷 遥希¹, 田中 駿², 真榮田 麻友美², 前橋 健二^{1,2},
吉川 潤^{1,2} (¹東農大院応生, ²東農大応生)

2E1a05 *Citrobacter braakii* TB-96 株における電気発酵の効果と 応用による新規培養系の構築

10:14 ○柳瀬 卓馬¹, 井上 謙吾¹, 吉田 ナオト¹,
中島(神戸) 敏明², 清 啓自¹ (¹宮大院農, ²筑波大院生命環境系)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

2E1a06 塩素固定細菌を用いた大気中塩素を由来とする L-グルタ ミン酸発酵法の改良

10:33 ○吉留 大輔¹, 日高 真誠¹, 伊藤 有亮^{1,2},
古園 さおり^{1,3}, 西山 真^{1,3} (¹東大院・農生科, ²キッコーマン
株式会社, ³東大・微生物連携機構)

2E1a07 システインを高生産する酵母の育種と機能解析

10:44 ○磯貝 章太¹, 西村 明¹, 園原 詩野², 岡田 知之²,
継国 孝司², 高木 博史¹ (¹奈良先端大・研究推進, ²武藏精密工
業・植物バイオ)

2E1a08 酵母の分岐鎖アミノ酸アミノトランスアミナーゼ変異体 によるフーゼルアルコール生産性の向上

10:55 KOONTHONGKAEW Jirasin, 豊川 洋一, ○高木 博史
(奈良先端大バイオ)

2E1a09 油脂酵母 *Lipomyces starkeyi* 新規油脂超高蓄積変異株の 取得と油脂高生産原因遺伝子の同定

11:06 ○佐藤 里佳子¹, 森 一樹², 荒 学志¹, 山崎 晴丈¹,
田代 康介², 石谷 孔司³, 油谷 幸代³, 高久 洋曉¹ (¹新潟大院農・応
生科, ²九州大・院農, ³産総研・生物プロセス)

2E1a10 ルーメン細菌由来 *Plasmalogen* 合成遺伝子を導入した大 腸菌でのエタノールアミン型 *Plasmalogen* の生産

11:17 ○吉井 直毅¹, 小野寺 智子², 阿部 直樹¹, 金子 淳¹ (¹東
北大院農, ²名寄市立大栄)

E1 会場 午後の部(14:01~16:40)

微生物—物質生産-醸造, 発酵(一次代謝産物)—

p02~p05 発表者の接続時間 13:53~14:01

2E1p02 野生酵母のゲノム情報から探る清酒酵母の低温発酵特性 に関する遺伝子の探索

14:01 ○川原 悠暉¹, 久松 賢太郎², 澤井 美伯², 吉村 明浩²,
正木 和夫³, 赤尾 健³, 島田 昌也¹, 中川 智行¹ (¹岐阜大院自然
科学, ²岐阜県食品科学研究所, ³酒類総合研究所)

2E1p03 協会系清酒酵母の胞子発芽異常に関与する新規遺伝子の 探索

14:12 ○周 延, 金井 宗良, 赤尾 健 (酒総研)

2E1p04 比較ゲノミクスに基づくワイン酵母の潜在的な高発酵性 に関する解析

14:23 ○高橋 空良, 渡辺 大輔 (奈良先端大・バイオ)

2E1p05 米麹中の α -アミラーゼの簡易測定法の改良

14:34 ○五島 徹也¹, 織田 健¹, 島本 和美¹, 赤尾 健¹,
鈴木 繁哉², 下地 一彦² (¹酒類総合研究所, ²キッコーマンバイ
オケミファ)

p06～p10 発表者の接続時間 14:45～14:53

2E1p06 大腸菌呼吸鎖変異株△NDH-I△Cytb₀₃を用いたグルコースからのGABAの高生産

14:53 ○若原洋輝, 溝越拓哉, 吹谷智, 横田篤, 前田智也
(北大院農)

2E1p07 バナナ茎から単離した新規 *Saccharomyces cerevisiae* およびその泡盛醸造用ロイシン蓄積変異株の特性解析

15:04 ○塚原正俊¹, 磯貝章太², 東春奈¹, 塚原恵子¹,
豊川洋一², 高木博史² (1バイオジェット, ²奈良先端大・バイオ)

2E1p08 油脂酵母 *Yarrowia lipolytica* を用いた飽和脂肪酸の生産

15:15 ○大道春輝¹, 広瀬大樹¹, CHIH-CHAN Wu²,
宮崎健太郎², 富田宏矢²³, 本田孝祐²³ (1阪大院・工, ²阪大・生工国交セ, ³阪大・先導的学際研機構)

2E1p09 バクテリアルセルロース生産における培地成分の影響

15:26 ○鷹西晴大¹, 片桐瀬那¹, 楠口杏奈¹, 小林由衣乃²,
鈴木敏弘³, 石川森夫³, 仁平高則¹, 竹園恵¹, 小野寺正幸²
(¹新潟工大工, ²新潟県微研, ³東農大醸造)

2E1p10 清酒中オリゴ糖による香気成分の揮発抑制効果

15:37 ○六倉春樹¹, 本田千尋², 中山俊一^{1,3}, 岡田奈菜子³,
馬宮綾音³, 進藤齊¹³, 穂坂賢¹³, 徳岡昌文¹³ (1東農大院・応生, ²静岡県大・食栄, ³東農大・応生)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

2E1p11 Molecular breeding of the oleaginous fungus *Mortierella alpina* for the production of EPA at ordinary temperature

15:56 ○Nina Barua², Akinori Ando^{1,2}, Tomoyo Okuda²,
MO Brian King Himm², Ryohei Nakatsuji²,
Hiroyuki Ikemoto³, Hiroshi Kikukawa⁵, Takaiku Sakamoto⁴,
Sakuradani Eiji⁴, Jun Ogawa^{1,2} (1Res. Unit Physiol. Chem.,
Kyoto Univ., ²Div. Appl. Life Sci., Grad. Sch. Agric., Kyoto
Univ., ³Nissin Pharma Inc., ⁴Inst. Technol. Sci., Univ.
Tokushima, ⁵Div. Appl. Chem., Fac. Eng., Hokkaido Univ.)

2E1p12 味噌中のオリゴ糖の網羅的分析

16:07 ○河崎乃々果¹, 勝田亮², 徳岡昌文³, 熊澤茂則¹,
本田千尋¹ (1静県大食栄, ²東農大院生命, ³東農大院応生)

2E1p13 清酒より発見された配糖体の構造解析

16:18 ○秋山唯¹, 本田千尋¹, 吉澤耕², 山田明日香²,
小泉泉美², 徳岡昌文², 熊澤茂則¹ (1静県大院薬食, ²東農大院
応生)

2E1p14 タンパク質組成変異米を麹及び掛米に用いた製成酒の特徴について

16:29 ○飯塚(古川)幸子, 長船行雄, 藤田晃子,
阿久津武広, 磯谷敦子, 鈴木崇, 向井伸彦 (酒総研)

E2会場 午前の部(9:30～12:20)

微生物—細胞—細胞応答, ストレス応答, 情報伝達, 細胞外膜小胞—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

2E2a01 細胞性粘菌の発生過程におけるスフィンゴミエリナーゼコード遺伝子の機能解析

9:30 ○池谷彩佳¹, 成田隆明² (1千葉工大・院先進工, ²千葉工大・先進工・生命)

2E2a02 セラミドの de novo 合成に関わる遺伝子の過剰発現が *Dictyostelium discoideum* の発生・分化に与える影響

9:41 ○木村詩音¹, 成田隆明² (1千葉工大・院先進工, ²千葉工大・先進工・生命)

2E2a03 出芽酵母における微小管脱重合阻害剤添加によるミトコンドリア形態異常

9:52 ○村田和加惠^{1,2}, 山瀬優日¹, 萩田亮³, 山口良弘²,
藤田憲一² (1米子高専, ²大阪公大院・理, ³大阪公大健康研セ)

2E2a04 Persimmon tannin enhances *Saccharomyces cerevisiae* tolerance to ethanol stress

10:03 ○Ilhamzah¹, Yoshihiro Yamaguchi¹, Akira Ogita^{1,2},
Ken-ichi Fujita¹ (1Grad. Sch. Sci., Osaka Metro. Univ., ²Res. Center Urban Health Sports, Osaka Metro. Univ.)

2E2a05 アルコール発酵における酵母細胞内タンパク質の凝集と Btn2 の重要性

10:14 今井美月, 吉谷昇, ○井澤真吾 (京都工織大院工芸科学)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

2E2a06 下面発酵ビール醸造酵母の凝集とエタノール耐性の関係性について

10:33 ○小島香穂, 三浦健 (東洋大院生命科学)

2E2a07 清酒酵母のエタノール応答関連遺伝子の QTL 解析

10:44 ○河内孝之^{1,2}, 金井宗良¹, 赤尾健^{1,2} (1酒総研, ²広島大院・統合生命)

2E2a08 低酸素条件下におけるエノラーゼ活性の変化および変異体活性の検証

10:55 ○鷲尾成実, 三浦夏子^{1,2}, 片岡道彦^{1,2} (1阪府大・生命環境, ²阪公大院・農)

2E2a09 低酸素培養における G-body 形成率経時的变化の観察

11:06 ○森川穂香¹, 赤井美咲², 三浦夏子^{1,2}, 片岡道彦^{1,2}
(1阪府大・生命環境, ²阪公大院・農)

2E2a10 酵母 *Saccharomyces cerevisiae* に見出した新たな活性カルボニル種消去分子と終末糖化産物の生成抑制機構

11:17 ○那須野亮^{1,2}, 高木博史³ (1神戸大・先端バイオ, ²奈良先端大・バイオ, ³奈良先端大・研推)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

2E2a11 酵母 *Saccharomyces cerevisiae* における培養温度に依存した浸透圧ストレスの解析

11:36 ○吉川雄樹, 伊藤玲奈 (秋田県立大学)

2E2a12 スフィンゴ脂質レベルに依存した転写因子 Com2 の分解制御によるスフィンゴ脂質代謝制御

11:47 ○田淵光昭, 松本康生, 長井彩音, 白井里樹,
小松楠於, 石野裕子, 田中直孝 (香川大農)

2E2a13 絶対嫌気性 *Clostridium* 属の O₂ 感受性の分子機構に関する研究

11:58 ○畠典雅, 富岡哲平, 小宮山新大,
スチュワードグナルディ, 川崎信治 (東農大院微生物)

2E2a14 高度な光酸化ストレス耐性を持つ微細藻類のストレス応答性代謝プログラムのオミクス解析

12:09 ○豊島拓樹¹, 三井珠来¹, 石毛太一郎², 高市真一¹,
川崎信治¹ (1東農大微生物, ²東農大ゲノム解析セ)

E2会場 午後の部(13:50～16:40)

微生物—細胞—細胞応答, ストレス応答, 情報伝達, 細胞外膜小胞—

a01～p05 発表者の接続時間 13:42～13:50

2E2p01 大腸菌における新規 toxin-antitoxin system, *yjbL-yjbM* の同定

13:50 ○比嘉穂乃¹, 山口良弘² (1阪市大理, ²阪公大理)

2E2p02 酢酸菌 *Komagataeibacter medellinensis* 3288 株における新規 toxin-antitoxin system の同定

14:01 ○池上和里¹, 比嘉穂乃¹, 山口良弘² (1阪市大理, ²阪公大理)

2E2p03 耐熱菌由来ヒートショックタンパク質が大腸菌のマルチストレス耐性に及ぼす影響

14:12 ○佐藤悠¹, 岡野憲司², 本田孝祐^{3,4} (1山口大・中高温微セ, ²関西大・化生工, ³阪大・生工国際セ, ⁴阪大・先導的学際研機構)

2E2p04 大腸菌 Trk 型 K 取込みトランスポーターの進化的背景
14:23 ○Tanudjaja Ellen¹, 星 直美¹, 山本 兼由², 井原 邦夫³, 古田 忠臣⁴, 辻井 雅¹, 石丸 泰寛¹, 魚住 信之¹ (¹東北大学院工学研究科, ²法政大学生命科学部生命機能学科, ³名古屋大学遺伝子実験施設, ⁴東京工業大学 生命理工学院)

2E2p05 枯草菌におけるリボソーム生合成と S-アデノシルメチオニン代謝との関連性の解析
14:34 ○大坂 夏木¹, 朝井 計², 田中 寛¹ (¹東工大化生研, ²東農大バイオ)

p06～p10 発表者の接続時間 14:45～14:53

2E2p06 部位特異的なゲノム DNA の二重鎖切断が枯草菌の胞子形成に与える影響の解析

14:53 ○本橋 直大, 田中 俊平, 朝井 計 (東京農大院バイオ)

2E2p07 *Thermococcus kodakarensis* 由来リバースジャイアースに関する研究

15:04 ○平木 陽向, 東端 啓貴 (東洋大生命)

2E2p08 放線菌における *sigR* を介した酸化ストレス応答のピロガロール誘導型分岐形成への関与

15:15 ○福原 彩穂¹, 加藤 愛美², 浅水 俊平³, 尾仲 宏康¹ (¹学習院大理, ²慶應大先端生命研, ³神戸大先端バイオ)

2E2p09 新規糖刺激を PTS-TCS 間で伝えるコネクター RcsG

15:26 ○山口 和宣¹, 保山 菜穂子², 萩原 慧¹, 深見 知可¹, 加藤 明宣¹ (¹近畿大院農バイオ, ²近畿大農バイオ)

2E2p10 様々な細菌集団および単離細菌株に対する有機塩素系殺虫剤分解酵素遺伝子のキャプチャリング実験

15:37 ○岡 俊璃, 岸田 康平, 大坪 嘉行, 永田 裕二 (東北大院生命科学)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

2E2p11 ナノ秒パルス高電界による酵母代謝への影響

15:56 ○越村 匠博¹, 竹内 凜², 四田 杏美², 猪原 武士³, 山崎 隆志¹ (¹佐世保高専・物質工学科, ²佐世保高専・専攻科, ³佐世保高専・電気電子工学科)

2E2p12 作出したカフェイン感受性株の変異箇所の特定について

16:07 ○山口 穂香¹, 高久 美鈴², 水木 徹³, 三浦 健^{1,2,4} (¹東洋大, ²東洋大院, ³東洋大学バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター, ⁴東洋大学ライフイノベーション研究所)

2E2p13 クロロゲン酸による乳酸菌におけるカフェイン耐性の向上について

16:18 ○高久 美鈴¹, 山口 穂香², 水木 徹³, 三浦 健^{1,2,4} (¹東洋大院, ²東洋大, ³東洋大学バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター, ⁴東洋大学ライフイノベーション研究所)

2E2p14 グラム陽性菌における抗菌性陽イオン界面活性剤の作用機構の解析

16:29 ○中田 陽¹, 佐々木 美穂^{1,2}, 松村 吉信^{1,2} (¹関西大・生命生物工, ²関西大・ORDIST)

E3 会場 午前の部(9:30～11:28)

食品—食品機能・栄養・酸化, 抗酸化, 糖化, 抗糖化, 老化/食品機能・栄養-その他一

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

2E3a01 過酸化リン脂質の代謝からみたフェロトーシス誘導機構の評価

9:30 ○鈴木 優里¹, 加藤 主税², 加藤 俊治¹, 山崎 寛之³, Isabella Supardi Parida¹, Mirinthon Jutanom¹, 竹腰 進³, 仲川 清隆¹ (¹東北大院農, ²静岡大院農, ³東海大医)

2E3a02 過酸化スクアレンによるヒト皮膚角化細胞へのフェロトーシスの誘導と植物抽出物による抑制

9:41 ○加藤 主税^{1,2}, 楠本 惟吹¹, 加藤 俊治¹, 乙木 百合香¹, 伊藤 隼哉¹, 鈴木 優里¹, 戸塚 広乃³, Arun Rajgopal⁴, Jina Hong⁴, 仲川 清隆¹ (¹東北大院農, ²静大院農, ³Nutrilite 社, ⁴ABG INTL社)

2E3a03 カルノシン酸による線虫 *C.elegans* の GLO1 活性化と糖化抑制作用

9:52 ○瀬戸山 央 ((地独)神奈川県立産技総研)

2E3a04 D-アラニンの経口摂取が中年マウスの行動に及ぼす影響

10:03 ○西 純可¹, 豊田 淳^{1,2} (¹茨大院農, ²農工大院連合農)

2E3a05 カベルネ・ソーヴィニヨンワインに含まれる機能性成分の皮膚老化に対する効果

10:14 ○沢辺 昭義^{1,2}, 田中 文人¹, 山本 朱那², 竹田 竜嗣³ (¹近畿大院農, ²近畿大農, ³関西福祉科学大・健康福祉)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

2E3a06 テリハボク (*C. inophyllum*) の産生するフラボノイドが糖化中間産物に及ぼす影響

10:33 ○加々美 龍大¹, 宇佐美 徹², 松川 哲也¹, 梶山 慎一郎¹ (¹近大院生物理工, ²株式会社スマエコ)

2E3a07 ローヤルゼリーは老化表皮角化細胞においてセノモルフィック効果を示す

10:44 ○中川 友希江, 伊藤 隆志, 奥村 暢章 (株式会社山田養蜂場)

2E3a08 ラフマ葉抽出物による月経に伴う不定愁訴の改善

10:55 ○押切 春佳, 國吉 智子, 小林 夕希子, 楊 金緯 ((株)常磐植物化学研究所)

2E3a09 ゼブラフィッシュを用いた抗酸化食品成分に関する研究

11:06 ○小林 麻己人¹, 木元 広実², 佐藤 綾香¹ (¹筑波大・医学医療系, ²農研機構・食品研)

2E3a10 プレニル化ガケンフェロールの抗酸化性に及ぼす影響

11:17 ○立石 晴菜¹, 韓 俊文², 棟方 涼介², 矢崎 一史², 古賀 武尊¹, 田井 章博¹, 向井 理恵¹ (¹徳島大・生物資源, ²京大・生存研)

E3 会場 午後の部(13:50～16:40)

有機化学, 天然物化学—生合成/その他一

p01～p05 発表者の接続時間 13:42～13:50

2E3p01 ジャガイモシストセンチュウ孵化誘因物質 solanoeclepin A および類縁体の実用的供給法

13:50 ○山口 友喜, 渡邊 正悟, 岡本 拓実, 岸本 真治, 渡辺 賢二 (静岡県立大薬)

2E3p02 Solanoeclepin A 生合成経路解明に向けた *Nicotiana benthamiana* への一過性異種発現における重要中間体 cycloartenol および関連化合物の単離構造解析について

14:01 ○青木 聰樹¹, 岡本 拓実¹, 山本 泰誠², 岸本 真治¹, 渡辺 賢二^{1,2} (¹静岡県立大薬, ²アデノプリベント)

2E3p03 マメ科モデル植物およびその近縁種を用いたダイズシストセンチュウ孵化誘因物質 glycinoeclepin A の生合成遺伝子および経路の解明

14:12 ○村上 侑太郎, 岡本 拓実, 岸本 真治, 渡辺 賢二 (静岡県立大薬)

2E3p04 サラシナショウマの主成分 cimigenol を基点とした de novo transcriptome 解析による生合成遺伝子・経路の解明

14:23 ○岡本 拓実, 岸本 真治, 渡辺 賢二 (静岡県立大薬)

2E3p05 抗腫瘍性抗生物質 fumagillin 生合成遺伝子のウイルス発現系による新規抗がん遺伝子治療法の確立

14:34 ○根岸 天都, 恒松 雄太, 佐藤 道大, 渡辺 賢二 (静岡県立大薬)

p06～p10 発表者の接続時間 14:45～14:53

2E3p06 放線菌 *Streptomyce albulus* における硫黄キャリアタンパク質を介した新規メチオニン生合成経路の解明
14:53 ○足立 和也, 丸山 千登勢, 濱野 吉十, 長谷部 文人 (福井県大院生物資源)

2E3p07 抗生物質 resormycin が有する β -homolysine の生合成機構の解明
15:04 ○今堀 千咲¹, 小笠原 泰志², 山中 一也³, 長谷部 文人¹, 五十嵐 雅之⁴, 大利 徹², 濱野 吉十¹, 丸山 千登勢¹ (¹福井県大院生物資源, ²北大院工, ³関西大化生工, ⁴微化研)

2E3p08 パプアニューギニア産珪藻 *Nitzschia navis-varingica* のカイノイド生産酵素の同定
15:15 ○芦田 康洋¹, Clyde Pulingi², 前野 優香理³, 工藤 雄大^{4,1}, 長 由扶子¹, 此木 敬一¹, 小瀧 裕一¹, 山下 まり¹ (¹東北大院農, ²Pacific Adventist Univ., ³東大院農, ⁴東北大学院研)

2E3p09 異種発現カイノイド合成酵素を用いた新規カイニン酸類縁体の調製
15:26 山田 基生¹, ○望月 政希¹, 前野 優香理², 小瀧 裕一¹, 寺田 竜太³, 工藤 雄大^{4,1}, 長 由扶子¹, 此木 敬一¹, 山下 まり¹ (¹東北大院農, ²東大院農, ³鹿児島大院連合農, ⁴東北大学院研)

2E3p10 *In vivo* 標識及び免疫染色による渦鞭毛藻サキシトキシン生合成の明暗サイクル内変動解析
15:37 ○長 由扶子¹, 土屋 成輝¹, 大村 卓朗², 此木 敬一¹, 大島 泰克³, 山下 まり¹ (¹東北大院農, ²水圈科学, ³東北大院生命)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

2E3p11 SREBP-1 特異的阻害剤創製を目指したバインダースクリーニング
15:56 ○廣 佳穂里¹, 高橋 裕¹, 丸山 貴史¹, 岡部 隆義², 小島 宏建², 山内 祥生¹, 佐藤 隆一郎² (¹東大院農, ²東大院薬)

2E3p12 芳香族アミン誘導体の水素-重水素交換反応
16:07 ○橋本 誠¹, タクリム ゼトリアナ プテリ^{1,2}, デシタ トリアナ¹, 村井 勇太¹ (¹北大院農, ²インドネシア国立研究開発機構)

2E3p13 3-スチリルフラボン類の合成及び HL-60 に対する増殖抑制活性に関する研究
16:18 ○堤 ありさ¹, 川井 悟¹, 吉澤 結子², 常盤野 哲生² (¹電大院先端研, ²秋田県大)

2E3p14 フラバン-3-オール-加熱安定化ゼラチン複合体の機能性評価
16:29 ○山下 啓太¹, 青木 環¹, 堀口 誠太¹, 植村 美希², 谷口 正紘², 齋藤 安貴子^{1,2} (¹大阪電通大院工, ²大阪電通大工)

E4 会場 午前の部(9:30～11:58)

生物科学—生物工学-酵素工学・生物反応工学, 生物材料工学, 生体医用工学—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

2E4a01 Preparation and degradability of novel cross-linked functional hydrogels from enzymatic synthesized α -1,3-glucan and its carboxymethyl derivative
9:30 ○ZHENGYU SU¹, HARUKA KINOSHITA¹, YOICHI TAKEDA¹, MAKOTO OGAI², MATSUI DAISUKE¹, YOSUKE TOYOTAKE¹, MAMORU WAKAYAMA¹ (¹The Univ. of Ritsumeikan, ²Shimadzu Corporation)

2E4a02 *In vivo* evolution of the *Ralstonia* sp. phosphite dehydrogenase (PtxD): isolation and biochemical characterization of the nitrate resistant PtxD
9:41 ○Gamal Nasser Abdel-Hady^{1,2}, Linh Thi Thuy Cao¹, Takenori Ishida¹, Takeshi Ikeda¹, Hisakage Funabashi¹, Akio Kuroda¹, Ryuichi Hirota¹ (¹Unit of Biotechnology, Division of Biological and Life Sciences, Graduate School of Integrated Sciences for Life, Hiroshima University, ²Department of Genetics, Faculty of Agriculture, Minia University)

2E4a03 構造生物電気化学的手法による膜結合型フルクトース脱水素酵素の反応機構解明
9:52 ○府川 江央留, 宋和 慶盛, 北隅 優希, 白井 理 (京大院農)

2E4a04 新規 PET 分解酵素の同定と表面特微量解析を用いた酵素改変
10:03 ○馬橋 英章¹, 平井 淳¹, 桜井 澄¹, 井手 圭吾¹, 小川 雅人¹, 細川 正人^{1,2}, 津田 宗一郎¹ (¹bitBiome株式会社, ²早大院・先進理工)

2E4a05 コケ由来ペルオキシダーゼ Prx34 の TPX フィルム培養による生産
10:14 伊藤 健司^{1,3}, 日下志 和也¹, ○中 雄輝¹, 秋田 求^{2,3} (¹近畿大院生物理工, ²近畿大生物理工, ³株式会社セルフィルム研究所)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

2E4a06 Norovirus-based platform for modular displaying of antigenic protein candidates for mosquito-borne infectious diseases
10:33 ○Jirayu Boonyakida, Enoch Y. Park (Res. Inst. Green Sci. Technol., Shizuoka Univ.)

2E4a07 Envelope Domain III (EDIII) displaying Dengue virus-like particle: A tetravalent Virus Like Particle (VLP) using silkworm expression system
10:44 ○Krishna Raja MUTHURAMAN¹, Jirayu BOONYAKIDA², Enoch Y. PARK^{1,2} (¹Grad. Sch. Sci. Technol., Shizuoka Univ., ²Res. Inst. Green Sci. Technol., Shizuoka Univ.)

2E4a08 耐熱性ヘリカーゼと耐熱性鎖置換型 DNA ポリメラーゼを用いた等温核酸增幅法
10:55 ○村上 雄人¹, 生田 宗一郎^{1,2}, 柳原 格³, 保川 清⁴, 藤原 伸介^{1,2} (¹関西学院大学大学院理工学研究科生命科学専攻, ²関西学院大学生命環境学部, ³大阪母子医療センター, ⁴京都大学大学院農学研究科)

2E4a09 キメラ DNA ポリメラーゼを用いた鎖置換活性に影響を与える領域の特定
11:06 ○西 晃輝¹, 生田 宗一郎¹, 柳原 格², 保川 清³, 藤原 伸介¹ (¹関学理工, ²大阪母子医療センター, ³京大院農)

2E4a10 アミノ酸配列及び部位特異的変異を用いた *Pseudomonas* sp. WU-001 由来アコニット酸イソメラーゼの活性に必須なアミノ酸残基の特定
11:17 ○小林 万稀¹, 石井 義孝², 桐村 光太郎^{1,2} (¹早大院先進理工, ²早大理工総研)

a11～a12 発表者の接続時間 11:28～11:36

2E4a11 低温菌シンプル酵素触媒における熱処理の影響
11:36 ○田島 誉久, 穴田 康太, 緋田 安希子, 加藤 純一 (広島大院統合生命)

2E4a12 Enzymatic synthesis of non-natural plasmalogen by improving solubility of *Streptomyces antibioticus* derived phospholipase D in recombinant *E. coli*
11:47 ○Shamoli Akter¹, Riko Yamaguchi², Aki Kanehama³, Takahiro Iwamoto², Meme Hasegawa³, Akeno Ito², Megumi Nishimukai^{1,3}, Miwa Yamada^{1,3}, Akiko Kashiwagi^{1,2} (¹UGAS, Iwate University, ²Hirosaki University, ³Faculty of Agriculture, Iwate University)

E4 会場 午後の部(13:50~16:40)

生物科学—生物工学-酵素工学・生物反応工学, 生物材料工学, 生体
医用工学/生物工学-解析技術・方法論, その他—

p01~p05 発表者の接続時間 13:42~13:50

2E4p01 酵素を構成するアミノ酸の性質に基づく可溶性変異の導
入—タンパク質の記憶をたどって—

13:50 ○篠田 優, 浅野 泰久 (富山県大工)

2E4p02 Single-molecule display system for directed evolution
of enzymes

14:01 ○Jasmina DAMNJANOVIC¹, Ai SUGIYAMA¹,
Kyoka ISHIHARA¹, Yugo IWASAKI², Hideo NAKANO¹
(¹Nagoya Univ., ²Chubu Univ.)

2E4p03 シンチレーション特性を示す蛍光タンパク質の開発

14:12 ○千葉 拓馬¹, 杉浦 一徳², 永井 健治², 栗田 悠子¹,
小林 奈通子¹, 田野井 慶太朗¹ (¹東大院農, ²阪大産研)

2E4p04 抗ウイルス性能を付与したポリプロピレン表面コーティ
ング

14:23 ○平尾 理恵, 竹内 久人, 河田 順平, 石田 亘広
(株)農田中央研究所)

2E4p05 レトルトパウチ×高温高圧処理を利用したPCR産物の汚
染除去と遺伝情報漏洩対策

14:34 ○陶山 哲志, 佐々木 章 (産総研バイオメディカル)

p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53

2E4p06 ニッキング酵素とヌクレアーゼを用いた高速・高感度等
温核酸增幅

14:53 ○藤井 亮太, 矢内 久陽, 天野 仰 (三井化学(株))

2E4p07 ラマン分光を核としたマルチモーダルラベルフリーイ
メージングで迫る希少放線菌胞子嚢の特異な構成成分

15:04 ○宇佐美 慶典¹, 手塚 武揚^{2,3}, 大西 康夫², 重藤 真介¹
(¹関学大院・理工, ²東大院・農生科・応生工, ³北里大院・感染制御)

2E4p08 油脂生産酵母 *Lipomyces starkeyi* における脂肪球動態解
析に向けた蛍光染色検討

15:15 ○高橋 優花¹, 志田 洋介¹, 中村 彰宏¹, 佐藤 里佳子²,
仁子 陽輔³, 高久 晓洋², 小笠原 渉¹ (¹長岡技大, ²新潟薬科大・
応生命, ³高大・複合領域科学)

2E4p09 枯草菌の細胞内 pH 調節関連遺伝子の網羅的な探索

15:26 ○倉川 尊¹, 柄澤 匠¹, 福田 紗子², 森 浩祐³,
中嶋 幹男⁴, 片岡 正和² (¹信州大工, ²信州大院総理工研, ³広東
省農業科学院, ⁴MSL)

2E4p10 大腸菌細胞内の pH 調節に関与する候補遺伝子の網羅的
スクリーニング

15:37 ○福田 紗子¹, 倉川 尊², 柄澤 匠², 森 浩祐³,
中嶋 幹男⁴, 片岡 正和¹ (¹信州大院総理工研, ²信州大工, ³広東
省農業科学院, ⁴MSL)

p11~p14 発表者の接続時間 15:48~15:56

2E4p11 ゲノム編集を利用したリン代謝経路のデザインによる生
物学的封じ込め技術の高度化

15:56 ○百川 直輝, 石田 丈典, 池田 丈, 舟橋 久景,
黒田 章夫, 廣田 隆一 (広大院統合生命)

2E4p12 速度論的代謝解析におけるアンサンブルモデリングの高
速化に向けた経験的棄却法の提案と検証

16:07 ○竹谷 友之¹, 戸谷 吉博², 佐藤 美和¹, 二井手 哲平²,
田邊 麻衣子¹, 清水 浩², 神鳥 明彦¹ (¹日立研開・基礎研, ²阪大
院・情報)

2E4p13 枯草菌をドナーとした接合伝達体による遺伝子組換え系
構築

16:18 ○須田 和奏, 朝井 計 (東農大)

2E4p14 ϵ -poly-L- α -lysine-doxorubicin コンジュゲートを用いた
DNA 導入技術の開発

16:29 ○中山 雅喜, 武内 大和, 長谷部 文人, 丸山 千登勢,
濱野 吉十 (福井県大院生物資源)

E5 会場 午前の部(9:30~12:20)

微生物—物質生産・発酵(二次代謝産物)/物質生産・微生物変換, 酵素
反応, 機能性高分子—

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

2E5a01 微生物を利用した熟成サーモンに含まれる血圧降下作用
物質の分析

9:30 ○片山 太智¹, 村上 周一郎² (¹明大院農, ²明大農)

2E5a02 *Mucor lusitanicus* が生産する抗酸化物質の生産条件の
検討

9:41 ○坂上 真衣¹, 村上 周一郎² (¹明大院農, ²明大農)

2E5a03 大腸菌によるレチナール生産

9:52 ○雨宮 彩恵¹, 弘埜 陽子¹, 松田 史生², 戸谷 吉博²,
石井 純³, 原 清敬¹ (¹静県大食栄, ²阪大院情報, ³神戸大先端バ
イオ工研セ)

2E5a04 植物性素材中で D-アミノ酸を生産する *Lactiplantibacil-
lus plantarum* の遺伝学的な特徴に関する解析

10:03 ○加田 茂樹, 大淵 俊, 宮本 真理 (雪印メグミルク(株)
ミルクサイエンス研究所)

2E5a05 ヒト腸内細菌 *Phocaeicola dorei* JCM 13471^T 由来 2 ドメ
イン型アラニンラセマーゼの組換えタンパク質発現と酵素学的性
質の解析

10:14 ○牟田口 祐太¹, 塚原 拓也², 加田 茂樹² (¹秋田県大生
資, ²雪印メグミルク(株)ミルクサイエンス研究所)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

2E5a06 ウエルシュ菌発現系のための新規発現ベクターの構築

10:33 ○加藤 史帆¹, 荒川 利行¹, 成谷 宏文², 宮田 茂¹ (¹中部
大院・応用生物, ²十文字女大・人間生活)

2E5a07 ウエルシュ菌による各種リバーゼ遺伝子の発現解析

10:44 ○小泉 ありさ, 加藤 史帆, 加藤 実希, 宮田 茂 (中部
大・応用生物)

2E5a08 ゲノム編集によるウエルシュ菌へのキシロース資化性と
キシラン分解活性の付与

10:55 ○内山 奈奈香, 川畠 博暉, 宮城 侑弥, 森山 龍一,
宮田 茂 (中部大学・院・応用生物)

2E5a09 ゲノム編集によるウエルシュ菌のグリセロール資化性の
改善: グリセロール代謝系遺伝子の発現が増殖に及ぼす影響

11:06 ○佐藤 孝祐, 佐藤 悠一朗, 加藤 実希, 矢野 智奈美,
宮田 茂 (中部大・院・応用生物)

2E5a10 各種発酵経路の遺伝子欠失と補充がウエルシュ菌のグリ
セロール資化性に及ぼす影響

11:17 ○宮本 航太, 佐藤 悠一朗, 矢野 智奈美, 森山 龍一,
宮田 茂 (中部大院応用生物)

a11~a14 発表者の接続時間 11:28~11:36

2E5a11 超低栄養性細菌 *Rhodococcus qingshengii* N9T-4 株の
アルコール脱水素酵素遺伝子の機能解析

11:36 ○近藤 雪¹, 池田 裕布里¹, 新谷 政己^{1,2}, 吉田 信行¹ (¹静
大院・総合技科, ²静大・グリーン研)

2E5a12 超低栄養性細菌 *Rhodococcus qingshengii* N9T-4 株を
用いたポリヒドロキシアルカン酸の生産

11:47 ○大塚 彰弘¹, 岸本 晃次郎¹, 池田 裕布里¹, 折田 和泉²,
吉田 信行¹ (¹静大院・総合技科, ²東工大・生命理工)

2E5a13 超低栄養性細菌 *Rhodococcus qingshengii* N9T-4 株を
用いたトリアシルグリセロールの生産

11:58 ○岸本 晃次郎, 大塚 彰弘, 池田 裕布理, 吉田 信行 (静
大院・総合技科)

2E5a14 天然ゴム資化性放線菌のポリ(*cis*-1,4-イソブレン)代謝に関するアルデヒド脱水素酵素の同定

12:09 ○川極 幸村¹, 儀武 菜美子¹, ダム トウイ ハン², レー トゥアン², 谷川 大輔³, 佐藤 伸⁴, グエン ラン フォン², 笠井 大輔¹ (¹長岡技科大院・物質生物, ²ハノイ工大・生物, ³吳 高専・環境, ⁴鳥取環境大・環境)

E5 会場 午後の部(13:50~16:40)

微生物—物質生産-微生物変換, 酵素反応, 機能性高分子—

[p01~p05 発表者の接続時間 13:42~13:50]

2E5p01 *Leuconostoc citreum* KD3 株由来多糖合成酵素の基礎性状および転写発現量の解析

13:50 ○吉田 健太郎¹, 阿部 秀飛³, 柴田 莉里³, 田中 裕大², 卷田 春香², 松本 健司², 本多 裕司², 小柳 喬¹ (¹石川県大院 生資環, ²石川県大院 生資環, ³サンエイ糖化)

2E5p02 発酵漬物由来 *Leuconostoc citreum* KD3 株の α -1,2 分岐デキストランの産生量およびグリコシド結合様式に培養条件が及ぼす影響

14:01 ○伊藤 日向子¹, 吉田 健太郎², 柴田 莉里³, 阿部 秀飛³, 本多 裕司¹, 松本 健司¹, 小柳 喬¹ (¹石川県立大院 生資環, ²石川県立大院 生資環, ³サンエイ糖化)

2E5p03 モデル藍藻 *Synechocystis* sp. PCC6803 由来新規硫酸多糖シネカンの合成・制御機構の解明と生産性向上

14:12 ○前田 海成¹, 榎本 元², 大館 和真³, 渡辺 智³, 田中 寛¹, 池内 昌彦⁴ (¹東工大化生研, ²電通大基盤理工, ³東京農大生命, ⁴東大)

2E5p04 藍藻 *Synechocystis* sp. PCC 6803 の細胞外硫酸多糖シネカンの大量生産系の確立と有用性の探索

14:23 前田 海成¹, ○大館 和真² (¹東工大・研究院・化生研, ²東農大院・バイオ)

2E5p05 ベクチンからのポリヒドロキシアルカン酸合成と合成菌の単離

14:34 ○唐渡 龍平^{1,2}, 久留主 理人², 戸田 匠紀², 本田 正義³, 阿部 英喜⁴, 外村 彩夏², 白土 英樹^{1,5} (¹熊本県大院・環境共生, ²東海大・農, ³東京理科大・工, ⁴理研 CSRS, ⁵熊本県大・環境共生)

[p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53]

2E5p06 8-Prenylnaringenin 生産に関する研究(1)ヒト腸内細菌のスクリーニングと共培養による効率的生産

14:53 ○丹野 麻由¹, 植村 圭祐¹, 大谷 彰², 中島 賢則³, 三橋 和也², 山本 浩明³, 前田 智也¹, 横田 篤¹, 吹谷 智¹ (¹北大院農, ²株式会社ダイセル・ヘルスケアSBU, ³株式会社ダイセル・事業創出C)

2E5p07 8-Prenylnaringenin 生産に関する研究(2)サポート菌のスクリーニングとその活用による脱メチル化促進法

15:04 ○大谷 彰¹, 中島 賢則², 三橋 和也¹, 丹野 麻由³, 前田 智也³, 横田 篤³, 吹谷 智³, 山本 浩明² (¹株式会社ダイセル・ヘルスケアSBU, ²株式会社ダイセル・事業創出C, ³北大院農)

2E5p08 コリネ型細菌におけるメチルアンスラニレート耐性機構の解明とバイオ生産

15:15 ○新居 大樹¹, 小暮 高久^{1,2}, 乾 将行^{1,2} (¹奈良先端大・バイオ, ²RITE)

2E5p09 コリネ型細菌によるスクアレン生産

15:26 ○尾上 友里奈¹, 清水 崇史², 乾 将行^{1,2} (¹奈良先端大・バイオ, ²RITE)

2E5p10 コリネ型細菌によるフェルラ酸からのバニリン生産

15:37 ○松富 優一¹, 小暮 高久^{1,2}, 乾 将行^{1,2} (¹奈良先端大・バイオ, ²RITE)

[p11~p14 発表者の接続時間 15:48~15:56]

2E5p11 指向性進化法によるバニリン合成酵素の機能変改

15:56 ○藤巻 静香, 木野 邦器², 廣瀬 修一³, 白坂 直輝³, 牛尾 慎平³, 古屋 俊樹¹ (¹東京理科大院・創域理工, ²早大・先進理工, ³(株)長瀬産業)

2E5p12 サトウキビバガスに由来する芳香族化合物からのバニリニ酸生産に伴うシリンガ酸の分解抑制とその解消

16:07 ○池田 和磨¹, 児玉 直哉², 大川 全³, 樋口 雄大¹, 上村 直史³, 政井 英司³, 園木 和典¹ (¹弘前大農学生命, ²弘前大農学生命, ³長岡技科大物質生物)

2E5p13 フラビン依存性酸化酵素を利用したヒドロキシダイゼインの合成

16:18 ○渡部 祥智子¹, 小原 亜希子², 卵川 裕一², 松山 彰収², 古屋 俊樹¹ (¹東京理科大院・創域理工, ²(株)ダイセル)

2E5p14 *Shewanella oneidensis* MR-1 株を用いた 1,6-ヘキサンジオールの合成

16:29 ○長谷川 優希¹, 富田 啓介¹, 中島 雄次², 半澤 敏², 高妻 篤史¹, 渡邊 一哉¹ (¹東薬大生命, ²東ソー株式会社)

E6 会場 午前の部(9:30~12:20)

微生物—遺伝子-発現制御, トランスクリプトーム—

[a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30]

2E6a01 Identification of plant signals inducing the *hrp* regulon in a plant pathogen *Ralstonia solanacearum* and the cognate receptor proteins

9:30 ○Gyokuchiku SOU¹, Masayuki Tsuzuki², Akinori Kiba², Yasufumi Hikichi², Kouhei Ohnishi² (¹Ehime Univ., ²Kochi Univ.)

2E6a02 Regulation mechanism of two master regulator genes *hrpG* and *prhG* in *Ralstonia solanacearum* *hrp* regulon

9:41 ○Ki CYO, Akinori Kiba, Yasufumi Hikichi, Kouhei Ohnishi (Kochi Univ.)

2E6a03 アミノ酸代謝グローバルレギュレーター GcvB small RNA を制御するスパンジ RNA

9:52 ○宮腰 昌利 (筑波大医)

2E6a04 *adiA* mRNA 3'UTR から生成する新規 sRNA による大腸菌酸耐性の発現制御

10:03 ○神田 健, 宮腰 昌利 (筑波大医)

2E6a05 細菌 CSD タンパク質の標的 RNA 特異性を定義する分子基盤

10:14 ○森田 鉄兵^{1,2}, 長谷川 智^{2,3}, 猪瀬 札穂菜² (¹慶大院政メ, ²慶大先端研, ³慶大環境情報)

[a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33]

2E6a06 *Shewanella oneidensis* の電極バイオフィルム形成制御における鞭毛の関与

10:33 ○出水 智樹, 松元 陽歩, 高妻 篤史, 渡邊 一哉 (東京薬科大学院生命)

2E6a07 *Shewanella oneidensis* MR-1 株における c-di-GMP シグナルによる電気化学活性バイオフィルムの活性化

10:44 ○岩波 奈那江, 松元 陽歩, 高妻 篤史, 渡邊 一哉 (東薬大生命)

2E6a08 *Ideonella sakaiensis* における MHETase と TPA 代謝遺伝子の発現解析

10:55 ○田中 裕也¹, 平賀 和三¹, 乾 将行^{1,2} (¹RITE, ²奈良先端大・バイオ)

2E6a09 大腸菌における機能未知転写因子 YegW による新規グリコーゲン代謝制御

11:06 ○齋藤 駿介¹, 小林 一幾¹, 保科 元気², 島田 友裕¹ (¹明治大農, ²法政大生命)

2E6a10 The phosphorylation status of the three-component phosphoprotein TcmV is responsive to the light reaction electron transfer in a cyanobacterium *Synechococcus elongatus* PCC 7942

11:17 ○Xuan HUANG^{1,2}, Hitomi IMAMITSU^{1,2}, Ying LUO^{1,2}, Kan TANAKA² (¹Life. Sci. Tech., Tokyo Tech, ²Chem. Life. Sci., Inst. Innov. Res., Tokyo Tech)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

2E6a11 大腸菌における翻訳促進新生ペプチドの網羅的探索

11:36 ○加藤 晃代¹, 西河 佑馬¹, 中野 秀雄¹, 横山 源太朗^{2,3}, 浜田 道昭^{2,3}, 本野 千恵^{2,4} (¹名大院生命農, ²産総研・早大CBB-OIL, ³早大院先進理工, ⁴産総研細胞分子)

2E6a12 Role of Ke-GroESL Chaperonin in Acetic Acid Bacterium *Komagataeibacter europeaeus*: Stress Response and Heterologous Protein Stabilization

11:47 ○Princessa Aulia Rahmayuliana¹, Yuya Tanakura¹, Soichiro Ikuta², Shinsuke Fujiwara^{1,2} (¹Dept. of Biosci., Grad. Sch. of Sci. and Technol., Kwansei-Gakuin Univ., ²Dept. of Biosci., Sch. of Biol. and Environ. Sci., Kwansei-Gakuin Univ.)

2E6a13 ポリリストロニック遺伝子の短鎖連結発現に影響する配列因子の解析

11:58 大崎 南美¹, 戸下 侑大², 大城 隆^{2,3}, ○鈴木 宏和^{2,3} (¹鳥取大院・持続創生, ²鳥取大・工, ³鳥取大・GSC)

2E6a14 大腸菌 BasS/BasR-CsgD カスケードを介する Fe³⁺ 依存的な curli 合成と Fe³⁺-シデロフォア輸送系の発現制御機構

12:09 ○松吉 志^{1,2}, 小笠原 寛^{2,3,4,5} (¹信州大院・総理工, ²信州大・基盤研究セ, ³信州大・総合人間科学, ⁴RCAM, ⁵IFES)

E6 会場 午後の部(13:50～16:40)

微生物—遺伝子-発現制御, トランスクリプトーム—

p01～p05 発表者の接続時間 13:42～13:50

2E6p01 急性脳症事件を引き起こしたスギヒラタケ (*Pleurocybella porrigens*) の子実体および菌糸体の RNA-Seq 解析

13:50 ○渡邊 望¹, 佐藤 匠¹, 三ツ國 佳祐¹, 小野 晶子^{1,2}, 鈴木 智大¹ (¹宇都宮大・バイオ, ²森林総合研究所)

2E6p02 サナギタケのレクチン遺伝子破壊株のトランスクリプトーム解析

14:01 ○松田 里菜¹, 張 吉麗¹, 佐藤 匠¹, 三ツ國 佳祐¹, 茅谷 佳祐¹, 小野 晶子², 鈴木 智大¹ (¹宇都宮大・バイオ, ²森林総合研究所)

2E6p03 エリスリトールの誘導性プロモーター及び資化性低減株を組み合わせた糸状菌 *Trichoderma reesei* におけるタンパク質生産技術の構築

14:12 ○一瀬 桜子, 柴田 望, 高橋 史員, 小山 伸吾 (花王)

2E6p04 担子菌酵母 *Pseudozyma antarctica* のキシラナーゼプロモーターを活性化する制御因子(スイッチ)の同定

14:23 ○三浦 敦宏¹, 田中 拓未¹, 坂井 寛章², 田中 瑞己³, 森田 友岳⁴, 北本 宏子¹ (¹農研機構・農環研, ²農研機構・高分析研, ³農工大院・農, ⁴産総研・機能化学)

2E6p05 ウシグソヒトヨタケに保存されている光受容体の分光特性

14:34 ○伏見 圭司¹, 深澤 茉愛², 星野 宏季², 村口 元³, 坂本 裕一⁴, 成川 礼² (¹神戸大・イノベ, ²都立大・理学, ³秋田県大・生物資源, ⁴岩手工研・生物資源)

p06～p10 発表者の接続時間 14:45～14:53

2E6p06 魚菌における CRISPR/Cas9 ゲノム編集技術を利用した多コピー遺伝子導入方法の確立

14:53 ○張 斯来, 五味 勝也, 新谷 尚弘 (東北大院農)

2E6p08 魚菌における N-end rule の検証

15:15 ○田中 瑞己¹, 大庭 麻緒², 河原崎 泰昌², 山形 洋平¹ (¹農工大院農応生化, ²静県大食栄養)

2E6p09 *Pseudomonas* sp. NGC7 株におけるフェルラ酸代謝系遺伝子群の転写制御システム

15:26 ○大川 全¹, 桶口 雄大², 園木 和典², 上村 直史², 政井 英司¹ (¹長岡技科大・物質生物, ²弘前大・農学生命)

2E6p10 細菌におけるリグニン由来二量体芳香族化合物代謝系を包括的に制御する LigS の転写制御システム

15:37 ○加藤 誠¹, Bleem Alissa², Kuatsjah Eugene², 片平類², 菅山 正二郎³, Beckham Gregg T², 上村 直史¹, 政井 英司¹ (¹長岡技科大・物質生物, ²National Renewable Energy Laboratory, ³森林総合研究所 森林資源科学研究領域)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

2E6p11 メタン生成アーキアにおけるセレンタンパク質の転写はセレンによって制御される

15:56 ○青野 陸¹, 小野田 幹久¹, 井上 真男^{1,2}, 越智 杏奈¹, 三原 久明¹ (¹立命大・生命, ²立命大・R-GIRO)

2E6p12 大腸菌の硫化水素応答性転写因子 YgaV は内在性硫化水素合成に依存して鉄の取り込みを制御する。

16:07 ○野々山 駿太¹, 前野 慎太朗³, 林 哲也², 増田 真二¹ (¹東工大・生命理工, ²九州大・院医, ³山口大・農)

2E6p13 リン脂質および糖脂質 MPIase 生合成に関わる CDP-ジアシルグリセロール生合成酵素をコードする *cdsA* 遺伝子の翻訳開始領域の解析

16:18 ○日景 瑠那¹, 関谷 優晟¹, 沢里 克宏², 西山 賢一¹ (¹岩大農, ²テキサスヒューストン大)

2E6p14 枯草菌における tRNA レパートリーの解析

16:29 ○相馬 亜希子, 山川 律穂, 高地 司, 河村 富士夫, 大久保 雄馬 (千葉大園芸院)

E7 会場 午前の部(9:30～12:09)

食品—食品化学-糖質, 脂質/食品化学-タンパク質・アミノ酸—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

2E7a01 多価不飽和脂肪酸の酸化は刺激味受容体 TRPA1 活性を増強させる

9:30 ○金子 晏生¹, 松山 南¹, 山本 紘義², 須崎 健太², 笹原 亮², 木原 明彦², 小林 英明², 伊藤 圭祐¹, 寺田 祐子¹ (¹静岡県大院薬食, ²キユーピー株式会社)

2E7a02 近赤外分光分析で挑むオリーブオイルの酸化度予測

9:41 ○楠本 惟吹¹, 加藤 俊治^{1,2}, 乙木 百合香¹, 境野 真善³, 青木 亮輔^{1,3}, 斎藤 三四郎³, 佐藤 俊郎^{2,3}, 今義 潤³, 仲川 清隆^{1,2} (¹東北大院・農・食品機能分析, ²東北大院・農・J-Oイルイノベ, ³(株)J-Oイルミルズ)

2E7a03 オリーブオイルの香りの生成経路の解明

9:52 ○加藤 俊治^{1,2}, 境野 真善³, 青木 亮輔^{2,3}, 斎藤 三四郎³, 佐藤 俊郎^{1,3}, 今義 潤³, 仲川 清隆^{1,2} (¹東北大院・農・J-Oイルイノベ, ²東北大院・農・食品機能分析, ³(株)J-Oイルミルズ)

2E7a04 BODIPY の誘導体化によるハイブリッド蛍光色素合成および疎水性相互作用を利用したオリゴ糖の定量

10:03 ○住田 真利奈¹, 柏崎 玄伍¹, 渡辺 凌¹, 中 亮太¹, 西川 晃弘¹, 日暮 隆雄², 北山 隆¹ (¹近畿大院農, ²福井県大生物資)

2E7a05 ガラクトオリゴ糖の加熱による 3-デオキシグルコソン形成要因の解明

10:14 ○安達 志哉, 松本 均, 能見 祐理 (新潟薬大応生科)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

2E7a06 多重変異系統の固体 NMR による澱粉構造と米粉特性の評価

10:33 ○堀 清純¹, 永松 大輝², 飯島 健¹, 朱 紅加¹, 藤田 直子³, 加藤 悅子⁴ (¹農研機構, ²東大・新領域創成科学, ³秋田県立大・生物資源, ⁴東洋大・食環境科学)

2E7a07 低アミロース米品種「スノーパール」から作出された高アミロース米変異体の澱粉特性

10:44 ○佐々木 朋子¹, 鈴木 保宏² (1農研機構, 2JATAFF)

2E7a08 山田錦の醸造適性にかかる麹特性と醪の分解性について

10:55 ○大塚 正睦¹, 辻井 良政², 数岡 孝幸³ (1東京農大院・農化, 2東京農大応生・農化, 3東京農大応生・醸造)

2E7a09 粘質系焼きいもに分類されるサツマイモの β -アミラーゼ活性と澱粉の性質との関係

11:06 ○本多 裕司¹, 小野 花月¹, 坂本 知昭¹, 高木 宏樹¹, 濱田 達朗¹, 大西 知子², 林 美央² (1石川県大・生資環, 2石川農総研)

2E7a10 澱粉から得られる短直鎖糖質の諸性質と食品への応用

11:17 ○河野 敦, 山本 智大, 吉田 洋則 (昭和産業株式会社)

a11～a13 発表者の接続時間 11:28～11:36

2E7a11 ホエー蛋白質の変性および凝集特性

11:36 ○山川 忠則 (株式会社明治)

2E7a12 脱脂粉乳における凝乳性低下の要因解明

11:47 ○安藤 浩貴¹, 小野 航², 岡 大貴³, 野口 智弘² (1東京農大院・農化, 2東京農大応生・食加技セ, 3東京農大応生・農化)

2E7a13 Specific release of opioid peptide CM-12 from A2-type casein with *Aspergillus oryzae* alkaline protease that cleaves at the C-terminus of Ser-Leu-Xaa

11:58 ○Yingjie CUI, Nobuhiro Hayashi, Naoyuki Yamamoto (Tokyo Institute of Technology)

E7 会場 午後の部(13:50～16:40)

食品一食品化学-タンパク質・アミノ酸

p01～p05 発表者の接続時間 13:42～13:50

2E7p01 乾熱処理オボアルブミンに存在する可溶性凝集体および部分断片の形成段階検討

13:50 ○小山 翔大^{1,2}, 児玉 大介³, 半田 明弘^{1,4}, 辻井 良政^{1,2} (1東京農大キユーピーエッグイノベーション, 2東京農大応生・農化, 3キユーピー(株), 4東京電機大学)

2E7p02 疎水性相互作用によるゲル形成における脂肪酸種類の影響

14:01 ○神田 玲奈, 山川 忠則 (株式会社 明治)

2E7p03 ゴマ由来化合物による phenol 生成酵素の阻害試験

14:12 ○及川 大樹¹, 阿部 高明², 片山 高嶺¹, 中山 亨³ (1京大院生命, 2東北大院医, 3東北大院工)

2E7p04 ペプチド制御による発泡酒のマウスフィール向上

14:23 ○森下 あい子, 望月 マユラ, 加藤 優 (キリンHD飲料未来研)

2E7p05 バリン欠乏がマウスの腸管に及ぼす影響

14:34 ○田島 由梨花¹, 香西 歩¹, 東 侑里¹, 岩楓 健¹, 美谷島 克宏¹, 清水 誠², 小西 良子¹, 只石 幹¹, 服部 一夫¹ (1東農大・応生, 2東農大)

p06～p10 発表者の接続時間 14:45～14:53

2E7p06 大豆多糖との複合体化による β -コングリシニンの機能改变

14:53 ○田中 希実, 若生 悠希, 好田 正, 服部 誠 (東農工大院・応生化)

2E7p07 タンパク質食品に対し凍害保護効果を示す大豆ホエー由来タンパク質の分画

15:04 ○南部 美貴¹, 岡 大貴², 辻井 良政² (1東京農大院・農化, 2東京農大応生・農化)

2E7p08 プラントベースミートを目指した新たな植物タンパク質「ムクナ豆分離タンパク質」の可能性

15:15 ○岡 大貴, 中川 莉歌, 伊藤 あかり, 辻井 良政 (東京農大応生・農化)

2E7p09 培養肉の風味向上のための細胞内アミノ酸分析

15:26 ○古橋 麻衣^{1,2}, 澤山 淳³, 竹内 昌治^{1,2,3} (1東大院工, 2東大生研, 3東大院情報理工)

2E7p10 新しい食品材料としての納豆菌

15:37 ○升水 友太¹, 深瀬 寛太⁴, 佐々木 伸啓², 高橋 栄子⁴, 荒川 和晴³, 大橋 由明², 斎藤 菜摘⁴ (1鶴岡高専 専攻科, 2フェルメクテス(株), 3慶大先端生命研, 4鶴岡高専 創造工)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

2E7p11 小麦リポキシゲナーゼアソザイムのグルテニンサブユニット構成変化に与える影響

15:56 ○高 悅, 宮城 恵奈, 高橋 俊介, 椎葉 究 (東京電機大学)

2E7p12 小麦リポキシゲナーゼアソザイムの可溶性グルテニンサブユニット構成変化に与える影響

16:07 ○宮城 恵奈, 高 悅, 高橋 俊介, 椎葉 究 (東京電機大学)

2E7p13 ω -5 グリアジンを分解するマイタケ由来酵素の同定

16:18 ○大小田 直史, 平野 真衣, 川端 真由, 陸鵬, 伊藤 英晃, 岡本 研, 鈴木 道生, 奥田 傑, 永田 宏次 (東大院農)

2E7p14 種々の溶液中での米タンパク質の溶出

16:29 ○大能 俊久, 児玉 一馬 (福井工大)

一般講演

3月 26日



北海道システム・サイエンス株式会社

HSSは高いクオリティと柔軟な対応力で
お客様のバイオテクノロジー研究を
強力にサポートします。



核酸合成

- 合成スケール
実験用(μ g)~医薬開発(g)まで対応
- 修飾オリゴ
60種以上修飾基に対応
- カスタム合成
特注オリゴ、持ち込み試薬も対応



遺伝子解析

- 解析プラン提案
研究目的に応じた“最適”をご提案
- カスタム解析
欲しいデータを作成・ご提供
- 充実のサポート
事前ご相談から納品後支援までサポート



タンパク・オミクス

- ペプチド合成
ニーズに応じた純度・量・修飾をご提供
- 抗体作製
ポリクロ・モノクロ・抗原ペプチド合成
- プロテオーム・メタボローム
遺伝子解析とセットでご提案



講演番号
開始時間

演題

発表者氏名(所属)

B1会場 午後の部(14:01~16:18)

食品—食品工学-製造工学, 加工学/食品工学-物性, 分析/食品工学-その他一

p02~p05 発表者の接続時間 13:53~14:01

3B1p02 培養肉生産に用いる資源と市販肉とのトランスクリブトーム解析

14:01 ○田村 優子¹, 桜澤 恵¹, 輿石 雄一², 清水 達也³, 五十君 静信⁴ (¹東農大・応生物, ²東農大・ゲノム解析セ, ³東女医・先端生命医研, ⁴東農大・食品安全研究セ)

3B1p03 高度α化小麦粉の添加による小麦粉二次加工品の硬化抑制とその機序解析

14:12 ○丸田 草太¹, 木元 紗梨¹, 南部 優子¹, 谷 史人¹, 佐藤 開², 松村 康生³, 松宮 健太郎¹ (¹京大院農, ²(株)日清製粉グループ本社・基礎研究所, ³京大生存研)

3B1p04 国産強力品種「夏黄金」の小麦粉生地の強力性を決定する理化学的要因の解析

14:23 ○石塚 貴大¹, 松宮 健太郎¹, 池永 幸子², 南部 優子¹, 中村 俊樹², 松村 康生³ (¹京大院農, ²東北農研, ³京大生存研)

3B1p05 Alkaline treatment of soy protein isolate improves foaming capacity of egg-free cakes via increased starch gelatinization

14:34 ○VARISARA VARANURANGSEE¹, HIROYUKI KANATANI², YUKO NANBU¹, YOSHIHIKO SAITO², FUMITO TANI¹, KENTARO MATSUMIYA¹ (¹Grad. Sch. of Agric., Kyoto Univ., ²Fuji Oil Co., Ltd.)

p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53

3B1p06 液中に液体を描画する技術に基づく3Dデザイン飲料の開発

14:53 ○井之上 一平¹, 花崎 逸雄² (¹サントリーグローバルイノベーションセンター(株), ²農工大)

3B1p07 米麹の配合によりフィチン酸分解・イノシトール生成を促進する玄米甘酒の製法開発

15:04 ○丸井 淳一朗¹, 白石 洋平², 竹浦 澄², シリナン ションブーセン³, パティナン ワリチャナン³, サイビセン ブロム⁴ (¹国際農研, ²ビオック, ³カセサート大食品研, ⁴ラオス大農)

3B1p08 経皮電気刺激によって食品の味を調節する新しい呈味調節技術の検証

15:15 ○松本 凌¹, 船水 拓実¹, 藤本 典大¹, 菅野 京子¹, 林 和寛¹, 伊地知 千織¹, 小野 信和¹, 曆本 純一², 中村 裕美² (¹味の素株式会社, ²東京大学大学院 情報学環・学際情報学府)

3B1p09 硬水は噴霧化により軟化できる

15:26 ○久保 和弘¹, 春見 真柚¹, 山下 貴敏² (¹岐阜大教育, ²株式会社TKS)

3B1p10 乳酸菌を用いたジカウイルスに対する経口粘膜ワクチン開発の検討

15:37 ○川崎 淳矢¹, 西埜 莉津紀², 阪上 仁頌¹, 正木 秀幸^{1,2}, 芦田 久^{1,2} (¹近大院生物理工, ²近大生物理工)

p11~p12 発表者の接続時間 15:48~15:56

3B1p11 水素/重水素交換質量分析によるヒト血清アルブミンの泡沫表面での構造解析

15:56 ○鳥巣 哲生, 榎本 敏太, 水口 潤哉, 田之上 凌佑, 内山 進 (阪大院工)

3C1p12 卵白アルブミンとリゾチームの相互作用および構造と泡沫特性の解析

16:07 ○鳥巣 哲生, 水口 潤哉 (大阪大学工学研究科)

C1会場 午後の部(14:01~16:07)

環境科学・バイオマス利用—資源変換, 資源再生利用—

p02~p05 発表者の接続時間 13:53~14:01

3C1p02 脱Mg海水を用いた炭酸カルシウム合成系への有機物の影響評価

14:01 ○永野 淳貴¹, 安元 剛², 森安 賢司³, 吉馴 太一³, 鈴木 道生¹ (¹東大院農, ²北里大海洋生命, ³日本海水)

3C1p03 ウニの硬組織のMgの取り込み機構に関する解析

14:12 ○小川 紗里奈¹, 浪川 勇人², 川野 潤³, 加藤 由悟², 鈴木 道生² (¹東大農, ²東大院・農, ³北大院・理)

3C1p04 琵琶湖水圈のオオカナダモ付着微生物によるマンガン除去能

14:23 ○原田 英美子¹, 北川 博翔¹, 黒沢 高秀², 所 雅人³, 保倉 明子⁴ (¹滋賀県大環境, ²福島大共生システム理工, ³東京電機大院工, ⁴東京電機大工)

3C1p05 ウコン粉末からのクルクミノイドの高純度抽出回収システムの開発

14:34 ○仲井 拓真, 甲元 一也 (甲南大FIRST)

p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53

3C1p06 Generation of disease-suppressive soil capable of inhibiting the growth of *Ralstonia solanacearum* and *Clavibacter michiganensis* subsp. *michiganensis* by immobilizing multiple-parallel-mineralization microorganisms

14:53 ○Meeboon Jamjan¹, Akinori Ando^{2,3}, Jun Ogawa^{2,3}, Kenji Miyamoto⁴, Yasuo Kato⁵, Makoto Shinohara¹ (¹NARO, ²Div. Appl. Life Sci., Grad. Sch. Agric., Kyoto Univ., ³Res. Unit Physiol. Chem. Kyoto Univ., ⁴Dept. Biosci. Inform., Keio Univ., ⁵Biotech. Res. Cent., Toyama Pref. Univ.)

3C1p07 月面での食料生産を想定した無機肥料製造法の検討

15:04 ○中島 英理夏, 篠原 信, 田中 章浩 (農研機構)

3C1p08 ポリビニルアルコール担体を用いた乳酸資化性メタン発酵系の構築

15:15 ○上村 太起¹, 鈴木 いぶき¹, 西山 辰也¹, 松林 未理², 片岡 直明², 上田 賢志¹ (¹日大院生物資源, ²King エンジニアリング(株))

3C1p09 北海道・天北炭田褐炭層の原位置環境を活用したバイオメタン生成の取り組みについて

15:26 ○上野 晃生¹, 佐藤 聖¹, 玉村 修司¹, 村上 拓馬¹, 猪股 英紀¹, 青山 秀夫², 酒井 智生², 長沼 肇³, 五十嵐 敏文^{1,4,5} (¹幌延地圏環境研究所, ²UBE三菱セメント株式会社, ³広島大院統合生命科学研究科, ⁴旭川高専, ⁵北海道大学工学研究院)

3C1p10 下水汚泥中の有機物評価と好気性高温発酵による分解促進

15:37 ○添田 紗也加, 矢野 紗子, 吉井 貴宏, 大島 泰郎 (共和化工・環境微生物研)

p11 発表者の接続時間 15:48~15:56

3C1p11 大豆ホエーのバイオスティミュラント効果に関する研究

15:56 ○長底 正悟, 久保 幹 (立命館大学生命科学部)

C2会場 午前の部(9:30~12:20)

有機化学、天然物化学—単離構造決定(微生物)—

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

3C2a01 新規ペプチドグリカン生合成経路阻害剤の探索

9:30 ○梅津 秀平¹, 角田 純², 鬼柳 春花¹, 稲橋 佑起^{3,4}, 野中 健一^{3,4}, ○小笠原 泰志², 大利 徹² (¹北大院総化, ²北大院工, ³北里大・北里大院感染制御)

3C2a02 新規メナキノン生合成経路阻害剤の探索

9:41 ○鬼柳 春花¹, 菊池 麻里江¹, 角田 純², 野中 健一^{3,4}, 稲橋 佑起^{3,4}, 小笠原 泰志², 大利 徹² (¹北大院総化, ²北大院工, ³北里大・北里大院感染制御)

3C2a03 シグナル分子 A-factor に類似するγ-ブチロラクトン化合物の化学-酵素合成と放線菌からの迅速同定

9:52 ○工藤 雄大^{1,2}, 此木 敬一², 山下 まり² (¹東北大・農, ²東北大院農)

3C2a04 *Paraphaeosphaeria* sp. KT4192 が生産する新規スピロビスナフタレン誘導体

10:03 ○金原 龍飛, 生沼 悠希, 前多 隼人, 田中 和明, 橋本 勝 (弘前大農)

3C2a05 paraphaeoketone 類の単離と paraphaeolactone 類生合成の再検討

10:14 ○生沼 悠希¹, 金原 龍飛¹, 兼平 類¹, 西川 俊夫², 田中 和明¹, 橋本 勝¹ (¹弘前大農, ²名大生命農)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

3C2a06 ゲノムマイニングによる新規プレニル化 lasso peptide の発見

10:33 ○堤 隼馬^{1,2}, 稲橋 佑起^{1,2} (¹北里大院・感染制御科学府, ²北里大・大村智記念研究所)

3C2a07 分離糸状菌 *Neohendersonia kickxii* 749 株の生産するフェニルエーテル誘導体について

10:44 ○高橋 恵央, 小関 卓也, 塩野 義人 (山形大農)

3C2a08 物理化学的手法による放線菌の選抜および放線菌 24R005 の生産する新規 DPPH ラジカル捕捉物質: 24R005A および 24R005B

10:55 ○阿部 真夕, 藤田 俊一 (宮城大食産業)

3C2a09 薬剤超感受性出芽酵母を基盤としたスクリーニングによる抗植物病原性真菌物質の発見

11:06 ○本間 肇太^{1,2}, 君嶋 葵^{1,2}, 本庄 雅子^{1,2}, 小島 裕貴^{1,2}, 常盤 俊之^{1,2}, 西富 あつか¹, 加藤 聰¹, 近藤 直純¹, 藤 晋一³, 知念 拓実⁴, 荒木 康子⁵, 高橋 理⁵, 白井 健郎⁶, 伊藤 考太郎⁵, 浅見 行弘^{1,2} (¹北里大感染制御, ²北里大・大村研, ³秋田県大生資, ⁴東大院薬, ⁵キッコーマン(株), ⁶筑波大生命環境)

3C2a10 放線菌門細菌の細胞融合による二次代謝産物の探索

11:17 ○黒川 航志¹, 西本 一貴¹, 辻 瑞紀¹, 北川 航², 澄本 慎平¹, 岡田 正弘¹ (¹神奈川大, ²国研開発法人産業技術総合研究所)

a11~a14 発表者の接続時間 11:28~11:36

3C2a11 Structure revision of tricholomennin B

11:36 ○Md. Julkar Nime, Yuna Oguri, Naoya Oku, Yasuhiro Igarashi (Toyama Pref. Univ.)

3C2a12 インドネシア由来放線菌における二次代謝産物の広範なスクリーニング

11:47 ○大垣 駿¹, むすりみん るくまん¹, あり ありむでいん², 荒川 賢治¹ (¹広島大院・統合生命, ²マカッサル州立大学)

3C2a13 *Talaromyces* 属由来の新規アラニン結合ポリケチドの単離, 構造決定及び抗ウイルス活性評価

11:58 ○模素 希¹, 安河内 美月¹, 中嶋 章悟^{2,3,4}, 中村 洋¹, 小方 雅也¹, 井口 恵太¹, 菅野 和紀¹, 杉田 和俊¹, 村上 裕信^{1,5}, 倉持 幸司⁶, 竹田 志郎^{1,5}, 渡士 幸一^{2,3,6}, 藤野 寛^{1,5}, 紙透 伸治^{1,5} (¹麻布大獣医, ²感染症研 ウィルス第二部, ³感染症研 治療薬・ワクチン開発研究センター, ⁴福祉大・病院 長寿医研, ⁵麻布大ヒトと動物の共生科学センター, ⁶東理大理工)

3C2a14 糸状菌 F8203 株が生産する抗真菌活性物質の単離および構造決定

12:09 ○大塚 みゆき, 矢野 考汰, 高見澤 花 (玉川大学農)

C2会場 午後の部(13:50~16:40)

有機化学、天然物化学—単離構造決定(微生物)/単離構造決定(動物, 植物)/代謝—

p01~p05 発表者の接続時間 13:42~13:50

3C2p01 培養条件に依存するナラタケが産生する二次代謝産物の探索

13:50 ○金 都会¹, 崔 宰熏^{1,2,3,4,5}, ウ ジン^{4,5}, 平井 浩文^{1,2,3,4,5}, 河岸 洋和^{4,5} (¹静大院創造, ²静大グリーン研, ³静大共創, ⁴静大農, ⁵静大キノコ研)

3C2p02 ヒメマツタケ (*Agaricus blazei*) 菌糸体由来の新規化合物の構造決定

14:01 ○王 俊紅¹, 吳 静^{2,3}, 小椋 隆平², 小堀 一⁴, 崔 宰熏^{1,2,3,5}, 平井 浩文^{1,2,3,5}, 河岸 洋和^{2,3} (¹静大院・創造, ²静大・農, ³静大・キノコ科学研究所, ⁴岩出菌学研究所, ⁵静大・共創)

3C2p03 New Oxazole type alkaloids from the roots of *Oxytropis trichophysa* grown in Mongolia

14:12 ○Buyankhishig Buyanmandakh^{1,2}, Murata Toshihiro¹, Delgermaa Chinbat³, Gantumur Baasandorj⁴, Byambajav Tseesuren⁵, Undarmaa Otgonbaatar³, Bertsetseg Dalajargal³, Davaapurev Bekh-Ochir^{2,3}, Sasaki Kenroh¹, Batkhuu Javzan^{2,3} (¹Tohoku Medical and Pharmaceutical University, ²Graduate School, National University of Mongolia, ³School of Engineering and Technology, National University of Mongolia, ⁴Khovd School, National University of Mongolia, ⁵Institute of Veterinary Medicine, Mongolian University of Life Sciences)

3C2p04 モンゴル国産マメ科植物アルカロイド: *Oxytropis lanata* 由来オキサゾールと *Astragalus melilotoides* 由来インドール

14:23 ○村田 敏拓¹, BATBOLD Badarch², 黒澤 七海¹, BUYANKHISHIG Buyanmandakh², 菅沼 啓輔³, BANZRAGCHGARAV Orkhon⁴, DAVAAPUREV Bekh-Ochir², BATKHUU Javzan², 佐々木 健郎¹ (¹東北医薬大薬, ²モンゴル国立大, ³帯畜大原虫病研究セ, ⁴モンゴル生命科学大獣医研)

3C2p05 ヒノキ精油に含まれるヒアルロン酸産生促進効果を示す成分の探索

14:34 ○前川 実優¹, 勝崎 裕隆¹, 早川 琢也², 奥村 克純¹, 安藤 純子², 籠谷 和弘² (¹三重大院生資, ²辻製油株式会社)

p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53

3C2p06 ザクロ葉に含まれる新規エラジタンニンモノマーの構造とその抗糖化活性

14:53 ○岩岡 裕二¹, CHEEWAPHAN Apinya¹, 桑村 真由¹, 好村 守生², 天倉 吉章¹, 伊東 秀之¹ (¹岡山県大院, ²松山大薬)

3C2p07 ブラックベリー葉に含まれる機能性ポリフェノールの探索

15:04 ○松浦 美晴, 増田 雅子, 岩岡 裕二, 伊東 秀之 (岡山県大院)

3C2p08 電子励起解離(EAD)を用いた殺菌剤イプフルフェノキン代謝物の構造解析

15:15 ○岡部 倫平¹, 健田 潮² (1日本曹達株式会社, 2株式会社エービー・サイエックス)

3C2p09 金時豆の種皮にカテキノピラノシアニジン A, B が含まれていた

15:26 ○吉田 久美^{1,2}, 浅野 友世² (1愛工大工, 2名大院情報)

3C2p10 カワラケツメイ(*Cassia nomame*)の化学成分に関する研究

15:37 ○齊藤 哲也¹, 加藤 悅子¹, 佐藤 一², 細谷 孝博¹ (1東洋大院食環境, 2ブルカージャパン)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

3C2p11 耐熱性放線菌 AY2 が生産する熱ショック代謝物(HSM)の生産制御機構の解析

15:56 ○森 柳¹, 齊藤 駿¹, 勝山 陽平^{2,3}, 大西 康夫^{2,3}, 荒井 緑¹ (1慶應義塾大院理工, 2東大院農生科, 3東大CRIIM)

3C2p12 ジャスモン酸メチル処理はカイフレ茎での局所的なリグニン蓄積を誘導する

16:07 ○野下 浩二, 堀 玲司, 伊藤 一志, 小川 敦史 (秋田県大生資科)

3C2p13 従属栄養細菌の超低栄養環境での増殖を引き起こす AdhX の基質の検討

16:18 ○伊藤 蓮, Stari Leonardo, 岸田 康平, 大坪 嘉行, 永田 裕二 (東北大院・生命科学)

3C2p14 LC/MS/MS 分析および主成分分析による虫糞茶と市販茶の比較

16:29 ○丸岡 育¹, 伊藤 友紀^{2,3}, 渡邊 淳^{2,3}, 飯田 順子^{2,3}, 吉永 直子¹, 森 直樹¹ (1京大院農, 2島津製作所, 3大阪大学・島津分析イノベーション協働研究所)

C3 会場 午前の部(9:30～12:20)

環境科学・バイオマス利用—バイオマス, バイオマス変換, バイオ燃料, バイオ化成品—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

3C3a01 共培養による新規ラン藻増殖促進細菌の発見とその増殖促進メカニズムの調査

9:30 ○TAN Pei-Yu¹, 石田 瑞³, 加藤 勇太², 邱 泰瑛³, 小西 正朗³ (1北見工大院・工, 2環境大善株式会社, 3北見工大・工)

3C3a02 バイオマス・光・抑草の関係解析

9:41 ○玉田 佑貴, 久保 幹 (立命館大学院生命科学研究科)

3C3a03 孟宗竹から抽出した成分の抗炎症作用について

9:52 ○田嶋 奈々子, 刀祢 重信, 平本 茂, 椎葉 究 (東京電機大院理工学研究科)

3C3a04 ヨシ分解能を持つ複合系微生物の探索

10:03 ○三枝 和樹, 高品 知典 (東洋院生命科学)

3C3a05 セルロース分解酵素の回収再利用方法の開発

10:14 ○中井 葉子¹, 山崎 清夏¹, 水野 正浩², 中島 嘉樹¹, 田中 英樹¹, 田川 聰美², 鮫島 正浩², 天野 良彦² (1セイコーエプソン, 2信州大工)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

3C3a06 キトサンとカルボキシメチルセルロースからなるポリイオンコンプレックスゲルの合成と医用材料としての応用

10:33 ○谷口 さくら¹, 新田 祥子², 岩本 博行^{1,2} (1福山大生命工, 2福山大GSC)

3C3a07 ビール酵母細胞壁成分によるイネの根張り向上と鉄プローラー形成に起因する無機栄養素吸収の変化

10:44 ○小田 蓮乃¹, 落合 久美子¹, 小林 優¹, 山内 一生², 北川 隆徳³, 森 直樹¹ (1京大院農, 2CALPIS AMERICA, Inc., 3アサヒバイオサイクル(株))

3C3a08 油脂生産酵母 *Lipomyces starkeyi* における脂質蓄積量と細胞周期の関係

10:55 ○高山 優子¹, 森本 温貴¹, 斎藤 成昭² (1帝京大学, 2久留米大学)

3C3a09 マルチストレス耐性酵母 *Pichia kudriavzevii* における耐酸・耐塩性遺伝子の高発現および破壊

11:06 ○森口 大輔, 大西 寛登, 重本 歩陸, 松鹿 昭則 (近大院・システム工)

3C3a10 コーヒーかす抽出液を利用した酵母によるバイオスティミュラントの生産

11:17 ○河智 夏希¹, 弘埜 陽子¹, 菊川 寛史¹, 褐田 雅俊², 高木 啓詞², 原 清敬¹ (1静県大院農食生, 2沼津工業技術支援センター)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

3C3a11 サトウキビバガスオルガノソルブリグニン由来の多様な芳香族化合物からバニリン酸を生産する微生物株の作出

11:36 ○村木 香渚美¹, 大関 さおり¹, 入山 就², 増井 ゆい², 大川 全³, 石丸 裕也⁴, 橋口 雄大¹, 吉川 琢也⁵, 吉田 曜弘⁶, 上村 直史³, 政井 英司³, 中坂 佑太⁴, 増田 隆夫⁴, 園木 和典¹ (1弘前大・農生, 2弘前大院・農生, 3長岡技科大・物質生物, 4北大院・工, 5帯広畜産大・環境農学, 6弘前大・地域戦略研)

3C3a12 発酵工学と高分子工学の融合: 同時抽出発酵重合によるバイオマスプラスチックの直接生産

11:47 ○木下 郁心, 片岡 親良, 麻生 祐司 (京工織院バイオベース)

3C3a13 顕微鏡観察法によるポリヒドロキシアルカン酸生産過程におけるエネルギー代謝動態解析

11:58 ○富士 航至¹, 梶川 彩香¹, 蜂須賀 真一², 富田 宏矢², 菊川 寛史², 今村 博臣³, 松本 謙一郎² (1北大院総化, 2北大院工, 3京大生命)

3C3a14 ポリヒドロキシアルカン酸重合酵素プロック共重合メカニズム解析

12:09 ○柳川 謙吾¹, 富田 宏矢², 蜂須賀 真一³, 菊川 寛史³, 松本 謙一郎³ (1北大院総合化学, 2阪大生工国際セ, 3北大院工)

C3 会場 午後の部(13:50～16:40)

環境科学・バイオマス利用—環境保全, 処化技術工学, バイオレメディエーション, 環境汚染物質—

p01～p05 発表者の接続時間 13:42～13:50

3C3p01 海洋環境でのポリロタキサン生分解に関する細菌叢の解析

13:50 ○儀武 菜美子¹, 安藤 翔太², 伊藤 耕三², 笠井 大輔¹ (1長岡技科大院・物質生物, 2東大院・新領域)

3C3p02 *Alcanivorax* 属細菌が海洋におけるポリプロピレンの主要な分解者である可能性—PP の明らかな生分解の初報告

14:01 小池 紘輝¹, 宮本 憲二², ○寺本 真紀¹ (1高知大農林海洋, 2慶應大理工)

3C3p03 海水中の微生物数とその挙動, 樹脂の生分解活性との関係

14:12 ○中山 敦好^{1,2}, 日野 彰大¹, 川崎 典起¹, 山野 尚子¹, 岡村 秀雄³ (1産総研, 2神戸大・院・海事, 3神戸大・内海域セ)

3C3p04 紅藻類オゴノリ科オゴノリの成長と栄養塩吸収への培養温度と窒素化学形態の影響

14:23 ○岡田 郁, 黒須 泰行, 本間 悠里, 垣田 浩孝 (日大院総合基)

3C3p05 廃棄アクリロニトリル-ブタジエンゴム(NBR)分解菌の形質転換法の構築

14:34 ○石田 拓真¹, 千葉 剛大³, 杉森 大助³, 山田 美和² (1岩手大院・農, 2岩手大・農, 3福島大・共生システム理工)

p06～p10 発表者の接続時間 14:45～14:53

3C3p06 土壌細菌のシトクロム P450 を駆動させる脂肪酸アナログを用いた微生物変換手法

14:53 ○伊藤 史哉, 唐澤 昌之, 有安 真也, 笠井 千枝, 愛場 雄一郎, 莊司 長三 (名大院理)

3C3p07 土壌細菌による常圧蒸留残渣油中の炭化水素の生分解

15:04 ○境 美晴, 守 次朗, カナリー ロバート (横浜市大院生命ナノ)

3C3p08 乳酸菌によるジルコニウム沈着機構の解析

15:15 ○加藤 由悟^{1,2}, 上原 章寛², 松村 大樹³, 達 卓也³, 城 鮎美², 武田 志乃², 鈴木 道生^{1,4} (¹東大院農, ²量研機構, ³原子力機構, ⁴東大・微生物イノベ連携機構)

3C3p09 新規 SOFIX データベースの構築およびデータベースに基づく肥沃度向上マニュアル作成・実証

15:26 ○長谷川 純大, 久保 幹 (立命館大生命科学部)

3C3p10 マイクロコズム試験による生物学的封じ込め株の環境生残性評価

15:37 ○森本 考司, 西牆 佑介, 石田 丈典, 池田 丈, 舟橋 久景, 黒田 章夫, 廣田 隆一 (広大院統合生命)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

3C3p11 嫌気性細菌が生産する中鎖脂肪酸による新規土壤消毒法の開発

15:56 ○天知 誠吾¹, 鈴木 ちはる¹, 三井 彩花², 宇佐見 俊行¹, 門馬 法明³ (¹千葉大院園芸, ²千葉大園芸, ³園芸植物育種研究所)

3C3p12 モエジマシダと嫌気性細菌を用いた革新的水田土壤浄化システムの開発

16:07 ○石丸 明日翔¹, 山村 茂樹², 中嶋 信美², 青木 仁孝², 宮内 啓介³, 黄田 翔⁴ (¹千葉大院園芸, ²国環研, ³東北学院大工, ⁴東北大院環境)

3C3p13 ヒ素超蓄積植物根圈のマルチオミクス解析による圃場環境におけるヒ素吸収促進要因の検討

16:18 ○工藤 宏史¹, 韓 凝², 横山 大稀¹, 簡 梅芳², 菊地 淳¹, 井上 千弘² (¹理研環境資源, ²東北大環境)

3C3p14 Investigation of clubroot disease occurrence under chemical and organic soil environments

16:29 ○Zakirul Islam, Tran Quoc Thinh, Motoki Kubo (Ritsumeikan Univ.)

C4 会場 午前の部(9:30～12:20)

有機化学, 天然物化学—合成, 反応機構—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

3C4a01 フラボノイドライブラリーの構築に向けた合成法の開発

9:30 ○須貝 智也^{1,2}, 風間 友花², 高山 良明², 倉村 憲樹^{1,2} (¹筑波大睡眠研究機構, ²筑波大院数理物質)

3C4a02 コギシギシに含まれるナフタレングルコシドの全合成

9:41 ○藤田 瑞祈, 二瓶 賢一 (宇都宮大農)

3C4a03 ギンバイカに含まれるフロログルシノール配糖体の全合成

9:52 ○棚瀬 由希乃, 二瓶 賢一 (宇都宮大農)

3C4a04 エポキシオレフィンからの共役エンインの合成

10:03 ○水本 大貴, 西川 俊夫 (名大生命)

3C4a05 シクロオクチンの新規合成法の開発

10:14 ○菱木 健太, 山口 将司, 小野 義貴, 宮坂 忠親, 西川 俊夫 (名大院生命農)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

3C4a06 アミロイド β の3量体モデルに用いる3回対称型トリスアミノ酸リンカーの合成研究

10:33 ○内野 歩美, 塚野 千尋, 入江 一浩 (京大院農)

3C4a07 麻痺性貝毒サキシキシンの推定生合成中間体の合成研究(2)

10:44 ○廣住 煉亮¹, 長 由扶子¹, 工藤 雄大^{2,1}, 此木 敬一¹, 長澤 和夫³, 山下 まり¹ (¹東北大院農, ²東北大学際研, ³東京農工大院工)

3C4a08 クランベシン B 脱炭酸体の不斉全合成

10:55 ○米倉 悠葵, 紺野 真秀, 尾崎 拓, 中崎 敦夫 (岩手大理工)

3C4a09 Myrindole A の合成研究

11:06 ○中村 優斗¹, 矢島 新², 斎藤 竜男² (¹東農大院生命, ²東農大生命)

3C4a10 Petchiether A の合成研究

11:17 庄司 篤史¹, 斎藤 竜男², ○矢島 新² (¹東農大院生命, ²東農大生命)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

3C4a11 ハリアリ *Gnamptogenys striatula* の道しるべフェロモンの構成成分の合成

11:36 ○田代 卓哉¹, 渡辺 裕之² (¹三条市大工, ²東大院農)

3C4a12 イリドイド配糖体の合成研究

11:47 ○西川 俊夫¹, 大岡 左枝¹, 上野山 恵子², 白武 勝裕¹, 宮崎 雅雄² (¹名大院生命農, ²岩手大院連合農学)

3C4a13 ヨウ素を触媒に用いたキナゾリン誘導体の水中下有機溶媒フリー合成法

11:58 ○谷森 紳治, 鞠谷 祐貴, 森脇 美来, 横山 浩平 (阪大院農)

3C4a14 豊富な天然資源を活用した, ナリルチンの合成

12:09 ○須貝 咲, 德田 瑞理, 能勢 和明, 北澤 奈津美, 花屋 賢悟, 東林 修平 (慶大薬)

C4 会場 午後の部(13:50～16:40)

有機化学, 天然物化学—ケミカルバイオロジー/合成, 反応機構—

p01～p05 発表者の接続時間 13:42～13:50

3C4p01 Vitroprocine 類の合成研究

13:50 ○丹 直輝, 中井 成美, 若森 晋之介, 勝田 亮, 石神 健 (東農大・生命)

3C4p02 11 β -HSD1 を阻害するメロテルペノイドの合成研究

14:01 ○加藤 光輝, 高橋 晴太郎, 勝田 亮, 石神 健, 若森 晋之介 (東農大・生命)

3C4p03 トウダイグサ科植物由来 Lathyrane 型ジテルペン Epoxyboetirane A の左右フラグメントの合成研究

14:12 ○北 紗織, 入江 一浩, 塚野 千尋 (京大院農)

3C4p04 Cyclohelminthol X の合成研究

14:23 ○橋本 和樹, 橋本 勝 (弘前大農生)

3C4p05 Physalin 類の合成研究

14:34 ○山口 耀司, 宮津 恵奈, 宮坂 忠親, 西川 俊夫 (名大院生命農)

p06～p10 発表者の接続時間 14:45～14:53

3C4p06 アブリシアトキシン類縁体の網羅的合成法の開発

14:53 ○波田 航平, 新木 悠介, 野倉 吉彦, 西川 俊夫 (名大生命農)

3C4p07 ホタルルシフェリンの実用的な one-pot 合成法の開発

15:04 ○加藤 まりあ¹, 土橋 一耀¹, 蟹江 秀星³, 大場 裕一², 西川 俊夫¹ (¹名大院生命農, ²中部大応生, ³産総研)

- 3C4p08 ミトコンドリア機能阻害剤 fusaramin の全合成による立体化学構造の決定、構造活性相関の解明、新規抗真菌活性の発見
15:15 ○君嶋 葵^{1,2}, 萩本 大地¹, 本庄 雅子^{1,2}, 坂井 克行¹, 本間 颯太^{1,2}, 藤 晋一³, 岩月 正人^{1,2}, 常盤 俊之², 野中 健一^{1,2}, 知念 拓実⁴, 白井 健郎⁵, 浅見 行弘^{1,2} (1北里大院感染制御, 2北大里大村研, 3秋田県大生資, 4東大院薬, 5筑波大生命環境)
- 3C4p09 合成生物学を基盤とした赤痢アメーバ病治療薬開発
15:26 ○池田 朋奈¹, 大倉 優輝¹, 緒方 南海子², 北 将樹³, 渡辺 賢二², 志津 恵太², 森 美穂子⁴, 中野 由美子⁵, 野崎 智義⁴, 恒松 雄太³ (1名大農, 2静岡県大薬, 3名大院生命農, 4東大医, 5国立感染研)
- 3C4p10 新規 MetAP1 阻害剤の探索と作用機序の解明
15:37 ○安藤 知佳¹, 板倉 萌香¹, 北 将樹¹, 緒方 南海子², 志津 恵太², 恒松 雄太¹ (1名大院生命農, 2静岡県大薬)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

- 3C4p11 合成ユビキノンプローブを用いた出芽酵母のユビキノン取り込みに関与するタンパク質の探索
15:56 ○水谷 みらい¹, 黒田 聖奈¹, 奥 公秀², 植谷 貴洋¹, 村井 正俊¹, 三芳 秀人¹ (1京都大院農, 2京都先端科学大 バイオ環境学部)
- 3C4p12 ミトコンドリア膜透過性亢進を阻害するイソオキサゾール類の作用機構研究
16:07 ○渡辺 大賀, 植谷 貴洋, 村井 正俊, 三芳 秀人 (京大院農)
- 3C4p13 リン脂質-キナゾリン・ハイブリッド阻害剤を用いた呼吸鎖複合体-I のキノン反応ポケットの解析
16:18 ○大谷 燃平, 志村 優介, 植谷 貴洋, 村井 正俊, 三芳 秀人 (京大院農)
- 3C4p14 *Sphingobacterium* SPT 代謝産物 3-ケトジヒドロスフィンゴシンの立体解析
16:29 ○村井 勇太^{1,2}, 本田 拓巳³, 生城 浩子⁴, 矢野 貴人⁴, 門出 健次² (1北大院農, 2北大院先端生命, 3北大院生命, 4大阪医薬大・医)

C5 会場 午前の部(9:30～11:28)

微生物—細胞-構造, オルガネラ, 小胞, 分泌, 細胞構成分子—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

- 3C5a01 Isolation and preliminary analysis of the protein-based sheath derived from *Haliscomenobacter hydrossis*
9:30 ○Anushka DINESH, Nozomi MASUZAWA, Yuta NAKANISHI, Jitsusen CHINN, Minoru TAKEDA (Yokohama Natl. Univ.)
- 3C5a02 細菌細胞内に局在するファージ尾部様粒子が有する推定エフェクタータンパク質の同定
9:41 ○永久保 利紀^{1,2}, 西山 辰也³, 浅水 俊平^{4,5}, 尾仲 宏康^{4,6}, 野村 誠彦^{1,2,7}, 豊福 雅典^{1,2} (1筑波大院・生命環境, 2筑波大・MiCS, 3日本大・生物資源, 4東大院・農, 5神戸大・先端バイオ, 6学習院大・理, 7筑波大・TARA)
- 3C5a03 *Actinoplanes missouriensis* の胞子囊膜形成に関わる遺伝子 AMIS_66880-66890 の発見と機能解析
9:52 ○伊藤 颯人¹, 手塚 武揚^{1,2}, 大西 康夫^{1,3} (1東大院・農生科・応生工, 2北里大・感染制御, 3東大・微生物イノベ連携機構)
- 3C5a04 シアノバクテリアに見出された機械受容チャネルによる代謝物の新奇放出機構
10:03 ○釜阪 紘平¹, 加藤 悠一², 秀瀬 涼太², 松田 真実², 近藤 昭彦¹, 蓮沼 誠久² (1神戸大学イノベ, 2神戸大学先端バイオ)
- 3C5a05 出芽酵母の BGL2 先端局在に対する Fab1/Vac14 阻害の影響評価
10:14 ○竹下 亘, 飯田 泰広 (神奈川工大)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

- 3C5a06 メタノール酵母 *Komagataella phaffii* の Atg12 のリン酸化を介したオートファジー制御機構
10:33 ○光部 雅俊¹, 中辻 拓実², 斎藤 敬¹, 奥 公秀³, 白石 晃将², 阪井 康能² (1京大院総合生存学館, 2京大院農, 3京都先端科学大・バイオ環境)
- 3C5a07 分裂酵母の核-細胞質間輸送因子が関わる核膜構造維持機構の解析
10:44 ○柴田 遥¹, 久米 一規², 藤本 売玄² (1広島大工, 2広島大院統合生命)
- 3C5a08 分裂酵母胞子表面のデコボコ構造における α -グルカンの機能
10:55 ○関 温子, 増田 大輝, 中村 太郎 (大阪公立大院理)
- 3C5a09 分裂酵母 *S. Pombe* の胞子最外層を構成するタンパク質層の構築メカニズムの解明
11:06 ○坂口 智樹¹, 酒井 崇史², 吉川 佳里奈², 中村 太郎 (1大阪公立大院理, 2大阪市立大院理)
- 3C5a10 分裂酵母の生育に必須な微小管結合因子 Peg1/CLASP の紡錘体形成における役割
11:17 平野 雄大¹, ○湯川 格史^{1,2} (1広島大・院統合生命, 2広島大・健康長寿研究拠点)

C5 会場 午後の部(14:01～16:07)

微生物—遺伝子-構造, 機能/その他—

p02～p05 発表者の接続時間 13:53～14:01

- 3C5p02 ペプチドグリカン構成成分が光触媒殺菌と過酸化水素生成に与える影響の検証
14:01 ○佐藤 銀次, 本村 陽香, 鈴木 智順 (東理大院生物)
- 3C5p03 異なる生育期の細菌に対する光触媒殺菌効果の変動要因の解明
14:12 ○安藤 志朗, 槐 あかね, 鈴木 智順 (東理大院生物)
- 3C5p04 ピロロキノリンキノンが酵母細胞表層に存在する可能性について
14:23 ○具志 萌里, 水谷 治, 外山 博英 (琉大農)
- 3C5p05 紀州なれずし発酵乳酸菌の多様性と単離されたビフィズス菌の特徴
14:34 久保 実希¹, 平田 貴人¹, 大梅 健輝¹, 丹羽 謙², 大野 智生¹, 末松 和真¹, ○岩橋 均¹ (1岐大応生, 2京大医院)

p06～p10 発表者の接続時間 14:45～14:53

- 3C5p06 *Bacillus thuringiensis* A2545 株における抗菌活性と関連する遺伝子クラスターの解析
14:53 松川 木仁未¹, 斎藤 浩之², 三田 光章³, 阿部 雄一¹, 原島 俊¹, ○浴野 圭輔¹ (1崇城大生物生命, 2福岡工技セ・生食研, 3中村産業開発(株))
- 3C5p07 イネいもち病菌における CRISPR/Cas12a を用いたゲノム編集手法の検討
15:04 ○原田 裕太, 山崎 真也, 荒添 貴之, 鎌倉 高志 (東理大院創域理工)
- 3C5p08 乾燥耐性を有するシアノバクテリア *Nostoc* sp. HK-01 の乾燥および蘇生過程における遺伝子発現解析
15:15 ○柴崎 健豪¹, 加藤 浩², 篠田 沙月¹, 横谷 香織³, 安部 智子¹ (1東京電機大院・理工, 2三重大・研究基盤, 3筑波大・生命環境)
- 3C5p09 水田中のアーバスキュラー菌根菌(AMF)の胞子密度は栄養条件に影響を受けていく
15:26 ○岡崎 飛鳥, HUANG Yihao, TRAN QUOC Thinh, 久保 幹 (立命館大院生命)

3C5p10 Study on function of individual type III effectors in *Ralstonia solanacearum*

15:37 ○Rana Lokendra¹, Tsuzuki Masayuki², Kiba Akinori², Hikichi Yasufumi², Ohnishi Kouhei² (¹Ehime University, ²Kochi University)

p11 発表者の接続時間 15:48~15:56

3C5p11 *Tetragenococcus halophilus* SL10 株の凝集因子の同定

15:56 ○柳原 愛梨¹, 松栄 幸汰², 脇中 琢良³, 茂木 喜信³, 渡部 潤^{1,2,3,4} (¹福島大院食農, ²福島大食農, ³ヤマサ醤油, ⁴福島大食農発酵研)

C6 会場 午前の部(9:30~12:20)

食品—食品機能・栄養・神経, 内分泌, 味覚・食欲—

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

3C6a01 シラスプロテアーゼ分解物由来 β -セクレターゼ阻害成分の探索・同定

9:30 ○甲木 孝弘^{1,2}, 隅谷 栄伸¹, 金野 文香², 笠松 真吾¹, 居原 秀² (¹(公財)東洋食品研究所, ²大阪公立大院 理学研究科 生物化学専攻)

3C6a02 LPS 誘発炎症モデルマウスに対する 3,5,6,7,8,3',4'-hepta-methoxyflavone の作用解析

9:41 ○大政 俊樹, 奥山 聰, 澤本 篤志, 中島 光業 (松山大院 医療薬学)

3C6a03 運動と食品因子の併用は認知機能の向上を増幅できるか? -運動と高吸収性クルクミンでの併用効果検証-

9:52 ○鈴木 友也, 太田 百香, 伏見 知紗, 武田 薫, 津田 孝範 (中部大院応生)

3C6a04 カシス, アカジソ, 甜茶に含まれるテストステロン分泌促進活性成分の機能解析と *in vivo* での検証

10:03 ○足立 悠輔¹, 家代岡 広海², 鶴間 あい², 寺田 直史², 長世 智朗², 加藤 英介², 稲垣 洋介³ (¹北大農, ²北大院農, ³日本薬業)

3C6a05 弱鬱モデルマウスにおいて腸内細菌の占有率と相関して扁桃体の遺伝子を制御する転写因子の解析

10:14 ○成田 龍矢¹, 近藤 隆², 阿部 啓子³, 安岡 顕人¹ (¹聖徳 大人栄, ²理研生命医科研, ³東大院農応生科)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

3C6a06 *Lacticaseibacillus paracasei* strain Shirota の継続摂取が内勤労者の日中のパフォーマンスに与える効果

10:33 ○早川 弘子, 石川 紘司, 須田 一徳, 権藤 祐輔, 平沢 元希, 中村 隼人, 高田 麻衣, 河合 光久, 松田 一乗 (株式会社ヤクルト本社中央研究所)

3C6a07 ピーマン中の苦味物質を受容する苦味受容体の探索

10:44 ○大上 明日実¹, 田村 佳子¹, 吉田 真梨¹, 奥田 悠介¹, 柳澤 琢也¹, 三坂 巧² (¹キューピー株式会社, ²東大院農生科)

3C6a08 高甘味度甘味料の後口に感じられる苦味の客観的強度評価法の改良

10:55 ○齋藤 美優, 三坂 巧 (東大院農生科・応生化)

3C6a09 甘味受容体阻害剤が示すうま味受容体阻害活性の検討

11:06 ○川崎 舞子, 木寺 優太, 三坂 巧 (東大院農生科・応生化)

3C6a10 脊椎動物における旨味・甘味受容体 T1R の進化多様性の解明

11:17 ○戸田 安香¹, 西原 秀典^{2,3}, 藏本 多恵²⁴, 蒲原 功汰¹, 後藤 あづ紗¹, 星野 杏子¹, 岡田 晋治⁵, 工樂 樹洋⁶, 岡部 正隆⁷, 石丸 喜朗¹ (¹明大農・農芸化, ²近大農・生物機能, ³東工大院・生命理工, ⁴東工大・科技創研, ⁵東大院農生科・応生化, ⁶国立遺伝研, ⁷慈恵医大・解剖)

a11~a14 発表者の接続時間 11:28~11:36

3C6a11 辛味・渋味成分に対する加齢依存的な嗜好性変化

11:36 ○成川 真隆¹, 三坂 巧² (¹京女大食, ²東大院農)

3C6a12 さまざまな塩添加によるうま味の増加

11:47 ○田中 伽奈, 桂川 晴花, 近藤 高史 (近畿大)

3C6a13 ヒト甘味の NaCl 添加による増加作用

11:58 ○近藤 高史, 勝亦 佑衣, 吉武 杏花 (近畿大)

3C6a14 苦味受容体 Tas2r108 の発現調節により 3T3-L1 細胞の成熟脂肪細胞への分化は抑制される

12:09 ○大島 翔汰, 佐々木 琴美, 鶴間 あい, 木村 駿介, 加藤 英介 (北大院農)

C6 会場 午後の部(13:50~16:40)

食品—食品機能・栄養・免疫, 炎症/食品機能・栄養・神経, 内分泌, 味覚・食欲/食品機能・栄養・その他—

p01~p05 発表者の接続時間 13:42~13:50

3C6p01 新姫果皮抽出エキスの抗炎症効果

13:50 ○小山 彩華¹, 渡辺 章夫^{1,4}, 衛藤 未侑¹, 針谷 夏菜華¹, 夏目 矩行², 山野 亜紀³, 照屋 俊明^{2,3}, 米澤 貴之⁴, 禹 済泰⁵ (¹十文字学園女大・食品開発, ²琉球大院・理工, ³琉球大・教育, ⁴中部大・生機研, ⁵中部大・応生)

3C6p02 ポリメトキシフラボノイドの吸収性と生理活性の相互連関解析

14:01 ○衛藤 未侑¹, 阿部 錠¹, 山下 留奈¹, 小山 彩華¹, 夏目 矩行², 米澤 貴之³, 禹 済泰⁴, 渡辺 章夫^{1,3} (¹十文字学園女子大・食品開発, ²琉球大院・理工, ³中部大・生機研, ⁴中部大・応生)

3C6p03 アミロイド β 誘発記憶障害モデルマウスのミトコンドリア機能低下に対する真珠層抽出成分の効果

14:12 ○趙 岩, 若生 真由美, 大町 知輝, 長谷川 靖 (室工大院)

3C6p04 オレガノの匂いによるマウスの食塩摂取調節機能に関する研究

14:23 ○青柳 樹奈, 細野 朗, 大畠 素子, 横山 壱成, 長田 和実 (日本大生物資源)

3C6p05 肝臓 67kDa ラミニン受容体を介した EGCG の脳機能調節作用

14:34 ○麻生 菜帆, 李 寛雨, 熊添 基文, 藤村 由紀, 立花 宏文 (九大院農院・生機科)

p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53

3C6p06 茶由来サポゲニン R1-barrigenol はマウスにおいて LPS による認知機能低下を改善する

14:53 ○田代 結衣, 林 遼太郎, 岡田 晋治, 阿部 啓子, 小林 彰子 (東大院農)

3C6p07 ツノナシオキアミ乳化オイル粉末による睡眠の質改善作用

15:04 ○山田 秀俊¹, 宮坂 らいむ¹, 濱田 浩司² (¹帝科大・生命環境, ²國洋)

3C6p08 シイタケ香気成分 Lenthionine は, Allyl isothiocyanate と共に機序で TRPA1 チャネルを活性化させる

15:15 ○新田 貴大¹, 竹隈 幸洋¹, 鴨井 享宏¹, 岩崎 有作² (¹ハウス食品グループ本社(株), ²京都府立大院 生命環境科学)

3C6p09 植物マイクロ RNA csn-miR166c-3p はオートファジー活性化を介してパーキンソン病症状を緩和する

15:26 ○島田 優, 熊添 基文, 恩田 弘明, 小川 史代, 藤村 由紀, 立花 宏文 (九大院農院・生機科)

3C6p10 腸内細菌枯渇状態のマウスは甘味をより好む

15:37 ○藍原 祥子, 小池 亜由梨, 丸岡 祐子 (神戸大院農)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

3C6p11 乳素材から調製したシリル糖ペプチド濃縮物の記憶維持効果

15:56 ○高梨 直也, 鳴海 佳輔, 山口 敏幸, 福留 博文, 中川 久子, 郷田 雅之, 小林 俊二郎 (雪印メグミルク(株)ミルクサイエンス研究所)

3C6p12 多感覚の統合的解析による『出来立てのおいしさ』の数値的特徴解明

16:07 ○小川 雪乃, 西部 美咲, 亀井 誠生, 堀江 美由美, 日下部 裕子 (農研機構食品研)

3C6p13 フラネオールの嗅覚刺激による自発運動量への影響

16:18 ○木脇 百香, 大畠 素子, 横山 壱成, 細野 朗, 津田 真人, 長田 和実 (日本大学)

3C6p14 木材粉末を用いて調製した食パンの嗜好性の評価

16:29 ○佐藤 典子, 小田 悠斗, 高倉 春斗, 宇和野 みづき (甲子園大学)

C7 会場 午前の部(9:30～12:20)

微生物—細胞-分離, 分類, 生態/物質生産-発酵(二次代謝産物)一

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

3C7a01 Isolation and identification of high D-amino acid-producing lactic acid bacteria

9:30 ○levi PHAM, Shouji TAKAHASHI (Nagaoka Univ. of Tech.)

3C7a02 好フルクトース, 好酸性かつ寒天で生育困難な新属・新種の乳酸菌 *Philodulcilactobacillus* 属の分離・同定

9:41 ○高屋 朋彰¹, 石山 洋平², 大橋 勝太¹, 熊久保 涼太¹, 山崎 健¹, 大滝 俊樹² (¹小山高専・物質, ²(株)ミヤトウ野草研究所)

3C7a03 *Aurantiochytrium* 属の遊走子が示す走化性とその分子機構

9:52 ○渡邊 研志, 新井 萌子, 立田 光, 秋 唐裕 (広島大院・統合生命)

3C7a04 メタン酸化細菌の走化性

10:03 ○箕田 和奏, 八幡 穂 (筑波大生物資源)

3C7a05 海洋細菌 *Aureispira marina* が有する不飽和2-ヒドロキシ脂肪酸の二重結合の解析

10:14 ○川原 一芳, 入山 楓歌, 飯田 博一 (関東学院大理工生命)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

3C7a06 南極ユキドリ営巣跡から分離した微生物からのバイオフィルム阻害物質のスクリーニング

10:33 ○阿座上 弘行^{1,2}, 木下 風¹, SIDDIQI Ayesha¹, 林 昌平³ (¹山口大農, ²山口大中高温微セ, ³島根大生物資源)

3C7a07 NO シグナリングを有する有用放線菌の探索

10:44 ○武井 勝紀, 伊藤 晋作, 矢嶋 俊介, 佐々木 康幸 (東農大院)

3C7a08 乱流が作り出す複雑な攪拌が微生物生産に与える影響の実測

10:55 ○阿部 韶介, 八幡 穂 (筑波大生物資源)

3C7a09 タモギタケ発酵ダイズ抽出物の抗アレルギー効果

11:06 ○齋藤 汐里, 澤田 雄太, 福士 涼介, 新井 博文, 佐藤 利次 (北見工大)

3C7a10 界面ファーメンターによる生物活性 sclerotiorin の高生産

11:17 ○熊崎 風夏¹, 岩月 正人², 小田 忍¹ (¹金沢工大・ゲノム研, ²北里大・大村研)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

3C7a11 オピオイド発酵生産プラットフォームの構築

11:36 ○南 博道^{1,2}, 中川 明^{1,2} (¹石川県大・資源研, ²ファーメンタ株式会社)

3C7a12 *Metschnikowia pulcherrima* AH550 株のブリケリミン酸高生産条件の検討

11:47 ○浜口 愛勇生¹, 尚思岐², 田口 久貴¹, 笹野 佑¹ (¹崇城大院工, ²崇城大生物生命)

3C7a13 生合成遺伝子クラスターにおける高精度クローニング法の開発

11:58 ○武田 知己^{1,2}, 阿蘇 未沙紀¹, 上田 寛子¹, 加藤 章太朗^{1,2}, 湯澤 賢^{1,2} (¹慶大・先端生命研, ²慶大院・政策メディア・先端生命)

3C7a14 二次代謝物生合成酵素阻害剤を用いた新規化合物の探索系の構築

12:09 高村 郁実¹, 野川 俊彦², 岡野 亜紀子², 越野 広雪², 沼本 穂¹, 和田 大¹, ○加藤 直樹¹ (¹摂南大・農, ²理研CSRS)

C7 会場 午後の部(13:50～16:40)

微生物—物質生産-発酵(二次代謝産物)一

p01～p05 発表者の接続時間 13:42～13:50

3C7p01 脂肪酸ポリオールエステルを菌体外に生産するロドトルラ属酵母の生産能及びゲノム情報の解析

13:50 ○真野 潤一¹, 須志田 浩穂¹, 田中 剛², 内藤 健³, 小野 裕嗣², 池 正和¹, 德安 健¹, 北岡 本光⁴ (¹農研機構食品研, ²農研機構分析研, ³農研機構資源研, ⁴新潟大農)

3C7p02 食品廃棄物の循環利用に向けたオメガ3脂肪酸生産麹菌の改良

14:01 ○中村 仁勇¹, 服部 領太², 鈴木 聰¹, 小竹 英一¹, 真野 潤一¹ (¹農研機構食品研, ²農研機構本部)

3C7p03 霉菌 *Aspergillus oryzae* においてオートファジーの欠損がコウジ酸生産を促進する分子機構の解析

14:12 ○松下 天斗¹, 陳 俊林¹, 有岡 学^{1,2} (¹東大院農・応生工, ²東大・微生物連携機構)

3C7p04 霉菌の異種天然化合物の生産性に関する新規制御因子の同定と代謝機能の解析

14:23 ○吉岡 弘史¹, 原中 実穂¹, 斎藤 直也¹, 片山 琢也^{1,2}, 南 篤志³, 及川 英秋⁴, 丸山 潤一^{1,2} (¹東大院・農生科・応生工, ²東大・微生物連携機構, ³北大院・理, ⁴中国・五邑大)

3C7p05 霉菌を用いた異種天然化合物生産における染色体領域の機能的関連の解析

14:34 ○神作 佳孝¹, 斎藤 直也¹, 片山 琢也^{1,2}, 南 篤志³, 及川 英秋⁴, 丸山 潤一^{1,2} (¹東大院・農生科・応生工, ²東大・微生物連携機構, ³北大院・理, ⁴中国・五邑大)

p06～p10 発表者の接続時間 14:45～14:53

3C7p06 霉菌 *Aspergillus oryzae* における Non-ribosomal peptide synthetase (NRPS) の機能解析

14:53 ○清水 雄太¹, 舟窪 結衣美², 進藤 齊^{1,2}, 穂坂 賢^{1,2}, 德岡 昌文^{1,2} (¹東農大院応生, ²東農大応生)

3C7p07 混合栄養硫黄酸化細菌 *Thiothrix nivea* の酢酸代謝に及ぼす硫化水素の影響

15:04 ○荒木 優衣¹, 斎藤 朝昌¹, 近藤 敏子², 片平 正人², 武田 穂¹ (¹横国大工, ²京大エネ研)

3C7p08 柑橘由来フェニルアラニンアンモニアリーゼを発現させた組換え大腸菌を用いた trans-ケイ皮酸の発酵生産

15:15 ○西川 優里¹, 小林 美稀¹, 大橋 博之², 大橋 貴生¹ (¹摂南大院, ²大阪産業研)

3C7p09 組換え大腸菌を用いたラズベリーケトンの高生産

15:26 ○薄井 くるみ^{1,2}, 桧尾 俊介^{1,2}, 高谷 直樹^{1,2} (¹筑波大院生命環境系, ²微生物サスティナビリティ研究センター)

3C7p10 大腸菌を用いたフライボノイド生産プラットフォームの構築
15:37 ○中川 明^{1,2}, 新谷 隆史¹, 南 博道^{1,2} (¹ファーメランタ株式会社, ²石川県立大学)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

3C7p11 大腸菌を用いたモルヒネの発酵生産

15:56 ○Rosenberg Sumamal¹, 中川 明^{1,2}, 新谷 隆史¹, 南 博道^{1,2} (¹ファーメランタ株式会社, ²石川県立大学)

3C7p12 *De novo* RiPPs 創薬を志向した非天然チオペプチド発酵生産系の確立

16:07 ○伊地知 新太¹, 永井 栄美子², 浅水 俊平³, Vinogradov Alexander A.⁴, 後藤 佑樹⁴, 菅 裕明⁴, 尾仲 宏康¹ (¹学習院大理, ²アルバート・イン・シュタイン医科大学, ³神戸大先端バイオ, ⁴東大院理)

3C7p13 フェノール性二次代謝産物発酵生産プラットフォームの構築

16:18 ○新谷 隆史¹, 中川 明^{1,2}, 南 博道^{1,2} (¹ファーメランタ株式会社, ²石川県大資源研)

3C7p14 新規 lasso peptide における機能向上アナログの作製とその生理活性評価

16:29 ○道下 ひかる¹, 星野 翔太郎¹, 永井 栄美子², 尾仲 宏康¹ (¹学習院大理, ²アルバート・イン・シュタイン医科大学)

D1会場 午前の部(9:30～11:28)

食品—食品機能・栄養-酸化, 抗酸化, 糖化, 抗糖化, 老化-

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

3D1a01 メイラード反応生成香気による線虫 *C. elegans* の寿命延長に対する熱ショック因子の関与

9:30 ○横山 壱成¹, 濱戸山 央², 大畑 素子¹, 長田 和実¹ (¹日大生物資源, ²(地独)神奈川県立産業技術総合研究所)

3D1a02 線虫 *C. elegans* における希少糖 D-allulose の AGEs 蓄積抑制効果

9:41 ○佐藤 正資, 平田 恵子, 染原 のい, 藤澤 智彩, 細川 歌音 (香川大農)

3D1a03 抗酸化物質の機能性, 吸収性を高める多糖系キャリアの開発

9:52 ○河南 翔馬, 甲元 一也 (甲南大FIRST)

3D1a04 黄花フリージア (*Freesia X hybrida*) に含有される新規フラボノイド配糖体の化学構造及びその生理活性評価

10:03 ○菅谷 真歩¹, 岩本 のぞみ¹, 宇佐美 真由¹, 斎藤 歩那¹, 酒見 裕香¹, 三沢 典彦², 竹村 美保², 上垣 陽平², 東村 泰希³, 村濱 稔⁴, 降旗 一夫⁵, 新藤 一敏¹ (¹日女大家政, ²石川県大生資研, ³石川県大食品研, ⁴石川県農林総合研究センター, ⁵東大農)

3D1a05 ナンテンハギ (*Vicia unijuga*) に含まれる抗酸化成分の同定(ケルセチン配糖体)及びその活性評価

10:14 ○島上 真帆, 菅谷 真歩, 太田 秀香, 岡 美波, 小川 莉央, 新藤 一敏 (日女大)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

3D1a06 ポリアミン量減少による骨芽細胞分化低下に対するスペルミジンとダイゼインの影響

10:33 ○君羅 好史¹, 植村 武史², 古地 壮光², 大澤 吉弘¹, 真野 博¹ (¹城西大・薬・医療栄養, ²城西大・薬・薬)

3D1a07 紫キャベツ長期摂取の生体機能への影響

10:44 ○渡邊 理江^{1,2}, 井上 碧¹, 先川 碧¹, 儀間 章託², 達脇 茉胡¹, 田中 昭佳¹, 塚本 芽衣¹ (¹美作大食物, ²美作大院生活科学)

3D1a08 乳酸菌 *Lactobacillus crispatus* KT-11 株の腸管を介した皮膚改善効果とその分子基盤の解明

10:55 ○平野 萌々華¹, 大木 妙子², 渡邊 樹², 片倉 喜範³ (¹九大院農, ²株式会社キティー, ³九大院農学研究院)

3D1a09 アスタキサンチン/β-グルカンナノ粒子包接複合体の調製とその安定性の評価

11:06 ○三和 正弥, 甲元 一也 (甲南大学FIRST)

3D1a10 ウロリチン A による腸管を介した皮膚改善

11:17 ○徳永 直大¹, 平江 衣絵², 大倉 美早紀³, 小原 亜希子⁴, 工藤 真文⁴, 卵川 裕一⁴, 片倉 喜範⁵ (¹九大農, ²九大院 生資環, ³九大院 システム生命, ⁴株式会社ダイセル, ⁵九大院農院)

D1会場 午後の部(14:01～16:40)

食品—食品機能・栄養-その他-

p02～p05 発表者の接続時間 13:53～14:01

3D1p02 Development of bacteria-specific antibody for isolation of target bacteria and functional analysis of antibody-targeted bacterial molecules

14:01 ○Gaku NAKATO¹, Hikaru INOUE^{1,2}, Satoshi ONAWA¹, Hitoshi AGEMATSU¹, Nozomu OBANA³, Risako FURUKAWA¹, Joe INOUE^{1,2}, Shinji FUKUDA^{1,2,3,4,5} (¹KISTEC, ²Keio Univ., ³Univ. of Tsukuba, ⁴Juntendo Univ., ⁵Metabologenomics, Inc.)

3D1p03 長崎県五島市での腸内細菌叢と排便状況等に関する横断研究ならびにシンバイオティクスヨーグルト摂取による整腸作用への影響

14:12 ○小谷 篤幸¹, 徐 宸東¹, 新井 聰¹, 加藤 久美子¹, 世羅 至子², 本郷 涼子², 山口 彩², 岩淵 紀介¹, 小田巻 俊孝¹, 田中 美順¹, 田中 一成³ (¹森永乳業・基礎研, ²長崎県大・栄養健康, ³長崎県大・地域連携セ)

3D1p04 *Lactococcus cremoris* subsp. *cremoris* FC 株の摂取が便秘傾向者の腸内細菌叢に及ぼす影響

14:23 ○田畠 祥之, 渡辺 真通, 後藤 弥生, 鈴木 利雄, 丸山 健太郎 (フジッコ株式会社)

3D1p05 緑茶カテキン EGCG がヒト末梢血由来単核細胞の DNA メチル化に与える影響

14:34 ○張 翼麟, 山本 真生, 熊添 基文, 藤村 由紀, 立花 宏文 (九大院農院・生機科)

p06～p10 発表者の接続時間 14:45～14:53

3D1p06 腸内環境改善を介したストレス低減効果に対する小麦ブラン摂取の影響に関する無作為化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験

14:53 ○菊池 洋介¹, 大谷 彩夏¹, 川本 智裕¹, 長谷田 茜², 勝山(鏡) 豊代², 本間 直幸², 西平 順² (¹日清製粉グループ本社, ²北海道情報大)

3D1p07 UVB 照射により脆弱化した皮膚への卵殻膜摂食の効果

15:04 ○宮澤 萌愛, 松崎 愛, 山地 巧真, 山根 拓実, 大石 祐一 (東京農大応生)

3D1p08 ハイカカオチョコレートの嗜好性に関する調査研究

15:15 ○田平 琴音¹, 村上 汀子¹, 岡前 菜花¹, 伊藤 大二郎¹, 釜阪 寛¹, 中野 久美子², 伏木 亨¹ (¹甲子園大, ²甲子園短大)

3D1p09 紫カリフラワーの抗酸化活性に及ぼす調理の影響

15:26 ○近藤(比江森) 美樹, 伊藤 志音里, 小柳 彩華 (高知県立大健康栄養)

3D1p10 動物油脂と植物油の配合がフルクトオリゴ糖摂取ラットの大腸 ALP 活性をはじめとする腸内環境におよぼす影響

15:37 岡田 妃可, ○岡崎 由佳子 (藤女子大人間生活)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

3D1p11 冷温受容体を活性するメントールの長期摂取が体温調節機能に及ぼす影響

15:56 ○森 紀之, 每熊 麻花, 中島 綾, 柳井 美希 (同女大・生活科学)

3D1p12 PQQ による GPR35 活性化機構の解析

16:07 ○安藤 春美¹, 金森 星¹, 中島 史恵¹, 井上 飛鳥²,
内田 浩二³, 柴田 貴広¹ (¹名大院生命農, ²東北大院薬, ³東大院農)

3D1p13 Inhibitory effect of cumin and cardamom extract on Influenza A virus infection

16:18 ○Abdullah Al Sufian Shuvo¹, Yoshihiko Maekawa²,
Masahiro Kasai³, Takeshi Kawahara^{1,2,4} (¹Graduate School of Medicine, Science and Technology, Shinshu University,
²Graduate School of Science and Technology, Shinshu University, ³S & B Foods Inc., ⁴Academic Assembly School of Science and Technology, Institute of Agriculture, Shinshu University)

3D1p14 発酵食品の製造時の発酵プロセスにおける藻類添加の効果の検証

16:29 ○河野 祐介¹, 橋本 祐佳¹, 吉富 健一², 鈴木 健吾¹,
中島 紗香¹ (¹株式会社ユーベレナ, ²株式会社咲吉)

D2 会場 午前の部(9:30~12:20)

食品—食品機能・栄養・消化・吸収、循環・血管/食品機能・栄養・アレルギー・アレルゲン

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

3D2a01 緑藻類ヒトエグサに含まれるアンジオテンシン変換酵素阻害活性成分

9:30 ○近藤 さくら, 黒須 泰行, 本間 悠里, 垣田 浩孝 (日大院総合基)

3D2a02 ブルーベリー葉エキスによる動脈弛緩反応を介した血圧降下作用

9:41 ○藤田 裕之¹, 叢 シン宇¹, 矢野 善久¹, 山崎 正夫² (¹京都先端バイオ環境, ²宮崎大学農)

3D2a03 魚類由来エラスチンペプチドの継続摂取は高血圧性腎障害を抑制する

9:52 ○中村 優希¹, 増田 誠司^{1,2}, 竹森 久美子^{1,2} (¹近畿大学大院農学研究科応用生命化学専攻, ²近畿大学農学部食品栄養学科, ³近畿大学アンチエイジングセンター)

3D2a04 スフィンゴ脂質作動性血管収縮に対する Fisetin の作用機序解析

10:03 ○鶴留 奈津子¹, 南 雄二², 加治屋 勝子² (¹香大医, ²鹿大農)

3D2a05 脾リパーゼを阻害する大麦若葉由来タンパク質の阻害活性に重要なアミノ酸配列の解析

10:14 ○山口 莉奈¹, 佐々木 琴美², 鶴間 あい², 加藤 英介² (¹北大農, ²北大院農)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

3D2a06 Na⁺ 共輸送型グルコーストランスポーター SGLT2 及び SGLT1 活性を阻害する食品成分の探索・解析

10:33 ○佐藤 優¹, 島尻 結衣¹, 小森 大雅², 尾關 佑樹³,
深見 裕之³, 薩 秀夫² (¹前橋工大院, ²前橋工大, ³小林製薬・中央研究所)

3D2a07 褐藻類クロメとノコギリモクのメタノール抽出画分中のヒアルロニダーゼ阻害活性

10:44 ○岸野 愛, 黒須 泰行, 本間 悠里, 垣田 浩孝 (日大院総合基)

3D2a08 緑藻類スジアオノリに含まれるヒアルロニダーゼ阻害活性成分の分子量分布と組成

10:55 ○古谷 香乃, 黒須 泰行, 本間 悠里, 垣田 浩孝 (日大院総合基)

3D2a09 ピーナツアレルゲン Ara h1 の N 末端ドメインの消化酵素に対する抵抗性の検討と消化物由来残存エピトープの同定

11:06 石橋 里菜¹, Asaduzzaman Md.¹, 松井 照明²,
高里 良宏², 伊藤 浩明², 木村 吉伸^{1,3}, ○前田 恵¹ (¹岡大院環境生命, ²あいち小児保健医療センター, ³くらしき作陽大食文化)

3D2a10 花粉 Gibberellin-regulated protein の免疫学的手法による定量

11:17 ○門間 敬子, 平川 由紀, 吉原 早紀, 村林 穂香, 成田 宏史 (京女大家政)

a11~a14 発表者の接続時間 11:28~11:36

3D2a11 ラット好塩基球白血病細胞 RBL-2H3 に発現している苦味受容体

11:36 ○川島 満¹, 小林 和暉², 真榮田 麻友美², 吉川 潤^{1,2},
前橋 健二^{1,2} (¹東農大院応生, ²東農大応生)

3D2a12 MHC class II 分子を発現する粘膜型マスト細胞は抗原提示により食物アレルギー症状を増悪させる

11:47 ○中野 信浩¹, 大石 賢司^{1,2}, 北浦 次郎¹, 小川 秀興¹,
清水 俊明^{1,2}, 奥村 康¹ (¹順天堂大院医・アトピー疾患研究センター, ²順天堂大院医・小児科学)

3D2a13 食物アレルギー環境下、CD4⁺ 制御性 T 細胞 は骨と腸管において異なる応答を示す

11:58 ○星野 友宏¹, 曽我 皓平², 西辻 幸介², 磯垣 遼²,
八村 敏志², 足立(中嶋) はるよ^{2,3} (¹慶應大薬・薬科学, ²東大院農生科・食の安全研究セ, ³東大院農生科・免疫生体機能社会連携講座)

3D2a14 消化管アレルギーモデルにおける腸内細菌が骨量および骨の免疫応答に与える影響

12:09 ○西辻 幸介¹, 曽我 皓平¹, 磯垣 遼¹, 星野 友宏²,
角田 茂^{1,3}, 平山 和宏^{1,4}, 八村 敏志¹, 足立(中嶋) はるよ^{1,5} (¹東大院農生科・食の安全研究セ, ²慶應大薬・薬科学, ³東大院農生科・獣医・実験動物, ⁴東大院農生科・獣医・獣医公衆衛生, ⁵東大院農生科・免疫生体機能社会連携講座)

D2 会場 午後の部(13:50~15:26)

食品—食品機能・栄養・アレルギー・アレルゲン/食品機能・栄養・免疫、炎症

p01~p05 発表者の接続時間 13:42~13:50

3D2p01 *Lentilactobacillus hilgardii* strain H-50 の自由摂取による食物アレルギーの予防効果の検証

13:50 ○川原 佳菜子¹, 篠 蓉², 鈴木 卓弥², 山本 祥也² (¹広大生, ²広大院統合)

3D2p02 Kaempferol による RALDH2 発現調節と食物アレルギー改善効果

14:01 ○高橋 美貴, 長田 和樹, 綿貫 優実, 山口 昌樹,
八代 拓也, 西山 千春 (東理大院先進工生命システム)

3D2p03 褐藻ノコギリモクから単離された物質 2 種の抗アレルギー効果

14:12 ○杉浦 義正¹, 三角 彰太², 山谷 裕昭³, 中西 正美⁴,
平田 文久⁴, 勝崎 裕隆⁵, 林 裕一⁶, 村瀬 昇¹ (¹水産機構水大校, ²西ノ島町, ³ノア隠岐, ⁴JFしまね, ⁵三重大院・生資, ⁶岡部・海洋事業部)

3D2p04 Analysis of the inhibitory mechanism of vialinin A and DMT on TNF- α production in RBL-2H3 cells

14:23 ○DJIDJOU TAGNE ANGE MURIELLE,
KOUICHI SUGAYA, JUN-ICHI ONOSE, NAOKI ABE (Tokyo University of Agriculture)

3D2p05 アレルゲン特異的 T 細胞誘導性乳酸菌の作製とその有効性の検討

14:34 ○高崎 凌, 笠原 紳, 須田 義人, 島津 朋之 (宮城大食産業)

p06~p08 発表者の接続時間 14:45~14:53

3D2p06 経皮感作食物アレルギーにおける皮膚のかゆみと好酸球の関係

14:53 黒木 穣, 水田 成俊, 鳥屋尾 千佳, ○服部 秀美 (宮崎大農)

3D2p07 Interleukin-13 は、マウス小腸オルガノイドにおいて抗
菌ペプチド産生を誘導する

15:04 ○石井 南葵¹, 松井 伸祐², 山本 祥也¹, 岩槻 健²,
鈴木 卓弥¹ (¹広島大学大学院統合生命科学研究科, ²東京農業
大学大学院応用生物科学研究科)

3D2p08 マスト細胞による脂肪細胞の分化・成熟の抑制作用

15:15 ○秋田 梨沙, 江原 舜樹, 鈴木 明日香, 祖父江 春菜,
中西 祐輔, 高橋 恒子 (日大生物資源)

D3 会場 午前の部(9:30~12:20)

植物——一次代謝, 二次代謝, メタボローム/生物間相互作用—

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

3D3a01 リン酸欠乏下におけるイネの SQDG 合成能欠損変異体の
リピドーム解析

9:30 ○背戸 美紗代¹, 浜崎 大輔¹, 高野 耕司², 西澤 具子²,
庄司 翼³, 勝崎 裕隆¹, 斎藤 和季², 岡咲 洋三¹ (¹三重大院生
資, ²理研 CSRS, ³富山大和漢研)

3D3a02 イネに含まれるアシル化 MGDG 合成酵素活性の検出

9:41 ○中村 早希¹, 浜崎 大輔¹, 高野 耕司², 庄司 翼³,
勝崎 裕隆¹, 斎藤 和季², 岡咲 洋三¹ (¹三重大院生資, ²理研
CSRS, ³富山大和漢研)

3D3a03 アメリカハマグルマ地上部に含まれる昆虫摂食阻害物質

9:52 ○成田 覚, 森本 正則, 辰巳 剛, 松田 一彦 (近畿大農)

3D3a04 海浜植物ネコノシタに含まれる昆虫摂食阻害活性物質

10:03 ○森本 正則, 石川 藍梨, 松田 一彦 (近畿大農)

3D3a05 コマツナ内生菌 *Arthrobacter* sp. BR2S-6 株からの植物
免疫を活性化する成分の精製

10:14 ○篠原 正賢, 島脇 遼, 中島 将博, 橋本 研志,
朽津 和幸, 古屋 俊樹 (東京理科大院・創域理工)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

3D3a06 トウモロコシ実生のみどりの香り受容に関する構造活性
相関解析

10:33 ○松井 健二¹, 鷹取 雄介¹, 田中 康大¹, 藤田 賢也¹,
伊達 みのり¹, 渡辺 文太² (¹山口大院創成科学, ²慈恵医大)

3D3a07 イネにおける遺伝子発現と根圈微生物叢の統合解析

10:44 ○山崎 真一¹, 山本 敏央^{2,3}, 林 誠⁴, 市橋 泰範¹ (¹理研
BRC, ²農研機構, ³岡山大, ⁴理研CSRS)

3D3a08 生物界間接合のカギを握る供与菌染色体遺伝子のゲノム
ワイドな探索

10:55 ○守口 和基^{1,2}, 中村 和之¹, 高橋 雄大², 井上 侑哉¹,
清川 一矢¹, 鈴木 克周¹ (¹広島大院統合生命, ²広島大理工)

3D3a09 植物発酵物(FBP)による青枯病防除効果の作用機序解明

11:06 ○水野 邑里¹, 竹中 航平¹, 館内 雄介¹, 緋田 安希子²,
加藤 純一², 藤岡 耕太郎¹, 鳥居 英人¹ (¹万田発酵株式会社, ²広
大院統合生命)

3D3a10 植物病原細菌 *Acidovorax avenae* 由来の鞭毛タンパク質
flagellin の菌株間に存在するイネ免疫の誘導特異性決定機構

11:17 ○松村 ひかり¹, 村上 貴彦¹, 桂木 雄也², 平井 洋行¹,
中川 幸彦¹, 蔡 晃植^{1,2,3} (¹長浜バイオ大院・バイオ, ²長浜バイオ
大・バイオ, ³長浜バイオ大・ゲノム編集研究所)

a11~a14 発表者の接続時間 11:28~11:36

3D3a11 共生菌由来の側根形成を誘導する低分子化合物の探索

11:36 ○松浦 大空, 小川 拓水, 岡澤 敦司, 太田 大策 (大阪大
院農)

3D3a12 寄生雑草ヤセウツボにおける炭素収奪経路の解明

11:47 ○雜賀 恵梨¹, 松本 萌³, ¹小川 拓水³, 福崎 英一郎²,
太田 大策³, 岡澤 敦司³ (¹大阪府大生命環境, ²大阪大院工, ³大
阪大)

3D3a13 根圈合成コミュニティにおいて根粒共生を促進する微生物の解析

11:58 ○野村 結南¹, 賴永 萌々佳¹, 西岡 友樹², 玉木 秀幸²,
壽崎 拓哉¹, 竹下 典男¹ (¹筑波大・生命環境系, ²産総研・生物
プロセス)

3D3a14 微生物接種したダイズにおける 1 細胞レベルの根毛遺伝
子発現解析

12:09 ○蘇 千雅¹, 松永 浩子^{2,3}, SAMUEL Ashok²,
奥平 美里², 濱崎 英史⁴, 松井 南^{4,5}, 竹山 春子^{1,2,3,6} (¹早大院・先
進理工, ²早大・ナノライフ創新研, ³産総研・早大 CBBB-OIL,
⁴理研・CSRS, ⁵横浜市大・木原生物学研, ⁶早大・生命動態研)

D3 会場 午後の部(13:50~16:40)

植物——一次代謝, 二次代謝, メタボローム/生物間相互作用/植物栄
養, 光合成, オルガネラ, 膜輸送/タンパク質, 酵素-機能, 調
節/その他—

p01~p05 発表者の接続時間 13:42~13:50

3D3p01 Relationship among arbuscular mycorrhizal fungi
(AMF) colonization rate, plant growth, nutrient uptakes,
and soil bacterial activities

13:50 ○YIHAO HUANG, Asuka Okazaki,
Quoc Thinh Tran, Motoki Kubo (Ritsumeikan University)

3D3p02 大腸菌染色体挿入法を用いたアピゲニンの生産

14:01 ○小林 美稀¹, 石水 毅², 駒 大輔³, 大橋 貴生¹ (¹摂南大
院, ²立命館大, ³大阪産業技術研)

3D3p03 鉄栄養変化がイネ体内的鉄恒常性に及ぼす影響

14:12 ○岡村 幸輝, 高橋 啓太, 長坂 征治 (東洋大院)

3D3p04 鉄過剰条件におけるイネの鉄輸送に関与する化合物の同
定

14:23 ○高橋 啓太, 岡村 幸輝, 長坂 征治 (東洋大院生命)

3D3p05 *Synechocystis* sp. PCC 6803 の光合成に関わるイオン輸
送体の解析

14:34 ○浜本 晋^{1,2}, 神保 晴彦³, 田野井 慶太朗¹, 田中 寛⁴,
川崎 寿^{1,2} (¹東大院・農生科, ²東大・微生物連携機構, ³東大院・総
合文化, ⁴東大院・化生研)

p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53

3D3p06 ブラシノステロイド新規シグナル伝達因子 BPG4 による
葉緑体ホメオスタシス維持メカニズムの解明

14:53 ○立花 諒¹, 阿部 晋^{2,3}, 丸上 萌々佳^{2,3}, 山上 あゆみ¹,
明間 莉乃¹, 大橋 隆生¹, 西田 快世¹, 野崎 翔平⁴, 宮川 拓也¹,
田之倉 優⁵, Kim Jong-Myong^{3,5,6}, 関 原明³, 稲葉 丈人⁷,
松井 南³, 伊福 健太郎⁸, 久城 哲夫², 浅見 忠男⁵, 中野 雄司¹
(¹京大院生命科学, ²明治大院農, ³理研・CSRS, ⁴筑波大・院生命
環境, ⁵東大・院農学生命, ⁶アクプランタ株式会社, ⁷宮崎大農,
⁸京大院農)

3D3p07 塩化コリンと N-アリルグリシンによって誘導される植物
の生長促進と光合成促進の分子機構

15:04 ○池田 直樹¹, 上杉 晃作¹, 神村 麻友², 蔡 晃植^{1,2,3} (¹長
浜バイオ大院バイオ, ²長浜バイオ大バイオ, ³長浜バイオ大
GERI)

3D3p08 向日葵の種の発根断面の ¹H-MRI による水の拡散係数の計
測

15:15 ○梅田 雅宏, 河合 裕子 (明治国際医療大)

3D3p09 Cryo-EM structure of a photosystem I supercomplex
from oleaginous green alga *Coccomyxa subellipsoidea*

15:26 ○Pi-Cheng TSAI, Fusamichi AKITA, Jian-Ren SHEN
(RIIS, The Univ. of Okayama)

3D3p10 ダイズに対する化学肥料代替としてのリサイクルリン施
用効果の検証

15:37 ○中務 友明¹, 花田 晶子^{1,2}, 明戸 剛¹, 新垣 篤史²,
田中 剛² (¹太平洋セメント株式会社, ²東京農工大学大学院 工
学府 生命工学専攻)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

3D3p11 フラボノイド代謝における鍵酵素と生成物特異性を制御するタンパク質の複合体結晶構造

15:56 ○今泉 瑞城¹, 和氣 駿之², 竹下 浩平³, 安田 あおい¹, 松浦 混明³, 中多 舜¹, 坂井 直樹³, 片岡 邦重¹, 高橋 征司², 山本 雅貴³, 山下 哲¹, 中山 亨² (1金沢大院自然科学, 2東北大院工, 3理研RSC)

3D3p12 天然ゴム貯蔵粒子をコートする膜タンパク質の精製と立体構造解析

16:07 ○宮原 一真¹, 吉田 城啓¹, 黒澤 悠太郎¹, 林 文晶², 山口 晴彦³, 服部 良一⁴, 斎尾 智英⁴, 竹下 浩平⁵, 宮城 ゆき乃³, 高橋 征司⁶, 片岡 邦重¹, 山下 哲¹ (1金沢大院自然科学, 2理研BDR, 3住友ゴム工業(株), 4徳島大先端酵素学研究所, 5理研RSC, 6東北大院工)

3D3p13 脂質単層膜粒子を導入した無細胞タンパク質発現系の構築

16:18 ○黒岩 風¹, 須田 啓¹, 矢吹 真帆¹, 達 季美江², 山口 晴彦³, 豊田 正嗣¹, 金子 康子⁴, 山下 哲⁵, 高橋 征司⁶, 戸澤 譲¹ (1埼玉大・院・理工, 2埼玉大・科学分析支援センター, 3住友ゴム工業(株), 4埼玉大・教育, 5金沢大・院・自然科学, 6東北大・院・工)

3D3p14 脂質単層膜粒子を導入した無細胞タンパク質発現系によるストリゴラクトン生合成系の解析

16:29 ○清水 匠, 黒岩 風, 戸澤 譲 (埼大院理工)

D4 会場 午前の部(9:30～11:58)

植物—植物ホルモン、成長調節物質/遺伝子-構造解析、ゲノム、遺伝、変異/遺伝子-機能、発現制御

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

3D4a01 シロイヌナズナの亜ヒ酸・カドミウム応答におけるオーキシンの異なる役割

9:30 ○浦口 晋平, 斎藤 光莉, 大城 有香, 中村 亮介, 高根沢 康一, 清野 正子 (北里大薬)

3D4a02 *in planta* Particle Bombardment(iPB)法による実用メロン品種のゲノム編集法の開発と高付加価値化の研究

9:41 ○浦野 薫¹, 佐々木 健太郎¹, 耳田 直純², 野中 聰子^{3,4}, 江面 浩^{2,3}, 今井 亮三^{1,3} (1農研機構・生物研, 2ナサナックシード(株), 3筑波大・生命環境系, 4つくば機能植物イノベーション研究センター)

3D4a03 *in planta* Particle Bombardment 法によるソバのゲノム編集系の開発

9:52 ○手塚 大介¹, 平山 裕美子¹, ルオ ウェイフェン¹, 勝 賢二郎², 鈴木 達郎², 今井 亮三¹ (1農研機構・生物研, 2農研機構・九沖農研)

3D4a04 TALEN タンパク質を用いた遺伝子組換えを使わない植物ゲノム編集技術の確立

10:03 ルオ ウェイフェン¹, ○竹元 廣大¹, 横井 彩子¹, 加藤 悅子², 鈴木 喜大³, 鈴木 麟太郎¹, 佐々木 健太郎¹, 今井 亮三¹ (1農研機構・生物機能利用研究部門, 2東洋大・食環境科学, 3農研機構・高度分析センター)

3D4a05 コナラ属植物のイソブレン生産機構の解明

10:14 ○小板 青空¹, 福島 健児², 永野 悅^{3,4}, 佐竹 曜子⁵, 三浦 謙治⁶, 棟方 涼介^{1,7}, 矢崎 一史¹ (1京大・生存研, 2Wurzburg大, 3慶應大, 4龍谷大, 5九大, 6筑波大, 7JST・さきがけ)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

3D4a06 シロイヌナズナ種内雜種で見られる非相加的発現遺伝子とバイオマス増大との関係解析

10:33 ○山口 真明¹, 杉 直也^{1,2}, 鈴木 穣³, 草野 都^{1,4}, 柴 博史^{1,5} (1筑波大院生命, 2横市木原研究所, 3東大院新領域, 4理研CSRS, 5筑波大T-PIRC)

3D4a07 雜種強勢を示すシロイヌナズナ F1 雜種における光呼吸時に生じる NH4+ の再同化機構に関する研究

10:44 ○平山 十右子¹, 山口 真明¹, 野崎 雪乃¹, 梶澤 都月², 杉 直也³, LE Quynh⁴, 鈴木 穣⁵, 草野 都¹, 柴 博史^{1,6} (1筑波大院・理工情報生命学術院, 2筑波大生物資源, 3横浜市大・木原生研, 4トウイロイ大, 5東大院・新領域, 6筑波大つくば機能植物イノベーション研究センター)

3D4a08 酸化ヌクレオチド除去に関するトマト Nudix hydro-lase の探索

10:55 ○横山 智太郎, 力石 和英, 杉本 学 (岡山大植物研)

3D4a09 生殖様式の転換に関わるコケ植物苔類の性決定遺伝子発現制御の解析

11:06 ○安居 佑季子¹, 田中 知葉¹, 下川 瑛太¹, 井上 慎子¹, 嶋村 正樹², 河内 孝之¹ (1京都大・院・生命科学, 2広島大・院・統合生命科学)

3D4a10 ジャトロファにおける花成因子 FT 遺伝子群の発現挙動の解析

11:17 ○河合 弘太, 友岡 楓, 安藤 佑絃, 明石 欣也 (鳥取大院・持社創生)

a11～a12 発表者の接続時間 11:28～11:36

3D4a11 シロイヌナズナの種間不和合性に関する新規転写調節因子 SPRI2 の機能解析

11:36 ○伊藤 星太郎¹, 山本 純里¹, Tangpranomkorn Surachat¹, 木村 友香¹, 加藤 義宣^{1,2}, 新留 真紀¹, 高山 誠司¹, 藤井 壮太^{1,3} (1東大院農, 2JSTさきがけ, 3サントリーサンRise)

3D4a12 アマ科植物における異形花型自家不和合性制御遺伝子の解析

11:47 ○板倉 健¹, 村瀬 浩司^{1,2}, 山口 真明³, 加藤 義宣¹, 安山 成基¹, 藤井 壮太¹, 柴 博史³, 高山 誠司¹ (1東大院農, 2国立研究開発法人科学技術振興機構, 3つくば機能植物イノベーション研究センター)

D4 会場 午後の部(13:50～15:26)

植物—遺伝子-機能、発現制御/植物工学-育種、物質生産、形質転換

a01～a05 発表者の接続時間 13:42～13:50

3D4p01 アマ科植物の異形花型不和合性における Thrum 特異的遺伝子のゲノム編集による解析

13:50 ○田中 麻紀¹, 村瀬 浩司¹, 山口 真明², 板倉 健¹, 加藤 義宣¹, 藤井 壮太¹, 柴 博史², 高山 誠司¹, 木村 友香¹, 長江 拓也¹ (1東大院農, 2筑波大院)

3D4p02 センブリカルスの有用物質生産系の開発に向けた培養条件の確立 I

14:01 ○松本 純汰, 棟方 快徒, 原 光二郎, 小峰 正史, 川上 寛子 (秋田県大院生物資源)

3D4p03 二次代謝活性化によるセンブリカルスの有用物質生産系の開発

14:12 ○棟方 快徒, 松本 純汰, 川上 寛子, 小峰 正史, 原 光二郎 (秋田県大院生物資源)

3D4p04 アグロ浸潤法によるベンサミアナタバコ葉における植物インスリン「コロソリン酸」の異種生産

14:23 ○關 光^{1,2}, JUTAPAT Romsuk¹, 三浦 謙治³, 村中 俊哉^{1,2} (1阪大院・工・生物工学, 2大阪大学先導的学際研究機構, 3筑波大学生命環境系)

3D4p05 ゲノム編集藻類の屋外培養を可能にする外来遺伝子フリーゲノム編集システムの開発

14:34 ○栗田 朋和¹, 岩井 雅子², 岡崎 久美子³, 前田 真一郎⁴, 高見 明秀⁴, 坂本 敦³, 太田 啓之^{2,5}, 佐久間 哲史³, 山本 卓^{1,3} (1広島大ゲノムイノベーションセンター, 2ファイトリビット・テクノロジーズ(株), 3広島大院統合生命, 4マツダ(株), 5東工大生命理工)

p06～p08 発表者の接続時間 14:45～14:53

3D4p06 ゲノム編集作物開発に有用な多重ゲノム編集用プラスミドセットと簡便高密度水耕栽培法

14:53 ○黒田 昌治, パク ヒョンジュン, 及川 鉄男 (農研機構生物研)

3D4p07 植物による動物型化糖鎖をもつタンパク質生産

15:04 ○大塙 華和¹, 梶浦 裕之², 三崎 亮², 藤山 和仁² (1阪大院工, 2阪大生国七)

3D4p08 Towards Microneedle Array-assisted Delivery in Rice: Assessment of Multiplex CRISPR/Cas9 Ribonucleoprotein Complexes Activities Targeting *OsPDS*

15:15 ○NAZRUL HISHAM BIN NAZARUDDIN^{1,2}, AYANA YAMAGISHI^{1,2}, CHIKASHI NAKAMURA^{1,2} (1Tokyo Univ. Agric. Technol., 2AIST)

D5 会場 午前の部(9:30～11:28)

酵素一糖質代謝関連酵素/その他一

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

3D5a01 がん腫瘍微小環境の破壊を目指した細胞接着阻害剤: 非天然型ゴルジ体マンノシダーゼ阻害剤の開発

9:30 荒田 七星¹, 本多 航², 夏智弘², 平野 貴子^{1,2}, ○袴田 航^{1,2} (1日大・生資科, 2日大院・生資科)

3D5a02 細胞老化関連創薬を目指した新規老化関連糖質分解酵素の探索

9:41 ○夏 浩智¹, 那須田 悠太², 羽切 保乃華², 平野 貴子^{1,2}, 袴田 航^{1,2} (1日大院生資科, 2日大生資科)

3D5a03 *Vibrio* 属新規ウルバン資化細菌のウルバン分解酵素の解析

9:52 ○大西 浩平, 長江 麻弥, 田邊 海晴, 木村 友紀 (高知大農林海洋)

3D5a04 靈長類腸内に棲息するビフィズス菌のユニークな植物由来糖質代謝経路

10:03 ○井上 崩¹, 小酒井 智也¹, 佐々木 優紀¹, 中島 有登¹, 阪中 幹祥¹, 藤田 清貴², 片山 高嶺¹ (1京大院生命, 2鹿大院農)

3D5a05 *Bifidobacterium bifidum* 由来 GH101 酵素の機能解析

10:14 ○桝本 麗花子¹, 小酒井 智也¹, 阪中 幹祥¹, 芦田 久², 片山 高嶺¹, 加藤 紀彦¹ (1京大院生命, 2近畿大院・生物理工)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

3D5a06 *Arthobacter* sp. KI72 由来ナイロン分解酵素 NylC の基質認識に関わるアミノ酸残基の特定

10:33 ○飯笛 さやか, 加藤 太一郎 (鹿児島大院理工)

3D5a07 Se 循環に関わる新奇トリメチルセレノニウムメチル基転移酵素 TmsA の基質特異性

10:44 ○曾羽 香南子¹, 越智 杏奈¹, 井上 真男^{1,2}, 青野 陸¹, 佐藤 純一³, 小椋 康光⁴, 三原 久明¹ (1立命大・生命, 2立命大・R-GIRO, 3東洋大・理工, 4千葉大・院薬)

3D5a08 ブロッコリー GACP の触媒システィン残基の S-セラニル化が酵素機能に及ぼす影響

10:55 ○武田 徹^{1,2}, 南 裕子², 大沼 貴之^{1,2,3} (1近畿大農, 2近畿大院バイオ, 3近畿大アグリ技研)

3D5a09 組換え大腸菌における海洋細菌由来ポリアミド 4 分解酵素の発現と諸性質解明

11:06 ○齋藤 祐介¹, 山田 美和² (1岩手大院・農, 2岩手大・農)

3D5a10 ヒトピルビン酸キナーゼ M1 を ATP 再生酵素とするリコンビナーゼポリメラーゼ増幅法

11:17 ○兒島 憲二¹, 森本 健太², JUMA Kevin Maafu², 滝田 穎亮², 齋藤 一樹¹, 柳原 格³, 藤原 伸介⁴, 保川 清² (1姫獨大薬, 2京大院農, 3大阪母子医療セ, 4関学大生命環境)

D5 会場 午後の部(14:01～16:40)

酵素一タンパク質・ペプチド代謝関連酵素, 核酸代謝関連酵素/酸化還元酵素/その他一

p02～p05 発表者の接続時間 13:53～14:01

3D5p02 グルタチオン加水分解酵素 GGP1 の機能と構造

14:01 ○曾根 康世¹, 伊藤 岳洋², 大津 直子¹, 伏信 進矢^{1,3} (1東大院・農, 2農工大院・連農, 3東大・CRIIM)

3D5p03 セリンプロテアーゼ *Staphylococcus exfoliative toxin* ExhC の立体構造解析

14:12 ○佐藤 栄¹, 小蘭 拓馬¹, 西河 淳¹, 郭 旭², F. S. ラガブロカイア², 西藤 公司², 殿塚 隆史¹ (1東京農工大院農応用生命化学, 2東京農工大院農共同獣医)

3D5p04 リボスクリオチドレダクターをノックアウトした大腸菌の生育評価と代替経路導入の検証

14:23 ○出口 賢児¹, 斯 大勇¹, 堀之内 伸行¹, 小園 祥子¹, 竹内 道樹¹, 日比 慎², ポール アンソニー³, 小川 順¹ (1京大院農, 2富山県立大工, 3オーケランド大学)

3D5p05 *Kluyveromyces lactis* 由来ラクターゼ製剤中に存在するラクターゼ不安定化因子の精製と諸性質の解明

14:34 ○菅原 麻美¹, 吉川 潤², 堀口 博文¹ (1合同酒精株式会社, 2現 東京農業大学)

p06～p10 発表者の接続時間 14:45～14:53

3D5p06 アンジオテンシン変換酵素 2(ACE2)の硫酸化解析

14:53 ○黒木 勝久¹, 出向 みほ¹, 遠藤 順子¹, 池田 有輝¹, 柳井 健太郎³, 寺本 岳大², 角田 佳充², 水光 正仁¹, 楠原 陽一¹ (1宮崎大農, 2九大院農)

3D5p07 組換え生産したヒメツリガネゴケ由来ペルオキシダーゼ (rPrx34) はルミニールと強く反応し, ポリマーを形成する。

15:04 ○伊藤 健司¹, 松本 虎太郎², 秋田 求² (1近畿大院 生物工学, 2近畿大 生物工)

3D5p08 立体選択的 5-hydroxylysine 合成酵素及び脱水素酵素の発見と機能解析

15:15 ○川合 誠司¹, 勝山 陽平^{1,2}, 原 良太郎³, 若松 美紀⁴, 阪本 剛⁴, 高松 杏壮⁵, 井浦 崇敦⁵, 小川 順⁶, 大西 康夫^{1,2} (1東大院・農生科・応生工, 2東大・微生物イノベ連携機構, 3京大院農・産業微生物, 4三菱ケミカル・SIC, 5APIコーポレーション・技術セ, 6京大院農・応用生命)

3D5p09 放線菌由来 P450(CYP105A1)のR84A 変異体による非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs)の代謝

15:26 ○滝田 穎亮¹, 和田 萌加¹, 山形 昌也¹, 鎌田 成栄¹, 水谷 公彦¹, 三上 文三^{3,4}, 余語 祐哉², 安田 佳織², 濱田 昌弘², 楠 利之², 保川 清¹ (1京大院農, 2富山県立大, 3京大生存圈研, 4京大エネルギー研)

3D5p10 構造生物学と電気化学で解明する酢酸菌由来フルクトース脱水素酵素の直接電子移動

15:37 ○鈴木 洋平¹, 宋和 麗盛¹, 加納 健司², 北隅 優希¹, 白井 理¹ (1京大院農, 2京大産官学連携本部)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

3D5p11 *Myrothecium verrucaria* 由来ビリルビンオキシダーゼの *Aspergillus* 属糸状菌での高生産と特性解析

15:56 ○加戸 悠^{1,2}, 仙波 弘雅¹, 山田 浩之¹, 坪井 宏和¹, 坊垣 隆之¹, 幸田 明生¹, 片岡 邦重³, 高木 昌宏⁴, 辻野 義雄^{1,2,4} (1大関総研, 2神戸大院科技イノベ, 3金沢大理工, 4北陸先端大マテリアル)

3D5p12 *Pseudomonas* sp. SCT 株由来の異化的ヨウ素酸還元酵素 Idr に関する研究

16:07 ○佐藤 陽彦¹, 久保 拓舞², 天知 誠吾² (1千葉大園芸, 2千葉大院園芸)

- 3D5p13 酵素活性と基質への結合親和性に関するバイオインフォマティクス解析
16:18 ○田村 太陽^{1,2}, 大岡 英史², 藤島 皓介^{1,3} (1慶應大, ²理研CSRS, ³東工ELSI)
- 3D5p14 放線菌由来 hydrazidase のパラベン分解活性に関する解析
16:29 ○竹野谷 美穂子, 伊藤 晋作, 佐々木 康幸, 矢嶋 俊介 (東農大生命)

D6 会場 午前の部(9:30~11:06)

動物一 個体-生理・栄養・代謝, 神経, 生体機能, 生体制御, メタボローム, 病理, 発生-

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

- 3D6a01 骨格筋における新たなカルシウムイオン制御因子の発見
9:30 ○佐々木 崇, 佐藤 隆一郎 (東大院・農生科・応生化)
- 3D6a02 骨格筋における新規カルシウムイオン制御因子の発現制御機構解析
9:41 ○魯 意, 山内 祥生, 佐藤 隆一郎, 佐々木 崇 (東大院・農生科・応生化)
- 3D6a03 骨格筋における Store Operated Calcium Entry 応答性遺伝子の探索
9:52 ○後藤 舞奈, 山内 祥生, 佐藤 隆一郎, 佐々木 崇 (東大院・農生科・応生化)
- 3D6a04 廃用性筋萎縮モデルマウスにおける線維化関連因子の発現の特徴について
10:03 ○阿部 瑞樹¹, 松本 乃乃花¹, 天部 雅貴², 森田 晓大², 増澤(尾崎) 依³, 細野 崇²³, 関 泰一郎²³ (1日大・生資科・生命化, ²日大院・生資科・応生科, ³日大・生資科・バイオ)
- 3D6a05 各種筋萎縮モデルマウスにおける骨格筋の萎縮と筋萎縮関連因子の発現の特徴について
10:14 ○松本 乃乃花¹, 阿部 瑞樹¹, 天部 雅貴², 森田 晓大², 増澤(尾崎) 依³, 細野 崇²³, 関 泰一郎²³ (1日大・生資科・生命化, ²日大院・生資科・応生科, ³日大・生資科・バイオ)

a06~a08 発表者の接続時間 10:25~10:33

- 3D6a06 酢酸イソアミルの香り知覚に寄与するヒト嗅覚受容体の同定
10:33 ○伊原 さよ子¹, 新村 芳人², 白須 未香¹, 岡本 雅子¹, 小川 芳幸³, 高山 文博³, 東原 和成¹ (1東大院農, ²宮崎大農, ³株式会社NTTデータ経営研究所)
- 3D6a07 栄養, 熱及びその複合刺激による骨格筋マイオカインの動態変化
10:44 ○矢澤 望実¹, 水関 祐歩², 石内 友里², 平岩 絵梨花¹, 篠崎 綾香¹, 村田 圭吾², 根建 拓² (1東洋大生命科, ²東洋大院生命科)
- 3D6a08 暑熱順化における骨格筋マイオカインの動態変化
10:55 ○工藤 優華¹, 水関 祐歩², 村田 圭吾², 根建 拓² (1東洋大生命, ²東洋大院生命)

D6 会場 午後の部(13:50~16:18)

動物一 タンパク質-構造, 機能, 活性制御, 分解, 局在制御, プロテオーム/細胞工学-物質生産, タンパク質工学, 細胞培養技術, 幹細胞技術, ゲノム編集技術/その他一

p01~p05 発表者の接続時間 13:42~13:50

- 3D6p01 大腸菌の細胞壁合成に必須な脂質フリッパーゼ MurJ を阻害する抗菌ペプチド Lys^M の生化学的解析
13:50 ○甲賀 栄貴, Napathip LERTPREEDAKORN, 田中 宏幸, 宮崎 亮次, 塚崎 智也 (奈良先端大)

- 3D6p02 脂質代謝制御因子 MIG12 のユビキチン化修飾機構解析
14:01 ○行川 朋花¹, 西山 優介², 鈴木 司¹, 山本 祐司^{1,2}, 井上 順^{1,2} (1東農大・応生科・農化, ²東農大院・応生科・農化)
- 3D6p03 ホタテ (*Mizuhopecten yessoensis*) におけるシスチンリッヂのメタロチオネイン様カドミウム結合タンパク質の同定と機能解析
14:12 ○鄭 澤華¹, 加藤 由悟¹, 根岸 瑠美², 胡桃坂 仁志², 中木戸 誠³, 津本 浩平³, 鈴木 道生¹ (1東大院農, ²東大定量研, ³東大院工)
- 3D6p04 自己免疫疾患において観察されたリジンモノメチル化の特異的変化
14:23 ○山口 公輔, 内田 浩二 (東大院農)
- 3D6p05 小胞体ストレス依存的な PGRN の発現制御およびその生理的意義
14:34 ○王 泊鈞¹, 沈 玉波², 根建 拓² (1東洋大生命, ²東洋大院生命)

p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53

- 3D6p06 小胞体ストレスセンサー IRE1 による活性酸素種の直接的感知と分子シャペロンによるその制御
14:53 ○松崎 元紀^{1,2,3}, 金村 進吾⁴, 斎尾 智英¹, 稲葉 謙次^{3,5}, 奥村 正樹^{2,3} (1徳大先端酵素, ²東北大學際研, ³東北大多元研, ⁴関学大理, ⁵九大生医研)
- 3D6p07 ダイズシストセンチュウの温度走性攪乱物質の探索
15:04 ○福田 純太, 佐々木 康幸, 矢嶋 俊介, 伊藤 晋作 (東大院バイオ)
- 3D6p08 食用培養肉に向けた無血清筋成熟誘導培地の探索
15:15 ○野田 坪太^{1,2}, 澤山 淳³, 古橋 麻衣⁴, 池尾 晃², 竹内 昌治^{1,2,3,4} (1東京大学大学院 総合文化研究科, ²東京大学生産技術研究所, ³東京大学大学院 情報理工学系研究科, ⁴東京大学大学院 工学系研究科)
- 3D6p09 In vitro におけるヒト iPS 細胞由来星細胞が肺がん抗がん剤感受性に及ぼす影響解析
15:26 ○加茂 皓基¹, 米谷 達哉², 千葉櫻 拓¹ (1東農大院・バイオ, ²東農大院・健康)
- 3D6p10 ヒト肝臓オルガノイドの培養技術開発と生理機能評価
15:37 ○XIA Chen, 高橋 裕, 久保山 文音, 廣 佳穂里, 山内 祥生, 佐藤 隆一郎 (東大院農)

p11~p12 発表者の接続時間 15:48~15:56

- 3D6p11 培養肉作製へ有用な果実抽出液の探索
15:56 ○角野 陽奈美¹, 野田 坪太^{2,3}, 古橋 麻衣⁵, 池尾 晃³, 澤山 淳⁴, 竹内 昌治^{2,3,4,5} (1三田国際学園高等学校, ²東京大学大学院 総合文化研究科, ³東京大学 生産技術研究所, ⁴東京大学大学院 情報理工学系研究科, ⁵東京大学大学院 工学系研究科)
- 3D6p12 DAAO Engineering for Specific D-Alanine Detection: A single-molecule display approach
16:07 ○Kalhari Munaweera, Kakeru Ikeda, Jasmina Damjanovic, Hideo Nakano (Graduate school of Bioagricultural sciences, Nagoya University)

D7 会場 午前の部(9:30~12:09)

生物科学一 タンパク質・ペプチド科学-構造, 機能, その他一

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

- 3D7a01 Heterologous expression of the *Cameraria cinensis* ammonium transporter CsAMT1.3, the major transporter in tea leaves
9:30 ○Han WANG, Suguru OKUDA, Hideaki ITOH, Ken OKAMOTO, Peng LU, Koji NAGATA (The Univ. of Tokyo)

3D7a02 Biochemical and biophysical analyses reveal weak and transient interaction between bacterial cellulose synthase (Bcs) subunits E and F
9:41 ○Audrey Mae Orillaza¹, Hideaki Itoh¹, Peng Lu¹, Ken Okamoto¹, Michio Suzuki², Suguru Okuda¹, Koji Nagata¹
(¹Laboratory of Food Biotechnology and Structural Biology, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo, ²Laboratory of Analytical Chemistry, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo)

3D7a03 Identification of a novel subtilisin-derived peptide with cytotoxic activity
9:52 ○Sibo WEI, Li LI, Michio SUZUKI, Peng LU, Suguru OKUDA, Ken OKAMOTO, Hideaki ITOH, Koji NAGATA (The Univ. of Tokyo)

3D7a04 The cytotoxicity, localization, and interaction with host-protein of proteins encoded by ORFs from ASFV strain Georgia
10:03 ○Yuxue NIU¹, Hayato MASUTANI¹, Shiro SAITO¹, Peng LU¹, Ken OKAMOTO¹, Suguru OKUDA¹, Michio SUZUKI¹, Takehiro KOKUHO², Hideaki ITOH¹, Koji NAGATA¹ (¹The Univ. of Tokyo, ²NARO)

3D7a05 アクロレイン-リジン付加体に対する抗体による抗原認識機構の解析
10:14 ○牧野 航大, 隋 苗苗, 斎藤 志ほ, 奥田 健, 伊藤 英晃, 岡本 研, 鈴木 道生, 陸 鵬, 内田 浩二, 永田 宏次 (東大院農)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

3D7a06 アルデヒド修飾アミノ酸 Methylglyoxal-arginine の mAb 6B による認識機構の可視化
10:33 ○野坂 柚奈, 隋 苗苗, 斎藤 志ほ, 陸 鵬, 伊藤 英晃, 岡本 研, 鈴木 道生, 奥田 健, 内田 浩二, 永田 宏次 (東大院農)

3D7a07 アフリカ豚熱ウイルスの高効率 DNA 複製に重要と考えられるチミジンキナーゼの調製
10:44 ○神 さくら¹, 高田 幸之介¹, 劉 暢¹, 奥田 健¹, 岡本 研¹, 伊藤 英晃¹, 鈴木 道生¹, 陸 鵬¹, 國保 健浩², 永田 宏次¹ (¹東大院農, ²農研機構)

3D7a08 モジュラーポリケチド合成酵素の立体構造推定
10:55 ○斎藤 恵奈^{1,2}, 武田 知己^{1,2}, 湯澤 賢^{1,2} (¹慶大・先端生命研, ²慶大院・政策メディア・先端生命)

3D7a09 シガテラ中毒の治療のためのヒト化抗シガトキシン抗体の創製
11:06 ○山口 亜佐子, 相野 弘明, 円谷 健, 平間 正博, 藤井 郁雄 (阪大大理)

3D7a10 スギヒラタケが引き起こす急性脳症に関する毒性タンパク質の生化学的研究
11:17 ○佐藤 匠¹, 中村 瑠奈¹, 茅谷 佳祐¹, 小野 晶子^{1,2}, 田中 裕基¹, 崔 宰熏^{3,4,5}, 道羅 英夫^{3,5}, 平井 浩文^{3,4,5}, 深沢 嘉紀¹, 河岸 洋和^{3,5}, 鈴木 智大^{1,5} (¹宇都宮大・バイオ, ²森林総合研究所, ³静岡大・グリーン研, ⁴静岡大・農, ⁵静大・キノコ科研)

a11～a13 発表者の接続時間 11:28～11:36

3D7a11 脱アミド化した β 2-ミクログロブリンの全合成
11:36 ○川上 隆治, 高尾 敏文, 伊藤 駿, 北條 裕信 (阪大 蛋白研)

3D7a12 ヤナギマツタケ (*Agrocybe cylindracea*) の子実体特異的タンパク質がもつ生体防御機能の解析
11:47 ○藏谷 大和¹, 宮原 浩二¹, 松本 顕², 沢野 圭輔¹, 岩田 真人³, 太田 広人¹, 安藤 祥司¹ (¹崇城大・生物生命, ²順天堂大・医, ³アイエムビー(株))

3D7a13 キノヘムプロテイン・アミン脱水素酵素のキノン補酵素生合成に果たすヘム含有サブユニットの役割
11:58 ○中島 代詠¹, 大関 俊範¹, 中井 忠志², 谷澤 克行¹, 岡島 俊英¹ (¹阪大産研, ²広島工大生命)

D7会場 午後の部(13:50～16:40)

生物科学—タンパク質・ペプチド科学-構造, 機能, その他

p01～p05 発表者の接続時間 13:42～13:50

3D7p01 アコヤガイ貝殻真珠層におけるキチン分解酵素の役割の解明
13:50 ○朱 凌霄, 鈴木 道生 (東大院農)

3D7p02 貝殻タンパク質 BMSP の T リッチ領域と炭酸カルシウム結晶の関係についての研究
14:01 ○志田 晶¹, 二川 慶², 大嶋 啓介², 加藤 由悟², 鈴木 道生² (¹東大農, ²東大院農)

3D7p03 アコヤガイ貝殻真珠層から発見された新規バイオミネラルタンパク質の機能解析
14:12 ○大嶋 啓介, 鈴木 道生 (東大院農)

3D7p04 アコヤガイ韌帯の酸性ペプチド LICP の溶液 NMR 法を用いた構造・機能解析
14:23 ○二川 慶¹, 森岡 太一¹, 池谷 鉄兵², 伊藤 隆², 片山 秀和³, 永田 宏次¹, 鈴木 道生¹ (¹東大院農, ²都立大院理, ³東海大工)

3D7p05 LC/MS による日本人の母乳中のペプチドの網羅的分析
14:34 ○津田 智弘¹, 野尻 恵資², 鈴木 茉那¹, 日暮 聰志², 上西 寛司¹ (¹雪印メグミルク株式会社, ²雪印ビーンスターク株式会社)

p06～p10 発表者の接続時間 14:45～14:53

3D7p06 AAA+ ATPase 複合体による化学合成独立栄養性細菌の Rubisco 再活性化の構造基盤
14:53 ○廖 増威¹, ゴバラシンガム チャイ², ゲーレ クリストフ², 重松 秀樹³, 亀谷 将史^{1,4}, 新井 博之^{1,4}, 伏信 進矢^{1,4} (¹東大院農, ²理研, ³高輝度光科学研究セ, ⁴東大・CRIIM)

3D7p07 大腸菌翻訳アレストペプチドの探索とリボソームディスプレー法への適用
15:04 ○牧野 祥嗣, 金井 保 (富山県大工)

3D7p08 アデノシン三リン酸によるアミロイド β の分子運動速度の上昇と線維化の抑制
15:15 ○中村 桃佳¹, 倉持 晶弘², 高橋 大翔², 小森谷 友絵¹, 吉宗 一晃¹ (¹日大院生産工, ²茨城大工)

3D7p09 超好熱性アーキア *Sulfolobus acidocaldarius* 由来アルコール脱水素酵素の機能と溶液中での立体構造変化の解析
15:26 ○岩村 陽子, 郷田 秀一郎 (創価大院理工)

3D7p10 tRNA 硫黄修飾塩基の生合成機構に見出した酸素感受性の反応とその環境適応進化
15:37 ○鳴 直樹 (産総研・早大OIL)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

3D7p11 分子表面の芳香族アミノ酸クラスターがデンプン結合ドメインの構造安定性とフォールディングにおよぼす影響
15:56 ○杉本 華幸, 福富 瑠乃, 赤澤 由布, 長田 拓己, 鈴木 一史 (新潟大農)

3D7p12 クロガケジグモ (*Badumna insignis*) の毒液に含まれるペプチド成分の構造決定
16:07 ○山本 怜¹, Alhussin M.A. Megaly², 中川 好秋¹, 宮下 正弘¹ (¹京大院農, ²Al-Azhar Univ.)

3D7p13 大腸菌で機能する *Physcomitrium patens* 由来ペルオキシダーゼ Prx34 のシグナルペプチド
16:18 ○松本 虎太郎¹, 伊藤 健司², 秋田 求¹ (¹近畿大 生物工, ²近畿大院 生物工学)

3D7p14 酵母ツーハイブリッド法によるヒトフィラグリンと相互作用するヒトケラチン10のドメインの同定
16:29 ○河合 甚八, 渡邊 哲也, 佐藤 知樹, 奥村 裕紀, 氏田 稔 (名城大院農)

E1会場 午前の部(9:30~11:28)

微生物—物質生産・醸造, 発酵(一次代謝産物)一

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

3E1a01 麴菌および乳酸菌を用いた麦茶粕の発酵および風味の変化

9:30 ○折居 千賀 ((公財)東洋食品研究所)

3E1a02 生酛における酒造年度ごとの乳酸菌叢の多様性

9:41 ○竹内 赴登¹, 伊藤 一成¹, 三宅 祐治², 谷野 有佳¹, 渡邊 秀造², 渡邊 酿造², 三宅 剛史¹ (¹岡山県工技セ, ²白菊酒造(株))

3E1a03 奈良県ゆかりの植物からの清酒用酵母の分離とその特性

9:52 ○都築 正男, 乗原 智也, 立本 行江 (奈良県産振セ)

3E1a04 奈良漬の伝統的製法に固有の微生物叢を形成する乳酸菌

10:03 ○吉岡 求¹, 増田 幸彦², 渡辺 大輔¹ (¹奈良先端大バイオ, ²奈良屋本店)

3E1a05 ラム酒の発酵醪およびタンダー中の微生物群集構造の解析

10:14 ○黒木 葉菜¹, 堀越 美晴¹, 青木 大成², 天知 誠吾³ (¹千葉大園芸, ²ペナシユール房総株式会社, ³千葉大・院園芸)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

3E1a06 複合微生物工学アプローチによるバイオプロセス制御: pH制御によるメタ連續発酵における細菌叢と有機酸生産の動的変化の追跡

10:33 ○古閑 友紀¹, 梶本 寛太¹, 宮本 浩邦^{2,3,4}, 酒井 謙二¹, 大城 麦人¹, 濱田 浩幸¹, 田代 幸寛¹ (¹九大院生資環, ²千葉大園芸, ³理研生命医科学, ⁴サーマス)

3E1a07 鰹節力ビに内在するマイコウイルスが宿主に与える影響

10:44 ○武馬 聖二^{1,2}, 浦山 俊一^{3,4}, 周防 玲¹, 糸井 史郎¹, 岡田 茂⁵, 二宮 章洋⁵ (¹日大生物資源, ²東大農, ³筑波大生命環境, ⁴筑波大MiCS, ⁵東大院農)

3E1a08 野生国酒酵母による醸造法

10:55 薄井 周太, 村上 義揮, 雜賀 俊多, 渡 彦大, 森谷 千星, 渡邊 康太, 中山 俊一, ○門倉 利守 (東京農大 酿造)

3E1a09 レーズンと水からワインができる仕組み

11:06 ○日尾 守¹, 村田 憲亮¹, 高瀬 隆一¹, 渡辺 大輔², 小倉 康平¹, 橋本 渉¹ (¹京大院・農, ²奈良先端大・バイオ)

3E1a10 イソブタノール生産を評価する酵母バイオアッセイ系の確立と生産量向上に向けた代謝酵素改変への応用

11:17 ○佐藤 源氣¹, 黒田 浩一² (¹京大院・農・応用生命, ²京都工織大・分子化学)

E1会場 午後の部(14:01~16:40)

微生物—代謝-発酵生理, 代謝調節/物質生産-醸造, 発酵(一次代謝産物)一

p02~p05 発表者の接続時間 13:53~14:01

3E1p02 *Corynebacterium glutamicum* のCS集合化とグルタミン酸生産との機能的関連

14:01 ○長岡 誠¹, 古園 さおり^{1,2,3}, 西山 真^{1,2} (¹東大院農, ²東大CRIIM, ³理研CSRS)

3E1p03 大腸菌を用いたN-アセチルノイロマニン酸発酵生産プロセスの構築

14:12 ○氏原 哲朗, 直江 大樹, 吉岡 登希夫, 社納 貴文, 福本 一成 (協和発酵バイオ)

3E1p04 アミノ酸源の添加は *Shewanella oneidensis* MR-1株の嫌気条件での増殖を促進する

14:23 ○富田 啓介, 池田 壮汰, 高妻 篤史, 渡邊 一哉 (東洋大生命)

3E1p05 *Gluconobacter* 属酢酸菌 CHM43株の変異株を用いた

2-ケトグルコン酸生産

14:34 ○中島 さくら¹, 片岡 尚也^{1,2}, 松谷 峰之介³, ムサド・ティッパヤサク ウライワン⁴, ティーラーグール ガンジャナ⁴, 松下 一信^{1,2}, 薬師 寿治^{1,2} (¹山口大・院創成科学, ²山口大・中高温微研セ, ³東京農業大・ゲノム, ⁴カセサート大)

p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53

3E1p06 オリーブ葉を基材とした固体培養における麹菌の生育とオリーブ葉麹の酵素活性

14:53 ○谷野 有佳¹, 伊藤 一成¹, 竹内 赴登¹, 三宅 剛史¹, 橋本 敦子², 奥川 日菜乃², 山下 秀行³, 吉田 靖弘⁴, 徐 恵美⁴, 菊地 敬一⁴, 深野 夏暉², 仁戸田 照彦², 神崎 浩² (¹岡山県工技セ, ²岡山大院・環境生命, ³樋口松之助商店, ⁴日本オリーブ)

3E1p07 小型通気式固体培養装置を用いた麹菌固体培養によるワインパミス成分の微生物変換

15:04 ○岡 深雪¹, 藤田 彩楓¹, 奥川 日菜乃², 橋本 敦子², 三宅 剛史³, 伊藤 一成³, 谷野 有佳³, 山下 秀行⁴, 中川 拓郎⁴, 平野 幸司⁵, 深野 夏暉², 仁戸田 照彦^{1,2}, 神崎 浩^{1,2} (¹岡山大農, ²岡山大院・環境生命, ³岡山県工技セ, ⁴樋口松之助商店, ⁵果実工房)

3E1p08 Microbial Conversion of Unpolished Thai-Coloured Rice by *Aspergillus* Solid-State Cultivation: Effect on Amino Acid Composition

15:15 ○Jirayu Jitpakdee¹, Kazunari Ito², Yuka Tanino², Hayato Takeuchi², Hideyuki Yamashita³, Takuro Nakagawa³, Teruhiko Nitoda¹, Hiroshi Kanzaki¹ (¹Grad. Sch. Environ. Life Sci., Okayama Univ., ²Industrial Technology Center of Okayama Prefecture, ³Higuchi Matsunosuke Shoten)

3E1p09 清酒製造現場での製麹を再現した培養における醸造関連酵素の遺伝子発現

15:26 ○伊藤 一成¹, 谷野 有佳¹, 竹内 赴登¹, 五味 勝也², 犬山 昌弘³, 三宅 剛史¹ (¹岡山県工技セ, ²東北大院農, ³(株)フジワラテクノアート)

3E1p10 Comparative study of triacylglycerol lipase in *Aspergillus oryzae* associated with adjunct use for dairy application

15:37 ○Napaporn CHINTAGAVONGSE¹, Yukina KAWAKAMI¹, Koichi TAMANO², Toru HAYAKAWA¹, Jun-ichi WAKAMATSU¹, Haruto KUMURA¹ (¹Applied Food Science Laboratory, Graduate School of Agriculture, Hokkaido Univ., ²Bioproduction Research Institute, AIST Hokkaido)

p11~p14 発表者の接続時間 15:48~15:56

3E1p11 β -N-acetyl-D-glucosaminyl-(1,4)-D-glucosamineによる *Vibrio* 属細菌のキチン代謝活性化システムの推測

15:56 ○平野 貴子^{1,2}, 津田 紘伸², 西尾 俊幸¹, 萩田 航^{1,2} (¹日大生資科, ²日大院生資科)

3E1p12 出芽酵母 *Saccharomyces cerevisiae* の液胞膜ミクロドメイン形成におけるミクロリポニアジーの役割

16:07 ○中辻 拓実¹, 白石 晃将¹, 奥 公秀², 阪井 康能¹ (¹京大院農, ²京都先端科学大学)

3E1p13 *Citrobacter braakii* TB-96株におけるグリセロール存在下での高発現かつ安定的なプロモーター選抜

16:18 ○木村 武蔵¹, 鮫島 礼¹, 柳瀬 卓馬¹, 吉田 ナオト¹, 中島(神戸) 敏明², 清 啓自¹ (¹宮大院農, ²筑波大院生命環境系)

3E1p14 *Gluconobacter japonicus* が持つ PQQ5 は D-乳酸を基質にする膜結合型キノプロテインである
16:29 ○竹内 秀¹, 片岡 尚也^{1,2}, 松下 一信^{1,2}, 薬師 寿治^{1,2} (1山口大・院創成科, 2山口大・中高温微セ)

E2 会場 午前の部(9:30~11:28)

微生物—細胞-細胞応答, ストレス応答, 情報伝達, 細胞外膜小胞—

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

3E2a01 A gene cluster coding for multiple predicted glycosyl transferases is involved in the biogenesis of extracellular membrane vesicles of *Shewanella vesiculosa* HM13
9:30 ○Mengshan Zhu, Jun KAWAMOTO,

Takuya OGAWA, Tatsuo KURIHARA (Institute for Chemical Research, Kyoto University)

3E2a02 *Shewanella vesiculosa* HM13 の細胞外膜小胞生産におけるダイナミン様タンパク質遺伝子クラスターの役割
9:41 ○井上 宙夢, 川本 純, 小川 拓哉, 栗原 達夫 (京大化研)

3E2a03 X-ray crystallographic analysis of a major cargo protein of extracellular membrane vesicles of a hypervesiculating bacterium, *Shewanella vesiculosa* HM13
9:52 ○Yuanzheng YANG¹, Jun KAWAMOTO¹,

Takuya OGAWA¹, Kimihiko MIZUTANI², Bunzo MIKAMI^{3,4}, Tatsuo KURIHARA¹ (1Institute for Chemical Research, Kyoto University, 2Graduate School of Agriculture, Kyoto University, 3Research Institute for Sustainable Humanosphere, Kyoto University, 4Institute of Advanced Energy, Kyoto University)

3E2a04 好気条件における膜小胞高生産乳酸菌の探索
10:03 ○稲垣 日奈子¹, 菅野 美月², 二又 裕之^{2,3,4}, 田代 陽介^{2,4} (1静大工, 2静大院創造, 3静大グリーン研, 4静大院総合科技)

3E2a05 腸内細菌が産生する膜小胞の特性解析
10:14 ○杜 吾聰, 片倉 啓雄, 山崎 思乃 (関西大・生化工)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

3E2a06 微生物間コミュニケーションを介した細胞外膜小胞の放出
10:33 ○伊藤 碧美¹, 山本 千佳¹, 永沢 亮², 原田 潤¹,

鵜木 海緒¹, 尾花 望^{3,5}, 野村 暢彦^{4,5}, 豊福 雅典^{4,5} (1筑波大院・生物資源科学学位P, 2愛知医科大・医, 3筑波大・医学医療系, 4筑波大・生命環境系, 5筑波大・MiCS)

3E2a07 *Corynebacterium glutamicum* における膜小胞を介した鉄獲得に関する遺伝子の探索
10:44 ○藤田 真愛¹, 永久保 利紀^{3,4}, 川島 花雪², 山本 達也³, 野村 暢彦^{3,4,5}, 豊福 雅典^{3,4} (1筑波大・生物資源, 2筑波大・生命環境, 3筑波大・微生物サスティナビリティ研究センター)

3E2a08 細菌における MV の受け取り因子の探索

10:55 ○柏俣 青葉¹, 野村 暢彦^{2,3}, 豊福 雅典^{2,3} (1筑波大院 生物資源学位, 2筑波大 生命環境系, 3筑波大 微生物サスティナビリティ研究センター)

3E2a09 大腸菌のセレンナノ粒子は細胞内で形成され膜に包まれて排出される
11:06 ○越智 杏奈¹, 芝本 佳永¹, 豊竹 洋佑¹, 藤岡 大毅¹,

岡西 広樹², 青野 陸¹, 井上 真男^{1,3}, 金井 好克², 今井 友也⁴, 三原 久明¹ (1立命大 生命, 2大阪大 医, 3立命大 R-GIRO, 4京大 生存研)

3E2a10 曲率認識ペプチドを用いた乳酸菌の膜小胞産生条件の検討
11:17 ○中村 めい¹, 前川 沙喜子², 河野 健一³, 片倉 啓雄²,

山崎 思乃² (1関西大院・理工, 2関西大・化生工, 3京大院・薬学)

E2 会場 午後の部(13:50~16:40)

微生物—細胞-細胞応答, ストレス応答, 情報伝達, 細胞外膜小胞/遺伝子-発現制御, トランスクリプトーム—

p01~p05 発表者の接続時間 13:42~13:50

3E2p01 グラム陽性細菌によるグラム陰性細菌の QS 誘導

13:50 ○杉本 翠¹, 佐野 千佳歩², 永久保 利紀^{3,4}, 野村 暢彦^{3,4}, 豊福 雅典^{3,4} (1筑波大・生命環境学群 生物資源学類, 2筑波大院・生命地球科学研究群, 3筑波大・生命環境系, 4筑波大・微生物サスティナビリティ研究センター)

3E2p02 細菌間コミュニケーションによって制御される緑膿菌プロファージの解析
14:01 ○上原 礼佳¹, 吉澤 晋², 木暮 一啓², 野村 暢彦^{3,4},

豊福 雅典^{3,4} (1筑波大院・理工情報生命学術院, 2東京大・大気海洋研, 3筑波大・生命環境系, 4筑波大・MiCS)

3E2p03 細菌集団の一部で出現する新規生存形態の解明

14:12 ○原田 潤¹, 兼松 周作¹, 野村 暢彦^{2,3}, 豊福 雅典^{2,3} (1筑波大院・生物資源科学学位プログラム, 2筑波大・生命環境系, 3筑波大・微生物サスティナビリティ研究センター)

3E2p04 大腸菌細胞の配向秩序による細胞外マトリクス生産の不均一性
14:23 ○横山 文秋, 竹内 一将 (東大・理・物理)

3E2p05 トリプトフォールによる酵母のスフィンゴ脂質合成阻害とクオラムセンシング
14:34 ○崎濱 由梨¹, 三岡 哲生¹, 望月 貴博¹, 加藤 拓², 只見 秀代², 三好 美穂², 永富 康司², 阿部 文快¹ (1青山学院大学, 2サヒクオリティーアンドイノベーションズ)

p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53

3E2p06 濃度応答性メタノール誘導において転写因子 KpMxr1 のリン酸化制御に関するシグナル伝達因子の探索

14:53 ○北山 岳人, 井上 紘一, 由里本 博也, 阪井 康能 (京大農)

3E2p07 酵母 *Candida boidinii* におけるメタノール誘導性 mRNA 顆粒の時空間制御と特性評価
15:04 ○関岡 風花, 白石 晃将, 赤木 美穂, 幅田 亜香莉, 由里本 博也, 阪井 康能 (京大院農)

3E2p08 *Saccharomyces cerevisiae HKR1* 遺伝子のエキソン内在プロモーターによる発現制御機構
15:15 ○今藤 俊宏, 小澤 良太郎, 細川 佑奈, 笠原 紳 (宮城大・食産業)

3E2p09 *Saccharomyces cerevisiae HKR1* のエキソンに内在するプロモーターと発現産物の蛍光タンパク質による解析
15:26 ○細川 佑奈, 今藤 俊宏, 小澤 良太郎, 笠原 紳 (宮城大・食産業)

3E2p10 *Saccharomyces cerevisiae HKR1* 遺伝子のエキソン内在プロモーター領域の解析
15:37 ○小澤 良太郎, 今藤 俊宏, 細川 佑奈, 笠原 紳 (宮城大・食産業)

p11~p14 発表者の接続時間 15:48~15:56

3E2p11 光によって誘導できる放線菌高生産系 iLiEX システムによる有用酵素の生産

15:56 ○渡部 あいり¹, 野谷 龍太¹, 木船 智尋², 佐久間 祥吾², 山田 理緒², 高野 英晃^{1,2} (1日大院生資科, 2日大生資科)

3E2p12 放線菌 *Streptomyces griseus* をホストとする光誘導型酵素生産システムの開発
16:07 ○村越 恒平, 野谷 龍太, ○高野 英晃 (日大院生資科)

3E2p13 枯草菌宿主での T7 発現系を利用したタンパク質分泌生産の検討
16:18 ○福原 大空, 吉永 悠太, 田中 智教, 高橋 誉親, ○広岡 和丈 (福山大生命工・生物工)

3E2p14 枯草菌におけるヘリオバクテリア光合成遺伝子クラスターの導入と異種発現

16:29 ○天野 克海¹, 浅井 智広², 荷村 かおり¹, 高橋 裕貴¹, 板谷 光泰³, 朝井 計¹, 渡辺 智¹ (¹東農大生命, ²中央大理工, ³信州大工)

E3会場 午前の部(9:30~12:20)

有機化学, 天然物化学—生合成—

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

3E3a01 データベースからの ATP 依存型ジアゾ化酵素の探索及び基質特異性評価

9:30 ○寧 嘉宇¹, 川合 誠司¹, 勝山 陽平^{1,2}, 大西 康夫^{1,2} (¹東大院・農生科・応生工, ²東大・微生物イノベ連携機構)

3E3a02 放線菌二時代謝における亜硝酸を用いた芳香環アミノ化酵素の機能解析

9:41 ○桑原 康¹, 勝山 陽平^{1,2}, 大西 康夫^{1,2} (¹東大院・農生科・応生工, ²東大・微生物イノベ連携機構)

3E3a03 Alazopeptin 生合成由来 *N*-acetyl-6-diazo-5-oxo-L-nor-leucine 認識アデニル化酵素 AzpC の基質特異性の変改

9:52 ○丸山 崇史¹, 三宅 恒輝¹, 川合 誠司¹, 森脇 由隆^{1,2}, 寺田 透^{1,2}, 勝山 陽平^{1,2}, 大西 康夫^{1,2} (¹東大院・農生科・応生工, ²東大・微生物イノベ連携機構)

3E3a04 *Streptomyces* 由来 cyclopenta[b]pyridine 含有ポリケタイド streptazone 類生合成の *in vitro* 解析

10:03 ○平松 太地¹, 勝山 陽平^{1,2}, 大西 康夫^{1,2} (¹東大院・農生科・応生工, ²東大・微生物イノベ連携機構)

3E3a05 ジアゾ基含有アミノ酸 azaserine の生合成経路の *in vitro* 解析

10:14 ○四海 佑亮¹, 勝山 陽平^{1,2}, 大西 康夫^{1,2} (¹東大院・農生科・応生工, ²東大・微生物イノベ連携機構)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

3E3a06 細菌の中鎖 *Z*型イソプレニルニリン酸合成酵素の鎖長制御機構の解析

10:33 ○阿部 透, 山之内 菜央, 山崎 智也, 上田 大次郎, 佐藤 努 (新潟大院自然)

3E3a07 非末端環化型トリ / セスクアテルペン環化酵素の同定

10:44 ○上田 大次郎¹, 鈴木 和佳奈¹, 寒河江 侑加¹, 井上 真央¹, 品田 哲郎², 佐藤 努¹ (¹新潟大農, ²阪大理工)

3E3a08 昆虫由来新規テルペン合成酵素の生成物の構造と諸性質の解析

10:55 ○柴 逸, 上田 大次郎, 富士川 成美, 佐藤 努 (新大院農)

3E3a09 糸状菌 *Aspergillus lentulus* 由来の新規天然物 lento-clavine の生合成研究

11:06 ○鈴木 亮大, 永井 拓実, 岸本 真治, 渡辺 賢二 (静岡県大薬)

3E3a10 真菌由来ニトリル基含有化合物 auranthine の生合成研究

11:17 ○田村 翼, 岸本 真治, 渡辺 賢二 (静岡県大薬)

a11~a14 発表者の接続時間 11:28~11:36

3E3a11 コリバクチン生産菌の検出除菌による大腸がん予防法の確立

11:36 ○小林 裕輝¹, 新貝 龍旦¹, 吉岡 泰淳², 三好 規之², 永翁 一代¹, 佐藤 道大¹, 渡辺 賢二 (¹静岡県大薬, ²静岡県大食)

3E3a12 力キシメジの有毒成分ウヌタル酸の生合成研究

11:47 ○増山 侑哉, 青木 聰樹, 岸本 真治, 渡辺 賢二 (静岡県大薬)

3E3a13 Uncovering the reaction mechanism of unique dehydration in cochlidone biosynthesis

11:58 ○Christopher Sarmales-Murga, Motoki Kosaka, Michio Sato, Kenji Watanabe (Department of Pharmaceutical Sciences, University of Shizuoka)

3E3a14 遺伝子破壊法による渦鞭毛藻由来 SCCM 生合成遺伝子の解明

12:09 ○本田 雅人¹, 安藤 知佳², 北 将樹², 恒松 雄太² (¹名大農, ²名大院生命農)

E3会場 午後の部(13:50~16:29)

有機化学, 天然物化学—生合成—

p01~p05 発表者の接続時間 13:42~13:50

3E3p01 抗腫瘍抗生物質マイトイシンの生合成解析

13:50 ○高橋 佑大¹, 角田 純², 小笠原 泰志², 大利 徹² (¹北大院総化, ²北大院工)

3E3p02 イソキサゾリン構造を有するアシビシンの生合成解析

14:01 ○布田 大志¹, 小笠原 泰志², 大利 徹² (¹北大院総化, ²北大院工)

3E3p03 ヒドラジド含有型天然物の生合成に関する研究

14:12 ○西田 壮吾¹, 成富 駿¹, 小倉 勇輝¹, 山崎 陽香¹, 角田 純², 勝山 陽平^{3,4}, 小笠原 泰志², 大利 徹² (¹北大院総化, ²北大院工, ³東大院農生科応生工, ⁴東大・微生物イノベ連携機構)

3E3p04 ゲノムマイニングによる新規 GTP シクロヒドロラーゼの同定

14:23 ○梅澤 朱理¹, 角田 純², 新宅 一平¹, 小笠原 泰志², 大利 徹² (¹北大院総化, ²北大院工)

3E3p05 プロテアソーム阻害剤の生合成研究

14:34 ○角田 純¹, 古村 淳吉², 山崎 陽香², 小笠原 泰志¹, 大利 徹¹ (¹北大院工, ²北大院総化)

p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53

3E3p06 微細藻類由来 DHA 合成酵素の ketosynthase ドメインの機能解析

14:53 ○尾形 海斗¹, 仲間 陸¹, 小林 飛悠¹, 角田 純², 丸山 千登勢³, 濱野 吉十³, 氏原 哲朗⁴, 小笠原 泰志², 大利 徹² (¹北大院総化, ²北大院工, ³福井県大院生物資源, ⁴協和発酵バイオ)

3E3p07 微細藻類由来 DHA 合成酵素の dehydratase ドメインの機能解析

15:04 ○川田 智哉¹, 小林 飛悠¹, 大塚 慎¹, 角田 純², 丸山 千登勢³, 濱野 吉十³, 氏原 哲朗⁴, 小笠原 泰志², 大利 徹² (¹北大院総化, ²北大院工, ³福井県大院生物資源, ⁴協和発酵バイオ)

3E3p08 Vinigrol の生合成に関する新規テルペン環化酵素の発見と機能解析

15:15 ○佐藤 史都, 塚田 健人, 古村 翔, 森下 陽平, 菅原 章公, 尾崎 太郎, 浅井 穎吾 (東北大院薬)

3E3p09 ゲノムマイニングの効率化を実現する長鎖遺伝子の麹菌内迅速再構築法の検討

15:26 ○青木 翔吾, 尾崎 太郎, 菅原 章公, 森下 陽平, 浅井 穎吾 (東北大院薬)

3E3p10 *ustYa* 遺伝子のゲノムマイニングにより見出した *cyclochlorotine* 類縁生合成遺伝子クラスターの機能解析

15:37 ○岡本 春太, 尾崎 太郎, 森下 陽平, 菅原 章公, 浅井 穎吾 (東北大院薬)

p11~p13 発表者の接続時間 15:48~15:56

3E3p11 テトラエーテル脂質合成酵素ホモログの機能および生成物特異性の解明

15:56 ○石原 和華¹, 井深 達哉², 伊藤 智和¹, 浅川 晋¹, 横川 隆志², 邊見 久¹ (¹名大院生命農, ²岐阜大工)

- 3E3p12 古細菌祖先型プレニル化フラビンモノヌクレオチド合成酵素の基質特異性
16:07 ○伊志嶺 壮真¹, 星野 洋輔², 伊藤 智和¹, 邊見 久¹ (1名
大農, ²GFZドイツ地球科学研究所)
- 3E3p13 ササラダニ類におけるシアノ化水素生成のメカニズムに関する研究
16:18 ○森山 太介¹, 高原 千尋¹, 島野 智之², 清水 伸泰¹ (1京都先端大バイオ環境, ²法政大学自然科学センター)

E4 会場 午前の部(9:30~12:20)

生物科学—生物工学-酵素工学・生物反応工学, 生物材料工学, 生体医用工学/糖鎖科学-構造, 機能, 糖鎖工学, その他/生物工学-解析技術・方法論, その他/その他一

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

- 3E4a01 コロナウイルス感染患者における腸内細菌叢の変化
9:30 ○中村 仁俊, 池松 真也 (沖縄高専)
- 3E4a02 表面増強ラマン散乱におけるノロウイルス検出応答の安定性に関する研究
9:41 ○前畠 秀穂¹, Boonyakida Jirayu², Memdi Indra²,
朴 龍洙^{1,2} (1静大院総合科技, ²静大グリーン研)
- 3E4a03 DNA 結合タンパク質 gp32 に対する抗体を用いた迅速簡便な遺伝子検査法の開発
9:52 パム ニアンティキム¹, 平川 由紀², 滝田 穎亮³,
門間 敬子², 保川 清², ○吉宗 一晃¹ (1日大生産工, ²京女大家政, ³京大農)
- 3E4a04 微生物染色体 DNA 中のポリプリン / ポリピリミジン配列の解析と遺伝子型別への応用
10:03 ○安川 和志 (富山県衛生研究所)
- 3E4a05 終末糖化産物受容体を活用した評価技術の開発と応用
10:14 ○小堀 俊郎^{1,2}, ガネーシュ ディーパック^{1,2},
熊野 みゆき¹, 町田 幸子¹ (1農研機構食品研, ²筑波大生命環境)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

- 3E4a06 粉体工学的アプローチと機械学習を用いたカブトムシ三齢幼虫の雌雄分類
10:33 ○高井 千加^{1,2}, 山下 誠司³ (1岐阜大工, ²東北大多元研, ³名大工)
- 3E4a07 ポリシアル酸とドーパミン誘導体の相互作用解析
10:44 ○早川 開都^{1,2}, 羽根 正弥^{1,2,3}, 田中 浩士⁴, 吳 迪^{1,2,3},
北島 健^{1,2,3}, 佐藤 ちひろ^{1,2,3} (1名大院・生命農学, ²名大・生物機能セ, ³名大・iGCORE, ⁴東工大・物理工学院)
- 3E4a08 ポリシアル酸と低分子化合物の新規相互作用解析法の開発
10:55 ○羽根 正弥^{1,2,3}, 早川 開都^{2,3}, 田中 浩士⁴, 吳 迪^{1,2,3},
北島 健^{1,2,3}, 佐藤 ちひろ^{1,2,3} (1名大・iGCORE, ²名大院・生命農学, ³名大・生物機能セ, ⁴東工大・物理工学院)
- 3E4a09 糖供与体 4,6-O-フェニルボロン酸エステル保護基がグリコシル化反応の立体選択性に与える影響の検証
11:06 ○梅村 悠太¹, 河村 奈緒子², 今村 彰宏^{1,2},
石田 秀治^{1,2,3}, 安藤 弘宗^{1,2}, 田中 秀則^{1,2} (1岐阜大院連合農学, ²岐阜大iGCORE, ³岐阜大応用生命)
- 3E4a10 1,5-ラクタム化シアル酸橋頭位ラジカルを利用した C-シアロシド合成法の開発
11:17 ○小林 萌々香¹, 河村 奈緒子², 今村 彰宏^{1,2},
石田 秀治^{1,2}, 安藤 弘宗², 田中 秀則² (1岐阜大応用生命, ²岐阜大学iGCORE)

a11~a14 発表者の接続時間 11:28~11:36

- 3E4a11 立体選択的 N 結合型 ADP-リボシル化分子の合成法の開発
11:36 ○田中 秀則^{1,2}, 萩野 瑠衣², 河村 奈緒子¹, 今村 彰宏^{1,2,3},
石田 秀治^{1,2,3}, 安藤 弘宗^{1,2} (1岐阜大iGCORE, ²岐阜大院連合農学, ³岐阜大応用生命)

- 3E4a12 完全な α 選択的シアリル化を用いた *N. meningitidis* W135 由来多糖の合成研究
11:47 山本 洋¹, ○河村 奈緒子², 加藤 雅大¹, 田中 秀則²,
今村 彰宏^{1,2}, 石田 秀治^{1,2}, 安藤 弘宗² (1岐阜大・応用生物, ²岐阜大・iGCORE)

- 3E4a13 レジオナミン酸の完全な α 選択的グリコシド化法の開発研究
11:58 ○桃澤 鳳馬¹, 田中 秀則², 今村 彰宏^{1,2}, 石田 秀治^{1,2},
安藤 弘宗², 河村 奈緒子² (1岐阜大・応用生物, ²岐阜大・iGCORE)

- 3E4a14 カキ中に見いだされたメチル化 A 型糖鎖抗原の合成
12:09 山口 江利子¹, ピーテ ブラティクシャ¹,
河村 奈緒子¹, 田中 秀則¹, 今村 彰宏^{1,2}, 石田 秀治^{1,2},
ゲラルデル ヤン^{1,3}, ○安藤 弘宗¹ (1岐阜大・iGCORE, ²岐阜大・
応用生物, ³リール大CNRS・UGSF)

E4 会場 午後の部(13:50~16:18)

動物—細胞構造-細胞骨格, オルガネラ, 輸送体, 細胞接着, 生体膜, メンブレントラフィック, 相分離 / タンパク質-構造, 機能, 活性制御, 分解, 局在制御, プロテオーム / 個体-生理・栄養・代謝, 神経, 生体機能, 生体制御, メタボローム, 病理, 発生—

p01~p05 発表者の接続時間 13:42~13:50

- 3E4p01 条鰐類アクアポリン 10 パラログの輸送基質選択における機能分岐
13:50 ○永嶋 鮎美¹, 潮 和敬¹, 今泉 元岐¹, 西原 秀典^{1,5},
古田 忠臣¹, インゴ ブラーシュ², 松崎 浩二³,
マイケル・F ロメロ⁴, 加藤 明¹ (1東工大・生命理工, ²ミシガン州立大学, ³ふくしま海洋科学館(アクアマリンふくしま), ⁴メイヨー医科大学, ⁵近大・農・生物機能)

- 3E4p02 高速原子間力顕微鏡を用いたビンキュリン活性化機構の解明
14:01 ○黒田 美都¹, 松山 大輝¹, 古寺 哲幸², 木岡 紀幸¹ (1京大院農, ²金沢大NanoLSI)

- 3E4p03 高浸透圧ストレス下で形成される p62 body の解明
14:12 ○田村 直輝, 和栗 聰 (福島医大)

- 3E4p04 ヒト ABC タンパク質の脂質, 脂溶性ビタミン輸送能評価系の開発
14:23 ○木村 泰久, 藤村 大河, 木岡 紀幸 (京大・院農・応用生命)
3E4p05 近接依存性ビオチン標識法を用いて同定された初期分泌経路局在タンパク質 PRRC1 の機能解析
14:34 中山 菜月, 尾関 希美, 山田 彩和, 牧 正敏, 高原 照直, ○柴田 秀樹 (名大院)

p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53

- 3E4p06 マウス由来の抗がん剤等のトランスポーター Abcg2 の糖鎖付加部位変異体の機能解析
14:53 ○田口 善智, 田中 友恵, 廣森 城, 河合 朋優, 何 依潔, 和田 佳奈美, 永見 宏樹 (近畿大 生物理工 遺伝子工)

- 3E4p07 がん細胞における接着斑の脂質組成変化を目指した酵素局在化システムの構築
15:04 ○山崎 順子, 増元 亮裕, 木村 泰久, 黒田 美都, 木岡 紀幸 (京大院農)

3E4p08 酸化ストレス依存的な HT22 細胞内 MLV-Gag の動態変化と生理的意義

15:15 ○葛西 柚月¹, 田辺 岳海¹, 水木 徹², 根建 拓¹ (東洋大院生命, ²東洋大バイオナノセンター)

3E4p09 肝線維化が誘導される肝臓特異的 67-kDa laminin receptor ノックアウトマウスのメタボローム解析

15:26 ○一瀬 智美, 米山 拓良, 竹下 菜津子, 錦戸 里紗, 熊添 基文, 藤村 由紀, 立花 宏文 (九大院農院・生機科)

3E4p10 細胞内におけるマンガンと亜鉛代謝の相関性に関する解析

15:37 ○西藤 有希奈¹, 安井 裕之², 神戸 大朋¹ (京大院生命, ²京都薬科大)

p11～p12 発表者の接続時間 15:48～15:56

3E4p11 MMP2 制御は酸化ストレスによる老化様皮膚病態を改善する

15:56 ○濱谷 修一, 上條 真弘, 渡辺 憲史, 清水 孝彦 (国立長寿研 ジェロサイエンス)

3E4p12 Comparative study of the enzymatic properties of CMP-sialic acid synthetases in deuterostome

16:07 ○Di Wu^{1,2,3}, Misato Bessho^{1,2}, Masaya Hane^{1,2,3}, Chihiro Sato^{1,2,3}, ken kitajima^{1,2,3} (Biosci. Biotech. Center, Nagoya Univ., ²Grad. Sch. Bioagr. Sci., Nagoya Univ., ³iG-CORE, Nagoya Univ.)

E5 会場 午前の部(9:30～12:20)

微生物—物質生産-微生物変換, 酵素反応, 機能性高分子—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

3E5a01 *Aspergillus sydowii* が生産するタンパク質分解酵素群の異種発現と特性解析

9:30 ○織部 恭宏¹, 西村 龍星¹, 木村 行宏¹, 田中 伸一², 土居 幹治², 竹中 慎治¹ (神戸大院農, ²マルトモ株)

3E5a02 鰹節カビが生産する脂質分解酵素群の異種発現と特性解析

9:41 ○竹中 慎治¹, 梅木 智哉¹, 豊嶋 瞭太¹, 木村 行宏¹, 田中 伸一², 土居 幹治² (神戸大院農, ²マルトモ株)

3E5a03 種々の *Paenibacillus* 属由来 *nif* クラスターを導入した大腸菌でのニトロゲナーゼ活性

9:52 ○竹内 琴音¹, 早川 紗和子¹, 本田 裕樹¹, 駒 大輔², 藤井 浩¹ (奈良女大理, ²大阪技術研)

3E5a04 大腸菌における *Azotobacter vinelandii* 由来ニトロゲナーゼの活性改善

10:03 ○伊藤 有亮^{1,2}, 吉留 大輔¹, 日高 真誠¹, 荒木 康子², 伊藤 考太郎², 古園 さおり^{1,3}, 西山 真^{1,3} (東大院・農生科, ²キッコーマン株式会社, ³東大・微生物連携機構)

3E5a05 界面胞子変換システムの位置選択的微生物酸化への応用

10:14 ○小田 忍, 杉本 恭子 (金沢工大・ゲノム研)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

3E5a06 *Lysobacter* sp. MK9-1 由来キチナーゼ Chi19MK の構造解析

10:33 ○横道 萌, 菅野 春樹, 真壁 幸樹, 今野 博行, 矢野 成和 (山形大学理工)

3E5a07 糸状菌 *Trichoderma asperellum* 由来キチナーゼに関する研究

10:44 ○新谷 昌紘, 豊田 陵介, 金政 真 (中部大院・応生)

3E5a08 計算科学を用いた真菌由来テルペノン環化酵素の反応機構解析

10:55 ○鳥野 祐作¹, 佐藤 玄², 白石 太郎¹, 葛山 智久¹ (東大院農, ²山梨大院総合)

3E5a09 ゲノム編集因子 ST8 を用いた産業用酵母におけるゲノム編集技術の開発

11:06 ○沢津橋 俊¹, 中島 俊雄², 藤田-竹下 結衣², 穂積 俊矢² (徳島大先端酵素研, ²セツロテック)

3E5a10 セルロース結合ドメインを多連結に付加した *Candida antarctica* lipase B の構築とセルロースへの固定化

11:17 ○久恒 光輝, 真壁 幸樹, 矢野 成和 (山形大院理工)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

3E5a11 Methane oxidation in non-methanotrophs

11:36 ○Oktay Gafarov, Kohei Kida, Koji Iwasaki, Hiroya Yurimoto, Yasuyoshi Sakai (Grad. Sch. of Agri, Kyoto Univ.)

3E5a12 二段階発酵を用いたウイスキー廃液からのバイオ水素生産

11:47 ○日比野 政裕¹, 宮本 工聖², 清水 姿捺² (室蘭工大院環境創生, ²室蘭工大システム理化)

3E5a13 炭素源が海洋細菌 *Cobetia* sp. IU180733JP01 (5-11-6-3) の生育およびポリ(3-ヒドロキシブタン酸)合成に及ぼす影響

11:58 ○小森 美花¹, 梅林 勇気², 河合 盛進², 鈴木 宏昭², 山田 美和¹ (岩手大・農, ²トヨタ紡織・新領域開拓部)

3E5a14 洗濯後衣類から単離したバクテリアによる不快臭発生調査と殺菌処理による影響

12:09 ○奥田 裕暁^{1,2}, 松村 吉信^{1,3}, 池水 麦平² (関西大・生命・生物工, ²パナソニック株式会社, ³関西大 ORDIST)

E5 会場 午後の部(13:50～15:48)

微生物—物質生産-微生物変換, 酵素反応, 機能性高分子—

p01～p05 発表者の接続時間 13:42～13:50

3E5p01 Screening of Microbial Serine Palmitoyltransferase (SPT) with Coupled ATP Regeneration

13:50 ○Amelia Atmowidjojo¹, Michiki Takeuchi², Jun Ogawa¹ (Division of Applied Life Sciences, Graduate School of Agriculture, Kyoto University, ²Industrial Microbiology, Graduate School of Agriculture, Kyoto University)

3E5p02 *Gordonibacter urolithinfaciens* DSM 27213^T におけるウロリチン4位脱水酸化を触媒する新規誘導酵素系の解析

14:01 ○片所 杏野¹, 渡邊 寛子¹, 中島 賢則², 山本 浩明², 小川 順¹, 岸野 重信¹ (京大院農, ²ダイセル・事業創出センター)

3E5p03 新規耐熱性酵素の導入による、水素細菌 *Hydrogenophilus thermoluteolus* TH-1 を用いた 3-hydroxybutyrate の生産

14:12 ○木村 蒼一郎¹, 亀谷 将史^{2,3}, 新井 博之^{2,3}, 石井 正治^{2,3} (東大農・生命化学工学, ²東大院・農生科・応生工, ³東大微生物連携機構)

3E5p04 核酸医薬品原料である dNTP の組換え酵素を用いた One-pot 合成

14:23 ○土肥 優希¹, 美澄 幸恵², 寺内 裕貴³, 星田 尚司^{1,2,3}, 赤田 優治^{1,2,3} (山口大院創成, ²山口大工, ³山口大中高温)

3E5p05 *Bacillus subtilis* 由来 P450 酸化酵素 CYP107J1 のアルキル安息香酸に対する活性の解析

14:34 ○加藤 秀樹¹, Stephen G. Bell², 古屋 俊樹¹ (東京理科大院・創域理工, ²アデレード大)

p06～p10 発表者の接続時間 14:45～14:53

3E5p06 リパーゼを用いたゼルンボール誘導体の立体選択的トランスクステル化

14:53 ○高橋 亮大¹, 柏崎 玄伍^{1,2}, 寺田 百合香², 渡部 朋子², 平本 梨花子², 河合 靖³, 北山 隆^{1,2} (近畿大農, ²近畿大院農, ³長浜バイオ)

3E5p07 微生物由来アミノ酸水酸化酵素に見いだした希少 alliin
異性体の合成活性

15:04 ○水谷 拓¹, 勘澤 良介¹, 原 良太郎², 上田 誠^{2,3}, 小川 順¹
(¹京大院農・応用生命, ²京大院農・産業微生物, ³小山高専・物質工学)

3E5p08 脂肪酸アミド合成に有用な微生物酵素の探索および基質特異性の解析

15:15 ○深尾 達夫¹, ○横尾 航平¹, 森 雅輝人¹, 原 良太郎²,
上田 誠^{2,3}, 小川 順¹ (¹京大院農・応用生命, ²京大院農・産業微生物, ³小山高専・物質工学)

3E5p09 大腸菌によるFab抗体の生産と自動リフォールディング技術の開発

15:26 ○HOANG ANH TUNG, 加藤 晃代, 中野 秀雄 (名大院生命農)

3E5p10 出芽酵母における天然ゴム生合成関連タンパク質の発現と脂肪滴形態への影響

15:37 ○横田 早希¹, 後藤 猛² (¹秋田大院理工, ²秋田大)

E6 会場 午前の部(9:30~12:09)

微生物—細胞-複合微生物, 共生微生物, 難培養性微生物—

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

3E6a01 *Sphingobium-Cupriavidus* 属細菌株による有機塩素系殺虫剤分解細菌コミュニティ形成

9:30 ○XIONG ZHIYU, 平野 翔子, 岸田 なつみ, 加藤 広海, 岸田 康平, 大坪 嘉行, 永田 裕二 (東北大院・生命科学)

3E6a02 *Cupriavidus* 属細菌株のコロニー周辺部が大きく広がる突然変異株の取得と解析

9:41 ○平野 翔子, Xiong Zhiyu, 加藤 広海, 岸田 康平, 大坪 嘉行, 永田 裕二 (東北大院・生命科学)

3E6a03 メタン発酵システムから分離された *Segatella* 属近縁菌種の特異的な炭素源要求性と *Dialister hominis* のコハク酸を介した共生関係

9:52 ○牧浦 知輝, 松谷 峰之介, 曾 厚嘉, 藤本 尚志, 大西 章博 (東京農大)

3E6a05 ヒト腸内細菌叢の大規模継代培養実験による微生物相互作用の解析

10:14 ○前田 智也^{1,2}, 吹谷 智², 吉澤 力^{2,3} (¹北大院農, ²理研, ³東大院理)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

3E6a06 液液共培養法による腸内細菌の分離と同定

10:33 ○久富 敦, 大熊 盛也, 坂本 光央 (理研 BRC-JCM)

3E6a07 ピレン分解菌の分解能を変化させる環境細菌の効率的な取得とその同定

10:44 ○鈴木 仁子¹, ベハラノ フェリペ¹, 水口 千穂^{1,2}, 岡田 憲典¹, ピンヤコン オルタイ³, 野尻 秀昭^{1,2} (¹東大院・農生科・AgTECH, ²東大・微生物連携機構, ³Chulalongkorn Univ.)

3E6a08 ニホンミツバチの菌叢解析と有用乳酸菌の単離

10:55 ○櫻間 晴子¹, 田中 舞¹, 坂本 文夫^{1,2}, 萩下 大郎¹ (¹京都先端大バイオ環境, ²京都ニホンミツバチ研究所)

3E6a09 米ぬか摂取マウス腸内細菌叢における大腸炎抑制性芽胞形成細菌の単離

11:06 ○沖 梨咲子¹, 田中 一己^{2,3,4}, 野村 暢彦⁵, 尾花 望^{6,7}, 福田 真嗣^{3,4,6,8,9} (¹筑波大・生物資源, ²慶大・院・政策・メディア, ³神奈川産技総研, ⁴順天大院・医学研究科・細菌叢再生講座, ⁵筑波大・生命環境系, ⁶筑波大・医学医療系・トランスポーダー医学研究センター, ⁷筑波大・微生物サステイナビリティ研究センター, ⁸慶大・先端生命研, ⁹メタジェン)

3E6a10 Evaluation of optimal cultivation conditions for the isolation of nitrifying bacteria

11:17 ○Htun Inzali¹, Wakako Okada¹, Akinori Ando^{1,2}, Jun Ogawa^{1,2} (¹Div. Appl. Life Sci., Grad. Sch. Agric., Kyoto Univ., ²Res. Unit Physiol. Chem. Kyoto Univ)

a11~a13 発表者の接続時間 11:28~11:36

3E6a11 活性汚泥微生物コミュニティにおける微生物間捕食とその促進

11:36 ○佐藤 由也, 稲葉 知大, 羽部 浩 (産総研)

3E6a12 イネ・オオムギニワコにおける根圈微生物叢の機能とネットワーク

11:47 ○谷 明生¹, 最相 大輔¹, 山地 直樹¹, 山下 純¹, 小橋 理絵子¹, 山本 敏央¹, 門田 有希², 中川 智行³, 持田 恵一⁴ (¹岡大植物研, ²岡大環境生命, ³岐阜大応生科, ⁴長崎大情報データ科学)

3E6a13 *Bradyrhizobium* sp. RB-1 株の感染によるミヤコグサの根粒形成には III 型エフェクターが関与する

11:58 ○木村 円香¹, 川原田 泰之², 斎藤 宏昌¹ (¹東京農大院生命, ²岩手大院農)

E6 会場 午後の部(13:50~16:40)

微生物—細胞-栄養, 生育, 増殖, 培養—

p01~p05 発表者の接続時間 13:42~13:50

3E6p01 木材腐朽菌の細胞壁構造及びその合成機構を目指したβグルカン合成酵素の機能解析

13:50 ○河内 譲之¹, 大塚 唯¹, SCHIPHOF Kim¹, 名和 義順¹, 辻 健也¹, 吉見 啓¹², 中沢 威人¹, 田中 千尋¹², 本田 与一¹ (¹京大院農, ²京大院地環学)

3E6p02 葉面細菌 *Methylobacterium* のバクテリオクロロフィル生産と遺伝子発現

14:01 ○井口 博之¹, 宮部 業¹, 吉田 朱里¹, 谷 明生² (¹京都先端大・バイオ環境, ²岡山大・植物研)

3E6p03 新規 CO 資化性微生物の探索—好熱性水素細菌 *Hydrogenobacter thermophilus* の CO 耐性および資化性の検証

14:12 ○千葉 洋子¹², 常松 奈緒¹, 亀谷 将史³⁴, 若島 朋幸¹⁵, 島村 繁⁶, 福山 宥斗⁷, 布浦 拓郎⁷ (¹理研環境資源科学, ²筑波大生命環境, ³東大院農, ⁴東大微生物連携機構, ⁵筑波大院生物, ⁶JAMSTEC超先鋭, ⁷JAMSTEC生命理工)

3E6p04 Na^+ が支える藍藻の光合成電子伝達系

14:23 ○辻井 雅¹, 小林 歩夢¹, 狩野 文香¹, 解良 康太¹, 児島 征司², 彦坂 幸毅², 小口 理一³, 園池 公毅⁴, 浅井 智広⁵, 稲垣 知実⁶, 石丸 泰寛¹, 魚住 信之¹ (¹東北大院工, ²東北大院生命, ³公大院理, ⁴早大教, ⁵中央大理工, ⁶立命大院生命)

3E6p05 好酸性緑藻による粗放開放型油脂生産系確立の可能性

14:34 ○岡澤 空汰¹, 邱 泰永², 小西 正朗² (¹北見工大院工, ²北見工大)

p06~p10 発表者の接続時間 14:45~14:53

3E6p06 円石藻 *Chrysotila haptonemofera* NIES-1813 の低凝集性変異株の解析

14:53 ○加藤 明宏, 武田 誠也, 豊田 直之 (セイコーエブソン株式会社)

3E6p07 重水素耐性大腸菌変異株の分離と変異の解析

15:04 ○正木 春彦¹, 松谷 峰之介², 石井 大輔¹, 矢嶋 俊介³ (¹東農大生命, ²東農大ゲノム解析セ, ³東農大生命, 東農大ゲノム解析セ)

3E6p08 *oxyR* 欠損した大腸菌細胞のゲル化剤によるコロニー形成の影響

15:15 ○坂元 仁^{1,2}, 朝田 良子^{1,3}, 古田 雅一^{1,3}, 土戸 哲明¹ (¹大阪公大・微制研セ, ²関西大・化生工, ³大阪公大院工)

3E6p09 フッ素系不活性溶媒による大腸菌の鉄取込み亢進と増殖促進

15:26 ○細木 亮輔¹, 井澤 克秋¹, 山重 貴久², 川田 晃士¹, 日高 将文¹, 尾間 由佳子¹, 菊池 正二郎³, 瀬戸山 寛之⁴, 廣沢 一郎⁴, 原田 昌彦¹ (東北大院農, ²京大院農, ³兵庫医科大・先端医, ⁴九州シンクロトロン光研究センター)

3E6p10 緑膿菌の硝酸イオン／亜硝酸イオントransポーター NarK1 と NarK2 の機能解析

15:37 ○岡本 洋彰¹, 亀谷 将史^{1,2}, 石井 正治^{1,2}, 新井 博之^{1,2} (東北大院農, ²東大微生物連携機構)

[p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56]

3E6p11 亜塩素酸不均化酵素様タンパクが *Pseudomonas* sp. SCT 株のヨウ素酸呼吸に与える影響

15:56 ○久下 陽菜¹, 天知 誠吾² (千葉大園芸, ²千葉大院園芸)

3E6p12 枯草菌芽胞に対する過酢酸の殺滅作用の相対湿度依存性とスパーコートの防御機能

16:07 ○湯川 瑞子¹, Khanh VO², 茂田 誠¹, 大西 陽子¹, 佐野 義哉¹, 池田 卓司¹, 朝田 良子^{2,3}, 坂元 仁^{2,4}, 古田 雅一^{2,3}, 土戸 哲明² (ニッタ(株), ²大阪公大・微制研, ³大阪公大・院・工, ⁴関西大・化生工)

3E6p13 *Paraprevotella xylaniphila* におけるフコイダン資化能の検討

16:18 ○野口 蒼來¹, 遠藤 万里², 小島 楽叶², 林 秀謙^{1,2}, 星 淡子^{1,2} (前工大院工, ²前工大工)

3E6p14 腸内細菌 *Paraprevotella clara* におけるフコイダン資化能の検討

16:29 ○小島 楽叶¹, 野口 蒼來², 林 秀謙^{1,2}, 星 淡子^{1,2} (前工大工, ²前工大院工)

E7 会場 午前の部(9:30～11:58)

食品—食品化学-色素, 香料一

[a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30]

3E7a01 ムラサキイモ由来アントシアニンとポリフェノールの分子間コピグメンテーションを活用する白髪染め

9:30 ○松原 孝典, 長瀬 沙苗, 高橋 凉, 日野 真理 (産業技術短大)

3E7a02 紫カリフラワーに含まれるアントシアニンとその青色錯体形成

9:41 ○馬渕 大貴, 秋山 唯, 本田 千尋, 熊澤 茂則 (静岡県立大食品栄養)

3E7a03 国内外の黒砂糖の物理化学特性, 呈味成分, ミネラル及びポリコサノールの分析

9:52 ○天野 遼, アシキン ヨナタン, 高良 健作, 和田 浩二 (琉大農)

3E7a04 緑茶の光退色に及ぼす乳化剤の影響

10:03 ○安田 みどり¹, 高祖 修一¹, 田端 正明² (西九州大健栄, ²佐賀大理工)

3E7a05 ビール中の塩基性色素の単離と性状

10:14 ○東 優汰¹, 野田 韶子², 辻井 良政³, 村田 容常³ (東京農大院・農化, ²お茶大・食物, ³東京農大応生・農化)

[a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33]

3E7a06 TRPA1/TRPV1 アゴニストによる炭酸感の増強

10:33 ○柏木 貴裕, 赤井 千恵, 細川 陽子, 寺田 育生, 山崎 雄一朗, 佐野 昇, 星野 邦秀 (高砂香料工業株式会社 研究開発本部)

3E7a07 珍珠による脂っこさのリセッタ作用の科学的検証

10:44 ○井関 菜月¹, 古居 優季¹, 浅田 智惠², 藤田 綾香², 坂本 裕香², 赤川 貢³, 石井 剛志^{1,2} (神院大院栄養, ²神院大栄養, ³徳島大院医歯薬)

3E7a08 小麦生地調製における揮発性成分生成と連動した水溶性成分の変化

10:55 ○成澤 朋之¹, 仲島 日出男¹, 朝倉 富子² (埼玉産技セ北部, ²東大院農)

3E7a09 山形県産そばの香気成分の分析

11:06 ○網干 貴子¹, 橋口 あかり², 太田 智弥¹, 遠藤 直輝² (山形大農, ²山形県農総研セ)

3E7a10 納豆製造におけるピラジン類生成と納豆菌およびスレオニンとの関連

11:17 ○野田 韶子¹, 五十嵐 舞乃¹, 筒浦 さとみ², 村田 容常³ (お茶大院ライフ, ²新潟大農, ³東農大農化)

[a11～a12 発表者の接続時間 11:28～11:36]

3E7a11 咀嚼模擬装置を用いた時のフレーバーリリースの検討

11:36 ○堀江 美由美, 日下部 裕子 (農研機構)

3E7a12 AI 解析を基盤としたフレーバーホイール自動作成法の開発

11:47 ○辻 凌希^{1,2}, 伊藤 豊実^{1,2}, 寺田 祐子¹, 伊藤 圭祐^{1,2} (静岡県大食品栄養, ²合同会社 DigSense)

E7 会場 午後の部(13:50～16:40)

食品—食品化学-その他一

[p01～p05 発表者の接続時間 13:42～13:50]

3E7p01 薄切およびマトリックス不要の MS イメージングを可能にする転写プレート

13:50 ○池田 貴将, 小谷 政弘 (浜松ホトニクス)

3E7p02 転写プレートを用いたヨモギ葉含有成分の MS イメージング

14:01 ○十一 浩典¹, 道下 理加¹, 池田 貴将², 小谷 政弘², 山本 卓志³, 田中 福代¹ (農研機構 分析研, ²浜松ホトニクス, ³島津製作所)

3E7p03 転写プレートを用いたミニトマトの機能性成分の MS イメージング

14:12 ○田中 福代¹, 道下 理加¹, 池田 貴将², 小谷 政弘², 山本 卓志³, 十一 浩典¹ (農研機構分析研, ²浜松ホトニクス, ³島津製作所)

3E7p04 LC-MS/MS 分析によるアシタバの葉と茎の代謝物プロファイル

14:23 ○田中 啓介^{1,2}, 吉瀬(新井) 祐子², 志波 優^{3,2} (東情大情報, ²東農大ゲノムセ, ³東農大微生物)

3E7p05 サトウキビ交配後代集団における搾汁液中成分プロファイル

14:34 ○石川 千秋¹, 大久保 めぐみ², 伊達 康博³, 梅田 周², 檜本 祐助², 小野 裕嗣³ (農研機構・食品研, ²農研機構・九沖研, ³農研機構・分析研)

[p06～p10 発表者の接続時間 14:45～14:53]

3E7p06 NMR による清酒の安定同位体比分析

14:53 ○水谷 廉, 水内 らん, 奥 亜祐美, 宮下 昌樹, 小椋 賢治 (石川県大生物資源環境)

3E7p07 ピロカテコールのダンシル誘導体化による微量分析法の開発

15:04 ○横溝 永矢, 中谷 祥恵, 古旗 賢二 (城西大院・葉・薬科)

3E7p08 キシロース含有高配糖化ステビオールの探索と構造推定

15:15 ○渡辺 健宏¹, 藤川 紘樹¹, 浦井 聰一郎², 岩城 一考³, 平井 正良⁴, 宮川 克郎⁴, 浦谷 宏¹, 山垣 亮¹, 長尾 浩二³, 横尾 芳明³, 島本 啓子¹ (公益財団法人サントリー生命科学財団, ²サントリー株式会社, ³サントリー食品インターナショナル株式会社, ⁴サントリーローバルイノベーションセンター株式会社)

3E7p09 キシロース含有高配糖化ステビオールの合成と甘味評価

15:26 ○藤川 紘樹¹, 渡辺 健宏¹, 浦井 聰一郎², 岩城 一考³,
平井 正良⁴, 宮川 克郎⁴, 浦谷 宏¹, 山垣 亮¹, 長尾 浩二³,
横尾 芳明³, 島本 啓子¹ (¹公益財団法人サントリー生命科学財團,
²サントリー株式会社, ³サントリー食品インターナショナル
株式会社, ⁴サントリーグローバルイノベーションセンター株式
会社)

3E7p10 藻類からのフコキサンチンの効率的抽出法の検討

15:37 ○鵜沼 心吾, 広川 安孝, 細谷 孝博 (東洋大院食環境)

p11～p14 発表者の接続時間 15:48～15:56

3E7p11 静岡県内の6茶工場から回収した製茶副産物の呈味・機能性成分の特性評価

15:56 ○豊泉 友康¹, 藤井 拓¹, 三宅 健司¹, 九島 祥弘²,
小林 利彰¹, 大場 聖司¹, 小林 栄人¹ (¹静岡県茶研, ²ChaOI
フォーラム事務局)

3E7p12 乳酸菌を用いた新規微生物発酵茶の解析

16:07 ○志村 大輝¹, 山澤 優子², 柴田 貴子³, 高橋 淳³,
椎葉 究¹, 安部 智子¹ (¹東京電機大院・理工, ²東京電機大・理
工, ³埼玉県茶業研究所)

3E7p13 UF法による焙煎大麦食品(麦茶)のキサンチンオキシダーゼ阻害物質の探索

16:18 ○谷口 明日香, 大久保 花梨, 増田 晃子, 亀田 和美,
増田 俊哉 (大阪公立大院生活科学)

3E7p14 大麦穀粒へのペーリング(精麦)処理が麦芽やビールの品質に及ぼす影響

16:29 ○木原 誠, 時園 佳朗, 丸海老 純也, 佐藤 千鶴,
七森 理仁, 保木 健宏 (サッポロビール)

一般講演

3月27日

KANEKA
カガクでネガイをカナエル会社

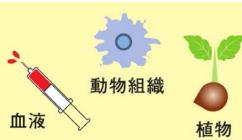
安価に短時間でDNA抽出

10分で完了

研究用試薬

カネカ簡易DNA抽出キット ver.2

■ プロトコル



対象試料

＜動物＞
血液、大腸菌、糞便、
マウスステールなど

＜植物＞
種子、葉、果肉など

＜その他＞
培養細胞、酵母、
その他グラム陽性/陰性菌、
線虫、環境DNAなど

Solution Aを
添加

加熱処理
(98°C、8分間)

Solution Bを
添加

PCRを阻害する夾雜物を
マスキング



■ 関連製品

カネカ簡易RNA抽出キット (RT-PCR用)

操作時間
約30分

サンプルにSolution Aを添加 → 加熱処理 → DNase I → 加熱処理

製造販売元：株式会社カネカ (TEL : 079 - 445 - 2406)

カネカDNA抽出キット



サンプル希望 はこちら >>>



講演番号
開始時間

演題

発表者氏名(所属)

B2会場 午前の部(9:30～12:20)

食品—食品機能・栄養・脂質代謝、糖質代謝—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

4B2a01 ラクトスタチン(IIAEK)による腸アルカリ性ホスファターゼを介したコレステロール吸収調節系の分子機構解析

9:30 ○小田 夏暉¹, 竹内 朝陽¹, 海老原 章郎³, 本多 裕之², 長岡 利¹ (¹岐阜大応生食品分子機能学, ²名古屋大工生命分子, ³岐阜大応生生体分子機能学)

4B2a02 脂質代謝改善ペプチド IIKEK が誘導するコレステロール吸収抑制には、腸アルカリ性ホスファターゼとの相互作用が必須である

9:41 ○竹内 朝陽¹, 小田 夏暉¹, 久松 賢太郎¹, 奥村 菜月¹, 杉光 祐紀¹, 葉 宇陽¹, 高田 敬梧¹, 森 峻輔¹, 會田 拓巳¹, 柳瀬 笑子², 上野 義仁², 長岡 利¹ (¹岐阜大応生食品分子機能学, ²岐阜大応生生物有機化学)

4B2a03 肥満、高コレステロール血症、非アルコール性脂肪肝を改善する新規プロタミン由来トリペプチド RPR(Arg-Pro-Arg)の発見

9:52 ○松葉 翔也¹, 森 峻輔¹, MIJITI Maihemuthi¹, 中南 健太郎^{2,3}, 藤田 美華^{2,3}, 須藤 慶太^{2,3}, 長岡 利¹ (¹岐阜大応生食品分子機能学, ²フォーディズ(株), ³東京農工大 農学)

4B2a04 新規脂質代謝改善ジペプチド Phe-Pro(FP)の作用機構解析

10:03 ○西野 七海¹, 山本 真子¹, 小田 夏暉¹, 爰 蘭花¹, 坂野 新太¹, 海老原 章郎², 長岡 利¹ (¹岐阜大応生食品分子機能学, ²岐阜大応生生体分子機能学)

4B2a05 麦茶に含まれるPPAR γ 活性化物質の探索

10:14 ○松浦 信康¹, 長島 陽生², 張 智偉³, 五十嵐 康弘³, 社本 基宏⁴, 松浦 浩一⁴ (¹岡山理大生命科学, ²岡山理大大理, ³富山県大, ⁴福玉米粒麦(株))

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

4B2a06 SREBP活性抑制能を指標とした抗肥満作用を有するブロッコリー品種の選別

10:33 ○増尾 翼¹, 二瓶 遥¹, 藤巻 貴宏², 島田 康彦³, 鈴木 司², 山本 祐司^{1,2}, 井上 順^{1,2} (¹東農大院・応生科, ²東農大・応生科・農化, ³株式会社サカタのタネ)

4B2a07 SREBP活性を抑制する化合物のブロッコリー抽出物からの探索

10:44 ○兼行 紗矢¹, 藤巻 貴宏², 鈴木 司², 山本 祐司^{1,2}, 井上 順^{1,2} (¹東農大院, ²東農大)

4B2a08 脂質代謝を制御する転写因子 SREBPの活性を低下させる化合物の探索

10:55 ○寺田 晴哉¹, 小高 愛未¹, 松永 優輝², 鈴木 司¹, 山本 祐司^{1,2}, 井上 順^{1,2} (¹東農大・応生科・農化, ²東農大院・応生科・農化)

4B2a09 Role of Gnetin C in Regulating Nonalcoholic Fatty Liver Disease Pathology in Mice

11:06 ○Tohfa Kabir¹, Haruki Yoshiha¹, Afifah Zahra Agista¹, Halima Sultana¹, Yusuke Ohsaki¹, Chiu-Li Yeh^{1,2}, Suh-Ching Yang^{1,2}, Michio Komai¹, Hitoshi Shirakawa¹ (¹Lab. Nutr., Grad. Sch. Agri. Sci., Tohoku Univ., ²Sch. Nutri. Health Sci., Taipei Med. Univ.)

4B2a10 アデノシン皮下投与がインスリンの分泌と作用に及ぼす影響

11:17 ○三宅 紗女, 小西 良子, 服部 一夫, 只石 幹 (東農大応生)

4B2a11 かまぼこ製造時の廃棄物「水さらし液」は血中GLP-1およびインスリン量を制御することにより血糖値上昇を抑制する
11:36 ○八田 日和¹, 田中 照佳^{1,2}, 池田 くる美¹, 藤井 有希¹, 福田 隆志^{1,2,3}, 安藤 正史^{1,2} (¹近大農・水産, ²近大院農・水産, ³アグリ技研)

4B2a12 脂肪細胞におけるオレアミドの機能性解明

11:47 ○日向 宏成¹, 檜石 香菜¹, 中島 史恵¹, 内田 浩², 柴田 貴広¹ (¹名大院生命農, ²東大院農)

4B2a13 カツオエラスチンペプチド摂取が日本人型DOHaDモデルのインスリン抵抗性発症に及ぼす影響

11:58 ○田口 達博¹, 増田 誠司^{1,2,3}, 竹森 久美子^{1,2} (¹近畿大学院農学研究科応用生命化学専攻, ²近畿大学農学部食品栄養学科, ³近畿大学アンチエイジングセンター)

4B2a14 トルコ伝統食材「ブルグル」の血糖値変動に及ぼす影響

12:09 ○伊井 桃子¹, 東口 夢¹, 廣田 安美¹, 鈴木 靖志^{1,2} (¹武庫川女子大学食物栄養科学部食創造科学科, ²武庫川女子大学バイオサイエンス研究所)

B3会場 午前の部(9:30～12:20)

動物—細胞機能・シグナル伝達、細胞応答、細胞分化、細胞死、メタボローム/遺伝子-発現制御、ノンコーディングRNA、修飾、トランスクリプトーム、エビジェネティクス、ゲノミクス/その他一

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

4B3a01 5-Hydroxy-7-methoxyflavoneによるGPR97を介した筋肥大促進機構の解明

9:30 ○木村 彩乃¹, 北風 智也¹, 原田 直樹¹, 山地 亮一^{1,2} (¹大阪公大院農, ²大阪公大院生資)

4B3a02 骨格筋形成におけるレチノイン酸受容体 γ の機能の解析

9:41 ○岡野 結衣¹, 大場 智貴², 北風 智也^{1,2}, 原田 直樹^{1,2}, 山地 亮一^{1,2,3} (¹大阪公大院・農, ²大阪府大・生命環境, ³大阪公大・生資センター)

4B3a03 分泌型セリンプロテアーゼ HtrA3の骨格筋における機能について

9:52 ○北風 智也¹, 原田 直樹¹, 山地 亮一^{1,2} (¹阪公大院・農, ²阪公大・生資センター)

4B3a04 靈長類臍管 tuft細胞 in vitro 分化誘導および機能評価系の開発

10:03 ○米谷 達哉¹, 坂口 恒介¹, 今井 啓雄², 岩槻 健¹ (¹東農大・応生, ²京大・靈長類研)

4B3a05 脾臍 β 細胞においてインスリンは caspase-12の発現抑制を介して小胞体ストレス誘導性アポトーシスを抑制する

10:14 ○村田 菜々子¹, 西村 佳那², 原田 直樹^{1,2}, 北風 智也^{1,2}, 乾 博^{1,2,3}, 山地 亮一^{1,2,4} (¹阪公大院農, ²阪府大院生環, ³大手前健栄, ⁴阪公大生資開発センター)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

4B3a06 鼓索神経と舌咽神経支配のNaCl応答細胞の特性

10:33 ○井上 心, 林 由佳子 (京大院農)

4B3a07 抗酸化応答マスター転写因子 NRF2の欠損が及ぼすマスト細胞機能への影響

10:44 ○野口 桜花¹, 長田 和樹¹, 杉原 彩夏¹, 芦刈 翼¹, 荒海 咲苗¹, 中野 信浩², 原 むつ子², 西山 千春¹ (¹東理大院先進工生命システム, ²順大院アトピー疾患研究センター)

4B3a08 I型アレルギー反応を標的とした新規免疫抑制化合物の開発

10:55 ○関 健人¹, 長田 和樹¹, 沼田 向陽¹, 坂田 文弥¹, 平野 弘之², 長田 裕之^{2,3}, 吉田 優¹, 西山 千春¹ (¹東理大院先進工生命システム, ²理研環境資源科学研究所, ³静県大葉)

- 4B3a09 NK活性制御因子NKG7の発現メカニズムの解析
11:06 ○柾明弘, 阿蘿晴香, 新妻史絵, 遠藤勝紀, 田中沙智(信州大院)
4B3a10 細胞内Ca²⁺量によるmTORC1制御メカニズムの解明
11:17 ○雨宮優奈, 池田奈央, 牧正敏, 柴田秀樹, 高原照直(名大院・生命農)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

- 4B3a11 好塩基球特異的プロテアーゼの遺伝子発現を制御する転写因子とエピジェネティック修飾
11:36 ○戸島達太郎, 長田和樹, 新井貴大, 伊藤直人, 笠倉和巳, 西山千春(東理大院先進工)
4B3a12 脳の虚血再灌流障害におけるミトコンドリアカルパイン-5の役割
11:47 ○忠海優作, 伊藤銀河, 尾崎拓(岩大院・理工)
4B3a13 リコテトラオース処理における正常ヒト皮膚線維芽細胞の遺伝子発現の解析
11:58 ○窪田愛華¹, 西光由真¹, 赤井美帆¹, 神保有亮¹, 角谷晃司^{1,2}(¹近畿大・薬学総合研, ²近畿大・アンチエイジングセ, ³クレハ中央研)
4B3a14 ダイズシストセンチュウの化学走性を制御するGタンパク質
12:09 ○佐伯靖将¹, 細井昂人², 内山博允², 佐々木康幸¹, 矢嶋俊介¹, 伊藤晋作¹(¹東農大バイオ, ²東農大GRC)

B4会場 午前の部(9:30～12:20)

微生物—遺伝子・構造、機能/代謝-代謝経路、メタボローム—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

- 4B4a01 糸状菌*Aspergillus nidulans*の生育におけるスーパーオキシドジスムターゼの機能的重要性
9:30 ○金丸京子¹, 前田祐未子², 木村真², 小林哲夫²(¹中部大応用生物, ²名大院生命農)
4B4a02 アカパンカビにおける分泌型ホスホリバーゼA₂の生理機能の解析
9:41 ○中野美羽¹, 有岡学^{1,2}(¹東大院農・応生工, ²東大・微生物連携機構)
4B4a03 麦菌*Aspergillus oryzae*のGPCR-Gα間相互作用の網羅的解析
9:52 ○坂元勇月¹, 有岡学^{1,2}(¹東大院農・応生工, ²東大・微生物連携機構)
4B4a04 冬虫夏草サナギタケのveA遺伝子破壊株の作出とその機能解析
10:03 ○張吉麗¹, 小野晶子^{1,2}, 森井風詩³, 松田里菜¹, 佐藤匠¹, 三ツ国佳祐¹, 崔宰熏^{3,4,5}, 河岸洋和^{3,5}, 道羅英夫^{4,5}, 鈴木智大^{1,5}(¹宇都宮大・バイオ, ²森林総合研究所, ³静大・農, ⁴静大・グリーン研, ⁵静大・キノコ科研)
4B4a05 出芽酵母*Ogataea naganishii*の一次ホモタリズムによる有性生殖の制御
10:14 ○前川裕美(九大院農)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

- 4B4a06 エタノールはadhl依存的に資化されアフラトキシン産生を増加させてしまう
10:33 ○古川智宏¹, 久城真代¹, 中川博之², 榎元廣文³, 作田庄平³(¹農研機構食品研, ²農研機構分析研, ³帝京大理工)
4B4a07 希少糖5-ケト-D-フルクトースの油脂酵母*Lipomyces starkeyi*における代謝経路の解析
10:44 ○田中吾朗¹, 野寄裕暉¹, 佐藤里佳子², 高久洋曉², 竹下圭³, 竹川薰¹(¹九大院生資環, ²新潟薬科大応生科, ³伏見製薬所)

4B4a08 分裂酵母のミトコンドリア局在型NAD(H)kinase

Pos5はCoQ合成に関与する

- 10:55 ○西原昇瑚¹, 西田郁久², 柳井良太³, 松尾安浩^{1,3,4}, 戒能智宏^{1,3,4}, 川向誠^{1,3,4}(¹島根大院・自然科学, ²新潟大・日本酒学, ³島根大・生物資源, ⁴島根大・農生命科学系)

4B4a09 独立栄養性細菌*Thermodesulfatator indicus*が有する未知のセリン生合成経路の探索

- 11:06 ○若島朋幸^{1,2}, 福山宥斗³, 島村繁⁴, 常松奈緒¹, 布浦拓郎³, 千葉洋子^{1,5}(¹理研環境資源科学, ²筑波大院生物, ³JAMSTEC生命理工, ⁴JAMSTEC超先鋭, ⁵筑波大生命環境)

4B4a10 プラスミド保持に伴う負荷を回避するための代謝制御様式の解明

- 11:17 ○日高聖覚¹, 水口千穂^{1,2}, 鈴木研志^{1,2}, 岡田憲典¹, 岡橋伸幸³, 野尻秀昭^{1,2}(¹東大院・農生科, ²東大・微生物連携機構, ³阪大院・情報)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

4B4a11 代謝改変によるリグニン由来芳香族分解菌*Sphingobium lignivorans* SYK-6株へのグルコース資化能の付与とメチオニン要求性の解除

- 11:36 ○水出暁登, 加藤諒, 上村直史, 政井英司(長岡技科大・物質生物)

4B4a12 *Rhodococcus qingshengii* N9T-4株のn-アルカン分解機構の解明

- 11:47 ○佐藤佑香¹, 小尾信博¹, 吉田信行¹, 金原和秀¹, 新谷政己^{1,2}(¹静大・院総合科技, ²静大・グリーン研)

4B4a13 *Rhodococcus* sp. LC-2株のルミクロム分解機構の解明

- 11:58 ○塩田大地¹, 土肥裕希¹², 高谷直樹¹²(¹筑波大・生命環境, ²筑波大・MiCS)

4B4a14 ダイズ根由来のイソフラボン分解菌の単離と分解特異性の解析

- 12:09 ○佐藤友昭¹, 松田陽菜子¹, 高松恭子¹, 青木愛賢¹, 安藤晃規², 岸野重信², 小川順², 増田幸子³, 柴田ありさ³, 白須賢³, 島崎智久⁴, 矢崎一史¹, 杉山暁史¹(¹京大生存圈, ²京大院農・応用生命, ³理研CSRS, ⁴北大院理)

B5会場 午前の部(9:30～12:20)

有機化学, 天然物化学—作用機構, 構造と活性/その他—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

4B5a01 共有結合型核内受容体リガンドの抗炎症作用における構造-活性研究

- 9:30 ○宮澤しなの¹, 酒井美紗¹, 大前勇馬², 繁森英幸^{3,4}, 宮前友策³(¹筑大院T-LSI, ²筑大院SIGMA, ³筑大生命環境, ⁴筑大MiCS)

4B5a02 アゾ基を導入した核内受容体リガンドの合成と生物活性評価

- 9:41 ○酒井美紗¹, 繁森英幸^{2,3}, 宮前友策²(¹筑大院T-LSI, ²筑大生命環境, ³筑大MiCS)

4B5a03 褐藻ノコギリモク由来メロテルペノイド化合物のアミロイドポリペプチド凝集阻害活性

- 9:52 ○戸澤悠太¹, 堀内真郁², 篠田清哉², 栗本慎一郎³, 関口光広², 宮前友策⁴, 繁森英幸^{4,5}(¹筑波大理工情報生命, ²石川県大生物資源環境, ³岡山大医薬, ⁴筑波大生命環境, ⁵筑波大MiCS)

4B5a04 細菌ヒスチジンキナーゼを阻害するナフトキノン誘導体の合成と生物活性評価

- 10:03 ○石川彰彦¹, 江口陽子², 五十嵐雅之³, 岡島俊英⁴, 林千草³, 谷昭義⁵, 小早川千衣⁵, 春田純一⁵, 内海龍太郎⁴(¹岡大院教育, ²近大生物理工, ³微化研, ⁴阪大産研, ⁵阪大院薬)

4B5a05 細菌ヒスチジンキナーゼを阻害するナフトキノン誘導体の阻害メカニズム

10:14 ○江口 陽子¹, 櫻井 一正², 玉置 和也¹, 石川 彰彦³, 岡島 俊英⁴, 五十嵐 雅之⁵, 内海 龍太郎⁴ (¹近大生物理工, ²近大先端技術研, ³岡大院教育, ⁴阪大産研, ⁵微化研)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

4B5a06 コレラ菌 Na^+ 輸送性 NADH-キノン酸化還元酵素に対する阻害剤の作用機構の解明

10:33 ○石川 萌¹, 岸川 淳一², 植谷 貴洋¹, 村井 正俊¹, 加藤 貴之³, Barquera Blanca⁴, 三芳 秀人¹ (¹京大院農, ²京都工織大応生, ³阪大蛋白研, ⁴レンセラーワ科大)

4B5a07 アオイラガ幼虫分泌液に含まれる TRPV1 活性化ペプチド Pc-1 の活性化部位の探索

10:44 ○川村 有, 岡咲 洋三, 勝崎 裕隆 (三重大院生資)

4B5a08 ヒロヘリアオイラガ幼虫分泌液「Pli-3」の TRPV1 活性化部位の探索

10:55 ○畠畠 栄馬, 大西 真吾, 岡咲 洋三, 勝崎 裕隆 (三重大院生資)

4B5a09 ヤエヤマサソリ毒液に含まれる K^+ チャネル毒素類似ペプチドの殺虫活性の評価

11:06 ○熊谷 木香, 岸本 拓実, 中川 好秋, 宮下 正弘 (京大院農)

4B5a10 *Androctonus australis* サソリ毒液由来の殺虫性ペプチドである AaIT5 の化学合成

11:17 ○堺 祥一, 中川 好秋, 宮下 正弘 (京大院農)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

4B5a11 MA026 の TJ 開口における Claudin-1 依存性検討

11:36 ○向山 海風, 南雲 陽子, 白井 健郎 (筑波大・生命環境)

4B5a12 プレニルフラボノイド化合物モルシン処理したマウス精子の運動能および体外受精で得た胚の発生に対する影響

11:47 ○荒館 忠, 谷井 一郎 (富山大・教養教育院 生物学)

4B5a13 イネにおける非タンパク質性アミノ酸 β -チロシンのジャポニカ品種特異性についての遺伝学的・化学的研究

11:58 ○阪本 駿太¹, 吉川 貴徳², 吉永 直子¹, 佐藤 豊², 森 直樹¹ (¹京大院農, ²遺伝研ゲノム・進化)

4B5a14 代謝フロー研究を見据えた Dead carbon 化コロロギの作出の試み

12:09 ○永田 晋治¹, 清家 瞳¹, 祝 貞¹, 伊藤 茂², 河野 重行³ (¹東大院新領域, ²パレオ・ラボ, ³機能性バイオ)

C2 会場 午前の部(9:30～12:20)

有機化学, 天然物化学—単離構造決定(微生物)/代謝/農薬, 医薬—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

4C2a01 耐熱性カビ *Hamigera avellanea* と動物細胞との共培養による新規天然物の探索

9:30 ○岩田 千怜¹, 斎藤 駿¹, 矢口 貴志², 荒井 緑¹ (¹慶應大理工, ²千葉大真菌セ)

4C2a02 休眠遺伝子活性化を目指した病原真菌と免疫細胞の共培養

9:41 ○氏江 優希子¹, 斎藤 駿¹, 桑原 るり², 原 康雅^{2,3}, 深谷 圭介⁴, 占部 大介⁴, 矢口 貴志⁵, 石橋 正己^{2,6}, 荒井 緑¹ (¹慶大理工, ²千葉大院薬, ³香川大農, ⁴富山県大工, ⁵千葉大真菌セ, ⁶国際医福大福岡薬)

4C2a03 神経幹細胞を若返らせる転写因子 Plagl2 の天然物由来転写活性化剤の探索

9:52 ○目細 航, 斎藤 駿, 荒井 緑 (慶應理工)

4C2a04 ヤマカガシ・ヒキガエルにおける遺伝的境界と防御用毒組成の関係

10:03 ○内藤 正成¹, 井上 貴斗², 森 哲³, 森 直樹² (¹京大農, ²京大院農, ³京大院理)

4C2a05 ヤマカガシ属ヘビの毒組成におけるヒキガエルの影響とヘビ自身の変換能力による影響の比較

10:14 ○井上 綾¹, 井上 貴斗¹, 森 哲², 森 直樹¹ (¹京大院農, ²京大院理)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

4C2a06 母ヤマカガシ (*Rhabdophis tigrinus*) の毒による子孫への化学的ケア—飼由来毒素の供給におけるトレードオフ—

10:33 ○井上 貴斗¹, 森 哲², 堀中 真野³, 吉永 直子¹, 酒井 敏行³, 森 直樹¹ (¹京大院農, ²京大院理, ³府立医大院医)

4C2a07 昆虫エクジステロイド生合成酵素を標的とした新規蚊用殺虫化合物の構造解析に基づく研究

10:44 ○海老原 佳奈¹, 稲葉 和恵¹, 千田 美紀², 安孫子 ユミ³, 佐久間 知佐子⁴, 小祝 孝太郎², 高谷 大輔⁵, 渡邊 千鶴⁴, 今村 理世⁶, 岡部 隆義⁶, 小島 宏建⁶, 大野 修⁵, 半田 佑磨⁵, 福澤 薫⁵, 小田川 太一⁷, 嘉穂 洋陸⁷, 藤川 雄太⁸, 井上 英史⁸, 本間 光貴⁴, 千田 俊哉², 丹羽 隆介¹ (¹筑波大, ²KEK, ³長崎大, ⁴理研, ⁵阪大, ⁶東大, ⁷慈恵医大, ⁸東薬大)

4C2a08 天然化合物ライブラリーから見出した 3 種の原虫に対する抗寄生虫化合物

10:55 ○森 美穂子¹, 大野 春香¹, カルティカ サリ デフィ¹, ジラニ グラム¹, 村松 秀行², 五十嵐 雅之², 塩見 和朗², 野崎 智義¹ (¹東大院医, ²微化研)

4C2a09 *Fusarium* 属真菌によるタイプ A トリコテセン系カビ毒の產生に対する抗真菌剤の影響

11:06 ○吉成 知也, 永井 望美, 渡辺 麻衣子, 工藤 由起子 (国立医薬品食品衛生研究所)

4C2a10 クマリン系化合物を基礎としたがん転移抑制薬の探索

11:17 ○服部 恒尚, 杉山 雄輝, 戸田 侑紀, 細木 誠之, 中村 誠宏, 芹原 英司 (京都薬大)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

4C2a11 α -グルコシダーゼを創薬標的とした新規フラボノイド誘導体の開発

11:36 ○水野 美麗, 福原 潔 (昭和大薬)

4C2a12 SARS-CoV 3CL protease を標的としたタルイミド型阻害剤の合成研究

11:47 ○佐野 陽菜¹, 遠藤 龍生¹, 照屋 健太², 服部 恒尚³, 矢野 成和¹, 今野 博行¹ (¹山形大院理工, ²東北大院医, ³京都薬科大)

4C2a13 プラディミシン A はオリゴマンノース含有糖鎖に結合して SARS-CoV-2 の感染を抑制する

11:58 ○中川 優^{1,2}, 藤井 将人¹, 伊藤 那奈香¹, 小鹿 一¹, 木下 貴明³, 櫻井 康晃³, 安田 二朗³, 五十嵐 康弘⁴, 伊藤 幸成⁵ (¹名大院生命農, ²名大iGCORE, ³長崎大CCPID, ⁴富山県大生工, ⁵阪大院理)

4C2a14 ブラジル産プロポリスのアトピー性皮膚炎モデルマウスに対する効果

12:09 ○日高 宗明¹, 菊池 恭¹, 黒川 昌彦¹, 堤 重敏², 鈴木 彰人¹ (¹九州保健福祉大学, ²(株)アマゾンフード)

C3 会場 午前の部(9:30～12:20)

環境科学・バイオマス利用—環境保全, 淨化技術工学, バイオレメディエーション, 環境汚染物質/バイオマス, バイオマス変換, バイオ燃料, バイオ化成品/バイオ電池関連/その他—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

4C3a01 セシウム蓄積細菌 *Rhodococcus* sp. RD011135 の固定化菌体による溶液中からのセシウム除去の検討

9:30 ○乗安 奏¹, 木暮 優¹, 吉岡 潤², 林 秀謙^{1,2} (¹前橋工科大工, ²前橋工科大院工)

- 4C3a02 Acid Orange7 の微生物による脱色及び完全分解
9:41 ○三好 望実, 喜多 晃久, 早瀬 伸樹 (新居浜高専)
4C3a03 鉱山廃水生物処理法導入の基礎データとなる40種坑廃水中の微生物叢解析
9:52 ○羽部 浩¹, 青柳 智¹, 堀 知行¹, 稲葉 知大¹, 佐藤 由也¹, 保高 徹生² (1産総研・環境創生, 2産総研・地図資源)
4C3a04 腐植を用いた廃水浄化技術のメカニズムに関する研究
10:03 ○川合 隆博¹, 谷津 大気¹, 謝 小毛¹, 並木 伸明¹, 前一廣² (1JNCエンジニアリング株式会社, 2京大名誉教授)
4C3a05 油脂廃水処理に優れる *Kinneretia* sp. E2 株の凝集能発現に関するバイオフィルムの解析
10:14 ○梅田 郁斗, 伊藤 貴文, 木元 久, 日比 隆雄 (福井県大院生物資源)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

- 4C3a06 Isolation of crude glycerol-utilizing oleaginous yeast *Rhodotorula toruloides* mutants
10:33 ○Bhismo Srenggoro Kuntongroho¹, Hiroyuki Kajiura², Ryo Misaki², Kazuhito Fujiyama² (1Osaka Univ., 2Osaka Univ. ICBiotech)
4C3a07 Elucidation of the Genes Affecting Lipid Overproduction in *Rhodotorula mucilaginosa*
10:44 ○Ma. Christine Cabatiao¹, Ryuto Masui¹, Sayaka Maeda¹, Chih-Chan Wu¹, Hiroyuki Kajiura², Ryo Misaki², Savitree Limtong³, Kazuhito Fujiyama² (1Osaka Univ., 2Osaka Univ. ICBiotech, 3Kasetsart Univ.)
4C3a08 海洋利用型微生物燃料電池の開発
10:55 ○梶原 将¹, 陳 馨玥¹, 佐藤 宏樹¹, 高橋 慧¹, 横山 浩^{1,2} (1東工大生命理工学院, 2農研機構畜産研究部門)
4C3a09 酸化チタン光アノードと組換え大腸菌の全細胞反応を用いたバイオカソード系による光電気化学的水素生産
11:06 ○濱川 恵那, 結城 里沙, 本田 裕樹, 藤井 浩 (奈良女大)
4C3a10 フラボノイド分子の自発配向分極
11:17 ○赤池 幸紀¹, 細貝 拓也¹, 小野 裕太郎², 鶴田 謙平², 山田 洋一² (1産総研, 2筑波大)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

- 4C3a11 微生物存在下での電位走査によるステンレス鋼腐食のタイミング観察
11:36 ○若井 晓, 小川 真弘 (海洋研・超先鋭)
4C3a12 円石藻 *Pleurochrysis carterae* の結晶成長制御に関する酸性多糖 PS-2 の構造機能解析
11:47 ○上野 友紀¹, 岡村 幸輝¹, 駒 衍祺¹, 千田 陸², 馳平 加代², 宮西 伸光², 長坂 征治¹ (1東洋大院生命, 2東洋大院食環)
4C3a13 異なる Ca 濃度で培養した円石藻 *Pleurochrysis carterae* のココリス形成の分子メカニズム解明
11:58 ○駒 衍祺, 上野 友紀, 岡村 幸輝, 長坂 征治 (東洋大院生命)
4C3a14 堆肥化施設由来試料の非培養と培養における微生物群集構造
12:09 ○森本 一, 西山 すの (株式会社komham)

C4会場 午前の部(9:30～12:20)

有機化学, 天然物化学—合成, 反応機構—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

- 4C4a01 Herbarumin IV の合成研究
9:30 ○橋本 拓郎, 勝田 亮, 若森 晋之介, 石神 健 (東農大・生命)

- 4C4a02 WNT-5A 誘導阻害を有する(土)-pochonin I の合成
9:41 ○柴田 夏帆, 鈴木 悠生, 勝田 亮, 若森 晋之介, 矢島 新, 額田 恭郎, 石神 健 (東農大・生命)
4C4a03 Decarestrictine K 及び B の合成研究
9:52 ○上羽 隼平, 鈴木 隆之介, 勝田 亮, 若森 晋之介, 石神 健 (東農大・生命)
4C4a04 アシルバラデーションを用いた(-)-stagonolide E の合成研究
10:03 ○日野 瑞希¹, 河村 篤², 真壁 秀文² (1信大院総合理工農, 2信大バイオメディカル研)
4C4a05 2'-デメチル-7'-ヒドロキシ-2-メチルタンザワ酸 B アミド縮環部異性体の全合成
10:14 ○臼倉 大輝, 村田 貴嗣, 筒井 久澄, 渡部 史也, 平田 謙, 岡野 宙輝, 金井 大和, 塩釜 龍之介, 夏目 美祐希, 市川 翔, 陸 穎佳, 岡本 卓真, 下仲 基之, 椎名 勇 (東理大理)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

- 4C4a06 多様な生物活性を有する Amorfrutin 類の化学酵素合成研究
10:33 ○QIU JIHAN, 福田 夢月, 白石 太郎, 葛山 智久, 滝川 浩郷, 小倉 由資 (東大院農生科)
4C4a07 プレニル基転移酵素を用いたブテロカルパン型天然物の化学酵素合成
10:44 ○三浦 勇輝, 福田 夢月, 白石 太郎, 葛山 智久, 滝川 浩郷, 小倉 由資 (東大院農生科)
4C4a08 ユニークな多環式ベンゾキセピン骨格を有する新規リグナン 2',9-epoxylyoniresinol の合成
10:55 ○橋爪 玲那, 河地 貴利, 須戸 雅弘, 山田 真希人, 倍 詩織, 奥田 和真, 奥野 祥治 (和歌山高専)
4C4a09 海洋生物由来のテルペノイドの合成
11:06 ○市川 善康¹, 越智 里香¹, 増田 俊哉² (1高知大理工, 2大阪公立大学大学院生活科学研究科)
4C4a10 Halichonadin 類の合成研究
11:17 ○藤田 遼平¹, 大岡 海斗¹, 市川 善康², 細川 誠二郎¹ (1早大理工, 2高知大理工)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

- 4C4a11 (+)-Karanone の不斉全合成
11:36 ○持 雄太, 滝川 浩郷, 小倉 由資 (東大院農)
4C4a12 電子環状反応を基盤とした orobanchol 類の合成
11:47 ○内田 聖乃, 小倉 由資, 岡村 仁則, 滝川 浩郷 (東大院農生科)
4C4a13 ベンジリデンゲルコシドの合成とその光学分割剤としての可能性
11:58 ○齋藤 さら, 小林 萌, 二瓶 賢一 (宇都宮大農)
4C4a14 ヤマブシタケの fruiting liquid 由来のアラビトール誘導体の化学合成
12:09 ○上野 真澄¹, 石井 瑞樹¹, 吳 静^{2,3}, 河岸 洋和^{2,3}, 二瓶 賢一¹ (1宇都宮大農, 2静大・農, 3静大・キノコ科研)

C5会場 午前の部(9:30～12:20)

微生物—遺伝子-ゲノム, メタゲノム, プロテオーム—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

- 4C5a01 ラガービール酵母 *Saccharomyces pastorianus* の長期継代培養時におけるゲノム不安定性の解析
9:30 ○石井 優人¹, 宮澤 紘輔¹, 高橋 朋子², 岩間 亮^{1,3}, 福田 良一^{1,3}, 堀内 裕之^{1,3}, 野田 陽一^{1,3} (1東大院・農生科, 2アサヒクリオティーアンドイノベーションズ(株), 3東大・微生物連携機構)

4C5a02 *Saccharomyces pastorianus* のモデル株を用いたミトコンドリアと低温増殖性の関連

9:41 ○福西 鈴穂^{1,2}, 高橋 朋子⁵, 岩間 亮^{3,4}, 福田 良一^{3,4}, 堀内 裕之^{3,4}, 鎌倉 高志², 野田 陽一^{3,4} (¹東大・農, ²東理大・理工, ³東大院・農生科, ⁴東大・微生物連携機構, ⁵アサヒクオリティーアンドイノベーションズ(株))

4C5a03 Cas9 ニッケースの複数遺伝子座への同時誘導による高度な遺伝子増幅系の構築

9:52 ○武居 宏明, 岡田 悟, 伊藤 隆司 (九大院医)

4C5a04 枯草菌ゲノムベクターを用いたヒト TCR 遺伝子座の再構築

10:03 ○諸角 光祐¹, 岩田 哲郎¹, 山崎 憲政², 神沼 修³, 廣田 順二¹ (¹東工大院生命理工学院, ²広島大技術センター, ³広島大原爆放射線医科学研究所)

4C5a05 セルロース分解性放線菌のキシランによるグリオキシリ酸回路の誘導

10:14 ○長野 竜也¹, 大橋 慧介¹, 林 直希², クマール ビジェイ², 高須賀 太一² (¹北大院国際食資源, ²北大院農)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

4C5a06 微生物有害情報データベース Microbial Risk Information Database: M-RINDA

10:33 ○木村 明音, 黄地 祥子, 宮澤 せいは, 藤田 真澄, 魚原文, 山本 美佳, 中谷 諒介, 市川 夏子 (NITE・NBRC)

4C5a07 QTL 解析を用いたシイタケの収量性に関わる因子の探索

10:44 ○木津川 結奈¹, 張 吉麗¹, 佐藤 匠¹, 三ッ國 佳祐¹, 柳田 かりん², 田中 祐生², 田村 孝史², 小野 晶子¹, 鈴木 智大¹ (¹宇都宮大・バイオ, ²森産業株式会社)

4C5a08 皮膚常在細菌叢と肌状態との関連性

10:55 ○門屋 亨介, 近藤 彩乃, 松川 彩花 (栃山女大)

4C5a09 後発酵茶由来 *Lactiplantibacillus plantarum* のゲノム解析とその遊牧民的性質

11:06 ○佐藤 杏香¹, 五十川 祐一郎¹, 丹羽 諒², 西岡 浩貴³, 堀江 祐範⁴, 岩橋 均¹ (¹岐阜大院自, ²京大院医, ³徳島工技セ, ⁴産研)

4C5a10 腸内細菌を対象とした生菌微生物の検出方法の開発

11:17 ○土田 咲絵¹, 西山 依里¹, 相原 浩揮¹, 生井 楓^{2,3}, 西山 啓太^{2,3}, 北澤 春樹^{2,3} (¹株式会社ファスマック, ²東北大院農, ³CFAI)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

4C5a11 コンパニオン植物栽培土壤における土壤生物相解析

11:36 ○鈴木 美緒¹, 村上 純哉¹, 近藤 侑希¹, 森本 早貴¹, 飯沼 辰也¹, 広瀬 侑¹², 山内 高広², 熊崎 忠², 園原 詩野³, 岡田 知之³, 繼国 孝司³, 沢 俊彦¹² (¹豊橋技術科学大学 応用化学・生命工学系, ²豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター, ³武藏精密工業株式会社 植物バイオ事業部)

4C5a12 Deterministic Shaping of Soil Bacterial Communities: Interplay of Rare Species and Environmental Selection

11:47 ○Leonardo Stari, Hiromi Kato, Yoshiyuki Ohtsubo, Yuji Nagata (Tohoku University)

4C5a13 植物生育促進細菌の機能解明に向けたダイズ根内生菌のゲノム解析

11:58 ○大西 雄貴¹, 西川 洋平^{2,3}, 木伏 真子^{1,2}, 細川 正人^{1,2,3,4}, 松本 厚子³, 柏木 康熙¹, 穴井 豊昭⁵, 竹山 春子^{1,2,3,4} (¹早大院・先進理工, ²産研・早大 CBBG-OIL, ³早大・ナノライフ創新研, ⁴早大・生命動態研, ⁵九大院・農)

4C5a14 多様な環境微生物に存在する機能未知呼吸酵素複合体 Ehr のバイオインフォマティクス解析

12:09 ○高野 将光¹, 井上 真男^{1,2}, 青野 陸¹, 三原 久明¹ (¹立命大・生命, ²立命大・R-GIRO)

C6 会場 午前の部 (9:30～12:20)

食品—食品機能・栄養・免疫, 炎症/食品機能・栄養・アレルギー・アレルゲン—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

4C6a01 フラクトオリゴ糖摂取が腸管の樹状細胞と抗体産生に与える影響

9:30 ○森 清彰, 古川 凱斗, 津田 真人, 細野 朗 (日本大学生物資源科学部)

4C6a02 酪酸は IgE 非依存的マスト細胞活性化を抑制する

9:41 ○森田 莉加¹, 長田 和樹¹, 谷萩 祐太¹, 岡村 穂丘¹, 山崎 憲政², 三浦 健人², 神沼 修², 西山 千春¹ (¹東理大院先進工生命システム, ²広大・原医研)

4C6a03 複数の食品因子の組み合わせに着目した抗炎症作用の相乗効果

9:52 ○吉岡 正樹, 平出水 貴子, 大塚 桃佳, 服部 誠, 好田 正 (東農工大院・応生化)

4C6a04 腸上皮において誘導される GABA シグナルの解析

10:03 ○池上 美音¹, 山下 未夢¹, 富永 帆南¹, 原田 岳², 依田 一豊², 宮澤 賢司², 中西 祐輔¹, 高橋 恭子¹ (¹日大生物資源, ²タカナシ乳業・商品研究所)

4C6a05 樹状細胞の分化およびインテグリン遺伝子発現に対する短鎖脂肪酸の影響

10:14 ○趙 維霆, 長田 和樹, 伊藤 直人, 西山 千春 (東理大院先進工生命システム)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

4C6a06 腸間膜リンパ節及びパイエル板における *Lactococcus lactis* subsp. *cremoris* YRC3780 による樹状細胞を介した IgA 抗体産生増強作用

10:33 ○小寺 修平¹, 溝渕 韶子¹, 曾我 皓平¹, 藤岡 郁美², 内田 健治², 薩 秀夫³, 足立(中嶋) はるよ¹, 八村 敏志¹ (¹東大院農生科・食の安全研究セ, ²よつ葉乳業株式会社, ³前橋工科大・生物工)

4C6a07 藻類由来多糖によるアレルギー抑制効果の検証とその作用機序の解明

10:44 ○安井 悠人¹, 白井 康仁¹, 水野 雅史² (¹神大院農学研究科, ²大阪青山大健康科学部)

4C6a08 免疫細胞のフェロトーシスにおけるアクロレインの関与

10:55 ○川尻 海斗, 糸井 海星, 内田 浩二 (東大院農)

4C6a09 食事バランスが腸管抗体特異性に及ぼす影響の解析

11:06 ○近澤 未歩, 湊 健一郎 (名城大農)

4C6a10 小腸パイエル板細胞が誘導する IgA 抗体産生応答におけるクルクミン・短鎖脂肪酸・腸内細菌による協調作用

11:17 ○大鐘 大士¹, 館岡 楓¹, 柴崎 涼太¹, 津田 真人¹, 小寺 修平², 吉田 有佐², WANG YIMEI², 戸塚 譲³, 足立(中嶋) はるよ², 八村 敏志², 細野 朗¹ (¹日大生資科, ²東大院農生科・食の安全研セ, ³東京農大生命科学・分子微生物)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

4C6a11 酪酸は T 細胞機能調節を介して皮膚疾患乾癬を改善する

11:36 ○時田 隆世, 廣木 郁美, 鈴木 勝大, 長田 和樹, 西山 千春 (東理大院先進工生命システム)

4C6a12 フラクトオリゴ糖の構成糖がマウス腸内細菌叢と IgA 産生に与える影響

11:47 ○大村 蓮, 津田 真人, 京井 大輔, 細野 朗 (日大生資科)

4C6a13 潰瘍由来乳酸菌 SSL-1 による IL-10 発現亢進の解析

11:58 ○藤原 唯信¹, 柴田 奈那¹, 村田 美樹², 浅見 進也², 薩 秀夫³ (¹前工大院工, ²株式会社新進, ³前工大工)

4C6a14 食品アレルギーモデルマウスにおける FTY720 の影響

12:09 ○齊木 理央, 服部 誠, 好田 正 (東農工大院・応生化)

C7会場 午前の部(9:52~12:09)

微生物-物質生産-発酵(二次代謝産物)一

a03~a05 発表者の接続時間 9:44~9:52

4C7a03 マレイマイシン生合成におけるマレイミド環形成機構

9:52 ○原田 陽道¹, 曽根 祐輔¹, 吉田 彩子^{1,2}, 古園 さおり^{1,2}, 西山 真^{1,2} (東大院農, 東大・微生物連携機構)

4C7a04 放線菌 *Streptomyces lydicus* ATCC 25470 におけるアミノ基キャリアタンパク質を介して生産される新規二次代謝産物の生合成に関する研究

10:03 ○林 勇太¹, 曽根 祐輔¹, 吉田 彩子^{1,2}, 古園 さおり^{1,2}, 西山 真^{1,2} (東大院農, 東大・微生物連携機構)

4C7a05 グラム陰性菌に効く新規抗生物質の探索

10:14 ○河野 裕太, 鶴貝 龍聖, 大土 光経, 秦田 勇二 (埼玉工大工)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

4C7a06 *Streptomyces* sp. TSO12 株の生産する抗菌活性物質の解析

10:33 ○鶴貝 龍聖, 大土 光経, 中島 美咲, 河野 裕太, 石川 正英, 岩崎 政和, 秦田 勇二 (埼玉工大工)

4C7a07 新規抗菌活性物質生産菌を対象とした量産化の検討

10:44 ○大土 光経, 中島 美咲, 鶴貝 龍聖, 河野 裕太, 秦田 勇二 (埼玉工大工)

4C7a08 八丈島産高塩濃度「くさや汁」からの放線菌分離による「くさや汁」中の微生物由来抗生物質の解説

10:55 ○真崎 祥子¹, 長田 隆弘², 平田 朝陽³, 野木村 さくら¹, 海野 良輔¹, 石川 森夫¹, 荒川 賢治³, 鈴木 敏弘¹ (東農大院・醸造, 長田商店, 広大院・統合生命)

4C7a09 放線菌 *S. incarnatus* の *rpoB* 変異によるシネフンギン増産効果の検討

11:06 長谷川 広夢, 根本 理子, 金尾 忠芳, ○田村 隆 (岡山大院)

4C7a10 機能性改善を目指した非天然型 goadsporin の作製とその生物活性評価

11:17 ○星野 千優, 星野 翔太郎, 尾仲 宏康 (学習院大理)

a11~a13 発表者の接続時間 11:28~11:36

4C7a11 コリネ型細菌を用いたハイドロキノン高生産技術の開発

11:36 ○濱谷 信司¹, 橋本 龍馬², 須田 雅子², 乾 将行^{1,2} (奈良先端大・バイオ, RITE)

4C7a12 コリネ型細菌におけるイソプレン発酵生産

11:47 ○天川 薫¹, 横野 里佳¹, Theresia Natalia Maria², 猿谷 直紀², 須田 雅子², 平賀 和三², 乾 将行^{1,2} (奈良先端大・バイオ, RITE)

4C7a13 コリネ型細菌を用いたエルゴチオネインの発酵生産に対する浸透圧の影響

11:58 ○高橋 優乃, 平沢 敬 (東工大院生命理工)

D1会場 午前の部(9:30~12:20)

食品-食品機能・栄養-酸化, 抗酸化, 糖化, 抗糖化, 老化 / 食品機能・栄養-神経, 内分泌, 味覚・食欲 / 食品機能・栄養-その他一

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

4D1a01 粪便培養系を用いたエクオール代謝における食物繊維の影響

9:30 ○小寺 美有紀^{1,2}, 中村 浩平², 横山 慎一郎¹ (岐阜食研, 岐阜大学)

4D1a02 カルノシンによるエクソソームを介した脳機能改善

9:41 ○里 桃花¹, 宮園 素直¹, 鶴殿 美弥子², 片倉 喜範² (九大院生資環, 九大院農院)

4D1a03 福島県産の発酵物から分離された乳酸菌のγアミノ酪酸生成と食品への応用

9:52 ○熊谷 武久, 中山 未菜, 芦澤 翔, 鈴木 皓介 (福島大農)

4D1a04 ペプチドによるGLP-1分泌促進作用におけるTrp-Tyr配列の重要性について

10:03 ○船橋 周偉¹, 田口 鳩², 比良 徹² (北大農, 北大院農)

4D1a05 抹茶の新たな機能性食品因子の探索に向けたマイクロRNA解析

10:14 ○黄 茜嵐¹, 一瀬 智美¹, 渡邊 凌矢¹, 辰巳 由華², 一谷 正己², 衣笠 仁², 瀧原 孝宣², 春尾 守一³, 熊添 基文¹, 立花 宏文¹, 藤村 由紀¹ (九大院農院・生機科, 伊藤園・中央研究所, あいや)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

4D1a06 高食物繊維小麦粉による腸内環境改善効果の検証

10:33 ○大友 雄登¹, 野間 晴¹, 貴島 晴², 菊池 洋介¹, 青江 誠一郎³ (日清製粉グループ本社, 日清製粉(株), 大妻女子大学)

4D1a07 溶解度分別法を利用したグリチルリチン精製法の開発

10:44 ○本多 岬資, 西野 莜汰, 福田 悠作, 片野 肇, 高橋 正和 (福井県大院生物資源)

4D1a08 ピセアタンノール摂取による皮膚粘弹性へ及ぼす影響

—ランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験—

10:55 ○吉原 瑞樹 (森永製菓株式会社)

4D1a09 ペンタガロイルグルコースはmiR-191-5pを介して脳機能調節作用を発揮する

11:06 ○李 寛雨, 松井 優樹, 麻生 菜帆, 高木 基光, 岸 洋聖, 熊添 基文, 藤村 由紀, 立花 宏文 (九州大学)

4D1a10 細胞内における新型コロナウイルス酵素 Main proteaseへの茶成分の結合

11:17 ○鈴木 咲子¹, 赤川 貢², 西川 美宇³, 生城 真一³, 金子 一郎^{1,4}, 加藤 陽二^{1,4} (兵庫県大環境人間, 徳島大学院医歯薬, 富山県大工, 兵庫県大先端食セ)

a11~a14 発表者の接続時間 11:28~11:36

4D1a11 機械学習とビッグデータを用いた食品の機能性および微生物を介した作用メカニズムの推定

11:36 ○三枝 奈々子¹, 柴田 友和¹, 澤田 隆介², 関谷 拓海¹, 山西 芳裕³ (九州工業大学, 岡山大学, 名古屋大学)

4D1a12 愛知県幸田町産・筆柿の葉に含まれる機能性成分アストラガリンに関する検討

11:47 ○保田 儚子¹, 田中 美帆¹, 小野 綾巳¹, 村瀬 晴香¹, 矢田 友和² (帽山大生活, JAあいち三河)

4D1a13 習慣的な紅茶の飲用が腸内細菌叢に与える影響

11:58 ○富岡 玲乃¹, 田中 裕子¹, 鈴木 壮幸¹, 海老原 淑子² (三井農林株式会社, チヨダパラメディカルケアクリニック)

4D1a14 分岐鎖アミノ酸が腸管上皮細胞に及ぼす影響: バリン欠乏が腸管幹細胞を減少させるメカニズムの解明

12:09 ○香西 歩¹, 岩槻 健¹, 騙本 宗一郎^{2,3}, 清水 誠⁴, 小西 良子¹, 只石 幹¹, 服部 一夫¹ (東農大・応生, 早大・院先進・化学生命化学, 金沢大・がん研・がん・老化生物学, 東農大)

D2会場 午前の部(9:30~12:20)

食品—食品工学-保藏, 安全性/食品機能・栄養-ビタミン・ミネラル/食品機能・栄養-メタボリック・シンドローム, エネルギー代謝—

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

4D2a01 高静水圧酵素処理で作成したシカ肉の超短期仕込肉醤の安全性と機能性

9:30 ○小木曾 加奈^{1,2}, 中島 岳郎³, 山崎 慎也⁴, 古田 一匡⁵
(¹長野県立大健康発達, ²長野県立大院健康栄養科学, ³信大医, ⁴長野県工技センター, ⁵富士通株式会社)

4D2a02 ドライ熟成中の湿度条件が牛肉の微生物学的品質に与える影響

9:41 ○鳥丸 碧里¹, 豊留 孝仁^{2,3}, 田村 健一⁴, 三上 奈々¹ (¹畜大・畜産, ²畜大・獣医, ³千葉大・真菌セ, ⁴北一ミート(株))

4D2a03 糖添加カッテージチーズにおけるリストリアの挙動

9:52 ○林崎 菜月¹, 佐藤 朱嶺², 津田 治敏^{1,2} (¹弘大院・地域共創, ²弘大・農生)

4D2a04 Antimicrobial properties of active compounds derived from natural food extracts for preventing beverage non-alcoholic beverage spoilage microorganisms

10:03 ○Chang LIU¹, Jiale TANG¹, Satoka TAKABAYASHI¹, Saki TOYOTA², Hidenori MATSUKURA², Masaki SHIMOKAWA², Suguru OKUDA¹, Hideaki ITOH¹, Peng LU¹, Koji SUZUKI³, Koji NAGATA¹ (¹The Univ. of Tokyo, ²Asahi Breweries, Ltd., ³Asahi Quality and InnovationsLtd.)

4D2a05 アクアポニックスで栽培されたリーフレタスの栄養・機能性成分含量とその季節変動評価

10:14 ○榎 康明¹, 筒浦 さとみ², 大竹 憲邦², 三亜 啓吾², 深倉 瑠奈³, 毒島 成美², 山口 智子³ (¹株式会社プラントフォーム, ²新潟大・農, ³新潟大・教育)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

4D2a06 スクシニル CoA 合成酵素欠損線虫(*Caenorhabditis elegans*)の寿命の短縮または MMA の増加は認められなかった。

10:33 ○橋本 航, 美藤 友博, 渡邊 文雄, 藤田 行哲 (鳥取大院持続)

4D2a07 パーキンソン病モデル線虫(*Caenorhabditis elegans*)におけるビタミン B₁₂ 不足の影響

10:44 ○山崎 大幹, 美藤 友博, 渡邊 文雄, 藤田 行哲 (鳥取大院持続)

4D2a08 麦菌を使った発酵食品に含まれるビタミン B₁₂ 化合物の特徴

10:55 ○小関 喬平¹, 渡邊 文雄² (¹石川県大・生資環, ²鳥取大・農)

4D2a09 ビタミン B6 サプリメントが筋再生及び筋衛星細胞に与える影響

11:06 ○小牟田 陽香¹, 矢中 規之², カムランシータナッチャポーン² (¹広島大・生生, ²広島大院・統合生命)

4D2a10 1,25(OH)2D3 を含む VD 代謝物の同時定量法の検討

11:17 ○高橋 康司¹, 滝脇 正貴¹, 福沢 世傑¹, 堤 遊¹, 菊谷 善国¹, 永田 亜希子², 飯島 一翔², 坂本 良太², 長澤 和夫² (¹日本電子, ²東農工大院工)

a11~a14 発表者の接続時間 11:28~11:36

4D2a11 PQQ によるコロナウイルスの破壊と凝集による感染抑制

11:36 ○池本 一人, 辻 シャフィカ, 沼口 友惠 (三菱ガス化学新潟研)

4D2a12 必須微量栄養素セレンの恒常性維持における腸内細菌叢の関与

11:47 ○高橋 一聰¹, 小椋 康光² (¹千葉大院園芸, ²千葉大院薬)

4D2a13 食塩の過剰摂取による腸管炎症が耐糖能, 動脈硬化に及ぼす影響

11:58 ○毛利 瑞那¹, 増澤(尾崎) 依², 細野 崇^{2,3}, 関 泰一郎^{2,3} (¹日大・生資科・生命化, ²日大・生資科・バイオ, ³日大院・生資科・応生科)

4D2a14 油脂によるミトコンドリア呼吸鎖複合体酵素活性の増強と抗肥満作用に関する研究

12:09 ○吉田 実由¹, 森田 華¹, 増澤(尾崎) 依², 細野 崇^{2,3}, 関 泰一郎^{2,3} (¹日大・生資科・生命化, ²日大・生資科・バイオ, ³日大院・生資科・応生科)

D3会場 午前の部(9:30~12:20)

植物—タンパク質, 酵素-機能, 調節/環境応答, ストレス応答, 情報伝達, 分化/その他一

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

4D3a01 ローマカミツレの花に存在し, アピゲニン配糖体に作用する酵素の同定

9:30 ○鎌田 成栄¹, 山澤 由佳², 土居 陽彦², 滝田 穎亮¹, 保川 清¹ (¹京大院・農, ²花王)

4D3a02 紅藻類オゴノリ科オゴノリ由来のヘマグルチニンの季節変動

9:41 ○垣田 浩孝¹, 岸野 愛¹, 柳岡 直樹¹, 小比賀 秀樹² (¹日大院総合基, ²産総研健康工学)

4D3a03 イネのシリカ形成を促進する有機マトリックスの探索と機能解析

9:52 ○風見 菜月¹, 片山 秀和², 尾崎 紀昭¹ (¹秋田県大生物資源, ²東海大工)

4D3a04 紅藻類オゴノリ科ユミガタオゴノリ由来のヘマグルチニンの抽出

10:03 ○小池 航平¹, 黒須 泰行², 本間 悠里², 須藤 裕介³, 垣田 浩孝² (¹日大文理, ²日大院総合基, ³沖縄県水産海洋技術センター)

4D3a05 イネにおけるプロゲステロン生合成酵素の機能解析

10:14 ○桑田 佳明, 佐々木 康幸, 矢嶋 俊介, 伊藤 晋作 (東農大院バイオ)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

4D3a06 紅藻類クビレオゴノリの水溶性画分中の赤血球凝集活性

10:33 ○齋藤 俊介¹, 緑川 英里香², 黒須 泰行², 本間 悠里², 垣田 浩孝² (¹日大文理, ²日大院総合基)

4D3a07 イネ葉身のファン型ケイ酸体に含まれるタンパク質の機能解析

10:44 ○千葉 優吏, 村口 元, 尾崎 紀昭 (秋田県大生物資源)

4D3a08 トマト固定品種を用いた二種のイソレクチンの性質の解析

10:55 ○小栗 秀, 八十 悠樹, 石原 彰子, 坂本 光 (東農大生物産業)

4D3a09 ホップ(*Humulus lupulus L.*)ルブリンに発現する LTP1 の同定と機能

11:06 ○八十 悠樹, 小栗 秀, 坂本 光 (東農大院生物産業学研究科)

4D3a10 ドラゴンフルーツ *Hylocereus undatus* 果皮の植物由来キチナーゼの精製

11:17 ○新里 守礼, 田邊 俊朗 (沖縄高専)

a11~a14 発表者の接続時間 11:28~11:36

4D3a11 MeJA 空気伝播による新たな代謝産物の探索

11:36 ○鵜飼 夕菜¹, 榎 亜加音², 北岡 直樹³, 松浦 英幸³ (¹北大農, ²北大院農, ³北大農学研究院)

4D3a12 9-LOX 依存で生合成される death acid の生物活性に関する生物有機化学的研究

11:47 ○草野 春香¹, 宮脇 寛治², 北岡 直樹³, 松浦 英幸³ (1北大農, ²北大院農, ³北大農学研究院)

4D3a13 ナショナルバイオリソースプロジェクト・トマトの病徴様表現型解析への利用

11:58 ○杉本 貢一, 藤森 陽子, 江面 浩 (筑波大T-PIRC)

4D3a14 葉緑体ゲノム情報に基づくムラサキ在来種の母系の理解

12:09 ○岡田 貴裕¹, 矢崎 一史², 佐々木 健郎³, 渡邊 啓⁴ (1佐賀大医, ²京都大生存研, ³東北医科薬科大, ⁴九州栄養福祉大)

D4 会場 午前の部(9:41~12:09)

食品—食品機能・栄養-タンパク質・アミノ酸代謝/食品機能・栄養-癌, 抗癌—

a02~a05 発表者の接続時間 9:33~9:41

4D4a02 小麦グルテン加水分解物の高齢者に対する運動機能改善効果の検証

9:41 ○野出 純一¹, 浅田 憲一², 高橋 絵里歌¹, 菊池 洋介¹ (1株式会社日清製粉グループ本社, ²日清ファルマ株式会社)

4D4a03 ポリアミンがキイロショウジョウバエの生育段階・活動量に及ぼす影響

9:52 ○藤田 剛士¹, 下川 ひろみ¹, 堀 亜紀², 門口 韶², 倉石 貴透², 栗原 新¹ (1近畿大・生物理工, ²金沢大・医薬保健)

4D4a04 Roles of hepatic GABA transaminase in food intake suppression

10:03 ○Thanutchaporn KUMRUNGSEE, Tomoka NAGAO, Noriyuki YANAKA (Hiroshima Univ., Graduate School of Integrated Sciences for Life)

4D4a05 大腸上皮における Cyp2c55 発現と腸内細菌との相互作用

10:14 ○藤村 哲¹, 佐藤 哲¹, 松井 伸祐², 山本 祥也¹, 岩槻 健², 鈴木 卓弥¹ (1広大院統合生命, ²東農大応生)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

4D4a06 がん細胞の上皮間葉転換(EMT)におけるニンニク由来硫黄化合物の役割

10:33 ○西塚 誠, 佐々木 歩海 (弘前大農生)

4D4a07 ニンニク臭気前駆体が誘導するメラノーマの細胞死の形態

10:44 ○望月 創一朗, 矢壽 友章, 山口 勇将, 熊谷 日登美 (日本大学生物資源科学部)

4D4a08 中国産食用茸ツブイボタケ含有 vialininA 及び DMT の HCT116 細胞におけるアポトーシス誘導効果の検討

10:55 ○鈴木 健斗, 紙谷 昌妙, 菅谷 紘一, 小野瀬 淳一, 阿部 尚樹 (東京農業大学大学院)

4D4a09 Arctigenin, Nobiretin の併用によるヒト肺腺がん細胞(A549)の代謝変化に関する研究

11:06 ○岩崎 公典 (琉大熱生研)

4D4a10 ラズベリー花弁に含まれるフラバン-3-オール誘導体の細胞内ターゲットの検討と花弁抽出液の活性評価

11:17 ○青木 環¹, 堀口 誠太¹, 井本 風馬², 宮前 友人², 道下 倌¹, 小堀 亮¹, 齊藤 安貴子^{1,2} (1大阪電通大院工, ²大阪電通大工)

a11~a13 発表者の接続時間 11:28~11:36

4D4a11 ケルセチンのがん抑制性マイクロ RNA 発現調節作用

11:36 ○村田 希¹, 丸亀 裕貴², 藤村 由紀², 立花 宏文² (1愛媛大・ADRES, ²九大院農院・生機科)

4D4a12 野沢菜漬け由来乳酸菌株による抗腫瘍効果メカニズムの解析

11:47 ○阿蘿 晴香¹, 新妻 史絵¹, 柚 明弘¹, 遠藤 勝紀¹, 北村 秀光^{2,3}, 田中 沙智¹ (1信州大院, ²東洋大・理工, ³北大・遺制研)

4D4a13 Inhibitory effect of colostrum-derived Lacticaseibacillus rhamnosus Probio-M9 on colitis-related carcinogenesis

11:58 ○Lin Kurahara¹, Feiyan Zhao², Xiaodong Li¹, Zhihong Sun², Heping Zhang², Katsuya Hirano¹ (1Department of Cardiovascular Physiology, Faculty of Medicine, Kagawa University, ²Inner Mongolia Key Laboratory of Dairy Biotechnology and Engineering; Key Laboratory of Dairy Products Processing, Ministry of Agriculture and Rural Affairs; Key Laboratory of Dairy Biotechnology and Engineering, Ministry of Education, Inner Mongolia Agricultural University)

D5 会場 午前の部(9:30~12:20)

酵素—糖質代謝関連酵素—

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

4D5a01 微生物由来 α -(1 → 3)-glucan の資化に関する糖質加水分解酵素の機能解析

9:30 ○岡 希望¹, 木村 聰², 岩田 忠久², 宮崎 剛亜^{1,3} (1静大院・総科技・農, ²東大院・農, ³静大・グリーン研)

4D5a02 Bacteroidota 門細菌由来 GH13_38 酵素のX線結晶構造解析

9:41 ○中村 駿太郎¹, 宮崎 剛亜^{1,2} (1静大・創造院・バイオサイエンス, ²静大・グリーン研)

4D5a03 β -1,2-グルカン代謝に関する Glycoside hydrolase family 1 β -グルコシダーゼの機能と構造

9:52 熊倉 悠人¹, 元内 省¹, 中井 博之², ○中島 将博¹ (1東京理科大・創域理工, ²新潟大農)

4D5a04 α -1,6-Cyclized β -1,2-glucosidase 合成酵素の発見: Xanthomonas 属に汎用な新農薬ターゲット

10:03 ○元内 省¹, 今場 司朗², 中井 博之³, 中島 将博¹ (1東京理科大・創域理工, ²農研機構, ³新潟大・農)

4D5a05 子囊菌 *Fusarium oxysporum* の GH131 タンパク質の発現系の構築と結晶構造解析

10:14 ○佐野 遼太郎¹, 小蘭 拓馬¹, 西河 淳¹, 小松 健², 有江 力², 殿塚 隆史¹ (1東京農工大院農応用生命化学, ²東京農工大院農生物制御科学)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

4D5a06 結核菌の細胞壁多糖を分解する新規酵素 ExoMA2 の反応機構

10:33 ○福島 陸¹, 石渡 明弘², 鹿島 勝真¹, 宮永 顯正^{1,4}, 藤田 清貴³, 伏信 進矢^{1,4} (1東大院・農生科, ²理研, ³鹿児島大・農, ⁴東大CRIIM)

4D5a07 ゴマリグナン配糖体加水分解酵素の X 線結晶構造と C 末端ドメインの新奇機能

10:44 ○矢内 太朗¹, 高橋 由季乃¹, 坂井 直樹², 竹下 浩平², 今泉 璃城¹, 松浦 淩明², 和氣 駿之³, 高橋 征司³, 山本 雅貴², 片岡 邦重¹, 中山 亨³, 山下 哲¹ (1金沢大院 自然科学, ²理研 RSC, ³東北大院工)

4D5a08 新奇酵素ガラクトース 2-エピメラーゼの X 線結晶構造と α 7- α ループ変異酵素の解析

10:55 ○内山 昌典¹, 佐分利 亘¹, 武井 梢穂², 尾瀬 農之², 森 春英¹ (1北大院農, ²北大院生命)

4D5a09 イネ GH1 β -グルコシダーゼ TAGG2 の基質アグリコン依存的なグリコシド特異性の各種配糖体と変異酵素を用いた解析

11:06 ○宇野 裕弥, 堀越 秀, 佐分利 亘, 森 春英 (北大院農)

4D5a10 *Rhodothermus marinus* 由来セロビオース 2-エピメラーゼにおける還元末端糖残基の 2-OH 基との相互作用残基の反応特異性への寄与の解析

11:17 ○佐分利 亘, 森 春英 (北大院農)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

4D5a11 シアノバクテリア由来ホスホリラーゼの構造機能解析

11:36 生田 あいり, ○鈴木 龍一郎, 鈴木 英治 (秋田県大生物資源)

4D5a12 *Pseudomonas stutzeri* L-ラムノースイソメラーゼの1-デオキシ希少糖の基質認識の理解

11:47 ○吉田 裕美¹², 吉原 明秀²³, 何森 健²³, 神鳥 成弘¹² (香川大・医・総合生命, ²香川大・国際希少糖研究教育, ³香川大・農)

4D5a13 ラフィノース合成酵素の予測立体構造に基づく基質選択機構の推定

11:58 ○前田 美紀, 戸田 恭子 (農研機構・資源研)

4D5a14 *Paenibacillus* 属細菌由来キチンセンサータンパク質の機能解析

12:09 ○小川 朋希, 伊藤 貴文, 日び 隆雄, 木元 久 (福井県立大生物資源)

D6 会場 午前の部(9:30～12:09)

動物—遺伝子-発現制御, ノンコーディングRNA, 修飾, トランスクリプトーム, エピジェネティクス, ゲノミクス/細胞機能-シグナル伝達, 細胞応答, 細胞分化, 細胞死, メタボローム—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

4D6a01 新規ヒトビタミンD 標的 non-coding RNA 遺伝子群の同定

9:30 ○金本 義明¹², 早川 哲¹², 澤田 崇広¹², 森 甚一², 黒川 友博²³, 加藤 茂明^{12,3} (医療創生大学 健康科学リサーチセンター, ²ときわ会先端医学研究センター, ³福島県立医科大学)

4D6a02 ビタミンD 誘導性エンハンサー RNA(eRNA)を介した核内ビタミンD 受容体による転写制御機構の解明

9:41 早川 哲¹², 野尻 光希¹², 金本 義明¹², 澤田 崇広¹², 黒川 友博²³, ○加藤 茂明^{12,3} (医療創生大学 健康科学リサーチセンター, ²ときわ会先端医学研究センター, ³福島県立医科大学)

4D6a03 PGC1 α は神経筋接合部の形成に重要な Dok-7 の発現を正に制御する

9:52 ○酒巻 千広¹, 杉本 拓海¹, 木村 徳士¹, 江口 貴大², 三浦 進司³, 亀井 康富¹ (京都府大院, ²国立長寿研, ³静県大院)

4D6a04 転写因子 POU2F3 による 2 型味細胞分化誘導のメカニズム解明

10:03 ○大原 麻美絵¹, 竹村 孝一¹, 松井 伸祐¹, 渡邊 晴也², 米谷 達哉¹, 千葉櫻 拓², 今井 啓雄³, 岩槻 健¹ (東農大応生, ²東農大生命科学, ³京大進化研)

4D6a05 高嗜好性食品摂取による快情動産生機序の組織学的解析

10:14 ○相原 史佳, 福山 雄大, 程 曜, 喜田 聰 (東大院農)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

4D6a06 cAMP 情報伝達過活性化を原因とする心的外傷後ストレス障害(PTSD)の分子機構

10:33 ○石川 理絵¹, 長葭 大海¹, 福島 穂高², Zhuo Min³, 岡本 賢一^{3,4}, 喜田 聰¹ (東大院農, ²東農大生命科学, ³トロント大医, ⁴マウントサイナイ病院ルーネンフェルド・タネンバウム研)

4D6a07 高嗜好性食物を摂食するエピソード記憶形成に対する海馬の役割の解析

10:44 ○高島 咲希, 桑鶴 良文, 喜田 聰 (東大院農)

4D6a08 生体由来マスト細胞における接着分子 CD103 の発現調節機構

10:55 ○石井 健大, 長田 和樹, 西山 千春 (東理大院先進工生命システム)

4D6a09 核内受容体 NR4A3 は樹状細胞の転写調節を制御し, その欠損は接触性皮膚炎の緩和と乾癬の増悪化をもたらす

11:06 ○片桐 万由佳¹, 伊藤 直人¹, 南川 夏己¹, 長田 和樹¹, 吉村 昭彦², 西山 千春¹ (東理大院先進工生命システム, ²慶大医)

4D6a10 筋再生過程における酸化ステロール受容体 LXR の新規機能解析

11:17 ○高瀬 飛天¹, 清水 誠², 堂前 純子³, 山内 祥生¹, 佐藤 隆一郎¹, 佐々木 崇¹ (東大院・農生科・応生化, ²お茶大・基幹研究院, ³中部大院・応生)

a11～a13 発表者の接続時間 11:28～11:36

4D6a11 前頭前野における新規食物摂食経験を記憶するエングラムニユーロンの発見

11:36 ○福山 雄大¹², 石川 理絵¹, 山本 航史¹, 喜田 聰¹ (東大院農, ²学振特別研究員)

4D6a12 時間帯依存的記憶想起制御に対する海馬グリコーゲンホスホリラーゼの役割の解析

11:47 ○張思南, ボーグ ジェームス, 喜田 聰 (東大院農)

4D6a13 *Caenorhabditis elegans* の生殖線発達におけるヒストンバリアント H2A.Z の機能解析

11:58 ○堀井 菜摘¹, 北川 紗帆², 原田 昌彦¹ (東北大院農, ²金沢大ナノ生命)

D7 会場 午前の部(9:30～11:58)

生物科学—タンパク質・ペプチド科学-構造, 機能, その他—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

4D7a01 魚菌ハイドロフォビン RolA の自己組織化経路とその制御機構の解明

9:30 ○高橋 尚央¹, 寺内 裕貴², 田中 拓未³, 吉見 啓⁴, 藤浩⁵, 阿部 敬悦¹ (東北大院農, ²山口大中高温研, ³阪大院工, ⁴京大院地環学, ⁵東北大AIMR)

4D7a02 耐性機構から紐解く節足動物由来抗菌ペプチドの作用メカニズム

9:41 ○下田 蒼¹, 小川 拓也², 川本 純², 戸部 隆太¹, 栗原 達夫², 米山 裕¹ (東北大院農, ²京大院農)

4D7a03 クライオトラップ法によるセルロース分解酵素 BcsZ の反応中間体構造解析

9:52 ○高崎 佑也¹, 藤原 孝彰^{1,2}, 南後 恵理子^{1,2} (東北大院理, ²東北大多元研)

4D7a04 The anti-COVID-19 function research of lectins from microalgae.

10:03 ○ZHENGGUANG WANG (Graduate School of Agricultural Science Tohoku University.)

4D7a05 プロテオーム解析によるヒ素凝集タンパク質の同定

10:14 ○河合 野間 繁子¹, 大塚 康児¹, 後藤 千穂¹, 丹羽 達也², 田口 英樹², 神谷 克政³, 佐藤 成樹⁴, 田中 佑樹⁵, 小椋 康光⁵, 梅野 太輔⁶ (千葉大工, ²東工大生命理工, ³神奈川工大, ⁴千葉大理, ⁵千葉大薬, ⁶早大理工)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

4D7a06 甲殻類の赤色色素凝集ホルモンのレトロインペルソペプチドの化学合成と機能解析

10:33 ○片山 秀和¹, 古川 雄裕², 竹内 梨乃², 筒井 直昭², 山根 史裕³, 大平 剛⁴ (東海大工, ²三重大院生資, ³三重栽培セ, ⁴神奈川大理)

4D7a07 魚菌 *A. oryzae* の酸性ハイドロフォービン HypG および融合酵素の精製と物性解析

10:44 ○増子 綾乃^{1,2}, 錦見 京樹^{1,2}, 藤原 里緒^{1,2}, 中島 春紫^{1,2} (明大, ²農化)

4D7a08 超好熱性サチライシン様プロテアーゼの大量生産系の開発

10:55 ○上原 了¹, 西崎 栄登¹, 雨坂 心人², 高野 和文²,
松村 浩由¹, 田中 俊一² (¹立命館大・院生命, ²京都府大・院生環)

4D7a09 タンパク質性足場 CutA1 を利用したナノバイオ界面における高次構造体の設計と利用

11:06 ○今中 洋行, 川上 達磨, 光成 麻耶, 今村 維克 (岡山大環生自科)

4D7a10 サンゴ由来レクチン AML-I の活性制御と多量体化による構造変化の解明

11:17 ○高橋 優希, 郷田 秀一郎 (創価大院理工)

a11～a12 発表者の接続時間 11:28～11:36

4D7a11 アミロイドベータの線維伸長抑制に関する分子シャペロン GRP78 ドメインの同定

11:36 ○渡邊 和久¹, 迫野 昌文² (¹富山大工, ²富山大院理工)

4D7a12 ER 内在分子シャペロンと ERp29 の複合体形成に関する検討

11:47 ○金 博恩, 迫野 昌文 (富山大院理工)

E1 会場 午前の部(9:30～12:20)

微生物—代謝-発酵生理, 代謝調節/物質生産-醸造, 発酵(一次代謝産物)一

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

4E1a01 *Streptomyces coelicolor* A3(2)の抗生物質生産に及ぼすアセトフェノンの影響

9:30 ○中島 菜々海¹, 石井 花奈², 本間 鳩太¹, 伊藤 晋作^{1,2},
矢嶋 俊介^{1,2}, 佐々木 康幸^{1,2} (¹東農大院バイオ, ²東農大バイオ)

4E1a02 SCO0199 は放線菌 *Streptomyces coelicolor* A3(2)のNO₂ ホメオスタシスを維持する

9:41 ○向後 美野里, 吉住 友希, 渋井 佑生子, 本間 鳩太,
伊藤 晋作, 矢嶋 俊介, 佐々木 康幸 (東農大院バイオ)

4E1a03 酢酸菌に特徴的な細胞表面酸化代謝が生育に与える効果

9:52 吉富 宙¹, 平田 花織¹, ○片岡 尚也^{1,2}, 松下 一信^{1,2},
薬師 寿治^{1,2} (¹山口大・院創成科, ²山口大・中高温微セ)

4E1a04 *Acetobacter pasteurianus* の C3 化合物代謝におけるコハク酸: アセチル CoA CoA 転移酵素(Aarc)の役割

10:03 村上 果穂¹, 片岡 尚也^{1,2}, 松下 一信^{1,2}, 松谷 峰之介³,
○薬師 寿治^{1,2} (¹山口大・院創成科学, ²山口大・中高温微研セ,
³東京農大・ゲノム)

4E1a05 発酵細菌 *Pelosinus* sp. IPA-1 株がヒ素存在下で発現するタンパク質の網羅的解析

10:14 ○松尾 晏佳¹, 山村 茂樹², 黒田 真史³, 天知 誠吾⁴ (¹千葉大園芸, ²国環研, ³常葉大社会環境, ⁴千葉大院園芸)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

4E1a06 味噌・醤油酵母 *Zygosaccharomyces* sp. における接合性 a 特異的発現機構の解析

10:33 ○小出 琴理, 尾形 智夫 (前工大院・生物工学専攻)

4E1a07 味噌・醤油酵母 *Zygosaccharomyces* sp. の転写因子 Ste12 の天然変性領域の解析

10:44 ○木村 和佳奈, 尾形 智夫 (前工大院・生物工学専攻)

4E1a08 高塩条件が味噌・醤油酵母の接合に与える影響について

10:55 ○須藤 美羽, 藤井 聖愛, 濑戸 菜々子, 尾形 智夫 (前工大・生物工)

4E1a09 清酒における真性火落菌の迅速な定量法の開発と火落ちリスクの評価に関する検討

11:06 ○高橋 正之, 森川 佳奈, 赤尾 健 (酒総研)

4E1a10 酪菌ゲノム編集育種用マーカーの開発

11:17 ○織田 健¹, 上田 佳佑^{1,2}, 島本 和美¹, 林 梨咲¹,
赤尾 健^{1,2} (¹酒総研, ²広大院統合生命)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

4E1a11 Production of glyceric acid using engineered *Escherichia coli*

11:36 ○Sarah Abdelnaser, Long Bui Hoang Dang, Yuji Aso
(Kyoto institute of technology)

4E1a12 ナフタレンボロン酸を用いた培養液からのグリセリン酸の反応抽出

11:47 ○青木 啓太朗, リソリカルド, 麻生 裕司 (京工織大院・バイオベース)

4E1a13 フォトクリック反応とフルオラスタグ法を用いたイタコン酸類縁体生産菌の迅速分離

11:58 ○數土 綾乃, 片岡 親良, 麻生 裕司 (京工織大院・バイオベース)

4E1a14 タルク添加によるヒドロキシヘキシリイタコン酸の発酵生産性向上

12:09 ○麻生 裕司, 片岡 親良, 數土 綾乃 (京工織大院・バイオベース)

E2 会場 午前の部(9:30～12:20)

微生物—細胞-細胞応答, ストレス応答, 情報伝達, 細胞外膜小胞一

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

4E2a01 出芽酵母 TORC1 の上流因子 SEACAT と相互作用するタンパク質の同定

9:30 ○市川 宙¹, 芝田 篤史¹, 加藤 祐介¹, 三岡 哲生¹,
井野 洋子², 木村 弥生², 阿部 文快¹ (¹青山学院大・理工, ²横浜市大・先端研)

4E2a02 *Saccharomyces cerevisiae* プロテインキナーゼ C の HR1 ドメインの機能解析

9:41 ○井潤 和也¹, 野村 亘^{1,2}, 井上 善晴¹ (¹京大院農, ²京大・生理化学研究ユニット)

4E2a03 グルタチオンは分裂酵母の栄養制御に関わる細胞間コミュニケーション分子である

9:52 ○吉住 倭太朗^{1,2}, 三浦 俊一¹, 松山 晃久^{1,2}, 八代田 陽子²,
吉田 稔^{1,2,3}, 西村 偵一^{1,3,4} (¹東大院農, ²理研CSRS, ³東大・微生物連携機構, ⁴広島大院・統合生命)

4E2a04 マクロファージにおけるアラキドン酸代謝物 PGE₂ を介した酸化ステロール産生のフィードバック調節機構

10:03 ○西村 瑞希¹, 斎藤 穂高¹, 落合 翔², 原 俊太郎²,
佐藤 隆一郎³, 山内 祥生¹ (¹東大院・農生科・応生化, ²昭和大薬)

4E2a05 分裂酵母の核肥大化メカニズムの解析

10:14 ○久米 一規¹, Nurse Paul² (¹広島大学, ²フランシスク・リック研究所)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

4E2a06 出芽酵母の S-アデノシルホモスチインによる寿命延長機構の解析

10:33 ○吉田 未来¹, 益村 晃司², 吉原 優希², 小川 貴史²,
水沼 正樹² (¹広島大工, ²広島大院統合生命)

4E2a07 S-アデノシルホモスチインによる酸化ストレス耐性機構の解析

10:44 ○金地 美由子¹, 小川 貴史², 益村 晃司², 水沼 正樹²
(¹広島大工, ²広島大院統合生命)

4E2a08 *Aspergillus* 属糸状菌における異種タンパク質生産に対する応答

10:55 ○野口 絵理奈¹, 三澤 恒汰², 張 斯来², 五味 勝也²,
新谷 尚弘² (¹東北大農, ²東北大院農)

4E2a09 糜菌 *Aspergillus oryzae* の同株のコロニー間で生じる増殖抑制の制御メカニズムの解明

11:06 ○浜中 祐弥¹, 片山 瑞也^{1,2}, 黒田 裕樹³, 丸山 潤一^{1,2}
(¹東大院・農生科・応生工, ²東大・微生物連携機構, ³慶應大・環境情報)

4E2a10 糸状菌間相互作用に関する *Trichoderma* 属の揮発性化合物(VOCs)の解析

11:17 ○中村 洋¹, 浦山 俊一^{2,3}, 萩原 大祐^{2,3} (1筑波大・生命農学, ²筑波大・生命環境系, ³筑波大・MiCS)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

4E2a11 *Aspergillus nidulans* における 2 つの遺伝子クラスターを介した NO ストレス耐性機構の機能解明

11:36 ○進士 恭誠, 天久 まどか, 桧尾 俊介, 高谷 直樹 (筑波大・生命環境/MiCS)

4E2a12 *Aspergillus* 属糸状菌における糖アナログによるアミラーゼ生産誘導の差異

11:47 ○沼本 穂¹, 森山 貴博², 田邊 理子², 寄立 麻琴², 平井 剛², 加藤 直樹¹ (1摂大農, ²九大院薬)

4E2a13 ST 合剤を用いた大腸菌の二剤併用薬剤耐性進化実験

11:58 ○後藤 琉¹, 小谷 葉月², 吹谷 智¹, 古澤 力^{2,3}, 前田 智也^{1,2} (1北大院農, ²理研, ³東大院理)

4E2a14 他の腸内細菌存在下における大腸菌の薬剤耐性進化実験

12:09 ○永野 有佳理¹, 小谷 葉月², 吹谷 智¹, 古澤 力^{2,3}, 前田 智也^{1,2} (1北大院農, ²理研, ³東大院理)

E3 会場 午前の部(9:30～12:20)

有機化学, 天然物化学—生合成—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

4E3a01 フタホシコオロギの ELOVL の同定と機能解析

9:30 ○寺坂 優里, 永田 晋治 (東大院新領域)

4E3a02 エクダイソノン生合成候補中間体の脱皮活性評価

9:41 ○小野 肇¹, 船橋 智輝¹, 藤永 大輝², 齊藤 悅基¹, 片岡 宏誌² (1京大院農, ²東大院新領域)

4E3a03 ハロ酸デハロゲナーゼ様フォスファターゼと融合したバクテリア由来テルペノン環化酵素の構造的洞察

9:52 ○藤山 敬介, 高木 海, VO Nhu Ngoc Quynh, 森田 直子, 高橋 俊二 (理研CSRS)

4E3a04 Iron-sulfur protein catalyzed [4+2] cycloadditions in verticilactam biosynthesis

10:03 ○Yu ZHENG¹, Katsuyuki Sakai¹, Kohei Watanabe², Hiroshi Takagi¹, Yumi Sato-Shiozaki¹, Yuko Misumi³, Yohei Miyanoiri³, Genji Kurisu³, Toshihiko Nogawa¹, Ryo Takita^{2,4}, Shunji Takahashi¹ (1RIKEN CSRS, ²The Univ. of Tokyo, ³Osaka Univ., ⁴Univ. of Shizuoka)

4E3a05 維管束植物とは全く異なる進化を遂げた蘇類イソブレン合成酵素の解析

10:14 ○川上 哲也¹, 野中 彩智², 宮崎 翔³, 川出 洋^{1,2} (1東農工大院農, ²東農工大農, ³東農工大GIR)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

4E3a06 ゲノム比較解析を用いたアゾキシアルケン化合物の生合成機構に関する研究

10:33 ○福森 海人¹, 長野 遥¹, 田中 悠¹, 岸本 拓也², 國武 博文², 荒川 賢治^{1,2} (1広島大院・統合生命, ²広島大院・先端研)

4E3a07 放線菌由来 2,3-二置換ブテノラクト型シグナル分子 SRB の分子多様性

10:44 ○秋元 萌々子¹, 平田 朝陽¹, 藤田 葉月¹, 住吉 美保², 大塚 みゆき³, 松浦 舞紀³, 手島 愛子¹, 荒川 賢治^{1,2} (1広島大院・統合生命, ²広島大院・先端研, ³玉川大・農)

4E3a08 放線菌由来の新規トリプトファンプレニルトランスフェラーゼの発見

10:55 ○辻 瑞紀, 薙 飛, 師 嘉辰, 澄本 慎平, 岡田 正弘 (神奈川大院工)

4E3a09 The structural-guided studies for Amaryllidaceae

O-methyltransferases

11:06 ○Sawyuyu Hnin, Yu Nakashima, Takeshi Kodama, Hiroyuki Morita (Univ. of Toyama)

4E3a10 祖先型設計法を活用したモジュール型ポリケタード合成酵素の構造解析

11:17 ○千菅 太一¹, 滝浪 翔太¹, 廖 增威², 中野 祥吾¹, 伊藤 創平¹, 工藤 史貴³, 江口 正³, 宮永 顯正^{2,4} (1静県大院・薬食生命, ²東大院農生科, ³東工大理, ⁴東大CRIIM)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

4E3a11 非リボソームペプチオ環化酵素を用いた head-to-side chain 型環状ペプチドの化学-酵素合成

11:36 小林 雅和, ○松田 研一, 脇本 敏幸 (北大院薬)

4E3a12 カイトセファリンの生合成研究

11:47 ○前野 優香理¹, 斎藤 直也¹, 白石 太郎^{1,2}, 小川 哲弘^{1,2}, 丸山 潤一^{1,2}, 新家 一男³, 葛山 智久^{1,2} (1東大院農, ²東大・微生物連携機構, ³産総研)

4E3a13 Studies on terpene synthases from cyanobacteria

11:58 ○JIAYI YU¹, TARO SHIRAIKI^{1,2}, AYAKO YOSHIDA^{1,2}, TOMOHISA KUZUYAMA^{1,2} (1GSALS, Dept. Biotechnol., Univ. Tokyo, ²CRIIM, Univ. Tokyo)

4E3a14 Studies on the biosynthesis of phenazine derivatives from Streptomyces purpofuscus and S. prunicolor

12:09 ○Dan XIA¹, Qi LUO¹, Taro SHIRAIKI^{1,2}, Shin-ya Kazuo³, Tomohisa KUZUYAMA^{1,2} (1GSALS, Dept. Biotechnol., Univ. Tokyo, ²CRIIM, Univ. Tokyo, ³AIST)

E4 会場 午前の部(9:30～11:28)

微生物—細胞-構造, オルガネラ, 小胞, 分泌, 細胞構成分子—

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

4E4a01 ESCRT はメタノール酵母 *Komagataella phaffii* のミクロペキソファジーに必要である

9:30 ○石垣 風斗¹, 白石 晃将¹, 光部 雅俊¹, 奥 公秀², 阪井 康能¹ (1京大院農, ²京都先端科学大バイオ環境)

4E4a02 魚菌のヌクレオファジーでは核全体が液胞を介して分解され, AoAtg11 はその効率化に関与する

9:41 ○橋本 真宇¹, 山口 誉登¹, 木村 聰², 有岡 学^{1,3} (1東大院農・応生工, ²東大院農・技術基盤センター, ³東大・微生物連携機構)

4E4a03 魚菌における核の増加と菌糸形態および酵素生産性の関連

9:52 ○井谷 綾花¹, 一ノ瀬 恵¹, 細田 栄志¹, 高谷 直樹¹, 織田 健², 山下 秀行³, 酒井 香奈江⁴, 田中 拓未⁴, 楠本 憲一⁴, 竹下 典男¹ (1筑波大・MiCS, ²酒類研, ³樋口松之助商店, ⁴阪大院工)

4E4a04 新規因子 *KpATG14* はメタノール資化性酵母 *Komagataella phaffii* のペキソファジーに必要である

10:03 ○有馬 ゆみ¹, 中村 元春¹, 中辻 拓実¹, 奥 公秀², 白石 晃将¹, 阪井 康能¹ (1京大院農, ²京都先端科学大バイオ環境)

4E4a05 糸状菌 *Aspergillus nidulans* における PE 合成酵素の生理的機能の解析

10:14 ○楊 淳児¹, 岩間 亮^{1,2}, 福田 良一^{1,2}, 堀内 裕之^{1,2} (1東大院農生科・応生工, ²東大・微生物連携機構)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

4E4a06 糸状菌の胞子発芽を特徴付ける脂質成分の探索

10:33 ○岩間 亮^{1,2}, 岡橋 伸幸³, 松田 史生³, 堀内 裕之^{1,2} (1東大院農生科・応生工, ²東大・微生物連携, ³阪大・院情報)

4E4a07 糸状菌由来新規ステロールアミノ酸誘導体の発見および生理機能解析

10:44 ○横川 大祐¹, 今井 誠¹, 立松 俊祐¹, 佐賀 裕亮¹, Frederic Fischer², Hubert D. Becker², 中島 春紫¹, 久城 哲夫¹ (明治大院農, ²ストラスブル大)

4E4a08 霉菌 *Aspergillus oryzae* におけるコアオートファジータンパク質 Atg8 と相互作用するタンパク質の機能解析

10:55 ○坂根 巧, 武田 陽一, 菊間 隆志 (立命大院生命)

4E4a09 単核糸状菌イネいもち病菌における部分的な多核化

11:06 ○北 遥生, 宮本 雅史, 荒添 貴之, 鎌倉 高志 (東理大院創域理工)

4E4a10 ヒト iPS 細胞由来骨格筋細胞およびマウス筋芽細胞を用いた筋細胞成熟化誘導法の開発

11:17 ○牧野 巧¹, 櫻井 英俊², 佐藤 隆一郎¹, 山内 祥生¹ (東大院農, ²京大iPS細胞研究所)

E5 会場 午前の部(9:30~12:20)

微生物—細胞-栄養, 生育, 増殖, 培養/物質生産-微生物変換, 酵素反応, 機能性高分子—

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

4E5a01 ゲルマイクロドロップレットを用いた油糧微生物の超高効率な変異育種法の開発

9:30 ○中村 彰宏¹, 田中 裕真², 鈴木 義之¹, 丸田 航大¹, 志田 洋介¹, 小笠原 渉¹ (長岡技科大・工, ²筑波大・数理物質)

4E5a02 油脂生産酵母 *Lipomyces starkeyi* における生育・油脂生産に関与する因子の解析

9:41 ○司東 来珠¹, 丸田 航大¹, 田中 裕真², 中村 彰宏¹, 鈴木 義之¹, 森 一樹³, 佐藤 里佳子⁴, 田代 康介³, 志田 洋介¹, 高久 洋曉⁴, 小笠原 渉¹ (長岡技科大・工, ²筑波大・数理物質, ³九大・農, ⁴新潟薬科大・応生命)

4E5a03 植物葉圧から酵母の単離・同定と生物間相互作用の解析

9:52 ○重田 佳奈, 白石 晃将, 由里本 博也, 阪井 康能 (京大院農)

4E5a04 出芽酵母の SAM 輸送に関与すると予想される Ssg1 による寿命延長メカニズム

10:03 ○川寄 紗矢佳¹, 益村 晃司², 金井 宗良³, 米山 香織⁴, 河田 美幸⁴, 関藤 孝之⁴, 小川 貴史², 水沼 正樹² (広島大工, ²広島大院統合生命, ³酒總研, ⁴愛媛大農)

4E5a05 S-アデノシルホモシステイン加水分解酵素が関与する寿命制御機構の解析

10:14 ○益村 晃司, 山下 陽彩, 小川 貴史, 水沼 正樹 (広島大院統合生命)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

4E5a06 培地の鉄可用性が関わる酵母の栄養飢餓適応戦略

10:33 ○松浦 彰¹, 岸 裕子² (千葉大院理, ²千葉大院融合理工)

4E5a07 分裂酵母の一生を見る

10:44 ○中岡 秀憲 (京大院生命)

4E5a08 出芽酵母におけるキヌレン酸によるロイシン要求量の増加

10:55 ○大橋 一登 (群大生調研)

4E5a09 タケチップを含む培地で培養した *Ganoderma sinense* およびマンネンタケ (*Ganoderma lucidum*) が有する免疫チェックポイント阻害活性および抗アレルギー活性

11:06 ○小堀 一^{1,2}, 安間 太郎³, 戸田 雅明³, ダレッサンドロガバザコリナ³, ガバザエステバン³ (岩出菌学研究所, ²静大キノコ科学研究所, ³三重大医)

4E5a10 栄養応答シグナル伝達因子 mTORC1 による RNA スプライシングを介した成長・寿命制御機構

11:17 ○小川 貴史¹, BLACKWELL T. Keith², 水沼 正樹¹ (広大院統合生命, ²ハーバード医大院ジョスリン糖尿病センター)

a11~a14 発表者の接続時間 11:28~11:36

4E5a11 ヤギ腸内細菌叢を用いた C-配糖体 mangiferin からアグリコン norathyriol への微生物変換

11:36 ○宇賀 悠人¹, HASANAH Uswatun¹, 三木 香澄¹, 柚木 宏之², 川上 秀昭², 西谷 洋輔², 桑原 浩誠², 仁戸田 照彦¹, 神崎 浩¹ (岡山大院・環境生命, ²丸善製薬・総合研究所)

4E5a12 水素添加反応及び酢酸菌を用いた各種炭糖七炭糖生産

11:47 ○綿貫 花菜¹, 高松 陽太¹, 望月 進^{1,2}, 花木 祐輔^{1,2}, 吉田 裕美²³, 神鳥 成弘²³, 何森 健^{1,2}, 吉原 明秀^{1,2} (香川大院農, ²香川大國際希少糖, ³香川大医)

4E5a13 *Thermus thermophilus* HB8 由来トランスアルドラーーゼを用いた九炭糖生産

11:58 ○三好 恵梨佳¹, 望月 進^{1,2}, 花木 祐輔^{1,2}, 神鳥 成弘²³, 何森 健^{1,2}, 吉原 明秀^{1,2} (香川大院農, ²香川大國際希少糖, ³香川大医)

4E5a14 *Klebsiella pneumoniae* 40b 由来ポリオールデヒドロゲナーゼと *Lactobacillus rhamnosus* 由来 L-ラムノースイソメラーゼを用いた L-タロース生産

12:09 ○山本 菜帆¹, 吉田 裕美²³, 倉原 琳⁴, 望月 進^{1,3}, 吉原 明秀^{1,3} (香川大院農, ²香川大総合生命科学医, ³香川大國際希少糖, ⁴香川大自律機能生理学医)

E6 会場 午前の部(9:30~12:20)

微生物—細胞-複合微生物, 共生微生物, 難培養性微生物—

a01~a05 発表者の接続時間 9:22~9:30

4E6a01 定量 PCR 解析によるヒト糞便中のデオキシコール酸生成菌の存在量の解明

9:30 ○原田 恵¹, 前田 智也¹, 後藤 恒宏², 林 哲也², 吹谷 智¹ (北大院農, ²九大院医)

4E6a02 Screening of deoxycholic acid-producing bacteria from human feces

9:41 ○Ni Wayan Eka Putri Gayatri KASTAWA, Tomoya MAEDA, Satoru FUKIYA (Res. Facul. Agr., Hokkaido Univ.)

4E6a03 枯草菌を用いたセグメント細菌ゲノムの機能解析

9:52 ○田中 淑起¹, 荻野 竜司¹, 小椋 義俊², 桑原 知巳³, 朝井 計¹ (東農大・バイオ, ²久留米大・医・感染医, ³香川大・医分子微生物)

4E6a04 定量的 16S rRNA アンプリコン解析法の検証

10:03 中村 圭佑, 田代 幸寛, ○大城 麦人 (九大院農)

4E6a05 Metagenomic insights for naphthalene-degrading bacteria obtained by droplet-based microfluidics

10:14 ○CHONGYANG YANG^{1,2}, Satoko MATSUKURA², Chiho SUZUKI-MINAKUCHI^{1,3}, Kazunori OKADA¹, Naohiro NODA², Hideaki NOJIRI^{1,3} (AgTECH, Grad. Sch. Agri. Life Sci., UTokyo, ²BRI, AIST, ³CRIIM, UTokyo)

a06~a10 発表者の接続時間 10:25~10:33

4E6a06 ゲル充填マイクロウェルアレイデバイスによるナフタレン分解菌群の取得と解析

10:33 ○劉 禹忻¹, 楊 重陽¹, 張 詩芸², 水口 千穂^{1,3}, 佐々 文洋², 野尻 秀昭^{1,3} (東大院・農生科・AgTECH, ²九州大・システム情報科学研究院, ³東大・微生物連携機構)

4E6a07 有機塩素系殺虫剤分解細菌コミュニティの再構築

10:44 ○手塚 隆博, 岸田 なつみ, 加藤 広海, 岸田 康平, 大坪 嘉行, 永田 裕二 (東北大院・生命科学)

4E6a08 フロー型アピカル嫌気培養器 SMZ-II を用いた腸上皮細胞の嫌気性腸内細菌に対する応答

10:55 ○石川 秀紀¹, 坂本 佳純¹, 後藤 愛那¹, 高橋 実花子², 米田 恭子², 橋本 豊之², 加藤 紀彦¹, 片山 高嶺¹ (1京大院生命, 2島津製作所基盤研)

4E6a09 日本人に特徴的な還元的酢酸生成菌の多様性解析と共培養実験による酢酸生成への寄与

11:06 ○山口 啓¹, 山田 千早¹, 加藤 創一郎² (1明治大・農, 2産総研・生物プロセス)

4E6a10 嫌気性腸内細菌と腸管上皮細胞の共培養システムの開発

11:17 ○土井 かおる¹, 加藤 紀彦¹, 後藤 愛那¹, 阪中 幹祥¹, 小酒井 智也¹, 中島 有登¹, 小西 悠月¹, 山本 英², 佐々木 淳³, 神戸 大朋¹, 片山 高嶺¹ (1京大院生命, 2株式会社東洋製作所, 3東洋漉紙株式会社)

a11～a14 発表者の接続時間 11:28～11:36

4E6a11 植物葉上共生細菌 *Methylorum extorquens* AM1 のメタノールデヒドロゲナーゼアイソザイムに関する研究

11:36 ○三井 亮司, 高橋 莉史, 竹内 赴登, 友村 聰美, 矢野 嵩典 (岡山理大生命)

4E6a12 微生物間共生とシトクロムオキシダーゼの分布

11:47 ○上田 賢志, 熊本 康平, 向山 陸, 馬場 悠史, 薄井 拓海, 西山 辰也 (日大生資科)

4E6a13 大腸菌による異種ギ酸トランスポーターのギ酸取り込み能の解析検討とその適応

11:58 ○矢原 拓弥¹, 高坂 智之² (1山大院農, 2山大中高微セ)

4E6a14 海洋生物の体色を構成する水溶性の色素結合タンパク質に関する研究

12:09 ○山崎 良介, 金子 隆之, 高市 真一, 川崎 信治 (東農大院微生物)

E7 会場 午前の部(9:30～11:58)

食品—食品化学-糖質, 脂質/食品化学-その他

a01～a05 発表者の接続時間 9:22～9:30

4E7a01 ヒト嗅覚受容体応答を改善する新規分子シャペロンの発見

9:30 ○金子 龍成¹, 尾城 一恵¹, 柏木 貴裕², 寺田 育生², 星野 邦秀², 寺田 祐子¹, 伊藤 圭祐¹ (1静岡県大院薬食, 2高砂香料工業株式会社 研究開発本部)

4E7a02 ヒト嗅覚受容体応答評価システムにおける N 末端 tag の最適化

9:41 ○尾城 一恵, 勝山 韶, 金子 龍成, 寺田 祐子, 伊藤 圭祐 (静岡県立大学)

4E7a03 ヒト嗅覚受容体応答を指標とした畜肉の判別解析

9:52 ○高田 こはる, 寺田 祐子, 伊藤 圭祐 (静岡県大院薬食)

4E7a04 市販ブレーンヨーグルトの揮発性化合物による特徴解析

10:03 ○齋藤 和子 (株式会社 明治)

4E7a05 *Lactococcus lactis* が有するセリンラセマーゼの酵素局在検討および遺伝子クローニング

10:14 ○加藤 陽菜子, 庄子 真樹, 金内 誠 (宮城大院食産)

a06～a10 発表者の接続時間 10:25～10:33

4E7a06 液体塩こうじ副産物が有する辛味・旨味作用物質の探索

10:33 ○山本 英作¹, 白井 伸生¹, 高橋 健司¹, 野田 韶子², 千葉 智¹ (1ハナマルキ(株), 2お茶の水女子大学)

4E7a07 味噌汁の保温にともなう香気特性の変化とそれに関わる要因成分の解明

10:44 ○塩澤 天真¹, 貞鍋 太成¹, 亀山 龍¹, 山田 悠斗², 飯島 陽子¹ (1工学院大先進工, 2神奈川工科大健康医療)

4E7a08 味噌の調理学的特性

10:55 ○有住 茉莉, 金内 誠 (宮城大院食産)

4E7a09 *Malabaricone* 類による 5-リポキシゲナーゼ活性阻害

11:06 ○川上 祐生, 高原 明日香, 岩岡 裕二, 戸田 圭祐, 津嘉山 泉, 山本 登志子, 伊東 秀之, 高橋 吉孝 (岡山県大保福)

4E7a10 食パンの膨化に影響を及ぼすモリンガの葉含有成分

11:17 ○黒須 友里愛, 郡山 貴子, 細谷 孝博 (東洋大院食環境)

a11～a12 発表者の接続時間 11:28～11:36

4E7a11 L-dopa の自動酸化を制御する食品由来成分の探索

11:36 ○小林 諒馬, 郡山 貴子, 細谷 孝博 (東洋大食環境)

4E7a12 アルギン酸の M/G 比算出のための加水分解条件の検討

11:47 ○稻葉 亮成¹, 関 憧平¹, 石島 大義¹, 柳岡 直樹², 垣田 浩孝² (1日大文理, 2日大院総合基)

各種シンポジウム・セミナー

その他のイベント

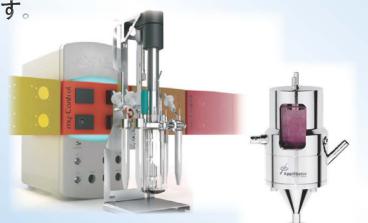
3月24日～3月27日

三洋貿易のバイオプロセスソリューション

ミニバイオリアクタ MiniBio® 250/500 連続培養/細胞分離濃縮装置 BioSep®

NEW

MiniBio® 250は高効率、省スペース、高拡張性を備えた最新のミニバイオリアクタです。



MiniBio® 250/500特長

- 細胞培養/微生物培養対応可能
- 有効容量50-200ml
- 各種ミニセンサーを準備(蛍光式DO、pH、光学式濁度、排ガスなど)
- 試薬・メディア使用量・コスト削減

※BioSep® 細胞デブリ分離濃縮装置を拡張接続可能

所有培養装置シングルユース化しませんか? カスタムシングルユース培養容器 AppliFlex ST/3D®

NEW

シングルユースプロセス評価に最適!

AppliFlex ST/3D® 特長

- 微生物・細胞培養対応可能
- ご希望のヘッドプレート仕様
- アプリケーションに合わせインベラ作成
- シングルユースDO/pHセンサー対応可
- 煩わしい工程作業を簡素化・効率化



センサーフラスコリーダー SFR vario®

NEW

SFR varioは振とうフラスコ用
リアルタイムモニタリングシステムです。

SFR vario 特長

- 溶存酸素、pH、バイオマス(OD)の測定が可能
- リアルタイム培養モニタリング
- ワイヤレスデータ収集でコンタミリスクを低減
- 各種センサーフラスコをご用意



光学式酸素計・pH計・CO₂計

NEW

非接触、非破壊・最小侵襲での測定が可能な装置です。

酸素計OXY-シリーズ 特長

- 非接触センサーチップ、プローブセンサー、ニードル式センサーをご用意
- 気体・液体サンプル双方測定可能
- 酸素電極と異なり、測定で酸素を消費しません
- 炭酸ガス・pH等の干渉はありません
- 1ppbから100%O₂の幅広い濃度域に対応可能
- 長期モニタリングとデータ管理が可能



三洋貿易株式会社

ライフサイエンス事業部
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目11番地 三洋安田ビル
TEL 03-3518-1196 FAX 03-3518-1237
URL: <http://www.sanyo-si.com/> e-mail: info-si@sanyo-trading.co.jp

シンポジウムプログラム

3月25日（月）9:30～12:00

2S01A1a 微生物の機能を拡張し、制約から解き放つ Unleashing the Power of Microbes Beyond Their Constraints

3月25日（月）9:30～12:00

後援：環境バイオテクノロジー学会

世話人：豊福 雅典（筑波大生命環境）、水口 千穂（東大院農）

座長：豊福 雅典（筑波大生命環境）、水口 千穂（東大院農）

- 9:30 2S01A1a-01 ミニマルセルを用いた細菌の高次機能の再構築 ○柿澤 茂行（産総研）
10:00 2S01A1a-02 接接合伝達機構を介した核酸輸送による微生物制御に関する研究 ○岸田 康平（東北大・院生命）
10:30 2S01A1a-03 The potential of cell-penetrating peptides as biomolecules carriers and its application in bacterial manipulation
..... ○Tetsushi Mori, Daichi Toyohara, Yasuhito Yokoi, Yugo Kawabuchi, Ernest Chandra, Go Inoue, Takahiro Muraoka (Tokyo Univ. Agric. and Tech.)
11:00 2S01A1a-04 アルコールに対する大腸菌のストレス応答とその1細胞解析 ○加藤 節（広島大院統合生命）
11:30 2S01A1a-05 Optoenergetic cell factory の創製とその産業応用 ○原 清敬（静県大院食栄環）

2S02A2a 化学昆虫学～新たな視点からの昆虫科学の展開 Chemistry in Insect Sciences-New Perspectives in Insect Science-

3月25日（月）9:30～12:00

世話人：森 直樹（京大院農）、塙月 孝博（島根大生物資源）

座長：森 直樹（京大院農）、塙月 孝博（島根大生物資源）

- 9:30 2S02A2a-01 昆虫の食性とステロール化合物の獲得戦略 ○永田 晋治（東大院新領域）
9:55 2S02A2a-02 鱗翅目害虫に対するリンゴ果実の防御応答
..... ○吉永 直子¹, 大畑 勇統¹, 石栗 陽一², 森 直樹¹ (¹京大院農, ²青森産技セ)
10:20 2S02A2a-03 幼若ホルモンの分子作用機構の解明と創農薬 ○粥川 琢巳（農研機構（生物研））
10:45 2S02A2a-04 カロテノイドによるトビバッタの体色発現 ○管原 亮平（弘前大農生）
11:10 2S02A2a-05 昆虫の嗅覚受容体を発現させたセンサ細胞による匂いセンシング技術の開発
..... ○光野 秀文¹, 祐川 侑司¹, 櫻井 健志², 神崎 亮平¹ (¹東大先端研, ²東農大農)
11:35 2S02A2a-06 アリと共生する昆虫の多様性 ○丸山 宗利（九大博）

2S03A3a 食品成分による脂質代謝制御 Regulation of lipid metabolism by food ingredients

3月25日（月）9:30～12:00

世話人：井上 順（東京農大応生）、高橋 信之（東京農大応生）

座長：井上 順（東京農大応生）、高橋 信之（東京農大応生）

- 9:30 2S03A3a-01 ビタミン A 代謝変動により非アルコール性脂肪肝炎を抑制させる玄米の効果について
..... ○山本 祐司（東京農大）
10:00 2S03A3a-02 レポーターシステムを活用した熱産生脂肪細胞活性化因子の探索と機能評価
..... ○後藤 剛^{1,2}, 川原崎 聰子¹, 高橋 春弥¹, 井上 和生^{1,2} (¹京大院農, ²京大・CPIER)
10:30 2S03A3a-03 SREBP 活性の抑制と免疫系を介した臓器線維化抑制作用 ○煙山 紀子（東京農大）
11:00 2S03A3a-04 NAD⁺ 代謝制御酵素の発現調節を介した脂肪細胞の質的制御
..... ○三谷 墓一^{1,2} (¹信大農, ²信大院農学専攻・食品生命)
11:30 2S03A3a-05 脂質代謝改善作用をもつ食品由来成分の探索 ○井上 順（東京農大）

2S04A4a 農芸化学における有機合成の新展開：複合領域に挑む若手研究者たち New Developments in Organic Synthesis in Applied Biological Chemistry : Young Researchers Advancing into Multidisciplinary Areas

3月 25 日 (月) 9:30~12:00

共 催：学術変革領域 A 「マテリアル・シンバイオシスのための生命物理化学」

世話人：小倉 由資 (東大院農生科)

座 長：小倉 由資 (東大院農生科), 若森 晋之介 (東農大生命科学), 佐藤 伸一 (東北大学際研)

9:30	はじめに	小倉 由資 (東大院農生科)
9:35	2S04A4a-01 天然物の成り立ちをひもとく有機合成化学	○榎本 賢 (東北大院農)
10:03	2S04A4a-02 テルペノイド研究の加速を目指した有機合成化学研究	○中山 淳 (阪大院理)
10:31	2S04A4a-03 ADP-リボース鎖分子の自在化学合成のための効率合成法の開発	○田中 秀則 (岐阜大iGCORE)
10:59	2S04A4a-04 生物活性分子の標的同定を指向したタンパク質熱変性の可視化プローブ開発	○佐藤 伸一 (東北大学際研)
11:27	2S04A4a-05 凝集体形成を利用した Activatable 型ラマンプローブによる酵素活性イメージング	○神谷 真子 (東工大生命理工)
11:55	おわりに	佐藤 伸一 (東北大学際研)

2S05B6a 深海を耕せ - 生物鉱学の創成

Cultivate deep-sea! ~Creation of the BIOre-concept

3月 25 日 (月) 9:30~12:00

共 催：科研費学術変革領域研究 B 「生物鉱学の創成」

協 賛：極限環境生物学会, 日本地球化学会, 資源・素材学会

世話人：若井 曜 (海洋研・超先鋭)

座 長：若井 曜 (海洋研・超先鋭), 小山 恵史 (早稲田大・理工)

9:30	2S05B6a-01 農芸化学と生物鉱学の融合	○若井 曜 (海洋研・超先鋭)
9:45	2S05B6a-02 海底熱水鉱床の初期生成プロセスにおける微生物活動の重要性	○野崎 達生 ^{1,2,3,4} (1海洋機構資源, 2東大院工, 3神大院理, 4オタワ大院理)
10:18	2S05B6a-03 深海バイオリソースを統合した生物鉱学カルチャコレクション構想	○澄田 智美 (海洋研究開発機構)
10:51	2S05B6a-04 海洋環境における微生物-鉱物反応およびガルバニック腐食反応の速度論的考察	○淵田 茂司 (東京海洋大)
11:24	2S05B6a-05 金属資源開発における陸上・海洋微生物の可能性と展望	○小山 恵史 ¹ , 淵田 茂司 ² , 牧田 寛子 ² , 所 千晴 ^{1,3} (1早稲田大, 2東京海洋大, 3東大)
11:57	おわりに	若井 曜 (海洋研・超先鋭)

3月 25 日 (月) 13:50~16:20

2S06A2p アミノ酸・代謝物の生物学的・栄養学的機能

Biological and nutritional functions of amino acids/metabolites

3月 25 日 (月) 13:50~16:20

共 催：日本アミノ酸学会

世話人：亀井 康富 (京都府立大院生命環境), 高橋 伸一郎 (東京大院農学生命科学)

座 長：亀井 康富 (京都府立大院生命環境), 高橋 伸一郎 (東京大院農学生命科学)

13:50	はじめに	亀井 康富 (京都府立大院生命環境)
13:53	2S06A2p-01 アミノ酸の生理機能	○畠澤 幸乃 (味の素株式会社)
14:17	2S06A2p-02 酵母におけるプロリン資化抑制機構の解明 - プロリンを含まないワイン・ビール製造への挑戦 -	○西村 明 ^{1,2} , 高木 博史 ² (1奈良先端大・バイオ, 2奈良先端大・研推)
14:41	2S06A2p-03 筋萎縮時の統合的メタボローム解析から見えてきたアミノ酸異化産物ポリアミンの代謝変動と筋量制御	○大藪 葵, 亀井 康富 (京都府立大院生命環境科学研究所)
15:05	2S06A2p-04 多能性幹細胞の維持および分化におけるメチオニンの役割	○白木 伸明 (東工大)
15:29	2S06A2p-05 タンパク質栄養状態の悪化による脂肪肝形成機構	○豊島 由香, 吉澤 史昭 (宇大院)
15:53	2S06A2p-06 血中アミノ酸プロファイルが臓器特異的な脂質代謝を制御する	○伯野 史彦 (東大院農)
16:17	おわりに	高橋 伸一郎 (東大院農)

2S07A3p 海洋バイオスフィアからの視座：生分解性プラスチック研究の新潮流 Perspectives from the marine biosphere: new trends in biodegradable plastic research

3月 25日（月） 13:50～16:20

協賛：「ムーンショット型研究開発事業 生分解開始スイッチ機能を有する海洋分解性プラスチックの研究開発 プロジェクト」

世話人：山田 美和（岩手大農）

座長：山田 美和（岩手大農），鈴木 美和（群大食健セ），高相昊（神戸大院科技イノベ）

13:55 2S07A3p-01 海から発見された微生物が活躍するバイオプラスチックの合成と分解研究 ……[○]山田 美和（岩手大農）

14:23 2S07A3p-02 微生物合成プラスチックと化学合成生分解性プラスチックの環境分解性の差異

……………[○]鈴木 美和¹，石井 俊一²，権田 昂平³，鹿島 裕之²，鈴木 志野⁴，
植松 勝之⁵，新井 隆弘⁵，橋 熊野^{1,3}，岩田 忠久⁶，柏谷 健一^{1,3}
(¹群大食健セ，²海洋機構，³群大院理工，⁴JAXA，⁵マリンワーカージャパン，⁶東大院農）

14:51 2S07A3p-03 物性と海洋生分解性を両立した進化型ポリ乳酸 LAHB の研究ストーリー

……………[○]高相昊¹，田口 精一^{1,2}（¹神戸大院科技イノベ，²神戸大先端バイオ）

15:19 2S07A3p-04 実海域における生分解性プラスチックの分解に寄与する生分解菌叢の特定とそれに紐付く分離株の解析

……………[○]楠屋 陽子（製品評価技術基盤機構 バイオテクノロジーセンター）

15:47 2S07A3p-05 環境移送技術を用いた，サンゴ礁生態圏の研究促進 ……[○]高倉 葉太（株式会社イノカ）

2S08A4p 金属主役の次世代の生命科学～金属で生命・食糧・環境を自在に操る！～

Next generation of Life Science with metals ~Regulation of lives, foods and environments by metals~

3月 25日（月） 13:50～16:20

協賛：新学術領域「生命金属科学」

世話人：鈴木 道生（東大院農），神戸 大朋（京大院生命），澤井 仁美（長崎大院工）

座長：鈴木 道生（東大院農），神戸 大朋（京大院生命），澤井 仁美（長崎大院工）

13:50 2S08A4p-01 環境中の硫黄循環を駆動するマルチ金属酵素 ……[○]三原 久明（立命大生命）

14:15 2S08A4p-02 黒いメラニンの生合成には亜鉛が不可欠である ……[○]神戸 大朋（京大院生命）

14:40 2S08A4p-03 バイオミネラリゼーションにおける有機基質の役割 ……[○]鈴木 道生（東大院農）

15:05 2S08A4p-04 重元素同位体比測定技術が解き明かす生命・食糧・環境 ……[○]有賀 智子（産総研・計量標準）

15:30 2S08A4p-05 驚異的な鉄代謝能力を持つヒザラガイの鉄濃縮・沈着メカニズムの解析

……………[○]根本 理子（岡山大・院環境生命）

15:55 2S08A4p-06 鉄を摂取して健康になるための分子科学 ……[○]澤井 仁美（長崎大院工）

2S09B6p 物質生産技術の革新を目指した予知生合成科学

Forecasting Biosynthesis for innovation in material production technology

3月 25日（月） 13:50～16:20

協賛：学術変革領域研究（A）生体反応の集積・予知・創出を基盤としたシステム生物合成科学

世話人：勝山 陽平（東大院農），丸山 千登勢（福井県立大学）

座長：勝山 陽平（東大院農），丸山 千登勢（福井県立大学）

13:50 はじめに ……[○] 勝山 陽平（東大院農）

13:52 2S09B6p-01 非天然化学反応を指向した微生物酵素の探索と遺伝子工学的改変 ……[○] 加藤 俊介（阪大院工）

14:15 2S09B6p-02 キノコが生産するメレオライド類の構造多様化戦略 ……[○] 南 篤志（北大院理）

14:38 2S09B6p-03 生物オミクス情報を用いた新規二次代謝生合成クラスの発見 ……[○] 梅村 舞子（産総研生物プロセス）

15:01 2S09B6p-04 タンパク質の構造ダイナミクスを予測可能とする物理学理論の開発

…[○]新井 宗仁^{1,2,3}，大岡 紘治²，劉 潤晶¹，加藤 沙愛¹，長井 駿³（¹東大院総文，²東大教養，³東大院理）

15:24 2S09B6p-05 RiPPs アナログを用いた中分子創薬 ……[○] 尾仲 宏康（学習院大理）

15:47 2S09B6p-06 Potentials of microbial synthetic biology for the production of fine and speciality chemicals

……………[○]Eriko Takano (The University of Manchester)

16:17 終わりに ……[○] 丸山 千登勢（福井県立大学）

3S10A2a 天然物ケミカルバイオロジーと深層学習の融合による新規生物活性分子の探索と創出)
 The discovery and development of novel bioactive molecules through the combination of natural products chemistry and deep learning

- 3月26日（火）9:30～12:00
 共 催：学術変革領域研究（A）「天然物が織り成す化合物潜在空間が拓く生物活性分子デザイン」
 世話人：上田 実（東北大院理）
 座 長：塚野 千尋（京大院農），菊地 和也（阪大院工），齋藤 駿（慶大理工），上田 実（東北大院理），大上 雅史（東工大院情報）
 9:30 3S10A2a-01 学術変革領域（A）「潜在空間分子設計」領域概要と研究計画
 ◎菊地 和也^{1,2}（¹阪大院工, ²阪大免フロ）
 10:00 3S10A2a-02 放線菌が生産する熱ショック代謝物（HSM）のケミカルバイオロジー
 ◎齋藤 駿, 荒井 緑（慶應義塾大院・理工）
 10:30 3S10A2a-03 植物ホルモン類縁体ライブラリーを用いる天然物ケミカルバイオロジー ◎上田 実（東北大院理）
 11:00 3S10A2a-04 天然物ケミカルバイオロジーを加速する深層学習技術基盤 ◎大上 雅史（東工大情報理工）
 11:30 3S10A2a-05 アロタケタール類の単純化アナログの設計、立体異性体の系統的合成と PKC 結合活性
 ◎塚野 千尋（京大院農）

3S11A3a SDGs に貢献する極限環境微生物の先端科学
 Advanced Science of Extremophiles Contributing to SDGs

- 3月26日（火）9:30～12:00
 協 賛：極限環境生物学会、東洋大学重点研究プログラム・バイオレジリエンス研究プロジェクト（BRRP）
 世話人：伊藤 政博（東洋大生命科）
 座 長：鳴海 一成（東洋大生命科），道久 則之（東洋大生命科）
 9:30 3S11A3a-01 「SDGs に貢献する極限環境微生物の先端科学」シンポジウム開催にあたって
 ◎伊藤 政博（東洋大生命科）
 9:35 3S11A3a-02 新たなフロンティア：高度好塩性古細菌が切り開く塩類集積土壤での持続可能な有用物質生産
 ◎八波 利恵（東工大生命理工学院）
 10:00 3S11A3a-03 南極産菌類の産業利用への挑戦 ◎辻 雅晴^{1,2}（¹旭川工高専物質化学工, ²国立極地研究所）
 10:30 3S11A3a-04 放射線抵抗性細菌由来 DNA 修復促進タンパク質の耐熱化 ◎久保 彩, 鳴海 一成（東洋大BRRP）
 11:00 3S11A3a-05 海洋から単離した細菌のリグニン断片分解代謝の解析と応用展開
 ◎大田 ゆかり（群馬大食健康センター）
 11:30 3S11A3a-06 環境浄化を目指したプラスチック分解菌の単離 ◎東端 啓貴（東洋大生命科）

3S12A4a 【BBB 連携シンポジウム】若手研究者の挑戦：環境とバイオテクノロジーから紡ぐ農芸化学の未来
 The Challenges of Cross-disciplinary Young Researchers : Shaping the Future of Agricultural Chemistry through JST ACT-X “Environments and Biotechnology”.

- 3月26日（火）9:30～12:00
 共 催：JST ACT-X「環境とバイオテクノロジー」領域
 後 援：東京大学微生物科学イノベーション連携研究機構（CRIIM）
 世話人：高田 啓（京産大・生命, ルンド大学・実験医科），岩間 亮（東大院・農生科・応生工, 東大・微生物連携）
 座 長：高田 啓（京産大・生命, ルンド大学・実験医科）
 9:30 「若手研究者の挑戦：環境とバイオテクノロジーから紡ぐ農芸化学の未来」シンポジウム開催にあたって
 野村 暢彦（ACT-X「環境とバイオテクノロジー」領域研究総括／筑波大学）
 9:40 3S12A4a-01 微生物を対象とした翻訳研究の魅力と将来展望 ◎高田 啓^{1,2}（¹京産大・生命, ²ルンド大学・実験医科）
 10:00 3S12A4a-02 先端ラマン・赤外分光技術で拓く1分子から微生物までの化学分析
 ◎加藤 遼^{1,2}（¹徳島大ポストLED, ²理化学研究所）
 10:20 3S12A4a-03 有機化学研究室で生物を扱う ◎宇佐見 享嗣（名大高等研）
 10:40 3S12A4a-04 野生イネ遺伝資源を用いた穂形態の多様性創出機構の解明に向けて
 ◎縣 歩美^{1,2}（¹名大院生命農学, ²国立遺伝学研究所）
 11:00 3S12A4a-05 マイクロ・ナノすきま構造を用いた長鎖DNAの高速分析 ◎東 直輝（名大院工）
 11:20 3S12A4a-06 真核微生物の生体膜機能を探る ◎岩間 亮^{1,2}（¹東大院・農生科・応生工, ²東大・微生物連携）
 11:40 総合討論 高田 啓（京産大・生命, ルンド大学・実験医科）

3S13B6a 医農がつくる栄養素動態学

Pioneering Nutrient Dynamics through the Convergence of Agriculture and Medicine

3月 26 日 (火) 9:30~12:00

協 賛：国際アミノ酸科学協会

世話人：永森 收志（慈恵医大），小林 彰子（東大院農），WIRIYASERMKUL Pattama（岩手大農）

座 長：永森 收志（慈恵医大），小林 彰子（東大院農）

9:30	3S13B6a-01	栄養素動態学概論	◦永森 收志（慈恵医大）
9:32	3S13B6a-02	A multi-hierarchical approach explores non-canonical transport systems for nutrients	◦Pattama WIRIYASERMKUL ^{1,2,3} , Shushi NAGAMORI ^{1,2} (¹ Cent. of SI Med, Res, Jikei Univ., ² Dept. of Lab. Med., Jikei Univ., ³ Fac. of Agric., Iwate Univ.)
9:55	3S13B6a-03	消化管における胆汁酸吸収実態	◦小林 彰子（東大院農）
10:18	3S13B6a-04	トランスポータータンパク質によるステロールとビタミンの恒常性維持	◦松尾 道憲（京女大家政）
10:41	3S13B6a-05	膜輸送体によるビタミン C・尿酸の体内動態制御	◦豊田 優 ^{1,2} , 宮田 大資 ² , 窪田 優 ² , 松尾 洋孝 ¹ , 高田 龍平 ² (¹ 防衛医大分子生体制御学講座, ² 東大病院薬剤部)
11:05	3S13B6a-06	リアルワールドデータから見たビタミン D 研究の課題と将来性	◦越智 小枝（慈恵医大）
11:30	3S13B6a-07	食と栄養がもつ治療上乗せ効果の可能性—新たな異分野融合治療戦略の開拓	◦反町 典子（東大医科研）

3月 26 日 (火) 13:50~16:20

3S14A2p 【BBB 連携シンポジウム】食品機能学の 40 年と想定もしていなかった最前線の知見

Forty Years of Functional Food Science and Unexpected Cutting-edge Knowledges

3月 26 日 (火) 13:50~16:20

共 催：日本フードファクター学会

世話人：村上 明（兵庫県立大環境人間），立花 宏文（九大院農）

座 長：村上 明（兵庫県立大環境人間），立花 宏文（九大院農）

13:50	3S14A2p-01	日本の食品機能学における研究成果を振り返り、未来を見つめる	◦村上 明（兵庫県立大環境人間）
14:05	3S14A2p-02	授乳期のフラボノイド摂取が乳児の生体機能に与える影響	◦石坂 朱里 ¹ , 藤原 なお ¹ , 向井 理恵 ² , 西川 美宇 ³ , 生城 真一 ³ , 村上 明 ¹ (¹ 兵庫県大・環境人間, ² 徳島大・生物資源, ³ 富山県大・工)
14:35	3S14A2p-03	食品機能実行因子としての miRNA	◦熊添 基文, 立花 宏文（九大院農院 生機科）
15:05	3S14A2p-04	食用植物のナノ粒子の機能性評価	◦山崎 正夫 ¹ , 山崎 有美 ² , 大島 達也 ³ (¹ 宮崎大学農学部, ² 宮崎大学地域資源創成学部, ³ 宮崎大学工学部)
15:35	3S14A2p-05	質量分析イメージング法による生体分子の可視化—基礎研究から商品開発まで—	◦財満 信宏 ^{1,2} (¹ 近大農, ² アグリ技研)
16:05	3S14A2p-06	食品機能研究の今後の展望	◦立花 宏文（九大院農）

3S15A3p CO₂ 固定能を有する微生物とそのデータの利活用によるカーボンニュートラルへの貢献とバイオものづくり産業の活性化に向けて

Acceleration of biomanufacturing by utilizing CO₂-fixing microorganisms and related data.

3月 26 日 (火) 13:50~16:20

後 援：一般財団法人バイオインダストリー協会 (JBA) グリーンバイオ イノベーション フォーラム (GIF),

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

世話人：石井 正治（東大院農），加藤 慎一郎（NITE）

座 長：石井 正治（東大院農），加藤 慎一郎（NITE）

13:50	3S15A3p-01	はじめに：プロジェクトの概要について	◦石井 正治（東大院農）
13:55	3S15A3p-02	水素酸化細菌の生態と分離について	◦西原 宏史（茨城大農）
14:20	3S15A3p-03	微生物による CO ₂ 固定システムの多様性	◦布浦 拓郎（海洋研究開発機構）
14:50	3S15A3p-04	微生物ビッグデータ・AI 技術を統合した酵素探索技術	◦細川 正人 (bitBiome(株))
15:15	3S15A3p-05	MAG (metagenome assembled genome) 解析について	◦森 宙史（遺伝研・情報系）
15:40	3S15A3p-06	CO ₂ 固定微生物に関する情報の集約について	◦市川 夏子 (NITE-NBRC)
16:05	3S15A3p-07	最後に：CO ₂ 固定微生物利活用プラットフォームを介したバイオものづくり支援の取組	◦加藤 慎一郎（独立行政法人製品評価技術基盤機構）

3S16A4p 栄養感知の食理学

Nutrient sensing for dietology

3月 26 日 (火) 13:50~16:20

世話人：小幡 史明（理化学研究所）

座長：小幡 史明（理化学研究所），丹羽 隆介（筑波大学）

13:50	Introduction Fumiaki Obata (RIKEN BDR)
13:53 3S16A4p-01	Arrest of blood intake and subsequent amino acid dynamics in <i>Aedes aegypti</i> ○Chisako Sakuma ¹ , Yusuke Kato ^{1,2} , Hirotaka Kanuka ^{3,4} , Fumiaki Obata ^{1,2} (¹ RIKEN BDR, ² Grad. Sch. Biostudies, Kyoto Univ., ³ Dept. Trop. Med., Jikei Univ. Sch. Med., ⁴ Ctr. Med. Entomol., Jikei Univ. Sch. Med.)
14:17 3S16A4p-02	The role of conditional trade-offs in lifespan determination in <i>Drosophila melanogaster</i> ○Piper Matthew Mirth Christen (Monash University)
14:41 3S16A4p-03	Gut and pancreatic hormones released after a meal regulate glucose metabolism via the vagal afferents – brain axis. ○Yusaku Iwasaki (Kyoto Pref. Univ.)
15:05 3S16A4p-04	Regulatory mechanism of feeding behavior adapted to growth environment in crickets ○Hitomi Seike, Shinji Nagata (The Univ. of Tokyo)
15:29 3S16A4p-05	Neural vitamin B1 sensing regulates food intake and preference ○Ken-ichiro NAKAJIMA ^{1,2,3} (¹ Nagoya Univ., ² NIPS, ³ JST-PRESTO)
15:53 3S16A4p-06	Unraveling the neuroendocrine mechanisms of calcium homeostasis in “bone-less” insects ○Naoki Okamoto ¹ , Yosuke Mizuno ² , Ryusuke Niwa ¹ (¹ TARA, Univ. of Tsukuba, ² Grad. Sch. Sci. Tech., Univ. of Tsukuba)
16:17	Conclusion Ryusuke Niwa (Univ of Tsukuba)

3S17B6p 酵母が先導する寿命研究

Cutting edge of yeast lifespan research

3月 26 日 (火) 13:50~16:20

世話人：水沼 正樹（広島大院統合生命科学），饗場 浩文（名大院創薬）

座長：水沼 正樹（広島大院統合生命科学），饗場 浩文（名大院創薬）

13:50	はじめに 水沼 正樹（広島大院統合生命）
13:53 3S17B6p-01	分裂酵母に学ぶ経時寿命の制御機構 ○饗場 浩文（名大院創薬）
14:17 3S17B6p-02	分裂酵母の一生を見る ○中岡 秀憲（京大院生命）
14:41 3S17B6p-03	清酒酵母の液胞酸性化から見る高発酵性とストレス耐性 ○中瀬 舞, 浅井 拓也, 明石 貴裕（白鶴酒造株式会社）
15:05 3S17B6p-04	ビール酵母の細胞死と寿命 ○善本 裕之（キリンHD飲料未来研）
15:29 3S17B6p-05	酵母から哺乳類まで寿命を延ばす細菌 ○伊藤 孝, 吉田 稔（理研CSRS・ケミカルゲノミクス）
15:53 3S17B6p-06	出芽酵母と線虫の寿命を延長するメチオニン代謝物 ○水沼 正樹（広島大院統合生命）
16:17	おわりに 饗場 浩文（名大院創薬）

3月 27 日 (水) 9:30~12:00

4S18A1a アグリケミカルバイオロジー：レジリエンスの化学と生物

AgriChemical Biology : Chemistry and Biology of Resilience

3月 27 日 (水) 9:30~12:00

世話人：松田 一彦^{1,2} (¹近大農, ²近大アグリ技研), 浅見 忠男（東大院農）

座長：松田 一彦^{1,2} (¹近大農, ²近大アグリ技研), 浅見 忠男（東大院農）

9:30 4S18A1a-01	ケミカルバイオロジー的アプローチによるレジリエンスの理解 ○長田 裕之 ^{1,2} (¹ 理研環境資源セ, ² 静岡県大薬)
9:55 4S18A1a-02	フェアリー化合物とレジリエンス ○河岸 洋和（静大農）
10:20 4S18A1a-03	昆虫の化学調節とレジリエンス ○松田 一彦 ^{1,2} (¹ 近大農, ² 近大アグリ技研)
10:45 4S18A1a-04	ホタテガイの麻痺性貝毒代謝機構とフグのサキシトキシン, テトロドトキシン結合蛋白質 ○山下 まり ¹ , 沼野 聰 ¹ , 長岡 佑真 ¹ , 工藤 雄大 ^{2,1} , 長 由扶子 ¹ , 此木 敬一 ¹ (¹ 東北大院農, ² 東北大学際研)
11:10 4S18A1a-05	植物寄生線虫のレジリエンス ○伊藤 晋作（東京農大バイオ）
11:35 4S18A1a-06	植物ホルモンとレジリエンス ○浅見 忠男（東大院農）

4S19A2a 生物変換を司る代謝機能の新基軸とその応用展開

Discovery of novel metabolic functions practical for bioconversion and their application

3月27日(水) 9:30~12:00

共 催：(一財)バイオインダストリー協会 新資源生物変換研究会

世話人：成廣 隆(産総研), 向山 正治(日本触媒)

座 長：成廣 隆(産総研), 向山 正治(日本触媒)

9:30	はじめに	阪井 康能(京大院農)
9:35	4S19A2a-01 藻類の代謝工学による光合成バイオ生産への挑戦	蓮沼 誠久 ^{1,2} (1神戸大先端バイオ, 2神戸大科技イノベ)
10:10	4S19A2a-02 太陽光とCO ₂ を直接原料とする藻類を活用したバイオものづくり	笠原 堅(ちとせ研究所)
10:45	4S19A2a-03 希少/非天然カロテノイド・アポカロテノイドの生合成工学	古林 真衣子(産総研・生物プロセス)
11:20	4S19A2a-04 Bioものづくり革命を志向した「よろづセンサ」計画	梅野 太輔(早大院工)
11:55	おわりに	座長

4S20A3a 抗生か、共生か？微生物コミュニティを制御する情報分子としての天然物

Antibiotic or Symbiotic? Natural Products as Information Molecules Regulating Microbial Communities

3月27日(水) 9:30~12:00

後 援：新学術「ポストコッホ生態」

世話人：甲斐 建次(阪公大院農), 西村 慎一(広島大院統合生命)

座 長：甲斐 建次(阪公大院農), 吉村 彩(北大院薬), 西村 慎一(広島大院統合生命)

9:30	4S20A3a-01 真菌への寄生を確立する青枯病菌の化学コミュニケーション	甲斐 建次(阪公大院農)
9:55	4S20A3a-02 細菌が放出する細胞外膜小胞が生産誘導する天然物に関する研究	吉村 彩(北大院薬)
10:20	4S20A3a-03 酵母のグルコース飢餓時の排他的な生存戦略	小田 有沙 ¹ , 田村 美樹 ¹ , 金子 邦彦 ² , 太田 邦史 ¹ , 嶋山 哲央 ³ (¹ 東大院総合文化, ² コペンハーゲン大学 ニールスボア研究所, ³ 東京工業大学地球生命研究所)
10:45	4S20A3a-04 光を使うのか？防ぐのか？微生物型ロドプシンと細胞内色素の関係	吉澤 晋 ^{1,2} (¹ 東大大海研, ² 東大院新領域)
11:10	4S20A3a-05 病害抑制的な土壤微生物叢をつくり出す魔法の薬の開発に向けて	清水 将文 ¹ , 西岡 友樹 ² (¹ 岐阜大応生, ² 産総研)
11:35	4S20A3a-06 分裂酵母のロバストな増殖を支える共生物質の探索と機能解析	西村 慎一(広島大院・統合生命)

4S21A4a ペプチドが拓く健康科学の新しい世界

A new world of health science opened up by peptide

3月27日(水) 9:30~12:00

世話人：長岡 利(岐阜大・応用生物), 松井 利郎(九大院農)

座 長：長岡 利(岐阜大・応用生物), 松井 利郎(九大院農)

9:30	4S21A4a-01 コレステロール代謝改善ペプチド研究の新展開	長岡 利(岐阜大・応用生物)
9:55	4S21A4a-02 大豆機能性成分：β-コングリシニンおよびそのペプチドの生理効果	中森 俊宏(不二製油グループ本社)
10:20	4S21A4a-03 GLP-1産生消化管内分泌細胞が認識するペプチド構造	比良 徹(北大院農)
10:45	4S21A4a-04 コラーゲンペプチドPro-Hypは特定の幹細胞マーカー発現線維芽細胞の増殖に影響する	浅井 智子 ¹ , 織田 あやね ² , 佐藤 健司 ² (¹ 奈女大生, ² 京大院農)
11:10	4S21A4a-05 コラーゲンペプチドの脳神経調節作用	水重 貴文(宇大農)
11:35	4S21A4a-06 脳神経細胞でのペプチド作用	松井 利郎(九大院農)

4S22B6a 【BBB 連携シンポジウム】 モデル生物・線虫 *C. elegans* を用いた食品 / 栄養科学の新展開
Novel developments of food and nutritional sciences using the nematode *Caenorhabditis elegans*
as a model organism

3月 27 日 (水) 9:30~12:00

後 援：公益社団法人 日本ビタミン学会、公益財団法人 サントリー生命科学財団

世話人：河野 強（鳥取大院連農）

座 長：松本 晋也（京女大家政）

9:30	はじめに	河野 強（鳥取大院連農）
9:35	4S22B6a-01	<i>C. elegans</i> の寿命を指標とした機能性食品の探索：健康寿命への展望 [○] 安田 佳代（東海大健）
10:00	4S22B6a-02	乳酸菌・食品成分の機能性を線虫モデルで探る [○] 小村 智美（兵庫県大環境人間）
10:25	4S22B6a-03	線虫モデルにおけるメイラー反応生成香気の抗老化作用およびその分子機構解明 [○] 横山 壱成（日大生物資源）
10:50	4S22B6a-04	線虫を用いたビタミン生理学—未知なる分子機構の解明— [○] 美藤 友博（鳥取大院連農）
11:15	4S22B6a-05	遺伝子組換え線虫を用いた食品中の機能性分子探索に向けて [○] 河野 強（鳥取大院連農）
11:40		総合討論 松本 晋也（京女大家政）

分野融合連携（他学会連携）シンポジウム

3月25日（月）13:50～16:20

2AJ 【分野融合連携シンポジウム】韓国KMBとの合同企画 Microbiology and Biotechnology Researches in Japan and Korea

Transdisciplinary Joint Symposium between JSBBA and KMB on Microbiology and Biotechnology Researches in Japan and Korea

3月25日（月）13:50～16:20

共 催：The Korean Society for Microbiology and Biotechnology

世話人：大西 康夫（東大院農），濱野 吉十（福井県大生物資源），Yong-Cheol Park (Kookmin Univ.)

座 長：櫻谷 英治（徳島大生物資源），新谷 政己（静岡大工）

13:50 Opening Remarks by an Organizer

..... Yasuo Ohnishi (Dept. Biotech., Grad. Sch. Agric. Life Sci., UTokyo)

13:53 Opening Remarks by the President of KMB

..... Jong-Won Oh (Dept. Biotech., Div. Life Sci., Yonsei Univ.)

13:56 2AJ-01 The past, present, and future of KMB, the Korean Society for Microbiology and Biotechnology

..... [○]Kyoung Heon Kim (Dept. Biotech., Grad. Sch., Korea Univ.)

14:16 2AJ-02 Cytosolic protein delivery with microbial polycationic isopeptides

..... [○]Yoshimitsu Hamano (Grad. Sch. Biosci. Biotechnol., Fukui Pref. Univ.)

14:46 2AJ-03 Yeast metabolic engineering for mass production of food ingredients, biofuel and biochemicals

..... [○]Yong-Cheol Park (Dept. Bio. Ferment. Conv. Technol., Kookmin Univ.)

15:16 2AJ-04 Towards engineering bacterial membrane vesicles

..... [○]Masanori Toyofuku (Fac. Life Environ. Sci., Univ. of Tsukuba)

15:46 2AJ-05 Polyhydroxyalkanoates (PHAs) production from various carbon sources: Improvement of microbial strains and processes for enhancing PHA production

..... [○]Jeong-Jun Yoon (Green & Sustainable Mater. R&D Depart., KITECH)

16:16 Closing Remarks by the President of JSBBA

..... Makoto Nishiyama (AgTech, Grad. Sch. Agric. Life Sci., UTokyo)

3月26日（火）9:30～12:00

3AJ 【分野融合連携シンポジウム】日本蛋白質科学会/AMED-BINDSとの合同企画 先端技術支援で加速するタンパク質科学研究

Transdisciplinary Joint Symposium with PSSJ and AMED-BINDS : Protein science research accelerated by advanced technology support

3月26日（火）9:30～12:00

共 催：日本蛋白質科学会，AMED-BINDS

世話人：伏信 進矢（東大院農），吉田 彩子（東大院農）

座 長：伏信 進矢（東大院農），吉田 彩子（東大院農）

9:30 はじめに（BINDS PS より）..... 井上 豪（阪大院薬）

9:40 3AJ-01 生命科学・創薬を支えるクライオ電子顕微鏡構造解析の高速化 [○]難波 啓一（阪大院生命機能）

10:10 3AJ-02 Cryo-EM 構造で明らかになった活性制御タンパク質によるCoA 転移酵素の調節機構

..... [○]吉田 彩子^{1,2}，宮田 知子³，難波 啓一³，西山 真^{1,2}
(¹東大院・農生科，²東大・微生物連携機構，³阪大院・生命機能)

10:35 3AJ-03 ゲノム機能制御装置としてのクロマチン構造とダイナミクス [○]胡桃坂 仁志（東大定量研）

11:05 3AJ-04 X線自由電子レーザーによる時分割実験の現状と展望 [○]南後 恵理子（東北大多元研）

11:35 3AJ-05 水素細菌由来複合体タンパク質のクライオ電子顕微鏡解析 廖 增威，[○]伏信 進矢（東大院農）

ランチョンセミナー プログラム

ランチョンセミナーでは、幅広い“農芸化学分野”に関わる企業関係の皆様から新製品や新技術等の情報を発信していただき、産学官連携の推進に努めております。

ランチョンセミナー・ランチョンシンポジウムのチケットは、当日の朝に東京農業大学1号館1階出入口ロビー「ランチョンセミナー・ランチョンシンポジウムチケット配布デスク」にて配布します。配布時間は、3月25日、26日とも8:15～10:15です。

チケット配布の際、大会参加証にチケット受領の押印をしますので、大会参加登録をお済ませの上、チケットをお受け取り下さい。

チケット配布は、定員に達した時点で終了します。

チケットは、開始時間を過ぎると無効になります。その後はチケットをお持ちでない方と同等の扱いとなりますのでご注意ください。チケットをお持ちでない方は、ランチョンセミナー・ランチョンシンポジウムに参加できません。ただし、空席がある場合はこの限りではありません。

3月25日（月）12:35～13:25

LS2-1 株式会社 J-オイルミルズ

B1 会場

座長：仲川 清隆（東北大学大学院農学研究科 教授）

油脂酸化メカニズム研究の進展～東北大学「J-オイルミルズ油脂イノベーション共同研究講座」の取り組みから～

1. 油脂の酸化評価の新技術開発

青木 亮輔 ((株)J-オイルミルズ研究開発センター 兼 東北大学大学院農学研究科)

2. オリーブオイルの風味発現メカニズム解明

加藤 俊治 (東北大学大学院農学研究科 Jオイルミルズ油脂イノベーション共同研究講座准教授,
食品機能分析学准教授 (兼務))

LS2-2 味の素株式会社

B5 会場

アミノ酸を活用した乳牛・肉牛由来の温室効果ガス削減の取組み

神原 真生 (味の素株式会社)

LS2-3 Noster 株式会社

C1 会場

座長：小川 順 (京都大学大学院農学研究科)

多様性とのびやかなつながり－腸内細菌が紡ぐ健康－

1. 腸脳相関：運動意欲における腸内細菌の役割

Christoph A. Thaiss (University of Pennsylvania)

2. 腸内細菌脂質代謝物と代謝性肝疾患

細岡 哲也 (静岡県立大学薬食生命科学総合学府)

LS2-4 株式会社カネカ

C5 会場

座長：岡田 憲典 (東京大学アグロバイオテクノロジー研究センター)

植物のゲノム編集における「デリバリー技術」研究開発の新展開

1. DNAを使わずに植物をゲノム編集するiPB法の開発

今井 亮三 (国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門
エグゼクティブリサーチャー, 国立大学法人筑波大学 生命環境系 教授)

2. カネカのアグリビジネス展望：iPB法をはじめとした独自技術の応用展開

島谷 善平 (株式会社カネカ R&B 本部 新規事業開発部)

LS2-5 キリンホールディングス株式会社（100周年記念特別ランチョンセミナー）

D1 会場

キリングループの多様な事業を支える研究開発と人材

津田 秀樹（キリンホールディングス R&D 本部 研究開発推進部）

LS2-6 株式会社島津製作所

D5 会場

司会：渡邊 淳（株式会社島津製作所）

1. MALDI-MS プロテオタイピングによる微生物の分析

寺本 華奈江（株式会社島津製作所）

2. 腸内環境を模した共培養を実現する腸内細菌共培養デバイスのご紹介

橋本 豊之（株式会社島津製作所）

LS2-7 株式会社オンチップ・バイオテクノロジーズ

E1 会場

On-chip Droplet Selector を活用した目的微生物の大規模スクリーニング

矢部 修平（理化学研究所バイオリソース研究センター 植物 - 微生物共生研究開発チーム）

3月26日（火）12:35～13:25

LS3-1 キッコーマン株式会社

C5 会場

座長：佐藤 隆一郎（東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授）

食塩としょうゆのおいしい話

1. 食塩と健康：疫学研究からのアプローチ

津金 昌一郎（国際医療福祉大学大学院 教授）

2. しょうゆでおいしく適塩

中島 文子（キッコーマン株式会社 研究開発本部）

LS3-2 ベックマン・コールター株式会社

D1 会場

菌株構築・培養検討の微量化、自動化で微生物によるモノづくり研究開発を加速させませんか？

藤村 興輝（ベックマン・コールター株式会社 ライフサイエンス マーケティング本部 本部長）

LS3-3 Twist Bioscience

D5 会場

#WeMakeDNA - 人工遺伝子を用いた金属 - タンパク質複合体研究へのアプローチ

1. 大腸菌組換え金属タンパク質の研究と人工合成遺伝子の活用

藤城 貴史（埼玉大学大学院理工学研究科 生命科学部門分子生物学領域）

2. Writing the Future：あなたの最高の研究アイデアを実現する Twist 人工遺伝子ツール

金城 一貴（Twist Bioscience）

LS3-4 SCIEX

E1 会場

生体分子の定性解析をより深く。質量分析の新技術：電子励起解離

建田 潮（株式会社エービー・サイエックス テクニカルマーケティング）

JABEE ランチョンシンポジウム

「活躍する技術士～JABEE の先を見据えて～」

初期専門能力開発 (IPD, Initial Professional Development) システムは、若手技術者が安全で安心な社会の構築に貢献し、社会的・経済的役割を果すための資質・能力を習得する活動とされ、その仕組みづくりが日本技術士会を中心として進んでいます。民間企業でも、自社の能力開発の仕組みとして、若手技術者の成長スピードを上げること、国際的に通用する資質を有する技術者を育成することを目的として、導入する動きが始まりました。

このような「若手技術者」に向けた取り組みを紹介し、JABEE 認定プログラム修了者を含めた若手技術者が技術士資格を目指すきっかけになるようなシンポジウムを開催します。

主 催：日本農芸化学会 JABEE 対応委員会

日 時：2024 年 3 月 26 日 (火) 12:30～13:30

場 所：東京農業大学世田谷キャンパス B1 会場 (1 号館 2 階 231)

世話人・座長：東田 英毅 (JABEE 対応委員会、日本技術士会生物工学部会、株式会社ちとせ研究所)

プログラム：

12:30～12:35 開会の挨拶

喜田 聰 (日本農芸化学会理事、東京大学大学院農学生命科学研究科)

はじめに：JABEE と技術士の深いつながり

東田 英毅 (JABEE 対応委員会、日本技術士会生物工学部会、株式会社ちとせ研究所)

12:35～13:00 3LS01-01：IPD への取り組み

中川 裕康 (日本技術士会)

13:00～13:25 3LS01-02：技術士資格でデザインする自分らしい職業

本田 大士 (技術士事務所本田バイオ技術研究所)

13:25～13:30 閉会の挨拶

東田 英毅 (JABEE 対応委員会、日本技術士会生物工学部会、株式会社ちとせ研究所)

BBB ランチョンセミナー

「Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry のこれまでの 100 年と現在、未来」

英文誌 Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry (BBB) は、1924 年に Bulletin of the Agricultural Chemical Society of Japan として第 1 巻が発行され、今年、日本農芸化学会と同じく 100 周年を迎えました。雑誌の名称は、その後 Agricultural and Biological Chemistry を経て 1992 年から現在の名称となっています。この間、農芸化学領域という幅広い研究領域での質の高い論文を掲載し続けてきました。一方で、現在 BBB を取り巻く環境は劇的に変化しつつあります。多数のジャーナル(特に商業誌)の新規出版、オープンアクセス化、Paper mills の横行、購読料や掲載公開料の高騰といった変化の中で、BBB は世界に向けた学会員の情報発信の場として、また学会員に有益な情報を提供する場として、さらに発展を目指しています。

本セミナーでは編集委員長の木岡から現在 BBB が取り組んでいることおよび BBB で出版することの“良さ”について紹介します。また現在 BBB の出版を委託している Oxford University Press の Matthew Lane 氏から Read & Publish と Open Access の展望について話していただきます。

主 催：(公社) 日本農芸化学会英文誌編集委員会

協 賛：Oxford University Press

世 話 人：木岡 紀幸、橋本 渉

日 時：2024 年 3 月 26 日 (火) 12:30～13:20

会 場：東京農業大学 C1 会場 (1 号館 3 階 331)

プログラム：

12:30～12:35 開会の挨拶

木岡 紀幸 (英文誌編集委員会委員長)

12:35～13:15 講演

「100 年前と現在の BBB：BBB で出版することの“良さ”」

木岡 紀幸 (英文誌編集委員会委員長)

「Read & Publish と Open Access の展望」

Matthew Lane (Senior Editor, Oxford University Press)

学術研究の Open Access 出版という概念は一般的に、2002 年の Budapest Open Access Initiative で確立されたと考えられています。5 年程前までは Open Access ジャーナルや Open Access 出版は緩やかではありますが、着実に成長してきたと言えます。しかし、この数年間はパンデミックの影響や助成機関の主導により、急速に成長し始めています。この発表では出版社の視点から Open Access 出版の最近の動向について、特に Read & Publish 契約が Open Access の加速・促進に果たす役割について説明します。

13:15～13:20 閉会の挨拶

橋本 渉 (日本農芸化学会出版担当理事)

3LS03 男女共同参画ランチョンシンポジウム

「子育て世代研究者が働きやすい包括的な環境整備を」

3月 26日 (火) 12:30 ~ 13:20

主 催：日本農芸化学会ダイバーシティ推進委員会
会 場：東京農業大学世田谷キャンパス 17号館 一階 レストランすずしろ

12:30 開会の挨拶
小倉 由資 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

3LS03-01 「ワークが主な研究者の視点から思う、あれやこれや」
山田 美和 (岩手大学農学部)

私自身はワークが主な生活を今のところは続けております。周りの子育て世代の研究者の皆様を取り巻く環境や自身の研究環境について、そんな立場・目線から皆様とお話させていただければと思います。

3LS03-02 「大学教員の仕事と子育て」
小林 彰子 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

大学教員としても親としてもまだまだ勉強中ですが、これまでの経験を交えてお話できればと思います。これから研究者を目指す皆さんの一助となれば幸いです。

3LS03-03 「人それぞれの研究者像」
加藤 晃代 (名古屋大学大学院生命農学研究科)

企業での研究、別居婚、転職、ポスドク、起業、出産育児、大学での教育・研究、といった経験を通して自分なりに学んだことや、多様化する研究者像などについてお話します。

3LS03-04 「企業における D&I 取り組みについて」
柳樂 明佳 (株式会社 明治)

ダイバーシティ&インクルージョン (D&I) の取り組みとして女性、LGBTQ、チャレンジド、シニアの活躍推進や理解を深める活動が行われています。内容の紹介と現在感じていることについてお話できればと思います。

3LS03-05 「企業研究者としてのやりがいと葛藤」
堀米 綾子 (森永乳業株)

保育園～小学校の3人の子どもの育児と企業での研究活動について、日々の葛藤や面白さ、楽しさについてざっくばらんにお話しできたらと思います。

3LS03-06 「周囲の方々のおかげでなんとかなった？」
北岡 直樹 (北海道大学大学院農学研究院)

周囲の方々にご理解・サポートをいただき、「なんとかなる」と暮らしてきました。妻子と北海道・富山間で離れて暮らした経験などを紹介するとともに、皆さんのお話しを伺うことができればと思っております。

3LS03-07 「昭和のオッサンにもできること」
滝川 浩郷 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

私自身が若手教員だった頃から既に 25 年が経過しましたが、その頃の経験や思いを振り返りながら、昭和のオッサンにもできることを少しほ実践しているつもりです。その辺りをお話しします。

3LS03-08 「今日も元気に三刀流一鍋とミルクとピペットマンー」

植田 佳明 (国際農林水産研)

日本人男性の家事・育児時間は他の先進国の半分以下。家庭で男性が活躍することで皆が活躍できる社会に一歩近づくかもしません。ドイツでの経験も踏まえ、医者の妻と二人三脚で奮闘する二児の育児と研究生活についてお話しします。

3LS03-09 「ダウント症の子の子育てと私のキャリアについて」

神前 陽一 (サッポロビール株)

医療的ケアが必要なダウント症の子どもを育てる中で学んだことやこの経験が技術者である私のキャリアに新たな視点をもたらしたことについてお話しします。

3LS03-10 「多様な世代を活かす環境づくり」

田口 大夢 (ハウス食品グループ本社株)

私自身が子育て世代で、チームには若手、子育て世代含め多様なメンバーが所属しています。自身の研究員・マネージャー経験と、チームでの研究推進の事例をふまえ、大事にしたい働く環境についてお話しします。

13:15 閉会の挨拶

野尻 秀昭 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

農芸化学の D&I シンポジウム

- 1 部：女性賞 3 賞の受賞講演
- 2 部：参加しやすい学会を目指して、D&I について考える

本シンポジウムは 2 部構成になっております。第 1 部では農芸化学女性研究者賞、農芸化学若手女性研究者賞、農芸化学女性企業研究者賞の受賞講演を行います。続いて、第 2 部では、多様な環境・立場にいらっしゃる学会員の皆様にとって参加しやすい学会を目指す企画として、学会に寄せられた会員の方々の声をご紹介すると共に、工夫しながら家庭や仕事、学会活動を続けてこられたロールモデルの方にご登壇頂きます。最後に、フロアからご発言頂きながら、一緒に意見交換して参りたいと思います。是非皆様のご経験やご意見を発信して頂けますと幸いです。

日 時：2024 年 3 月 26 日（火）13:50～16:20
場 所：東京農業大学世田谷キャンパス 1 号館 A1 会場

プログラム：

第 1 部

- 13:50～13:55 受賞講演の開会挨拶
大西康夫（大会実行委員・東大院農生科）

農芸化学女性研究者賞受賞講演

- 3AC-01
13:55～14:15 「ポリフェノールの体内動態と機能性研究」
小林彰子（東大院農生科）

- 3AC-02
14:15～14:35 「生分解性プラスチックの微生物による合成と分解に関する研究」
山田美和（岩手大農）

農芸化学若手女性研究者賞

- 3AC-03
14:35～14:50 「小胞体における酸化的フォールディング酵素の機能・構造相関解析」
奥田綾（京大複合研）
- 3AC-04
14:50～15:05 「産業用酵素群の実用化を指向した酵素科学・工学的研究」
Damnjanovic Jasmina（名大院生命農）

農芸化学女性企業研究者賞

- 3AC-05
15:05～15:20 「乳タンパク質の健康機能に関する研究」
柳樂明佳（(株) 明治）

第 2 部

- 3AC-06
15:20～15:30 「男女共同参画学協会連絡会 第 5 回大規模アンケート結果紹介」

野尻秀昭（ダイバーシティー推進委員会委員長・東大院農生科）

3AC-07

15:30～15:50 「企業研究者のロールモデルとして：キャリアの壁を乗り越えて」
山岸裕美（本会副会長・アサヒグループジャパン（株））

3AC-08

15:50～16:10 「アカデミア研究者のロールモデルとして：振り返ればターニングポイント」
小林奈通子（大会実行委員・東大院農生科）

16:10～16:20 意見交換・まとめ

西山千春（大会実行委員・東理大先進工）

【特別企画】

教育講演

Educational Lecture

農芸化学研究領域のレジェンドの先生方に、各研究分野の基礎的内容から最近の成果、また、若手へのメッセージも含めて、農芸化学研究の入門編としてご講演頂きます。シニアの先生方にとって専門外の研究を基礎から理解する貴重な機会にもなります。

(早朝からの講演ですので、先着順で朝食を提供致します。数に限りがありますので、配布終了の場合にはご容赦下さい。)

くわしくはホームページ(<https://www.jsbba.or.jp/2024/anniversary/educ-lect.html>)をご参照ください。

日 時：3月25日(月)～3月27日(水) いずれも時間は8:30～9:20

場 所：東京農業大学世田谷キャンパス内 B1会場、C1会場

参 加 費：大会参加費と同じ

プログラム：

3月25日(月) 8:30～9:20

B1会場

8:30 2E-01 研究者のキャリアデザイン、どう描くべき?
－自身の食品科学研究から振り返る－
上原万里子(東京農大応生)

C1会場

8:30 2E-02 常識を鵜呑みにしない大切さ
大利徹(北大院工)

3月26日(火) 8:30～9:20

B1会場

8:30 3E-01 植物色素の化学研究 これまでとこれから
吉田久美(愛工大工、名古屋大)

C1会場

8:30 3E-02 cAMPとCoQ10に惹かれて
川向誠(島根大生資)

3月27日(水) 8:30～9:20

B1会場

8:30 4E-01 別府輝彦先生の至言と微生物ケミカルバイオロジー
吉田稔(理研、東大)

C1会場

8:30 4E-02 細菌も会話し群れている
野村暢彦(筑波大)

【特別企画シンポジウム】

これまでの農芸化学研究の 100 年を振り返って

Looking back on the research of agricultural chemistry 100 years

日本農芸化学会創立 100 周年を記念して、農芸化学のレジェンドである先生方に農芸化学研究の各分野の研究進展をご講演頂きます。「農芸化学」研究の歴史を短時間で振り返る貴重な機会となります。

くわしくはホームページ(<https://www.jsbba.or.jp/2024/anniversary/past100years.html>)をご参照ください。

日 時：3月 24 日（日）14:15～17:05

場 所：東京農業大学世田谷キャンパス百周年記念講堂

東京都世田谷区桜丘 1-1-1 TEL: 03-5477-2207

参 加 費：大会参加費と同じ

プログラム：

14:15 1SA-01 生物活性物質探究の 100 年：歴史と展望 -農芸化学は宝の山だ

北原 武（東京大学名誉教授）

須貝 威（慶應義塾大学薬学部教授）

14:48 1SA-02 日本の農芸化学における抗生物質研究からケミカルバイオロジーへの展開

長田裕之（静岡県立大学薬学部 特任教授）

兼 理化学研究所環境資源科学研究センター ユニットリーダー）

15:21 1SA-03 農芸化学における醸造微生物、特に麹菌を含む糸状菌の研究の 100 年を振り返る

五味勝也（東北大学大学院農学研究科発酵微生物学寄附講座 教授）

15:54 1SA-04 栄養・食品科学研究領域のこれまでの歩み

佐藤隆一郎（東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻）

社会連携講座「栄養・生命科学」特任教授）

16:27 1SA-05 健康維持のための機能性食品の開発研究

山本万里（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門）

エグゼクティブリサーチャー）

【特別企画】

「これから 100 年の農芸化学研究を展望する」

(パネルディスカッション形式)

Looking ahead to the next 100 years of the research of agricultural chemistry

(Panel discussion)

次世代の農芸化学研究を担う新進気鋭の研究者が登壇し、これから 100 年の農芸化学研究の展望をパネルディスカッション形式で議論します。ご参加される皆様からもご意見頂きます。この後に開催される第 29 回 農芸化学 Frontiers シンポジウムとも連携しております。(ランチタイムからの開始ですので、先着順で昼食を提供致します。数に限りがありますので、配布終了の場合にはご容赦下さい。)

日 時 : 3 月 27 日 12:30~15:00

場 所 : 東京農業大学世田谷キャンパス内 A1 会場

参 加 費 : 大会参加費と同じ

司 会 : 藤井壯太 (東京大学)、山田千早 (明治大学)、喜田聰 (東京大学)

パネリスト (順不同) :

三浦夏子 (大阪公立大学)

新谷政己 (静岡大学)

栗田悠子 (東京大学)

野崎翔平 (筑波大学)

瀬戸義哉 (明治大学)

吉永直子 (京都大学)

梅川碧里 (三重大学)

森脇由隆 (東京大学)

山下陽子 (神戸大学)

高橋裕 (東京大学)

近澤未歩 (名城大学)

【特別企画】

Social gathering

日本農芸化学会の100周年に相応しい懇親・交流の場として、特別企画「Social gathering」を2日間にわたり開催します。ホテルを会場とした従来の懇親会でなく、これまでのミキサーを拡張・格上げした、一般・学生の全体を巻き込む交流の場を提供します。大会参加者は追加料金なく無料で、自由な出入りが可能です。

農芸化学を特徴づけるキーワードの1つである「食」のなかでも、人類の叡智の結晶と言うべき醸造産物を美味しく飲食しながら談話する形式を企画しています。日本ワイン・日本酒を醸す全10社のお酒を生産者の方々とともに味わい、それらとマリアージュした料理(※)を楽しんでいただきます。これに加えて、日本ワイン・日本酒それぞれ約100銘柄を目標に日本各地を網羅して提供することを予定しており、これまでに例に見ない規模の企画になります。

提供のお酒や料理の情報は、ホームページ(<https://www.jsbba.or.jp/2024/anniversary/gathering.html>)で公開しています。

このSocial gatheringは、新時代を迎える農芸化学会の新しいスタイルの対話の場です。コロナ禍明けの対面の大会で、リモートでは味わえない農芸化学の魅力を堪能しつつ、ここからインスピアイされる研究の新たな展開が生まれる交流を目指します。ぜひともご参加ください。

日 時：3月24日（日）[大会1日目] 17:30～19:30

3月25日（月）[大会2日目] 17:00～19:00

場 所：東京農業大学世田谷キャンパス 百周年記念講堂前広場・カフェテリアグリーン・レストランすずしろ

※お酒と料理のマリアージュは10種類提供し、それぞれ各日先着500名でご用意します。2日間にわたって同じ種類のものは一人一回の提供に限りますが、1日目に頂けなかったマリアージュは、2日目にご賞味いただくことができます。（大会参加証のQRコードで記録します）

ほかに日本ワインや日本酒など飲料を多数取りそろえていますので、2日間とも参加していただき、全体の交流の場としてお楽しみください。

お酒と料理のマリアージュの提供リスト

(ワイナリー・酒蔵、レストランの名前をクリックするとホームページ等の情報が見られます)

	ワイナリーネーム			ペアリングレストラン	
日本ワイン	<u>ドメーヌ タカヒコ</u>	北海道・余市	&	<u>SAGRA</u>	北海道・余市
	<u>農楽蔵</u>	北海道・北斗	&	<u>ANDI</u>	東京・外苑前
	<u>タケダワイナリー</u>	山形・上山	&	<u>SHOTOEN</u>	山形・山形市
	<u>機山洋酒工業</u>	山梨・塩山	&	<u>フォーハーツカフェ</u>	山梨・甲府
	<u>ドメーヌ オヤマダ</u>	山梨・勝沼	&	<u>Level</u>	東京・神楽坂
	<u>7c ワイナリー</u>	山梨・河口湖	&	<u>restaurant SAI 穀</u>	山梨・河口湖
	<u>ヴィラデストワイナリー</u>	長野・東御	&	<u>Coulis</u>	東京・新富町

	酒蔵名			ペアリングレストラン	
日本酒	<u>新澤醸造店</u>	宮城・大崎	&	<u>SAKE story</u>	東京・五反田
	<u>南部美人</u>	岩手・二戸	&	<u>EUREKA!</u>	東京・西麻布
	<u>来福酒造</u>	茨城・筑西	&	<u>NORA CHEF</u>	出張料理

問い合わせ先 :

大会実行委員 Social gathering 担当

丸山 潤一 (東京大学大学院 農学生命科学研究科)

e-mail : amarujun@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

【特別企画】

「農芸化学を体感する」

日本農芸化学会の100周年を祝う特別企画の一つとして、100周年記念大会会場内で「農芸化学を体感する」企画を開催いたします。

これは、農芸化学の科学・技術の粋を極めた成果物を生産・販売する企業様に、それらを紹介するブースの出展をお願いし、その成果物の説明、サンプル配布、味見などを通して、大会参加者にそれができあがる背景・歴史、生産方法、効能、苦労話などを知ってもらうことで農芸化学の幅広さ、奥深さを体感してもらう企画です。

会場内ではトークイベントも実施いたします。お話をいただくお一人は、農芸化学会にもゆかりのあるマルシャン エグゼクティブ・ワインメーカーの安蔵光弘氏です。安蔵氏は昨年公開された映画「シグナチャー 日本を世界の銘醸地に」で半生を描かれたことでも有名です。ワイン醸造にかける想いを伺えるものと期待しております。

当日は、会場には飲み物等を用意いたしますので、大会参加者の間での懇親の場としても利用いただき、飲み物を片手に、農芸化学が生み出してきたものを学び、次の100年の発展に思いをはせる機会としていただけだと思います。奮ってご参加ください。なお、参加企業を含む本企画の詳細情報は、ホームページ (<https://www.jsbba.or.jp/2024/anniversary/experience.html>) に掲載しています。奮ってご参加ください。

日 時：3月26日（火）（大会第3日目）16:30～19:00
会 場：東京農業大学 世田谷キャンパス 国際センター2階

【出展企業一覧（44社）】

味の素株式会社
アテリオ・バイオ株式会社
天野エンザイム株式会社
江崎グリコ株式会社
エスビー食品株式会社
株式会社エンザイム・センサ
(公財)応用微生物学・分子細胞生物学研究奨励会
大塚食品株式会社
花王株式会社
株式会社カネカ
キッコーマン株式会社
キッコーマンバイオケミファ株式会社
キューピー株式会社
共栄製茶株式会社
キリンホールディングス株式会社
栗田工業株式会社
サッポロビール株式会社
サンエイ糖化株式会社
株式会社CO2資源化研究所
株式会社J・オイルミルズ
昭和産業株式会社
住友化学株式会社
太陽化学株式会社
タカノフーズ株式会社
ちとせ研究所
築野食品工業株式会社

東洋製罐グループホールディングス株式会社
株式会社トリトンフーズ
長瀬産業株式会社
ナカライトスク株式会社
日清ファルマ株式会社
日本食品化工株式会社
日本農薬株式会社
Noster 株式会社
ハウス食品グループ本社株式会社
株式会社林原
株式会社ファイトクローム
富士フレーバー株式会社
丸善製薬株式会社
三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社
森永製菓株式会社
森永乳業株式会社
山崎製パン株式会社
株式会社ユーグレナ

連絡先：

東京大学大学院 農学生命科学研究科 野尻秀昭
e-mail : anojiri@g.ecc.u-tokyo.ac.jp
ホームページ: : <https://www.jsbba.or.jp/2024/anniversary/experience.html>

ジュニア農芸化学会 2024 「高校生による研究発表会」

ジュニア農芸化学会とは、日本農芸化学会が将来のバイオ科学とバイオ技術の発展を期して設けた「高校生による研究発表会」です。参加する高校生にとっては、大きな学会で大勢の大学教員、企業や公的研究機関の研究者、大学院生を前に自分たちの研究成果を発表する貴重な機会です。

5年ぶりの対面式のジュニア農芸化学会です。学会参加者の皆様におかれましては、是非とも会場にて、高校生によるプレゼンテーションを聴いていただくとともに、質疑応答での熱い議論をお願い申し上げます。

なお、ジュニア農芸化学会の発表要旨は、プログラム検索サイト (<https://jsbba2.bioweb.ne.jp/jsbba2024/>) で閲覧できます。

主催：公益社団法人 日本農芸化学会

後援：文部科学省、科学技術振興機構、東京都教育委員会、

東京大学大学院農学生命科学研究所

場所：日本農芸化学会 2024 年度大会会場

東京農業大学世田谷キャンパス

日時：令和 5 年 3 月 26 日（火）

10:30～10:50	開会式
10:50～12:10	質疑応答（コアタイム 1）
12:10～13:25	休憩（自由討論）
13:30～14:50	質疑応答（コアタイム 2）
15:00～16:00	表彰式
16:30～18:00	農芸化学を体感する（自由参加）

発表質疑応答コアタイム1 10:50～12:10 「演題番号奇数番号」

発表質疑応答コアタイム2 13:30～14:50 「演題番号偶数番号」

JP01 光ストレスに対するシロイヌナズナのアスコルビン酸産生応答

神戸海星女子学院高等学校

谷口 こころ

[担当教諭：宗景ゆり，西村健司]

JP02 食品廃棄物（消費期限切れ味噌）の資源化に関する研究

福岡工業大学附属城東高等学校

有馬こはる，川邊優斗，白土颯真，國武樟吾

[担当教諭：副島英子，佐々木光将]

JP03 エサはカイコの成長にどのような影響を与えるのか

茨城県立水戸第二高等学校

遠藤さくら，関直緒子

[担当教諭：梶山昌弘]

JP04 人工磁場下での小動物の行動を記録する簡易装置の製作と一定方向の磁場がゴキブリに与える影響の検証

早稲田大学高等学院

藤井快地

[担当教諭：秋山和広，中島 康]

JP05 メタゲノム解析を用いたコンポスト形成段階における細菌叢の変化

栃木県立矢板東高等学校

吉成美緒

[担当教諭：森本聖也，松田勝，鈴木智大]

JP06 枝豆及びサツマイモ栽培におけるミニズ液肥添加効果の検討

長岡工業高等専門学校

小畠未嘉，下村倫世，中山美咲，日浅仁子

[担当教諭：赤澤真一]

JP07 ごちそうを前にした大腸菌～コロニーの輪郭のフラクタル次元から分かること～

東京都立科学技術高等学校

田口杏樹

[担当教諭：巻木大輔]

JP08 ジャガイモ由来天然毒素成分ソラニンを用いた環境負荷低減農薬開発の検討

神奈川県立厚木高等学校

井手渚，紺野悠菜，岡田智愛

[担当教諭：杉原孝治]

JP09 ナイスなライス～おいしい米とアミノ酸の関係性～

作新学院高等学校

手塚大貴，青柳拓弥，小林和香，新藤紗帆，中川珠里，高橋鈴乃

[担当教諭：謝 肖男，森照代]

JP10 食用色素を用いた色素増感太陽電池における吸着等温線に基づいた発電阻害要因の考察

京都市立京都工学院高等学校

澤寿樹，四方響，吉岡英究，中島光希，山本涼矢

[担当教諭：松田拓未]

JP11 フナムシの乾燥処理

広島県立広島国泰寺高等学校

田尾望乃香, 岩山寛大, 加藤和

[担当教諭: 三上恭彦]

JP12 バクテリアセルロースを用いたストローの作製と評価

福島県立福島高等学校

岩佐奈々, 浦部実麗, 笠原充, 加藤舞花, 松永楓

[担当教諭: 高橋昌弘, 菅野祐哉]

JP13 焙煎ごぼうは体に良い！？～植物に含まれる成分の検索～

成田高等学校

鈴木拓海, 小野俊輔, 佐野友里菜, 安田愛菜, 湯浅義大, 荒野心太郎, 安藤大輝, 梅田翔成, 古津侑大

[担当教諭: 鳩谷友一郎]

JP14 大気暴露下で常温 X 線回折実験を可能とするタンパク質結晶加工法の開発

さいたま市立大宮北高等学校

大塚菜穂子, 佐藤衣純, 鈴木友惟, 三浦藍

[担当教諭: 八木一馬, 小林健一]

JP15 様々な硬度の水で抽出した伊勢茶に含まれるカテキンの評価

エスコラピオス学園海星高等学校

藤島世羅, 岩間もか, 宮田仁誠, 櫻井絆那, 佐野日莓理, 寺尾和華, 大道昭慶, 蒲生将規, 高山サムエル

[担当教諭: 杉原理紗, 位田紀行, 松田智子, 米田誠治, 中山浩伸, 植村雅子, 藤澤豊, 株式会社インテリジェントセンサーテクノロジー]

JP16 古環境における発光バクテリアの代謝

福島県立会津学鳳高等学校

鈴木大地, 平山達也

[担当教諭: 大橋謙太郎]

JP17 カタツムリの殻における防汚効果について

兵庫県立姫路西高等学校

南咲妃

[担当教諭: 前川慎一郎, 増田修]

JP18 井の頭公園で繁茂するコカナダモの堆肥化方法とその有用性の確認

東京学芸大学附属国際中等教育学校

中川由依子, 本多まひな

[担当教諭: 森本裕子]

JP19 魚皮の鞣し条件に関する研究

千葉県立国府台高等学校

佐々木知温

[担当教諭: 佐々木啓介]

JP20 発電する細菌 シュワネラ属細菌

大阪明星高等学校

伏見諒音, 野々口昊成

[担当教諭: 上野智]

- JP21 雜草（シロツメクサ *Trifolium repens*）からの銅アンモニアレーヨンの開発
～今こそレーヨン！120 年前の技術で SDGs～
鹿児島県立曾於高等学校
野路結，野崎涼太朗，新田拓海 [担当教諭：中島亮]
- JP22 リンゴから発生したエチレンの測定手法の確立
静岡県立下田高等学校
中山寛太，久我谷璃法，臼井秀介，北館太朗，坂内建太 [担当教諭：荻野真宏]
- JP23 光が土壌細菌に与える影響とその応用
三田国際学園高等学校
久保理暖，諸我桜子，梁取邦雄 [担当教諭：宮野嶺]
- JP24 ミツバチが形成する生きた鎖V
安田学園高等学校
中村 薫 [担当教諭：小島直樹]
- JP25 ニセアカシア白炭の製造と吸着剤としての利用
秋田県立大館鳳鳴高等学校
明石真緒，畠山蒼未，山口遙，阿部範仁，岩渕暉，工藤史瑛，西根直哉，萬田美羽
[担当教諭：桜井博文，鈴木修子]
- JP26 植物乳液の防虫効果の解析
島根県立浜田高等学校
川原拓也，野上知佐，松井瀧 [担当教諭：秋吉優季]
- JP27 麴菌「カビ A」の活用～食べ残しからバイオエタノール～
福島県立安積高等学校
目黒沙樹，高橋結子，田村快知，新野陽平 [担当教諭：平山陽子]
- JP28 サボテン種に共通な刺座配列の螺旋方程式と種固有性
兵庫県立姫路東高等学校
村瀬太郎，大和司，寺田悠哉，宮本泰成，宮下翔真， [担当教諭：川勝和哉]
- JP29 食中毒の原因となる菌類に対し、有効な抗菌成分の抽出方法およびその成分の特定
さいたま市立大宮国際中等教育学校
園山希咲，荒井陽香 [担当教諭：田村守行]
- JP30 BHB が大腸がん転移に与える影響
女子学院高校
羽藤慧 [担当教諭：高橋 伸一郎，伯野史彦，高橋彩夏]
- JP31 タマクラゲは再生できるのか～口柄の有無による再生能力の違いと口柄の再生プロセス～
宮城県宮城第一高等学校
小林実加，我妻寧々，西村里咲，加藤理紗

[担当教諭：小山義文，二瓶貴之，長谷川美枝子]

JP32 国産木材を用いた透明木材の作製

東京都立多摩科学技術高等学校

名執結稀，三宅彩夏，森保拓磨

[担当教諭：高橋諒]

JP33 ヤツデヒトデの再生に関する物質の探索

三重県立四日市高等学校

加藤ここな，草深友華帆，伊藤渉晴

[担当教諭：伊藤泰二]

JP34 陸生クマムシの“通常”環境生存戦略 －環境要因から生態への影響を評価－

芝高等学校

溝口元気

[担当教諭：丸山史人]

JP35 高梁の地酵母の探索

岡山県立高梁高等学校

黒川美琴，井上侑己，葉廣煌

[担当教諭：河口芳里]

JP36 米のとぎ汁で乳酸発酵

西宮市立西宮高等学校

井ノ口真帆，上島陽奈代

[担当教諭：久保和弘，岩田諒]

JP37 カカオポリフェノールの経口摂取によるヘアレスマウスの日焼け予防効果

山村学園 山村国際高等学校

塩田はな

[担当教諭：天野 誉]

JP38 都市の野鳥が保持する真菌の解析～糞便採取を通じた生態学的調査～

普連土学園高校

内山由暉

[担当教諭：村上正志]

JP39 規格外なばなの粉末化と食品への利用方法の検討

三重県立四日市農芸高等学校

増田伊吹，塩谷友昭，中川和奏，阿部友衣奈，佐伯美宇，寺嶋和希，向佳瑚

[担当教諭：北畠英司]

JP40 微生物の大きさを利用した新規スクリーニング法の構築

東洋大学京北中学高等学校

坂井希，柳田蒼亮，説田健心，辻野冬馬

[担当教諭：太田垣十也，大貫裕之，三浦健]

JP41 酵素を用いたカゼインプラスチックの生分解性の向上

和歌山県立向陽高等学校

中村周音，三好莉央奈

[担当教諭：谷地祐介]

JP42 ポリフェノール類を利用した実用電池の開発～エネルギー資源としての柿渋の有効利用について～

福岡県立明善高等学校

吹出幸生, 古賀寛人, 西見良希, 熊谷恒輝, 森田未悠, 波多江桐茉, 澤田遙

[担当教諭: 吉井香織]

JP43 未利用糖質資源から機能性素材を調製し免疫活性を評価する！

一関工業高等専門学校

及川美空唯, 熊谷百華, 藤澤萌, 和野崎貴乙, 太田空良

[担当教諭: 戸谷一英, 二階堂望]

JP44 毛髪で布を染めることはできるのか？

富山第一高等学校

松井丈琉

[担当教諭: 鈴木諒]

JP45 岐阜県南濃地区から西濃地区にかけて生育する在来タンポポに関する研究

岐阜県立大垣西高等学校

竹中みちる, 古川七和子

[担当教諭: 今井丈暁]

JP46 調理時に鉄が溶出しやすい条件とは

大阪府立千里高等学校

石原空和, 粟田康夫, 東由菜

[担当教諭: 西澤淳夫]

JP47 回転放物面の素材による集光量と発芽率の違い～火星農業実現のために～

宮城県利府高等学校

岸柳樹, 五十嵐隆成, 吉田琳空, 市川翔也

[担当教諭: 中村亮]

JP48 はつか大根からの乳酸菌の単離

東京農業大学第三高等学校

長島妃那子, 鈴木樹

[担当教諭: 信木公介]

JP49 剣道の面に繁殖する菌に対する消臭剤の効果

石川県立七尾高等学校

石田こころ, 大島寛次郎, 中川そら, 番坂昊生

[担当教諭: 吉村彰志]

JP50 産膜酵母の膜形成要因

横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校

草野良佳

[担当教諭: 三浦恵子]

JP51 セイタカアワダチソウの持つ毒性について

山形県立東桜学館高等学校

増川風雅, 森谷渉

[担当教諭: 紺野陽人]

JP52 豆苗の播種密度と可食部の乾燥重量の関係

石川県立小松高等学校

笠巻亮佑, 米谷遙, 高橋駿介, 徳田響, 由田桃

[担当教諭: 政浦嘉恵]

JP53 琉球諸島に生育するシキミ酸の代替供給植物の探索

国立沖縄工業高等専門学校

板橋悠汰, 田村日拡

[担当教諭: 藏屋英介]

JP54 ダイズの根より分離される放線菌の研究

東京都立農業高等学校

洲兼愛乃, 平林洋大, 鈴木梨央, 宮本花緒里

[担当教諭: 秦野俊夫, 小野剛, 畑克彦]

JP55 プラスチック分解能を持つ海洋細菌の探索

横浜雙葉高等学校

木村明日香

[担当教諭: 吉澤晋]

JP56 微生物に関するオンライン対応型出前授業教材の作成と展開

佐世保工業高等専門学校

加藤千夏, 山川彩葉, 山道藍, 北村凰妃, 坂本董, 鈴江里梨歌, 前野心美, 山口倖奈

[担当教諭: 越村匡博, 藤井奈穂子, 岡楓子]

JP57 世界で初めての甲虫透明骨格標本に成功

東京都立日野台高等学校

新野晃, 濱田美南

[担当教諭: 山崎好一, 高橋竜大]

JP58 酢酸ナトリウムの再結晶 ~ノータイム再結晶へ~

宮崎県立都城西高等学校

仲西正真, 砂坂慎哉, 白尾凜

[担当教諭: 外山真樹, 長友優樹、津曲真知子]

JP59 アスコルビン酸が植物の成長に与える影響

神奈川県立生田東高等学校

佐藤希海, 山崎佳乃

[担当教諭: 菊池有夏]

JP60 皇居のお濠・千鳥ヶ淵の微細藻類と水質調査

二松学舎大学附属高等学校

片山達裕, 河野慎, 天野翔太

[担当教諭: 外ノ岡和政]

JP61 「南部太ねぎ」の栽培に関する研究

青森県立名久井農業高等学校

川守田めい, 守田悠真, 夏坂未来都, 一ノ渡貴輔, 入江竜生, 遠澤龍寛, 沖田空月, 田中初, 奈村梁生, 畑中駿真, 東結, 大館煌成, 山崎真央

[担当教諭: 日野澤義子]

JP62 キャベツ中のジメチルスルフィドに対するサイクロデキストリンとクエン酸の影響
(食べる幸せを届ける ~次世代の主食を作る~)

樹徳高等学校

山下菜緒, 高橋和瑚, 中村玲偉, 和田華歩

[担当教諭: 広井勉]

JP63 抗生物質と食品保存料ナイシンの有効な利用方法に関する研究

秋田県立秋田高等学校

藤井由紀子, 山谷優衣, 村田楽奈, 南園朝子, 武田彩音, 平野叶恵, 藤田咲希, 石渡斗真

[担当教諭: 遠藤金吾]

JP64 モジホコリの環境変動に対する予測とその学習

静岡県立掛川西高等学校

内野元貴, 大沢慧人, 斎藤柊斗

[担当教諭: 山下和晃]

JP65 本校生産飼料用サイレージおよびチーズから分離した乳酸菌の発酵試験に関する研究

北海道岩見沢農業高等学校

加藤亜里朱, 杉本彩音, 田邊茉麻, 中川柚太, 庭瀬絢萌, 張替雷輝, 湯藤姫菜, 日馬唯華,

木村百花, 斎藤睦, 土肥将大, 安丸博翔, 吉田陽飛

[担当教諭: 渡部哲哉]

JP66 塩～塩が植物の成長に与える影響とその理由

福井県立若狭高等学校

坪内千大

[担当教諭: 山下隆児]

JP67 廃棄物「きびそ」から作成したセリシン溶液の臭気分析

山形県立鶴岡南高等学校

伊藤さや

[担当教諭: 戸野倉賢一]

JP68 ミジンコとワムシの新たな関係

山脇学園高等学校

田中愛咲美, 日吉乃彩, 水河凜香

[担当教諭: 大島 悠希]

JP69 カナメモチの赤色の新葉に蓄積されるアントシアニンの色素増感作用

富山県立富山中部高等学校

村山樂都, 山下陽翔, 地田真也, 田中瑠太郎, 吉岡依咲

[担当教諭: 浮田直美]

JP70 狹山茶に含まれる抗酸化物質とビタミンC-茎茶と煎茶の比較

学校法人城北学園 城北高等学校

足立遙基、吉成海翔

[担当教諭: 中村純]

JP71 香りの王様ジャスミンの機能性を探る

ノートルダム清心学園 清心女子高等学校

久保史佳, 森本侑良, 渡邊花音

[担当教諭: 山田直史]

JP72 山形市における土壌の酸性化の分析

山形県立山形東高等学校

伊藤眞央, 富田明寿

[担当教諭: 笹木覚]

JP73 温度条件による発光細菌(*Photobacterium kishitanii*)の変化に関する研究

横須賀学院高等学校

吉兼友渚, 内田美咲

[担当教諭: 鈴木眞吾, 萩野亮一]

JP74 何のために塩基性アミノ酸を液胞に蓄積するのか？

愛媛県立松山南高等学校

亀岡真由

[担当教諭：関藤孝之]

JP75 五島近海におけるタコツボ漁業に関する研究

長崎県立上五島高等学校

築瀬俊弘, 山崎洋, 村中俊介

[担当教諭：松本仁]

JP76 身の回りの天然酵母における糖を利用する能力について

神奈川県立多摩高等学校

一山泉, 石本陽詩, 萩木菜緒, 江頭櫻人, 大島寿理, 城戸悠佳, 倉持真奈, 近藤秀策, 鈴木晴香, 田原愛梨, 畠山紗空, 山岸健太

[担当教諭：巽直彦]

JP77 日本の旧翅類の翅の撥水性と表面における突起構造及び化学物質に関する研究－トンボ目とカゲロウ目を比較対象として－

神戸大学附属中等教育学校

長坂圭悟

[担当教諭：中垣篤志]

JP78 放置竹林対策に向けた取り組み～菌床栽培ヒラタケの子実体成分との関係～

長崎県立諫早農業高等学校

濱崎紫萌, 有村菜摘, 荒木信太郎, 池田真凜, 神崎真帆, 草野まい, 酒井美月, 佐藤琴乃
溝越花音, 赤石心菜, 今井桃音, 草野結衣, 黒木樹里, 西田愛佳

[担当教諭：本村宏, 永田聖司]

2024 年度 産学官学術交流フォーラム

2024 年度産学官学術交流フォーラムは農芸化学産学官連携を「過去」・「現在」・「未来」の視点で俯瞰する講演を下記要領で開催致します。

第一部では、農芸化学が生んだ身近にある功績を振り返り、農芸化学産学官連携の「過去」を俯瞰する講演を行います。

第二部では、農芸化学産学官連携の「現在」と位置づけ、前半は「農芸化学研究企画賞」第 19 回受賞者の最終報告、後半はイグノーベル賞受賞者から現役若手に向けて語って頂く講演を行います。

第三部では、農芸化学が拓く「未来」を考える講演を行います。

奮ってご参加いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

【日時】2024 年 3 月 25 日（月）9:50～16:50 予定（大会 2 日目）

【会場】東京農業大学 横井講堂

【主催】日本農芸化学会「産学官学術交流委員会」

【企画】日本農芸化学会「産学官学術交流委員会」「産学官若手交流会（さんわか）」

【参加費】無料

プログラム：

第一部：「過去」（9:50～11:30）

9:50～10:00 開会の挨拶 岸野重信（産学官学術交流委員会 委員長）

第一部進行 山内祥生（日本農芸化学会 100 周年記念大会実行委員会）

10:00～10:30

■ 「微生物由来の医薬品 FK506(tacrolimus)の発見 1984」

後藤 俊男氏（理化学研究所）

10:30～11:00

■ 「新発想に基づく衣料用コンパクト洗剤「アタック」の開発～世界初のアルカリセルラーゼ配合洗剤～」

和田 恭尚氏（花王株式会社ハウスホールド研究所）

11:00～11:30

■ 「“夢の青いバラ”開発にこめられた想い」

勝元 幸久氏（サントリーグルーバルイノベーションセンター株式会社）

第二部 前半：農芸化学研究企画賞発表会（11:30～12:00）

第 19 回企画賞受賞者による最終報告（事前録画によるご発表）

第二部進行 産学官若手交流会（さんわか）

11:30～11:45

■ 「タンパク質ビーズ法による人工天然物エキスからの新規タウ分解分子のりの開発」

荒井 緑氏（慶應義塾大学理工学部）

11:45~12:00

- 「昆虫エクジステロイド生合成酵素に対する阻害剤に注目した新規殺蚊剤開発に向けた研究」
丹羽 隆介氏（筑波大学生存ダイナミクス研究センター）

(休憩)

第二部 後半：「イグノーベル賞受賞者からのメッセージ～君たちはどう挑むか～」（13:00～15:00）

13:00~13:30

- 「私のタマネギ研究の始まりとその後」
今井 真介氏（ハウス食品グループ本社株式会社）

13:30~14:00

- 「人の銅鉄研究を笑うな」
吉澤 和徳氏（北海道大学大学院農学研究院）

14:00~14:30

- 「原生生物の生き様を探る—細胞のジオラマ行動力学—」
中垣 俊之氏（北海道大学電子科学研究所）

14:30~15:00

- 「味覚世界 物理の制約 超えられる」
宮下 芳明氏（明治大学総合数理学部）

(休憩)

第三部：「未来」（15:10～16:50）

第三部進行：田中 寛（日本農芸化学会 100 周年記念大会実行委員会）

15:10~15:35

- 「20 年後に農芸化学は存在するのか？」
宮田 満氏（株式会社宮田総研、株式会社ヘルスケア・イノベーション）

15:35~16:00

- 「生態系サービスの総合的、持続的な提供のため農芸化学分野の知見が求められています」
神井 弘之氏（日本大学大学院 総合社会情報研究科）

16:00~16:25

- 「日本産食品の価値を世界に届ける～JF00D0 のオールジャパンプランディング～」
玉置 都華氏（日本食品海外プロモーションセンター JF00D0 海外プロモーション事業課）

16:25~16:50

総合討論：

宮田 満氏（株式会社宮田総研代表取締役社長、株式会社ヘルスケア・イノベーション代表取締役社長）

神井 弘之氏（日本大学大学院 総合社会情報研究科 教授）

中山 勇氏（日本食品海外プロモーションセンター JFOODO 執行役）

佐藤 隆一郎氏（東京大学 農学生命科学研究科 特任教授）

16:50 閉会の挨拶 田中 寛（日本農芸化学会 100周年記念大会実行委員会）

第 29 回 農芸化学 Frontiers シンポジウム

農芸化学 Frontiers シンポジウムは、農芸化学分野の若手研究者や学生の幅広い交流を主目的として、シンポジウムと交流会を合宿形式で毎年開催しております。第 29 回目となる次回の農芸化学 Frontiers シンポジウムは、本大会最終日（3 月 27 日）のシンポジウム「これから 100 年の農芸化学研究を展望する」からの連続したプログラムとして企画しており、28 日にかけて東京都府中市で開催いたします。

本シンポジウムは、講演会と交流会の二部構成になっております。講演会では、動物、植物、微生物などを含む様々な生物を対象とし、分子から人工知能までを扱いながら、微細な細胞から広大なフィールドに至るまで研究を展開する最先端の研究者達に話題提供を頂きます。これらの多様な講演者を迎える、若い世代を中心に農芸化学の「これから 100 年」のビジョンが湧き上がる事を期待しています。また、交流会では、様々な分野の参加者とのディスカッションを行い、相互の交流を深めていただきます。学部学生の方も含め、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

詳しくはホームページ(<https://jsbba-frontiers2024.jimdofree.com/>)をご参照ください。

主 催： 公益社団法人 日本農芸化学会
日 時： 3 月 27 日(水) 16:30 (16 時 00 分受付開始予定)～28 日(木) 正午
※大会最終日(27 日)昼からのシンポジウム「これから 100 年の農芸化学研究を展望する」から
の連続したプログラムとして開催します
場 所： クロス・ウェーブ府中
東京都府中市日鋼町 1-40 TEL: 042-340-4800
(JR 武蔵野線「北府中」駅から徒歩約 6 分)
*会場までは東農大から専用バスで移動、終了後は現地解散
参 加 費： 一般 12,000 円、学生 4,000 円

参加申込方法：ホームページの申込フォームからお申し込みください。

プログラム：

[27 日] シンポジウム「これから 100 年の農芸化学研究を展望する」
(本大会会場・東京農大世田谷キャンパス)
クロス・ウェーブ府中にバス移動後、受付・講演会・交流会
[28 日] 講演会、総会

（シンポジウム演者）

- ・高井 研（海洋研究開発機構 超先鋭研究開発部門）
「限界環境で生きる微生物を追いかけてロックな研究していたはずがなぜか会いに行けるアイドルになり体制側で出世していた男の話」
- ・朽名 夏麿（エルピクセル株式会社）
「植物細胞の形に対する画像解析と人工知能によるアプローチ」
- ・喜田 聰（東京大学 大学院農学生命科学研究科）
「記憶制御基盤の解明と農学と医学への応用」
- ・竹山 春子（早稲田大学 理工学術院）
「微生物のデジタル機能解析へのアプローチ：必要から生まれる技術」

・中村 典子（サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社）

「「やってみなはれ」精神で挑んだ夢の青いバラの開発」

・林 洋平（理化学研究所 バイオリソース研究センター）

「バイオリソースとしての iPS 細胞の利活用」

問い合わせ先：

東京大学大学院農学生命科学研究科 藤井 壮太

ホームページ (<https://jsbba-frontiers2024.jimdofree.com/>) の連絡用フォームよりお問い合わせください。

本書の内容の一部または全部を無断で複写複製(コピー)及び転載することは、法律で認められた場合を除き、権利の侵害となりますので、あらかじめ本会あて許諾を求めてください。

Copyright © 2024 by Japan Society for Bioscience, Biotechnology, and Agrochemistry

日本農芸化学会 2024 年度大会 プログラム集 (オンライン)

Program & Proceedings (online) of the Annual Meeting 2024 Tokyo of

Japan Society for Bioscience, Biotechnology, and Agrochemistry

2024 年 2 月 25 日公開 Published online 25 February 2024

発行者 公益社団法人日本農芸化学会 JSBBA <http://www.jsbba.or.jp/>

PUBLISHER 113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 2 階 Phone 03-3811-8789

データ作成者 株式会社ダイナコム DYNACOM <http://www.dynacom.co.jp/>

ASSISTS 261-7125 千葉県千葉市美浜区中瀬 2-6-1WBG マリブイースト 25 階 Phone 043-213-8131

小宮山印刷工業株式会社 KOMIYAMA PRINTING <http://www.kopas.co.jp/>
